

資料

〈全日制〉

校内刊行物―作品タイトル、執筆者一覧
旧職員等一覧（歴代校長、歴代同窓会会長、歴代PT会会長、歴代後援会会長）
歴代クラス担任一覧、校舎・施設の変遷
生徒憲章、生徒規約、教育課程の変遷、大学別合格状況
現在の川越高校（学校要覧より）

〈定時制〉

校内刊行物―作品タイトル、執筆者一覧、生徒会会則、風紀委員会規定
生徒クラブ細則、むさしの文庫細則、開設時の生徒募集要項
分校配置図（朝霞、所沢、入間川）、教育課程の変遷、年度別卒業生数一覧
歴代PTA、教育振興会会長等一覧、旧・現職員一覧、歴代クラス担任一覧
現在の川越高校（学校要覧より）
〈校歌・応援歌〉

川越高校生生徒会報

創刊号

一九四九年度

巻頭言／副会長 野口元二 偶感／校長 荒井実 生徒会に寄す／前校長 日新

義虎 発刊の言葉／教務主任 木村冉

発行に際して／生徒会長 橋本日出松

生徒会の在り方 埼玉県立川越高等学校 生徒会々則 埼玉県立川越高等学校校友会々則 生徒会活動状況 昭和二十四年度学校行事

△作品▽野末の草／教官 木島平治郎 近代日本文学の封建性／教官 佐々木信治 科学を推進させるもの／12C小川瑞穂 母／12C山岸隆治 青龍寺の尼嬖／10E 遠藤容弘 金魚と蛙／12E森住恒二

△詩▽どうしたらいいのだ／教官 田中正雄 カンナ／12A窪田哲夫 彷徨／12B 本橋藤治 カレンダー／12B佐藤哲雄 つくつく法師／11E平岡泰之 自由詩／11A大島和道 残夏／10B野原友次郎 瞳／12B相沢健一 幸福／12C小 木仲六 引揚げの東支那海にて／12C小 川瑞穂 百姓／12A日出間哲郎

△短歌▽教官 島崎幾雄／教官 近藤鉄 城／12B斎藤孝／12C山岸隆治／12C小 川瑞穂／12B藤野勝之

△俳句▽七人句集（教官 木村すゝむ／本

橋香潮／佐藤徳四郎／田中棲魚／瀬川逢 石／山口柳風／近藤鉄城（以下生徒）12

B 佐藤哲雄／12A坪井幸夫／12B斎藤 孝／11A山崎孝雄／11A松木信／11B江 原襄／11A大島和道／10E萩原作助／10

B 高梨貞夫／10B武村節雄／10E遠藤容 弘／10E小島昌夫／10B横堀英夫

白馬唐松尾根縦走記／12佐久間春雄

生徒会々報発行に当たつて／生徒会長 東 敏雄 優勝旗／校長 荒井実 生徒諸君 へ／教務主任 本橋信治 昭和二五年度 行事

△研究▽鷗外の「のである」について／教官 佐々木信治 日本農業の機械化／教官 北野茂夫 葉緑素と血色素／3B喜多弘 植物生長素と光／3B松平理 高周波の 起こす物理的環境について／2C中野浩 本校の井戸水について／3A松岡・1E 小林

第2号

一九五〇年度

△文芸作品▽雷鳥／3D豊田牧

△随想▽よき、新たなもの／教官 木島 平治郎 嶺の憶い／3B市村栄一 小品 二題／3E三友善夫 墓標「想い出」／ 3D金子勇二「断片」／1D内藤隆氏 音楽について／3C原武

△紀行▽南アルプス北部縦走／3E糟谷熊 童謡 赤ちゃん／教官 田中正雄

△詩▽我が友／3C新井澄夫 流涕／3C 平岡泰之 無限／3D田中崇 生きるよ ろこび／3D田中崇 或る祭の日 の影 像／3C平岡泰之 思い／2B高橋清 水引草／2A深田弘治 日記帳に／3C 西海英夫 噴水／3D田中崇 信濃路／ 11A大島和道

△短歌▽3A関根憲治／3C平岡泰之／3 C西海英夫／3C斎藤恒／3D田中崇／ 3D宮崎敏昭／3E三友善夫／3A新井 貞夫／2A高野和一／2A山口健美／2 C三橋信之／2E小島昌夫／2D柏木利 夫／教官 近藤鉄城

△俳句▽本橋香潮／佐々木信治／佐藤徳四 郎／瀬川逢石／山口柳風／田中棲魚（以 下生徒）3A関根憲治／3B鈴木俊雄／ 3C山崎孝雄／3D益子弘道／3D松木 信／3D田中崇／3D金子武司／3E三 友善夫／2C岩田健次／2C萩原多助／ 2A高野和一／2C川島滋／2A深田弘 治／2A山下正道／2C三橋信之／2E 小島昌夫／3A鈴木洋／3A大沢米吉

△研究▽波動の中に／3D中野浩 家屋雜 感／2F平不二夫 昆虫の冬眠／1E酒 本忠雄 酢の蜜三種についての酢酸の定 量／化学部（責任者3年小室秀夫）小 堀杏と幸田文／教官 佐々木信治

△文芸作品▽犬の死／1E町田晋作 彼と 父／1C堀江義男 今日読書傾向につ いて／1A宮岡成次 雲の研究まで／1 C石川龍造 あきはさん／1A田中伸和 砂漠に沈む夢／2B内藤隆氏 読書につ いて／2B平田栄夫 富士山／1E山岸 光司 河童川／1A佐藤豊 時／2A滝 島幸昭 点心／2A塩野潤雄 柿／2B 中野進 言論の自由とは／1C駒井尚 次郎物語を読んで／1C大木晴男 偉人 を知ろう／2B田口巖一 傷病兵／1E 高畑昇 随想／2C中野克明 カレラ イス／3E畑康弘 電車／1D山岸総介 入学当時／1D斎藤福治 鴉／1A照井 行雄 いとこ／1F内田勝 山里の秋／ 2E江原徳三 かぶと虫雑話／2D原田 正夫 きりぎりす／1B岸田英一 これ からの日本／1D畑豊司 秋の景色の下 に／1年須賀清三郎 山の一観／山岳部 顧問 木村信壽 庭つくり／教官 木島

第3号

一九五一年度

自己に目覚めよ／生徒会長 高山俊雄 占

*交友会（クラブ）活動／一人一言について は割愛した。
*在校生は分かる限り所属学年またはクラス 名を氏名の前に表記した。

領下六ヶ年／校長 荒井実 我等の使 命／教官 本橋信治 生徒会について／ 教官 那須大輔

△研究▽波動の中に／3D中野浩 家屋雜 感／2F平不二夫 昆虫の冬眠／1E酒 本忠雄 酢の蜜三種についての酢酸の定 量／化学部（責任者3年小室秀夫）小 堀杏と幸田文／教官 佐々木信治

△文芸作品▽犬の死／1E町田晋作 彼と 父／1C堀江義男 今日読書傾向につ いて／1A宮岡成次 雲の研究まで／1 C石川龍造 あきはさん／1A田中伸和 砂漠に沈む夢／2B内藤隆氏 読書につ いて／2B平田栄夫 富士山／1E山岸 光司 河童川／1A佐藤豊 時／2A滝 島幸昭 点心／2A塩野潤雄 柿／2B 中野進 言論の自由とは／1C駒井尚 次郎物語を読んで／1C大木晴男 偉人 を知ろう／2B田口巖一 傷病兵／1E 高畑昇 随想／2C中野克明 カレラ イス／3E畑康弘 電車／1D山岸総介 入学当時／1D斎藤福治 鴉／1A照井 行雄 いとこ／1F内田勝 山里の秋／ 2E江原徳三 かぶと虫雑話／2D原田 正夫 きりぎりす／1B岸田英一 これ からの日本／1D畑豊司 秋の景色の下 に／1年須賀清三郎 山の一観／山岳部 顧問 木村信壽 庭つくり／教官 木島

△研究▽波動の中に／3D中野浩 家屋雜 感／2F平不二夫 昆虫の冬眠／1E酒 本忠雄 酢の蜜三種についての酢酸の定 量／化学部（責任者3年小室秀夫）小 堀杏と幸田文／教官 佐々木信治

△文芸作品▽犬の死／1E町田晋作 彼と 父／1C堀江義男 今日読書傾向につ いて／1A宮岡成次 雲の研究まで／1 C石川龍造 あきはさん／1A田中伸和 砂漠に沈む夢／2B内藤隆氏 読書につ いて／2B平田栄夫 富士山／1E山岸 光司 河童川／1A佐藤豊 時／2A滝 島幸昭 点心／2A塩野潤雄 柿／2B 中野進 言論の自由とは／1C駒井尚 次郎物語を読んで／1C大木晴男 偉人 を知ろう／2B田口巖一 傷病兵／1E 高畑昇 随想／2C中野克明 カレラ イス／3E畑康弘 電車／1D山岸総介 入学当時／1D斎藤福治 鴉／1A照井 行雄 いとこ／1F内田勝 山里の秋／ 2E江原徳三 かぶと虫雑話／2D原田 正夫 きりぎりす／1B岸田英一 これ からの日本／1D畑豊司 秋の景色の下 に／1年須賀清三郎 山の一観／山岳部 顧問 木村信壽 庭つくり／教官 木島

平治郎

△関西修学旅行記▽二見の浦／3A木下元男 内宮参拝／3A田中浩彦 猿沢の池／3D山本明 春日神社／3B渡辺忠光 東大寺／3B岩田劍藏 若草山／3C神山欽司 法隆寺／3C深田弘治 十三間堂／3D今井榮久 平安神宮／3E如康弘 嵐山／3E平手義夫

△詩▽童謡 白い歯強い歯／教官 田中まさお 石／2E横山和夫 風／2B三沢義和 歩行者／2D海野保人 動かぬもの／1B寺田一夫 道／3C日高武美 光の流れ／1A立花義郎 蜘蛛／2A戸田俊彦

△狂歌集▽受験狂時代／大塚寛一

△俳句▽2A戸田俊彦／2B三沢義和／1E鈴木和夫／3B川島滋／3E平手義久／2A渋谷昌宏／3C日高武美／2B落合好雄／1B清水保男／1D岡部実／2A中野良一

△研究▽人工降雨について／3年藁谷武・3年林守佳・2年尾崎善之 イオン交換樹脂／化学部 市内各校井戸水の水質検査／伊藤博美 二、三の說話について／2年中善寺義久

△文芸▽三平と老婆／3年吉崎秀一 絲瓜の水／2年山岸光司 ある日の出来事／1年伊藤安男 ウィリアム・ペン／1年安達元明 友の死／2年国府孝紹 誠実なるY君／2年田中伸和 思い出／2年名坂朗 雑文集／2年坂間和男 わが／1トより／3年馬場璋造 校舎新宮／教官 木島平治郎 随想／教官 近藤鉄城 映画・その他／教官 佐々木信治 化学に志す者に／教官 内田一正

△詩▽秋の夜と私と／2年五十嵐專介 忘れたもの／1年菅谷規矩雄 冬の雨／3年原沢良造 ペンと私／1年馬場佳一 山／1年馬場佳一 やまさびし／教官 田中まさお

△短歌▽2年市川功／2年島田五郎／2年小野沢秀晃／教官 近藤鉄城／教官 佐々木信治

△俳句▽1年田中春男／2年島田五郎／2年小野沢秀晃／3年西山政一／3年原沢良造／3年馬場璋造／3年駒井昭一（以下教官 佐藤徳四郎／斎藤彰勇／田中樓魚／佐々木信治／山口柳風

第4号

一九五二年度

巻頭言／生徒会長 中野克明 あるべき姿を／校長 荒井実 所感／教頭 本橋信治 生徒会への希望／教官 那須大輔

△新校舎について▽生徒会会報アンケート 新校舎所感／3年高橋伸

△研究▽人工降雨について／3年藁谷武・3年林守佳・2年尾崎善之 イオン交換樹脂／化学部 市内各校井戸水の水質検査／伊藤博美 二、三の說話について／2年中善寺義久

△文芸▽三平と老婆／3年吉崎秀一 絲瓜の水／2年山岸光司 ある日の出来事／1年伊藤安男 ウィリアム・ペン／1年安達元明 友の死／2年国府孝紹 誠実なるY君／2年田中伸和 思い出／2年名坂朗 雑文集／2年坂間和男 わが／1トより／3年馬場璋造 校舎新宮／教官 木島平治郎 随想／教官 近藤鉄城 映画・その他／教官 佐々木信治 化学に志す者に／教官 内田一正

△詩▽秋の夜と私と／2年五十嵐專介 忘れたもの／1年菅谷規矩雄 冬の雨／3年原沢良造 ペンと私／1年馬場佳一 山／1年馬場佳一 やまさびし／教官 田中まさお

△短歌▽2年市川功／2年島田五郎／2年小野沢秀晃／教官 近藤鉄城／教官 佐々木信治

△俳句▽1年田中春男／2年島田五郎／2年小野沢秀晃／3年西山政一／3年原沢良造／3年馬場璋造／3年駒井昭一（以下教官 佐藤徳四郎／斎藤彰勇／田中樓魚／佐々木信治／山口柳風

△研究▽夏休の山林調査／高篠睦夫

△文芸▽カトリシズムについて／3年宮島正 余暇／3年藤森貞夫 健康と心／1

第5号

一九五三年度

自己の確立へ／生徒会長 坂間和男 炉辺随語／校長 渡辺正紀 ターニングポイント／教頭 本橋信治 志望／教官 那須大輔

△研究▽夏休の山林調査／高篠睦夫

△文芸▽カトリシズムについて／3年宮島正 余暇／3年藤森貞夫 健康と心／1

年江田正道 生活と書道／1年青木功吉 石灯笼／1年宮本明 国歌／2年内田次彦 母の故里／3年野本高平 こもろ／3年早見静雄 最近の日記から／3年島田稔 朝焼け／3年田中伸和 反射光／2年菅谷規矩雄 幸福を買う人／2年山川滋 北海道の思い出／1年高橋正義 雑感／2年馬場佳一 泥垣（ないおむ）

教官 こんどう・てつ 読書雑感／教官 斎藤彰勇

△短歌▽教官 佐々木信治／教官 こんどう・てつ

△川柳▽教官 田中白墨

△詩▽江南の春／教官 田中正雄 悲哀・真実／3年五十嵐專介 お前は弱い・不安・悲哀／3年高木茂夫 病者の希望・白い少女／3年竹ノ谷武三 悩み／3年早見静雄 ナルシサスによせて・ある角度から／2年菅谷規矩雄 秋／1年吉沢義和

△短歌▽1年神田裕／1年田中元一

△俳句▽3年大塚賢弘／3年鈴木和夫／3年石川与平／1年岩田輝邦／1年吉沢義和

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

第6号

一九五四年度

巻頭言／生徒会長 鈴木勇 初冬寸章／校長 渡辺正紀 随感片々／教頭 本橋信治 予算の編成について／教官 那須大輔

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

／3年磨田満 北村透谷について／国文学部 伝説を通して観た川越の一角／2年山田春久

△文芸▽（修学旅行記3年）伊勢神宮参拝記／島野昌甫 奈良／安藤一夫 法隆寺／浅野滋之 大阪の巻／小川玄吾 大阪神戸／小久保喜惣次 京都の印象／小峰進

△創作▽ある少年／2年朝日明 湖にうつる顔／3年小高稔 N氏の意見／2年大内聡矣△戯曲▽求めよ、さらば与えられん／3年拔井太一郎 手紙／3年山川滋 △随筆▽水郷と三社めぐり／3年石井正雄 おにくま／1年佐藤一雄 豚／教官 近藤鉄城

△詩▽光る魚／2年朝日明 老農夫／3年拔井太一郎 秋冷・無題・夜明けのうた／2年牛窪一省 晩秋の田園にて／1年橋本利正

△短歌▽茅渚の海・はつふゆ／2年渡辺守邦 豚の声／2年内野伸一 歌作一五首／3年小川宏泰 3年細田忠司 異邦人／教官 佐々木信治

△俳句▽3年細田忠司／2年岩田輝邦

△童謡▽よい子は元氣／教官 田中正雄作 詞・牧野統作曲

△川柳▽当世景観／内野伸一

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

第7号

一九五五年度

巻頭言／生徒会長 牛窪一省 ハーインの手紙／校長 渡辺正紀 脚下を掘れ／教頭 本橋信治 生徒会係の感想／教官 平正

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

△研究論文▽関東の戦国時代／2年高篠睦夫 湖水の温度はどのように変化するか

夫

△研究論文▽南堀貝塚／3年森下淳

△文芸▽曉霧／3年宮本英世 二通の手紙

(武者小路先生について)／2年根津連

愛／1年原将夫 堤防／3年あらい・く

ん 硝子片／3年朝日明 美しいもの／

1年小川伸一 小さなレジスタンス／1

年栗原進 私の説書遍歴／2年高野澄

帆船の旅／教官 木島平治郎 おもいで

／しろう 秋思一章／教官 近藤鉄城

△詩▽黒猫・冬について／3年朝日明 愛

情／3年大内駿英房／3年吉松直彦 フ

アンタジ・朝／2年橋本利正 秋のお

わり／1年中島孝允

△短歌▽3年宮本英世／3年桑田達也／教

官 佐々木信治

△俳句▽1年武石辰弥／3年吉松直彦

△川柳▽田中白墨

第8号

一九五六年度

巻頭言／生徒会長 藤倉忠明 西海グリム

プス／校長 渡辺正紀 われらにモラル

と創造性を／教頭 本橋信治 自転車の

上で／生徒部長 平正夫

△研究論文▽市ヶ尾遺跡／郷土部

△文芸▽二人の裕子／3年根津連 感傷／

3年船越泰次 抗議／3年斉藤孝男 幼

友達／O1 妻へ／或る作家の遺書／

2年栗原進 振子と雨／2年小川伸一

生と死とトンビ／2年國分謙一「死」

以上のもの／2年原将夫 片恋／2年中

村和夫 弁論の重要性／2年沼田昌治

雨の思い出／教官 木島平治郎

△童話▽おじさんとたぬき／2年ひぬまた

かし

△詩▽白い巨船／2年須田秀穂 ここに美

しい心がある／3年橋本利正

△短歌▽風車／教官 佐々木信治

△俳句▽斉藤彰勇

△川柳▽見たこと・聞いたこと／田中白墨

第9号

一九五七年度

現実から理想へ／生徒会長 藤倉健次郎

西遊余談／校長 渡辺正紀 折にふれ

て／教頭 本橋信治 二つの心／教官

木島平治郎 白色白光／生徒部長 近藤

鉄城

△文芸▽赤とんぼ／3年くにお生 洛中の

物語／3年原将夫 狂愛／2E小川裕一

利一君への手紙／2年田中晃 恋文／2

E「KS」旧師／3年塩野繁男 むら

さき／ひぬまたかし 現代雑感／3F中

島孝允

△詩▽白い巨船(完)／須田秀穂 人間

へ・力・夜・年・想像・離別／3年関末

凱康 ある雨の朝／2F小川邦夫

△短歌▽俳句▽菊花／こんどう・てつ

のスケッチ／本橋晋潮

第10号

一九五八年度

巻頭言／生徒会長 小川邦夫 師走雑感／

校長 渡辺正紀 高校時代を有意義に／

教頭 本橋信治 秋思一章／生徒会顧問

近藤鉄城 学生のいる風景から／教諭

間庭博

△文芸▽孤独／1年小泉茂 歌声は響く／

1年関根伸夫 田舎の便り／3年荒井東

海男

△詩▽お前と僕／3年木村重夫 山のファ

ンタジア／3年小川邦夫 幻の祭典／3

年秋原正雄

△創作▽手柄／2年佐藤治郎 線香の香／

A・T 執我／3A小川裕一

△和歌▽こんどう・てつ

第11号

一九五九年度

巻頭言／生徒会長 新井行雄 今昔暦／校

長 渡辺正紀 松茸／教頭 関根五郎治

泣いたり笑ったり／教諭 木島平治郎

顔／生徒部長 近藤鉄城

△研究論文▽平家物語における木曾義仲の

人間像／3E武藤達

△文芸▽日本語と外国語／3E小川潔 机

の上の記／2C蓮沼義明 いたいこと

を言う男／3F小松崎和夫 じゆうだい

／3F勝賀祥助(へそがかゆい)

△詩▽父と二人で／3B加藤誠之 自分／

3F小松崎和夫 鏡／2F吉川行雄 和

子／2CY・H生秋の恋い／2D新島於

兔吉 かわいい恋／3A小島勝 静け

さ／3E須賀弘行

△創作▽この日、あすの日／3F江利川強

骨の鳴る音／3B横内武彦

△俳句▽秋／3A阿部彰英

第12号

一九六〇年度

巻頭言／生徒会長 山口茂 雑感／校長

西川好明 金米糖の埒／教諭 木島平治

郎 静慮／生徒会顧問 近藤鉄城

△生徒会関係▽

文化祭・その反省(座談会) 交歓会(対

熊高)・その反省

△詩▽小便と平和・政治家と肺の穴／浅見

精一

△文芸▽ガッタン・ゴットン／3C吉川行

雄 随想「蔓草」／島村博吉

△短歌▽新島音吉

△創作▽ある日、ある時のある二人の間答

／3E小泉茂

△詩▽故郷の杉の木／3E小泉茂 解／3

E小泉茂 月の明るい晩の三ツ手紙／3

A間野暉司 鳥辺山／3D池田精一

……／浅見精一

第13号

一九六一年度

巻頭言／生徒会長 熊本勝美 今年を顧み

て／校長 西川好明 こし折れ／教諭

木島平治郎 点描／生徒会顧問 近藤鉄

城 川越市名細下小坂古墳調査概報／教

諭 小泉功

△生徒会関係▽文化祭日録 熊高交歓会

△文芸欄▽アラリ／2E鹿島康之 青年の

主張／山川一陽

△短歌▽煩悶／3B小見山進

△詩▽蟹 他一題／2F金井貞夫 悶え／

3B小見山進 山のスケートリンク／2
A大野智央 あなたの影／城

第14号

一九六二年度

巻頭言／生徒会長 大野徳平 新校舎竣工

に思う／校長 西川好明 ななめに寝る

／教師 木島平治郎 占描／教師 近藤

鉄城 「創作」車中／教師 佐野博之

△トピック／理科教室完成

△交歓会(裏々話し・アンケート結果)／

文化祭：文化祭雑記・その反省・文化祭

感想文 他校文化祭訪問記(熊高・川越女

高・川越工高・大宮高)

△俳句／1C野口武志 2E岩野草月

△文芸／現代常識／3E鹿島康之「憲法

改正」という現実とその背景／3D宮崎

勝弘

△詩／天使に・月夜の蛙／2FY・Kあ

る肩の凝る話／3A大岡一雄 秋の山

道・孤独／1C野口武志 無題／3E新

井実 我が京都／3BM生 望郷愛其自

然／2E岩野草月

△評論／現代の悲劇／1F盛島満 学生／

3D富山勝昭

△短歌／3E利根川健／2E岩野草月／3

D新井実／1F盛島満／1C野口武志

△創作／二人の少年／3C大沢英夫

第15号

一九六三年度

巻頭言／生徒会長 横田満 あすに備えて

／校長 西川好明 学校沿革史というも

の／教頭 吉田金一 想片々／近藤鉄城
三平稲荷神社古墳について／教諭 小泉
功

△講演／レオナルド・ダ・ヴィンチの科学
と芸術について／東京教育大学教授文学

博士下村寅太郎氏

△研究／川越地方のたんす産業の研究／郷

土部

△文芸欄／ちずこ作かげろう／2G辻寿

△詩／籠の小鳥他2篇／3A岡野泰輔 林

橋他1篇／2F野口武志 泣くことの本

て／2F飯野重明 鶴他2篇／こんど

う・てつ サチエ他5篇／3C児島康夫

第16号

一九六四年度

巻頭言／生徒会長 重田富男 合唱全国優

勝を祝して／校長 西川好明

△講演／欧米を旅して抄／教頭 吉田

金一 西原古墳について／教諭 小泉功

△小説／介錯／教諭 横田洋

△詩／北国・学生／3年野口武志 ブラッ

コ／3年H・T 序曲／3年小峰半一

第17号

一九六五年度

巻頭言／生徒会長 寺本健一 「川越中学

校」と私／校長 小久保宗平 昔を語る

とき／教諭 斎藤彰勇

△文芸／豆学者に与ふる文／2年ささきの

ぶお 不思議な悲哀／安藤洋一郎 秋／

1年A・K 狂った夏／月山道夫

第18号

一九六六年度

巻頭言／生徒会長 福田哲雄 私の履歴書

／校長 小久保宗平 プール及び部室の

建築について

△文芸／二重／1年加島健

△詩／孤独・無口／2年東川久 冬の夕暮

れ／1年山崎ふみお

第19号

一九六七年度

巻頭言／生徒会長 田中章

△特集 ベトナム戦争／ベトナムと世界平

和／人文科学部部长 新井進一 ベトナ

ム問題／新聞部部长 山路進 平和への

努力／前図書部部长 村上厚 ベトナム

戦争の現状とそのゆえ／弁論部部长

森田恒夫 平和は誰もの願い／生徒会副

会長 大山茂 ベトナムと日本／1D内

野雅祝 学生と政治の問題／教諭 愛川

敬武 反戦のすすめ 編集委員会

△資料／ベトナムの歴史 ベトナム関係資

料

△寄稿／あし／2年堤四郎 生きる糧／2

C 岩崎努

第20号

一九六八年度

巻頭言／生徒会長 大山茂 進歩の矛盾／

校長 小久保宗平

△特集 「討論会」熊高交歓会／高校生の

自主活動／日米安全保障条約

安保のアンケートとそのまとめ 諸意見
あなば雑感／3H新倉明 安保条約を考
える／3A野原茂 私の少数意見／3I

丸山貞夫 安全保障条約／1H山口洋

安全保障条約というものについて／教諭

安野昇

日米安全保障条約の条文 資料安保条約

と日本国憲法／日米の軍事的関係／日米

の経済的関係／安保公害／日米安保条約

の年譜

△寄稿／滯米所見／教諭 大久原秀雄 円

形告語／2D南里洋次郎 青年／3I小

沢健二 無題／2B千葉和夫 禪／3A

岩崎努

第21号

一九六九年度

巻頭言／生徒会長 黒江春海 蕪羊まがき

に触る／校長 福岡鶴吉

△特集 おはよう！諸君／第1弾 川高生

はどう見られているか 第2弾 アンケ

ート結果報告 第3弾 直面する問題①

交歓会を断る②文化祭を考える③H/R活

動の現状④自由への歩み―生徒心得改正

について⑤七十周年記念行事を追う⑥全

関委の波紋⑦学期末授業検討委員会報告

第4弾 昔を語る⑧初雁の里に学んだ日

の思い出／内田教諭⑨川中時代の断片／

大久原教諭⑩川高六年生／田中教諭⑪一

昔前の川越高校／宮根教諭

△寄稿／殺人記／2年広川三季男 僕の個

人的な体験より―広島に行つて思ったこ

と／2年片山均 ヒラについて／3年新

井勉 十六人の犠牲／2年郷家一二三
「復活」を読んで／1年長島満男「考え
る高校生」を読んで／1年山岸俊之
「人類月に立つ」を読んで／1年富田雅
則 白光を・道になげく／2年沢田俊夫
むきわら／1年今井工
ラジオ部研究発表

第22号

一九七〇年度

目次のすぐ前(巻頭言)

〈寄稿〉川高の方向とは？／2年上原美一
生 なまけ者のたわ言／2B小島茂 た
った一人の山／森田英和 報告1授業検
討委1 出入国管理体制を考える／2年
新井勝治 S君が残してくれたもの／3
年郷家一二三 一見論説文的エッセー風
閑話この「低迷」の中から／2年裕文介
〈生徒会活動〉自主講座／小島茂 六・二
一／裕文介 文化祭／里見哲夫 修学旅
行／里見哲夫 観劇会／横田正夫「生
徒憲章」／裕文介

第23号

一九七一年度

あたりまえのこと／生徒会長 磯野太一
〈創作文芸〉屋上の悲劇／3年吉田正人
彼の名は樺平／3年麻生喜男 荒川に
て／3年島崎敏行 星輝／2年征矢野忍
ミツオと平太の会話／3年岩崎満 自殺
に関する実験的創作／3年裕文介 なげ
きの散歩記／3年小島茂 七時三分／
2年野口孝 男鹿にて／3年藤原仁 ホ

ール・壁／教諭 大島英昭 駅／3年井
原茂男 若者／3年江原孝史 無題／2
年征矢野忍 受験勉強に関して／3年江
原孝史 冬に思う句六首／3年関口智司
短歌・戯作六題／3年江原孝史

〈評論・随想〉冬休みに読んだ本／教諭
宇波彰 お弁当の味／2年高山勝 ぐす
の木祭のこと／3年市川敏朗 生徒会の
存在／2年志村孝夫 五木寛之あるいは
さすらいの吟遊詩人断片／3年川口正雄
山月記とBクラスの弁／3年清水良一
思い／3年関口智司 公書を考える／教
諭 横田洋 三里塚「第二誓の人々」を
見て／3年清水洋志 聖職／3年佐藤純
溜字塔／3年新井信夫 私と余暇／2年
吉田静夫 ローマの高校生／校長 山村
良夫 プルースと私／3年長沢英夫 あ
る映画気狂いの日記より／3年安藤茂樹
七一年度アイカースキースクールバッヂ
テスト受験記／2年長壁宏 鼻曲山から
浅間隠山・栗平峠へ／3年森田英和

第24号

一九七二年度

〈ささやかな私の意見〉人間関係のこと／
生徒会長 岩田文夫 絶対真理への疑
問／鈴木賦 詩「遺言」／長井麦秋 敗
北宣言／征矢野忍 高校さすらい派の
詩／征矢野忍
〈教育を考える〉
教育／生徒諸君 ハートだよ／M教師
募金運動の経験から／教師との出会いに
よる自己変革(2年)／教科書につい

て／埼玉県における別学の現状／テスト
と選別／教育権について／教育を考え
る／その問題点
〈小説〉十月四日かむなづきのうた／
3年島田洋一 むこうの路地から／3年
盛田隆一 星ふる夜のひとりごと／2年
岩田文夫

〈教師寄稿〉あいさつ／校長 山村良夫
水河の日記より／教諭 松崎中正 欧州
旅行の余録／教諭 内田一正 旅の雑
感／教諭 渡辺進
〈詩〉自己顕示から自己顕治へのテーゼ／
3年征矢野忍
〈作品〉一九七二年十月／3年野口稔 永
夜 清宵何の所為ぞ／3年磯村健 受験
期の妄想／3年猪鼻弘秋 電話のあと
で／1年菊地忠男

第25号

一九七三年度

巻頭言 今をどう生きるべきか／生徒会長
岩下豊彦 生徒会と私(つれづれなるま
まに)／生徒会長 岩下豊彦 生徒会活
動の抱負／生徒会副会長 入子優 学校
交流をさかんに／1年高橋富秀・1年高
田佳雄・1年新井克哉
〈寄稿〉食へ歩きの記事／校長 萩原辰之助
〈川高を考える〉文化祭について 川高生
とモラル 川高生と女の子との関係(川
高生の異性観について・別学について)
職う男の子の為に 脱四無主義の為の方
法序説 生徒憲章小論 受験体制につい
て

〈文芸〉吠面／2E小島浩 五段の階／富
元保敬 本棚／2E水村裕 新樹／3H
久保有政 緑の池／二本松敬太 寝顔／
2年菊地勉

第26号

一九七四年度

巻頭言 僕らに出来ること／生徒会長 内
田克弘 晝置／前生徒会長 岩下豊彦
かえりみて／前生徒会副会長 入子優
〈寄稿〉飛騨高山紀行／校長 萩原辰之助
〈特集〉生徒会行事の一年・予餞会 クラ
ブ見学 新入生歓迎会 強歩大会 水泳
大会 文化祭 体育祭 生徒会役員選挙
総合
〈文芸〉浅間山水図／3年二本松敬太 穴
中間答／2年柿沼茂 悲しみの極限／2
年内田克弘

第27号

一九七五年度

巻頭言 混沌／生徒会長 渡辺浩 幸せ／
生徒会長 渡辺浩 今思う事／生徒会副
会長 双木希一 一言ずつ／田中隆行・
大塚岳史・島山幸夫・安川一・江島和
美・清水博満
〈寄稿〉
高校生のなやみ／校長 小室忠良
アメリカにおける英語研修講座に参加し
て／黒沢平太郎
〈特集〉川高生はどう見られているか／
川高一年 川高二年 川高三年 川越女
子高校 川越農業高校 川越工業高校

総評

〈文芸〉狂歌／進藤潔 ひぐらし／田島高志 ある日記／鳴村光明 現代イソップ／今井明雄

第28号

一九七六年度

巻頭言／生徒会長 細田英之 進めよう
「生徒会丸」／生徒会長 細田英之 生徒会活動の抱負／小坂卓 一言ずつ
一年間の生徒会活動をふり返って／前生徒会長 渡辺浩・前副会長長双木希一
〈寄稿〉自由と疎外についての偶感／校長 小室忠良 アメリカ雑感／教諭 小室昇
〈特集 生徒憲章〉アンケート 生徒憲章の今昔／教諭 大島英昭 生徒憲章ができた時の状況（生徒憲章に関する資料より抜粋）
〈文芸〉マイ日曜日／吉川武蔵 五右エ門／里中浩二 狂歌 哀歌「予感」／若きウエルテル

第29号

一九七七年度

巻頭言／生徒会長 小坂卓 開かれた生徒会を／生徒会長 小坂卓 生徒会活動の抱負／安達正樹 一言ずつ 「張り合い」を持って生きよう／前生徒会長 細田英之 生徒会後記／前副会長 五傳木隆幸
〈寄稿〉上り坂、下り坂／校長 小室忠良 生徒会創刊号回顧／高二 野口元一
〈特集 進路について〉アンケート 進路指導部へ聞く

第30号

一九七八年度

〈文芸〉夢想／だと牛党 雨中の夢／畔柳裕 青春の軌跡／門脇仁
巻頭言／生徒会長 中村寛 川高生に期待して／校長 小室忠良
〈特集 川高生白書〉生徒会再建のためにその傾向と対策／イントロ 川高生のターヘル・アナトミア（アンケート集計結果より）PART I 川高生の意識構造 PART II 生徒会って何だ！「T.O.E」意見ノート 本部より生徒へ「川高生のバカヤロー」／前副会長 下齋 アンケートに対して 総括にならない総括
〈投稿〉業者模試の問題について
〈川高文学〉Hasen down the wind／3 E松本芳人 夜行列車／1 F馬場照彦 第2のアトランティス／2 I鈴木隆幸 花火／発知和弘 題は何故につけるのか？／2 B関根均

第31号

一九七九年度

巻頭言／編集委員会 生徒会長の言葉／生徒会長 岡安保雄 前生徒会長の言葉／中村寛 このころ思うこと／前副会長 松井中 「関白宣言」考／校長 飯島武司
〈特集 老人宣言〉悪夢の血圧検査・私の仲間は多かった。問題点はここですよ。このままではいけませんよ／ビジュアル班

第32号

一九八〇年度

〈くすの木祭実行委員会の軌跡〉
〈川越高校八十年の歩み〉／川高の1年／〈非行白書〉／〈生徒会報の歴史〉
〈川高文学〉幼少の頃／2 E馬場照彦 私樹・帰路／相沢民夫
巻頭言／生徒会長 宇都野正敏 川高生としての自覚／前生徒会長 岡安保雄
〈特集 川高生をえぐる〉アンケート調査 生徒憲章 現状打破のための批判 意見ノートより
〈投稿〉「五十五年度生徒会選挙考」
〈川高文学〉老境の人／2 C武成志 即興コトバのパフォーマンス／2 Jムラカミ タカカズ

第33号

一九八一年度

楽譜の限界／校長 飯島武志 巻頭言／生徒会長 堀越秀之 自然考／前生徒会長 宇都野正敏
〈川高探索〉これが川越高校だ！／マンガ 川高の1日 川高の1年 アンケート川高生の食生活 川高の名物教師 事務室・図書館をえぐる
〈特集 川高生の現在・過去・未来〉I 現在の川高生 II 以前の川高生の姿について III クラブ活動研究編
〈寄稿 ちよつと発言〉正月のテレビ番組から／教諭 中村和幸 印象童話／2 B

第34号

一九八二年度

北田志郎 交響楽シンフォニー／秋山満「光州は告発する」を上映して／田中弘尚
人間万歳／教頭 下出一夫 現代高校生論／生徒会長 森下和哉 HERO考／前生徒会長 堀越秀之
川高職員紹介―写真と似顔絵入りで紹介―
〈特集 川高生は、今〉他校生の印象より 川高生のイメージ どんな学校か 好感がもてますか 服装が自由であることについて「くすのき祭」にきたことがありですか 別学共学どちらがよいか 部活動をどう思いますか 学力をどう思いますか

第35号

一九八三年度

海の彼方へ／校長 宮島秀夫 ブランド考／生徒会長 斉藤直文 これからの川高生へ／前生徒会長 森下和哉 川高周辺イラストMAP（折込み）
〈特集〉(1)川越高校あれこれ(2)生徒憲章誕生後十四年、そして今―今何故生徒憲章なのか／憲章に内在する矛盾／形骸化する憲章／エピソード
〈寄稿〉BASIC入門／KEN 保険／1年藤沢国匡 糞笠の人／1年野口良平 夢に向かつて／2年豊松鮎太 撃墜／2 G鈴木傑 幻想交狂曲／T(A)Ke オヤジについての習作／DX東寺の坊主

今思つこと／2丁小堀晋一
〈頭の体操〉

第36号

一九八四年度

東西南北／校長 宮島秀夫 土佐からの手紙／生徒会長 野口良平 情性／前生徒会長 齊藤直文

〈特集〉川高を斬る／川高生の1日 川高の1年 生徒会活動について 川高の歴史 川高ってなんだ！

〈寄稿〉音楽が街を歩いている／西村修 最初で最後のちくうペンギン／3C下里直樹 時速100キロでしゃべりまくろう／岡本洋平 謎／1E安藤剛 白い錠剤／2D玉置肇 万国平和会議／3B鈴木 木柴

第37号

一九八五年度

年頭所感／校長 小室英夫 鶴的自由観／生徒会長 筒井章貴

〈特集〉(1)汝、己れの川高を知れ(2)大学って(3)World Now(4)高校生と人権について(5)ある高校生達の主張

〈寄稿〉復員兵／屋根裏のギター弾きスリープー凍眠する人生／関健太郎 わたしのお部屋／高橋浩司 鈍行列車／酔狂 閑人 空耳のホイッスル他2篇／一穂

第38号

一九八六年度

生涯の志を立てよう／校長 小室英夫 飴

と無知／前生徒会長 筒井章貴 学ぶ樂しさを求めて／生徒会長 大石峰士

〈特集〉(1)我々と法律(2)日の丸掲揚問題「飼料」(3)ある高校生のHITORGOTO(4)くすのき祭

〈寄稿〉拜啓／桐田高志 川越高校という所／高橋浩司 冬のプール／2F西村幸治 日本むかしばなし・現代ばなし・未來ばなし／山下秀康

第39号

一九八七年度

態度の転換／前生徒会長 大石峰士 自身をみつめることから／生徒会長 西尾山 卒業は人生の始まり／校長 渋谷健

〈特集〉(1)学食に「迫る」(2)別学・共学(3)高校生の「情報」(4)今どきの生徒憲章は〈寄稿〉CONFESSIONS／田鍋法男 エマ／関健太郎 あるテレビドラマを見て／3B中村満 演劇同好会／松崎浩 合理的な行動のしかた／山下秀康 或る少年の心境／光頭愛民 冊を被った法師／光頭愛民 君と僕と／野口直人 ラストクリスマス／1C辻庸一

第40号

一九八八年度

四年目の正直／前生徒会長 西尾由 他との比較の問題ではないが／生徒会長 利根川聡 通過駅ではなく想い出多い停車場に

〈特集〉(1)日の丸・君が代(2)入試改革

〈寄稿〉秋に思う／1年松本憲秀 今時の高校生が考へる今上天皇／2年野村和彦・三上和孝 西瓜割りの王国／2年熊谷和也 幻覚症状／2年宮崎修一 今時の川高生／2年辻庸一 午後の車内／3年尾形直彦 Papa／野口直人

第41号

一九八九年度

個人と集団／生徒会長 武藤重雄 可哀相な川高生／前生徒会長 利根川聡 今改めて伝統を考へる／校長 渋谷健

〈特集〉教科書問題とは何か 現代の男性・女性

〈寄稿〉月の輝く空／中村亮 雑感／1年櫻井宏明 「週刊ヨンター」復刻版／1年堀北学 女王様論 華麗なるミイスマ／3A宮崎修一 自己欺瞞／3K渡辺 浩一 ナチュラル・ハイ／3年小山羊一

第42号

一九九〇年度

「日本人に・・・」／生徒会長 高野聡史 エシソンは偉い人？／前生徒会長 武藤重雄 教師冥利／校長 渋谷健

〈特集〉前略 高校生へ／校則と自由 学歴社会と高校生 中国人留學生対談 まとめ

〈川高特集〉

〈寄稿〉普通の人が鯨と花に思いを寄せる／3B山田和弘 官能・愛撫／吉川晃司 黒土地帯の農業・チャート戦士／横山淳一 春の陽さしの中で／中村亮

第43号

一九九一年度

自由な川高？／生徒会長 片桐喜芳 考へること／前生徒会長 高野聡史 劣等生青春記／校長 鈴木良栄

〈特集〉日本人と外国人 ひるめし 学校五日制

〈寄稿〉軽音楽部／猪俣浩史 Pastime／ベンジャミン根岸 亀山湖にて／酒本幹夫 夜道／加藤裕一 雪ノ谷たけしと現代の花鳥風月／2K横山淳一

第44号

一九九二年度

生徒憲章考／生徒会長 磯村直之 楽園の囚／前生徒会長 片桐喜芳 時には脱皮をしよう／校長 鈴木良栄

〈特集〉生徒憲章と生徒規約 今日朝食！本部屋天声人語！今日の夕食 THE 本部室

〈寄稿〉川高に異議あり／荒井裕樹 川越高校生の宿命／池田直樹 The Blue Jeans League／大室敦 哀嘆／櫻井司貴・小林岳史 経済大國ニッポン／武田新之助「アナベッティ」とは何者か／松本創一 熱帯道楽マレーシア／丸山牧人 小江戸サスペンス劇場／吉野誠

第45号

一九九三年度

今、高校生に何が出来るか／生徒会長 荒井裕樹 四十六代会長の言葉／磯村直之

川高雑感／校長 鈴木良栄

〈特集〉(1)現代高校生事情 良い川高生・悪い川高生・普通の川高生(2)無・midas

〈寄稿〉宇宙(お約束) 刑事クラムボン 1/岡安淳司 考えるヒント/安野誠

宇宙(お約束) 刑事クラムボン2/岡安淳司 本当の頭の良さとスポーツ論/芳

山和彦 「魔少年ヒーティ」を斬る/法皇院馬之介 宇宙(お約束) 刑事クラ

ムボン3/岡安淳司 私って:/梅原勇樹&五十嵐朋幸

第46号

一九九四年度

四十八代生徒会長の言葉/中山尚人 新しい人よ眼ざめよ/前生徒会長 荒井裕樹

「あいさつ」考/校長 深谷正雄

〈特集〉川高生の私生活

〈総力特集〉教育制度を考える 川高の現状に問う 学習指導要領に問う 教科書に問う

〈小特集〉川高未来予想

〈寄稿〉或ると阿呆の一生/時雨庵霜月齋 川越高校の法則/翔倉院鞍之丞 笑いの

電動/冥雲院真坂戸 夏冬〜かとうり/3年藤野峰男 雑想記/法皇院馬之介

タイムマシン/法皇院馬之介 だらだらブ/松本創一

〈川高の先生〉

第47号

一九九五年度

最近思うこと/生徒会長 仲俣寛也 少年

よ大志を抱け/前生徒会長 中山尚人

「個性」考/校長 深谷正雄

〈特集〉戦後五十年 川高生不満爆発 本部の華麗なる一日

〈寄稿〉川高の法則・2/翔倉院鞍之丞 少年/須垂遼乃 超個人的企画・フリー

トーク一五連発/クリスチーネ・F・剛田Jr 静けき高倉健の悩み/匿名希望

笑いの電動Z/冥雲院真坂戸 最近はまだっているもの/ゼロスくん えいぎや・

シェーク・すび雄の憂鬱/シェーク・すび雄 講談・二番煎じ/ティエンルン

最近の私のアニメ事情/この馬鹿者めが! 僕のハンバーガー戦争/3C澤田 武史

第48号

一九九六年度

『高校生』の殻を壊そう/生徒会長 大鐘健太 「心のゆとり」の必要性/前生徒

会長 米田和彦 「国際交流」抄/校長 深谷正雄

〈特集〉1 青少年犯罪 2 川高生の罪の意識を問う! 3 本部の活動

〈寄稿〉私とくすのき祭/松本け 私を知っている人は読んでみて/3E墨田泰輔

自己満足/須垂遼乃 漫画生活/転沢曲田辺角之進 毎日の生活の中で/一色正

和 提起・いごこちよろし/ロバート・シラコバト

第49号

一九九七年度

自分をおもしろくするちよつとした勇氣/生徒会長 友光一哲 「経験」の必要

性/前生徒会長 大鐘健太 われ以外皆わが師なり/校長 大沢幸夫

〈特集〉環境

〈寄稿〉二人目の苦惱/「恐怖」のサンダ

ル男 機械人間交狂曲/伏原幹 アキバへGO!/P・N秋葉丸 余りページの

有効活用/雑学の帝王 川越高校の法則/アイアムアドリーマー 川高生活を

楽しむ三十九の方法/3年佐野俊輔

第50号

一九九八年度

巻頭言 自由と言う伝統/生徒会長 飯田

智弥 自由を考える/前生徒会長 友光一哲 飛翔する君たちへ/校長 大沢幸夫

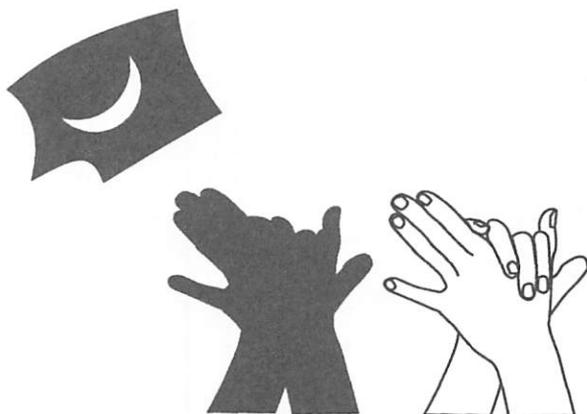
〈特集〉生徒会報 50号の歴史

〈寄稿〉5 DIMENSIONS/VVVF イ

ンバータ制御 余りのページの有効利用II

他称 雑学の帝王 バラエティ番組をもつと知ろう/お笑い番組推進委員会 パラ

ドックスの世界/ノグチケラ 川高用語辞典/SHO



カット:岩田 平(高14回)

同窓会報

川高同窓会報

同窓会機関紙の同窓会報は毎年総会が行われる五月第二日曜日に発刊される。編集は校内理事が担当、発行部数五千部。

第1号

一九五三年

同窓会報の発刊について／会長 山崎嘉七

(中7)

万物流転する／前校長 荒井実

同窓会の各位に／校長 渡辺正紀

母校の校舎／改築協力会長 奥平巧(中1)

思いつくま、／元校長 岡田恒輔(中1)

戦乱と文化／旧職員 久保提多

校長前原先生を偲んで／山崎嘉七

想出の記／野村將三(中4)

けんちゃん／西川喜四郎(中8)

初雁会の誕生／坂田圭司(中17)

追憶／比企員馬(中17)

川越の印象／田中終太郎(中17)

富多美会だよりによせて／北村博学(中23)

第二十五回／岸憲夫(中25)

二七回の動静／中島豊(中27)

第二十九回／山内勤(中29)

プロセスを愛する心／岡村了一(中43)

スポーツの一断面／教諭 松本利雄

第2号

一九五四年

同窓会出席のすすめ／会長 山崎嘉七(中7)

古き学園の思い出／顧問 岩沢新平(中1)

諮問に答えて／岡田万雄(中1)

P.T会より／市川宗貞(中27)

在京初雁会の近況／坂田圭司(中17)

孤独者の通信／打木村治(中20)

二二回の現在／吉崎寅之助(中21)

思うまま／須田壽雄(中24)

二八会の近況／徳田信夫(中28)

寄書雑感／宮下辰夫(中31)

D・R会だより

妄言／高山俊雄(高4)

定時制の念願／定時制主事 高橋剛

斎藤博(高4) アジア大会へ

第3号

一九五四年

母校の成績向上に就いて／会長 山崎嘉七

(中7)

思い出の二三／副会長 伊藤長三郎(中21)

21)

卒業三十年記念富多美会同窓会について

在京初雁会会告／浅海倭夫(中21)

伸びよ川越／伊藤泰吉(中17)

夏の思い出／児玉政介(中7)

古い尺度で／岩沢左馬太(中13)

現実主義／田村孝左衛門(中12)

思い出二三／坂田圭司(中17)

野球座談会 川高野球部の活躍 18年ぶり

の優勝にちなんで

野球部の発展を祈る／大野又四郎(中13)

野球部の強化策／岩崎清録(中19)

倉町先生／近藤洋二(中14)

二足の草鞋／今沢幸四郎(中16)

姓名判断／坂田圭司(中17)

二六会だより／山田勝利(中26)

高二回消息／赤見諾(高2)

クイズと常識／小川正夫(中39)

マニラの言葉／斎藤博(高4)

第4号

一九五五年

川越初雁会生まる

―毎月定期開催の同窓会―

お互にいつも親しく／山崎嘉七(中7)

芋酎会 川越女子高校分会

仙台だより／東敏雄(高3)

久保先生古稀祝賀展／伊藤長三郎(中21)

思い出はなつかし／有山余三(中9)

時 艱にして人材を想う／長沢兼吉(中5)

天気予報と人工気象／肥沼寛一(中20)

三十四年後／岩崎清録(中19)

川中の思い出／中島直一(中26)

懐かしい母校／三上好治(中27)

僕達の同窓会のこと／長島恒雄(高3)

第5号

一九五五年

向上賞(第二回)授与 会長より激励の辞

城址会 母校勤務の卒業生

若い世代を代弁して／榊昌男(高4)

同窓会創設の思い出(二)／岡田萬雄(中1)

卒業十年雑感／前田弘(中44)

同期生の諸君に寄せる／柳沢篤義(中5)

弓道について／平岡徳次郎(中24)

モスクワの南京虫／岡村和夫(中45)

戦争つ子と学校生活／山根豊(中44)

せり合い／中神定衛(中41)

悪友の小さな同窓会／関口弘(高4)

川越的ということ／菅谷規矩雄(高7)

大阪だより／小島良夫(中45)

真理に向えば／細田盛久(定3)

耳ふたぎ／山田勝利(中26)

第6号

一九五六年

図書館建設計画進む

同窓会創設の思い出(二)／岡田萬雄(中1)

如雪会(中43) 雑報

高六3A会

DR会(高3) だより

大十会 (中19) 卒業第三十五周年記念謝

恩同窓会
剣道部後援会報告

第7号

一九五六年

第三回向上賞 メダルも添えて
斎藤博 (高4) (バスケット) オリリンピッ
クへ

勤労学生/戸田アサ (定3)

ブラジル紀行/馬場宗光 (中14)

随想/大野又四郎 (中13)

仙台川中川高会

川中の思い出 (その二) / 中島直一 (中26)

第8号

一九五七年

久保提多先生逝去/弔辞

川中の思い出 (終) / 中島直一 (中26)

第9号

一九五七年

向上賞 (第四回) 授与

運動会 (第十回) 挙行さる

この夏のあるこれ / 井上善十郎 (中9)

初の太平洋横断日本人機長 木本栄司 (中

36)

ラインランド便り / 平岡忠次郎 (中27)

残照 / 児玉政介 (中7)

「川中」を憶う / 旧職員高橋一男

西海印象 / 校長 渡辺正紀

「アカシヤ」の思い出 / 瀬木一郎 (中21)

二十五回同級生会

級友の話 / 石川信夫 (中24)
昭和二十九年三月卒業3A同級会

第10号

一九五八年

図書館建築成る

くすの木は知っている / 旧職員 市川正男

古来人類の謎 / 夢 / 中村卯三郎 (中6)

期待される野球部

矢部謙次郎 (中1) 藍綬褒章授与さる

第四十七回 (高一回) 同級生会

昭和三十年三月卒業3E同級会

第11号

一九五八年

向上賞 (第五回) 授与

小山三省 (中7) ・佐藤隆房 (中7) 藍綬

褒章授与せらる

これはこのあたりの謡曲マニヤにて候 /

佐々木信治 (中25)

七友会発会卒業五十周年小山三省君藍綬褒

章受章記念祝賀会

くされ綾 / 小島良夫 (中45)

海外の思い出 / 井上善十郎 (中9)

画家いわさきかつひら君のこと / 伊藤長三

郎 (中21)

同窓相携えて紫匂う / 在京初雁会 / 高橋

幸男 (高3)

第12号

一九五九年

野球部甲子園に活躍 初雁健児の意気示す

岩泉先生の思い出 / 佐々木信治 (中25)

川高OB男声合唱団発足

東京初雁会春季大会兼外口氏藍綬褒章受章
祝賀会

在京初雁会の現況 / 坂田圭司 (中17)

第13号

一九六〇年

謝辞 / 前校長 渡辺正紀

あいさつ / 校長 西川好明

創立六十周年記念行事

一八会

あれが無い、返せ / 旧職員 高松鶴吉

東京初雁会春季大会 / 伊藤長三郎 (中21)

汗・駄・句の記 / 北村博学 (中23)

第二十八回卒業三十周年記念

第六回向上賞

斎藤博 (高4) ローマオリンピックへ

高潮に期待する / 野球部長 大久原秀雄

(中44)

定時制給食施設完成

第14号

一九六一年

第七回向上賞

染谷潜四郎 (中8) 藍綬褒章を受く

運動部便り (陸上競技部・籠球部・体操部・

剣道部・庭球部・水泳部)

鹿見島の飲みもの食べもの / 宮崎昇 (高2)

川高定時制の思い出 / 元定時制主事 松田

丑一

(特集) 定時制のあゆみ

第15号

一九六一年

埼玉県剣道大会並に間中先生喜寿祝賀会の
記 / 副会長 北村博学 (中23)

第二十一回同窓会

DR会 (高3) 例会

第16号

一九六一年

校舎増改築決まる

理科教室の建築実現に際して / 校長 西川

好明

第八回向上賞

東洋大学工学部初雁会発会 / 栗原喜一郎

(高13)

特別寄稿 岡田萬雄 (中1) 先生 / 喜寿を

迎えて

県西部官庁関係同窓会 / 日高武美 (高4)

第二十五回同級会

第17号

一九六二年

昭和三十七年度通常総会 (古稀の特別会員

を招待)

老いを樂しむ / 木島平治郎先生

南米だより / 菅間五郎 (高9)

菅間五郎の南米だより / 菅間六郎 (中17)

第18号

一九六二年

新校舎完成 (理科教室6、普通教室6)

鉄筋三階工費五千万円

新校舎落成を祝う／会長 伊藤長三郎(中21)

お礼のことば／校長 西川好明

第九回同上賞

嗚呼剣道絶士 間中鹿太郎先生／北村博學(中23)

東洋大学工学部初雁会総会／栗原喜一郎(高13)

第十四回同窓会開かる

第19号 一九六三年

古稀の祝福を受けて／元教諭 岡田萬雄(中1)

東京初雁会十周年記念について

新任雑感／定時制主事 宮下辰雄(中31)

第20号 一九六四年

一步／剣道部

東洋大学工学部初雁会総会／栗原喜一郎(高13)

指導標／富沢邦夫(定12)

入間川分校の新校舎竣工近し

朝霞分校へ入学応募者殺到

第21号 一九六五年

在京初雁会の現況／坂田圭司(中17)・菅

間六郎(中17)

東京オリンピック大会の随想／教諭 松本利雄

川中二七会つどう／中島豊(中27)

欧米旅行記／前教頭 吉田金一
意義ふかい旅路／教諭 豊島正夫

第22号 一九六六年

会長に就任して／北村博學(中23)

川高の校長となつて／校長 小久保宗平

伊藤泰吉(中17) 伊藤長三郎(中21)

両氏を悼む／旧川中教諭 松崎祐存

前同窓会長 伊藤長三郎君を偲ぶ／吉崎虎

之助(中21)

昭和四十一年度新年祝賀同窓会並昭和四十

年度叙勲者要職就任者祝賀会開催につい

て

第23号 一九六七年

来るべき母校創立七十周年に当つて／会長

北村博學(中23)

二十四回同窓会 四十年目の同窓生の顔は

在京初雁会便り

東京初雁と一緒に／平岡忠次郎(中27)

「朝日、明るい社会賞」に／丸木清美(中30)

四十五回岡村和夫氏講演 米中対決と日本

の防衛(講演要旨)

プールの完工とその利用状況

「ヨーロッパ一人旅」テンマーク／染谷潔

(高5)

ねん公の思い出／中貞男(中17)

ジョイント・リサイタル／高橋誠(高9)

第24号 一九六八年

総会に寄せて／北村博學(中23)
創立七十周年記念行事について／校長 小久保宗平

名簿発行についての御願ひ／事務担当 内

田一正(中32)

恩師岡本先生を偲ぶ／有山余志三(中9)

学校史編さんによつて／学校史編纂委員会

安部路人先生歌碑について／北村博學(中

23)

第25号 一九六九年

母校七十周年を迎えて／四十二・四十三年

度会長 北村博學(中23)

ごあいさつ／校長 福岡鶴吉

ご挨拶／教頭 那須大輔

第26号 一九七〇年

ご挨拶／会長 北村博學(中23)

七十周年記念誌発刊に寄せて／七十周年記

念誌編集委員会

新体育館概要

内田節馬(中22) 個展開催

第27号 一九七一年

総会(改選)に当たつて／会長 北村博學

(中23)

あいさつ／校長 山村良夫

ごあいさつ／前校長 福岡鶴吉

「日本一の同窓会」在京初雁会創立十八年
毎月会合二七回

故 金子先生を悼む／教諭 横田洋(高4)
御嶽山秋の行楽／北村欣暎

第28号 一九七二年

あいさつ／会長 北村博學(中23)

ご挨拶／教頭 細田宏一(中38)

在京初雁会の近況／坂田圭司(中17)

明るい消息／北村博學(中23)

小久保先生を悼む／大久原秀雄(中44)

亡き牧野先生を悼む／大澤寛(中39)

牧野先生追悼／斎藤彰男(中47)

第29号 一九七三年

また同窓会とは／同窓会長 北村博學(中

23)

ごあいさつ／校長 萩原辰之助

退職のごあいさつ／前校長 山村良夫

ごあいさつ／教頭 澤原正夫

とな会／幹事 相原光次(中17) 他七名

句集天神居より／古谷青水子(中23)

川高感懐／佐々木太郎

高松鶴吉先生を憶う／佐々木信治(中25)

在京初雁会結成 満二十周年を迎えて／坂

田圭司(中17)

弔い・祭り／富多美会(中23) より

在京初雁会会報発刊に臨んで／児玉政介

(中7)

上手に歳を取る工夫／島田斌(中22)

高尾山薬王院／貫主 山本秀順(中27)

第30号

一九七四年

ご挨拶／会長 北村博学（中23）
渡辺進教諭を悼む／教諭 愛川敬武
故渡辺先生の思い出／教諭 小泉功

第31号

一九七五年

総会に当たつての挨拶／会長 北村博学

（中23）

ごあいさつ／校長 小室忠良
転勤のごあいさつ／前校長 萩原辰之助
就任のあいさつ／定時制教頭 原田節二

（中40）

四四会／山根豊（中44）

故長谷川貞平先生を悼む／会長 北村博学
故原山辰雄先生の事ども／会長 北村博学
新入会員を迎えて／会長 北村博学

第32号

一九七六年

総会のご挨拶／会長 岡村了一（中43）
血縁・地縁から杜縁へ／校長 小室忠良
転勤の御挨拶／前教頭 澤原正夫
着任のごあいさつ／教頭 小室英夫
同窓動静難便と新役員に期待する／高多美

会 北村博学（中23）

26

第七回全国高校バレーボール選抜優勝大会

に出場して／バレー部監督 萩原秀雄

銘記しよう十月五日／岩崎清録（中19）

胡春先生遺響の記―飯田亮先生四十年祭に
寄せて―／岡部一雄（中33）
あるカナケ旅行／小島良夫（中45）

第33号

一九七七年

総会の御挨拶／会長 岡村了一（中43）

心のふるさと／校長 小室忠良

転任に当たつて／原田節二（中40）

転任の御挨拶／大久原秀雄（中44）

着任の御挨拶／定時制教頭 福田信夫

「会ひたし」と高多美会 北村博学（中23）

川高創立記念誌の資料についてのおお願い

第34号

一九七八年

御挨拶／会長 岡村了一（中43）

川中、川高の八十年／校長 小室忠良

離任のご挨拶／前教頭 小室英夫

ごあいさつ／元事務局長 藤井広司

同窓のみなさまへ／柴崎和郎（中42）

着任のごあいさつ／事務局長 笠間寿一郎

赤田喜美男（中48） 埼玉文芸賞受賞

飯能市に初雁会結成

在京初雁会創立満二十五周年記念祝賀会を

開く／坂田圭司（中17）

川越高等学校創立80周年記念事業寄附金状

況・中間報告／事務主任 佐藤正三（定

22）

第35号

一九七九年

御挨拶／会長 岡村了一（中43）

着任の御挨拶 心豊かな若者に／校長 飯

島武司

ご挨拶／前校長 小室忠良

小室前校長へ感謝のことは 在京初雁会へ

入会のお願ひ／坂田圭司（中17）

同窓会小史／野口進（中46）

飯能初雁会の誕生

大十会同窓会報告／岩崎清録（中19）

卒業五十周年を迎えた川中二十七会／中島豊

（中27）

打木村治著『大地の園』『天の園』／赤田

健一（中48）

松山幸雄の三冊の本／小山誠三（中47）

岩波國語／石山豊（中46）

名前の歴史／とな会 森田稔（中17）

第36号

一九八〇年

御挨拶／会長 岡村了一（中43）

生活をきり拓く力を／校長 飯島武司

離任の御挨拶／定時制前教頭 福田信夫

着任のご挨拶／定時制教頭 藤野雅之

母校創立八十周年記念事業について／記念

事業実行委員会 伊藤豊（高2）

母校八十周年記念祝賀会を終つて／北村博

学（中23）

「武蔵野ペン」の出版／東郷博（中25）

松本博一著『80年代への視点』／佐々木忠

一（中32）

船戸英夫著『酒通たのしみ読本』／桜井陽

一郎（中46）

第37号

一九八一年

御挨拶／会長 岡村了一（中43）

智を耕して徳をしく／校長 飯島武司

退任のご挨拶／前事務局長 笠間壽郎

着任のご挨拶／事務局長 田中賢一

耐えて行く／北村博学（中23）

「辛い薄き国民」に恵みを―ポーランドの

こと―松本博一（中37）

私が学んだころ／船戸英夫（中46）

在京初雁会便り／佐々木忠一（中32）

その後の飯能初雁会

第38号

一九八二年

御挨拶／会長 岡村了一（中43）

ご挨拶／校長 飯島武司

転任のごあいさつ／前教頭 柴崎和郎（中

42）

着任にあつて／教頭 下出一夫

母校三十年の思い出／内田一正（中32）

離任のご挨拶／宮根七郎（高12）

母校とその回想／岩崎靖夫（中32）

全く修学旅行のなかつたわが四十五・六回

秩父路 和銅鉦泉に初めての修学旅行／

桜井陽一郎（中46）

第39号

一九八三年

御挨拶／会長 岡村了一（中43）

着任のご挨拶／校長 宮島秀夫

退任のあいさつ／前校長 飯島武司

転任のご挨拶／石井正雄（高7）
三十周年を迎えた在京初雁会／岩泉迪人（中28）

白井正先生の古稀を祝して／鈴木豊（中46）
庭球部OB会開催 紫紺の大クラブ旗 後輩に贈る
三十四・五回と四十五・六回／桜井陽一郎（中46）

第40号 一九八四年
御挨拶／会長 岡村了一（中43）
ご挨拶／校長 宮島秀夫
転任のご挨拶／柴生田建司（高18）
在京初雁会便り／佐々木忠一（中32）
ベルリンを訪れて／松本博一（中37）
東條首相と私／岡村和夫（中46）
山歩きはエスペラント／桜井陽一郎（中46）
山下義夫氏（中33） 図書寄贈／教諭 小泉 功

第41号 一九八五年
御挨拶／会長 岡村了一（中43）
着任の御挨拶／校長 小室英夫
着任の御挨拶／教頭 荒井桂
着任のご挨拶／事務長 山下泰吉
お別れのごあいさつ／前校長 宮島秀夫
離任のごあいさつ／前教頭 下出一夫
転任のご挨拶／内河輝臣（高10）
在京初雁会だより／岩泉迪人（中28）

在京クラス会／紫苑会のこと 在京四十二回生の集り／平岡寿夫（中42）
二月 きさらぎ十一日／山根豊（中44）

第42号 一九八六年
御挨拶／会長 岡村了一（中43）
学校近況／校長 小室英夫
着任のご挨拶／教頭 高松恵
離任の御挨拶／前教頭 荒井桂
日高初雁会だより／平井輝夫（中37）
第九回同窓会／桜井陽一郎（中46）
全国大会に出場して／音楽部 小高秀一（高11）
焼芋のはなし／井上浩（高2）
東南アジア紀行（タイ国教育事情）／吉田 積美（高2）

第43号 一九八七年
御挨拶／会長 岡村了一（中43）
着任のご挨拶／校長 渋谷健（中47）
退任の御挨拶／前校長 小室英夫
転任のご挨拶／新井利邦（高15）
国際化時代と大学／松本博一（中37）
全日本合唱コンクール 全国大会で銀賞／音楽部顧問 小高秀一（高11）

第44号 一九八八年
御挨拶／会長 岡村了一（中43）
十八年目の春を迎えて／校長 渋谷健（中47）

着任のご挨拶 クスノキによせて／教頭 松崎中正
離任のご挨拶／前教頭 高松恵
転任のご挨拶／小高秀一（高11）
野球部七十周年記念誌発刊について／横関 夏夫（中32）
「名物先生の思い出」／染谷潔（高5）
往時を偲ぶ秋季散策会／吉沢義和（高8）
飯能・子の権現に打木村治文学碑建立／赤田健一（中47）
北村博学先輩を偲ぶ／中島豊（中27）
別れ 桜井君のこと／石山豊（中46）

第45号 一九八九年
ご挨拶／会長 岡村了一（中43）
樟と共に一段の伸張を／校長 渋谷健（中47）
着任のごあいさつ／教頭 小峯賢
離任のご挨拶／前教頭 松崎中正
退職のご挨拶／宮坂忠彦（中41）
校門改装
「きさらぎ会」と父の思い出／前田弘（中44）
大正天皇御座所にかかる書類発見／同窓会 監事の蔵から／石山豊（中46）
私と憲法との出会い／岡村了一（中43）
岡村会長同窓会室に音響設備寄贈

退任の御挨拶／前会長 岡村了一（中43）
退職のご挨拶／梅沢正寿（中46）
離任のご挨拶／前事務室長 山下泰吉
着任の御挨拶／事務室長 角田英雄（高7）
第十回同窓会随想記／柳田正臣（中45）
明け六つ・暮れ六つ 生活にとけこんでいた「時の鐘」／石山豊（中46）
特別寄稿 日本学士院賞（平成元年度）受賞記念 宇宙気象とレタダの話／加藤進（中44）
恩師のたより／山根豊（中44）
在京初雁会の近況報告／矢部敬一郎（高2）
日高初雁会の近況報告／平井輝夫（中37）
同窓会講演会 国際化時代を生きる／私とアメリカー島野昌甫（高7）

第46号 一九九〇年
御挨拶／会長 佐々木忠一（中32）
近況のご報告／校長 渋谷健（中47）

第47号 一九九一年
御挨拶／会長 佐々木忠一（中32）
着任ご挨拶／校長 鈴木良栄
離任にあたり／前校長 渋谷健（中47）
離任のごあいさつ／前教頭 小峯賢
退職のご挨拶／伊藤豊（高2）
転出の御挨拶／吉沢義和（高8）
着任のごあいさつ／梶田隆（高11）
在京初雁会の近況報告／松下雄一（中29）
日高初雁会の近況報告／平井輝夫（中37）
入間初雁会の活動報告／井花富雄（高17）
初雁税理士会が発足！親睦と母校発展を期して／石山豊（中46）
不惑から耳順に／山根豊（中44）

退任の御挨拶／前会長 岡村了一（中43）
退職のご挨拶／梅沢正寿（中46）
離任のご挨拶／前事務室長 山下泰吉
着任の御挨拶／事務室長 角田英雄（高7）
第十回同窓会随想記／柳田正臣（中45）
明け六つ・暮れ六つ 生活にとけこんでいた「時の鐘」／石山豊（中46）
特別寄稿 日本学士院賞（平成元年度）受賞記念 宇宙気象とレタダの話／加藤進（中44）
恩師のたより／山根豊（中44）
在京初雁会の近況報告／矢部敬一郎（高2）
日高初雁会の近況報告／平井輝夫（中37）
同窓会講演会 国際化時代を生きる／私とアメリカー島野昌甫（高7）

退任の御挨拶／前会長 岡村了一（中43）
退職のご挨拶／梅沢正寿（中46）
離任のご挨拶／前事務室長 山下泰吉
着任の御挨拶／事務室長 角田英雄（高7）
第十回同窓会随想記／柳田正臣（中45）
明け六つ・暮れ六つ 生活にとけこんでいた「時の鐘」／石山豊（中46）
特別寄稿 日本学士院賞（平成元年度）受賞記念 宇宙気象とレタダの話／加藤進（中44）
恩師のたより／山根豊（中44）
在京初雁会の近況報告／矢部敬一郎（高2）
日高初雁会の近況報告／平井輝夫（中37）
同窓会講演会 国際化時代を生きる／私とアメリカー島野昌甫（高7）

第48号 一九九二年

退職のご挨拶／関口弘(高4)
 「春秋」／吉田正(高10)
 転出のご挨拶／高橋守(高20)
 転出のご挨拶／細田宏(高25)
 離任のごあいさつ／前主任 中島敦子
 着任のごあいさつ／高橋克己(高31)
 母校に戻って／中村潔(高32)
 年末・年始のがきは気取らずに、分かりやすく／石山豊(中46)

第49号 一九九三年

離任のご挨拶／前教頭 楳田隆(高11)
 転出のご挨拶／鈴木和彦(高26)
 転出のご挨拶／今榮亮一(高27)
 着任のご挨拶／教頭 石川富夫
 母校に帰って／二本松敬太(高27)
 「伝統」の名に恥じぬよう／横田雅之(高32)

第50号 一九九四年

就任にあたって／会長 渋谷健(中47)
 萌え立つ樟の緑／校長 深谷正雄
 退任に当たって／前校長 鈴木良栄
 離任にあたって／前事務室長 角田英雄(高7)
 転出のごあいさつ／清水徳雄(高19)

離任にあたって／松崎雅博(高28)
 母校に着任して／吉敷茂(高21)
 母校に帰って／花井敦(高34)
 「緑」を感じながら／内田正俊(高35)
 入間という地名について／福田昇平(中41)

第51号 一九九五年

真街道の生涯学習／今野卓(中44)
 転任のご挨拶／福田公明(高26)
 樟の木の思い出／栗原克弘(高12)
 夏ミカン／入間初雁会 福田昇平(中41)
 「樟樹」の一人ごと／若狭衛(高8)
 校門のくすのき／丸章夫(高8)

第52号 一九九六年

私のジョギング人生／鈴木和夫(高6)
 竹林からの通信／加藤一朗(中37)
 「同窓」雑感／辻功(中44)

第53号 一九九七年

就任にあたって／校長 大沢幸夫(高9)
 川高百周年・その前夜／前校長 深谷正雄
 就任にあたって／教頭 松木晴信
 離任にあたって／野口孝(高25)
 母校創立百周年記念事業と同窓会募金について／実行委員会事務局 伊藤豊(高2)
 創立百周年記念事業予算案概要
 皆様のご理解を——同窓会費に関わる会則

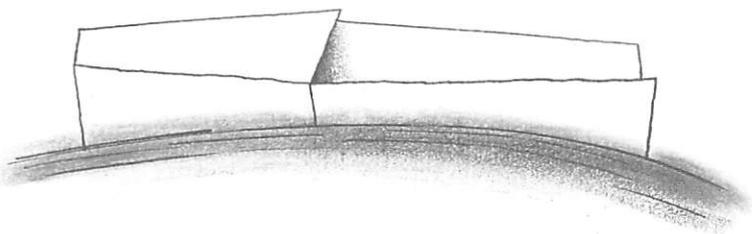
第54号 一九九八年

の一部変更について／会長 渋谷健(中47)
 新しい出をありがとう／前定時制教頭 大澤克彦
 離任にあたって／吉敷茂(高21)
 一日のちがひ／栗原進(高10)
 着任にあたって／定時制教頭 齋藤英男
 煤けたカップ／近藤伸一(高20)
 着任挨拶／栗原由郎(高21)
 くすのきと校歌／齋藤実(高26)
 創立百周年記念事業の概要／創立百周年記念事業実行委員会事務局
 会費一部変更について／会長 渋谷健(中47)

第55号 一九九九年

新装なった体育館・図書館 情報発信の拠点として
 ごあいさつ／校長 橋本恭明
 退任に当たって／前校長 大沢幸夫(高9)
 大きな学校が動く時／感謝を込めて／前教頭 館野俊則
 着任にあたって／教頭 深澤一博
 離任にあたって／栗原和彦(高18)
 追懐／赤木秀次(高25)
 川高での思い出／浅井一郎(高30)
 紫匂ふ／滝澤民夫(高18)
 創立百周年「記念音楽会」のご案内

所沢初雁会設立総会のお知らせ
 「高貴なる人格」初代校長増野悦興先生との出会い／児島康夫(高16)



カット・中野武夫(高13)

記念誌

創立五十年記念誌

一九四八年十月二十日
A5判総ページ70

〈巻頭言〉/ 学校長・日新義虎

〈学校沿革概要〉

〈式辞〉/ 学校長・日新義虎

〈告示〉/ 埼玉県知事・西村実造

〈祝辞〉/ 埼玉県知事・西村実造 / 埼玉県議

会 議長・松本倉治 / 文部大臣・森戸辰

男 / 埼玉県立川越高等学校PT会長・奥

平巧 / 埼玉県立川越高等学校同窓会長・

山崎嘉七 / 埼玉県高等学校協会代表・

埼玉県立粕壁高等学校長・高山忠太郎 /

川越市長・伊藤泰吉 / 本校生徒の長所短

所 第一回卒業生・元本校校長・岡田恒

輔 / 埼玉県立川越高等学校在校生総代・

武藤恭一

〈五十年記念行事抄〉

〈記念行事準備経過摘録〉

〈記念講演〉/ 同窓会を回顧して / 第一回卒

業生・岡田萬雄 中学時代の思い出 / 第

二十回卒業生・打木村治 五十年前の回

顧 / 第一回卒業生・矢部謙治郎

〈生徒記念感想文〉/ 創立五十年を迎え高校

生となつて / 12 A 山崎栄作 高校昇格の

喜びと希望 / 12 B 加藤眞三 創立五十年

記念にあたりて / 11 B 金子和夫 高校昇

格に際して / 11 B 佐藤哲雄 高校昇格に

当たりて / 10 E 東敏雄 高校昇格に当た

りて / 10 E 喜多弘 創立50年に際して /

9 D 遠藤容弘 高校昇格に当たりて / 9

C 松井孝久

〈文芸〉/ 空海と道風 / 第二十回卒業生本校

教官・鈴木栗山 雪舟 / 第二十五回卒業

生 本校教官・佐々木信治 知らない

子 / 12 A 渡辺好邦 海の絵 / 12 B 武藤恭

一 真の学生生活 / 12 B 内田良男 流

れ / 12 B 関根隆 朝 / 11 C 前野博之 音

楽とは? / 11 C 森田融

〈詩〉沈黙のひととき / 12 A 山崎栄作 暮

春 / 11 A 山沢夫司雄 舗道 / 11 B 佐藤哲

雄 あけぼの / 11 B 金子和夫 たそが

れ・初夏夕ぐれ / 11 B 赤田健一 春の

園 / 11 C 前野博之 夏の夜の合唱 / 11 D

大河内通好 鶴沼にて / 11 D 松本隆雄

季節の幻影 / 11 B 野口元二 川高讃歌 /

11 B 佐藤哲雄 曙光 / 9 B 荻野郁夫

〈短歌〉知命寿譜 (8首・城址懐古 (8

首) / 教官・松田蘭風 颯風 (18首) / 教

官・島崎幾雄 (以下生徒) 11 B 赤田健

一 / 11 C 前野博之 / 11 C 森田融 / 11 B 佐

藤哲雄 / 10 B 綿貫祐弘 / 9 A 藤森貞夫 /

9 C 小林惣一

〈俳句〉/ 七人句集 / 佐藤徳四郎 本橋富潮

瀬川逢石 木村すゝむ 山口柳風 田中

棲魚 松田蘭風 (以下生徒) 11 A 井上

浩 / 11 B 片岡稔典 / 11 C 飯野賢 / 11 B

赤田健一 / 11 C 矢島恒夫 / 11 A 鈴木一

男 / 11 C 鶴岡鈞 / 11 C 前野博之 / 11 B 佐

藤哲雄 / 10 B 松村祐二 / 9 A 村山武司 /

9 A 藤森貞夫 / 9 C 本田善之助 / 9 D 後

藤順生

〈川柳〉/ 11 D 大河内通好 / 11 C 前野博之

〈童謡〉/ アサガホロッパ / 教官・田中正雄

〈川中庭球優勝応援歌〉/ 教官・松田蘭風

〈協賛会決算報告〉

〈編集後記〉/ 松田丑一

記念誌

創立七十年記念誌

一九七〇年四月三十日
A5判総ページ269

〈巻頭言〉/ 創立七十年を迎えて / 学校

長・福岡鶴吉

〈祝辞〉/ お祝いの言葉 / 推進委員長・染谷

清四郎 創立七十年に寄せて / 全日制

PT会長・天沼照雄 七十年に寄せ

て / 定時制PT会長・犬竹正雄 七十周

年を迎えて / 定時制教育振興会長・神山

義男 母校七十年記念に寄せて / 同窓

会長・北村博学 七十年を祝して / 全

日制生徒会長・黒江春海 七十年を迎

えて / 定時制生徒会長・宮古正男

〈学校沿革略年表〉

〈七十年のあしどり〉

〈回想 (二)〉/ 川越中学校と父 / 初代校長

嗣子・増野肇 思い出 / 第十三代校長・

小島承一 川高懐旧 / 第十四代校長・福

森治 新旧教育の転換期に / 第十四代校

長事務取扱・寺島光雅 初雁懐旧 / 第十

六代校長・荒井実 図書館建設思い出の

記 / 第十七代校長・渡辺正紀 想出 / 第

十八代校長・西川好明 前校長としての

回想雑感 / 第十九代校長・小久保宗平

埼玉県立川越中学校寄宿舎 / 旧職員・白

川恒介 昭和初期の十九年を思う / 旧職

員・坂戸公隆 川中から川高へ／旧職員・松田蘭風 川高応援歌について／教諭・近藤鉄城 合唱の可能性を追求して／教諭・牧野統 待望のプールが教諭・横田洋

△回想(二) 同窓生(旧制川中) 寄稿▽母校創立当時の思い出／中1岩沢新平 追憶／中6平田高美 60年前の思い出／中7児玉政介 入学と恩師の面影／中7山崎嘉七 同志会と城南クラブ／中8西川喜四郎 回顧／中8橋本惣右エ門 川中学生同志会と阿部さん／中9有山余志三 ずの歌／中10加藤正二 寄宿舎の思い出 二、三／中11岩崎賢太郎 紫の匂、消えず／中13岩沢佐馬太 大正七・八年頃の憶出／中17坂田圭司・竹内栄吉・森田稔 水泳部と発火演習／中17菅間六郎 アマゾンと私／中17福島茂吉 発火演習と鶏／中18松本茂雄 草創時代の野球部／中19岩崎清録 一片の思い出／中20打木村治 庭球部創設／中21笹田泰治 剣道の諸先生を語る／中23北村博孝 学生同志会のことなど／中24浅野誠一 思い出の先生／中25佐々木信治 軍事教練の思い出／中27中島豊 講堂の思い出／中29

山内勤 六十周年の頃／中30小川禎三 定時制四カ年の回想／中31宮下辰夫 母校の古希に憶う／中32佐々木忠一 母校感懐／中34稲田英太郎 思い出／中35橋本次郎 学校教練の思い出／中36宮原和夫 日本の軍国化と川中／中37佐々木考輔 川越中学時代の回想と昨今の教育を思う／中38石井泰彦 川中の思い出など／中39北野茂夫 太平洋戦争頃の川中／中41名島太郎 樟の木は今も健在／中42森田暁 如雲会記／中43岡村了一 出陣から復校まで／中44大久原秀雄 校舎改築／中47渋谷健

△回想(三) 同窓生座談会記録▽

第一回座談会 (学校側) 小久保校長／宮下主事／梅沢／大沢／大久原各教諭 (同窓側) 橋村／染谷／岡村各副会長／中1岩沢新平／中5黒瀬利景／中5須賀喜久次／中6小久保清治／中7児玉政介／中7布瀬川岩治／中8染谷清四郎／中8佐藤又蔵／中8西川喜四郎／中8橋本惣右衛門／中9大河内要三／中9有山余志三 第二回座談会

(学校側) 小久保校長／岡野教頭／佐々木／福田／梅沢／渡辺／田中／黒井／秋葉各教諭 (同窓側) 北村会長／中11岩崎賢太郎／中12田村孝左衛門／中13岩沢三馬太／中15内野徳治／中17森田稔／中19岩崎清録／中19本橋万三郎／中20打木村治／中21笹田泰治／中23栗原福太郎／中24青山一夫／中24寺田市郎 第三回座談会

(学校側) 小久保校長／佐々木／渡辺／田中／黒井各教諭 (同窓側) 北村会長／染谷副会長／中26石川秀夫／中26山田勝利／中29山内勤／中30小川禎三／中32府瀬川岩雄／中33森田莊治／中34島崎仁平／中38時田勝輔／中39岡野郁郎 第四回座談会

(学校側) 小久保校長／佐々木／梅沢／田中／黒井各教諭 (同窓側) 北村会長／高5染谷副会長／中41勝保福志／中41飯野三徳／中42間坂宏／中43中沢昭二／中44岩堀栄司(徳太郎)／中44前田弘／中45富沢賢三／中46奥田弘二／中45小島良夫／中47鎌田栄

一／中47飯野善仁／中47重田栄一郎／高2大野俊／高2鈴木幸夫／高3大川解／高4深田弘治／高5染谷潔 △回想(四) 同窓生(新制川高) 寄稿▽

高校第一回／高1片居木栄一 全日本高校庭球選手権大会優勝／高2芹沢良三 クラブ活動走馬燈／高3山崎孝雄 全国高校駅伝連続入賞を顧りみて／高4二杉誠一 駅伝競争／高5米山大恵 蜘蛛と蛾／高7小川玄吾 我が川高時代／高8沼本武俊 仲間／高10藤倉健次郎 甲子園大会と私／高12横田芳明 ヨットのこゝと／高13山口茂 思い出／高16横田満 一步を讀えて／高18鯨井久芳 友／高19小野沢明 川高アラルト／高20岸田博私の思い出／高21大山茂 定時制高校発足当時／定1松津明夫 芝居と映画と写真と／定4関口平一 定時制について／定4渡辺進 定時制高校生のころの思い出／定5久保寿美枝 二つめの高校／定9中野玲子 学窓に想う／定13林繁太郎 定通大会優勝追憶／定16小久保昌行 △編集後記▽

記念誌

創立八十周年記念誌

一九七九年十一月十七日 A5判 総ページ54

△挨拶▽校長・飯島武司／前校長・小室忠良／埼玉県教育委員会教育長・石田正

利／八十周年実行委員会会長・宇津木清蔵／同窓会会長・岡村了一／PT会会

長・岩田正／後援会会長・高橋俊太郎／定時制PT会・教育振興会会長・安元淡

二／生徒会会長・中村寛／定時制生徒会会長・小柏雅市

〈第一部 川中から川高へ〉

第1章 学校通史／小泉功・斉藤貞夫

第2章 教育内容の変遷／高5小高芳男

第3章 校舎・施設の変遷／高2伊藤豊

(卒業生寄稿) 大本営になった中学校／中18松本茂雄 旧講堂のこと／中

30小川禎三 校舎をめぐる思い出／中

42柴崎和郎 二度の校舎改築期にあ

つて／高6小島芳寿 本館校舎完工ま

で／前校長・小室忠良

第4章 川越高校生徒会の歩み／森光真

幸 四年目の春／高27若下豊彦 生徒

会誌創刊号回顧／高2野口元二

第5章 クラブ活動の歩み／各クラブ顧

問

(卒業生寄稿) 全国優勝の思い出／高

3岡田立彦 「草創時代の野球部」あ

とがき／中19岩崎清録 本校剣道部余

聞／中23北村博学 川越高校柔道部／

高19松本豊一

第6章 P.T.会・後援会の歩み／高木宏

在任時代の思い出／第十四代P.T.会

長・渋谷幸雄

第7章 同窓会の歩み／中46野口進

(卒業生寄稿) 「八十年」に想う／同窓

会長・岡村了一 在京初代会満二十五

周年を回顧して／在京初代会長・坂田

圭司 とな会の起源と歩み／森田稔・

坂田圭司・新井正直 回想・川越学生

同志会／中22 石黒宗吉

〈第一部 回想〉

(現旧職員の回想) 在任時代の思い出／

第二十二代校長・福岡鶴吉 回想記／第二

十二代校長・山村良夫 川越高校の思い出／第二十二代校長・萩原辰之助 在任

その頃の川越中学校／第十四代校長事務

取扱・寺島光雅 昔と今と／元教諭・田

中正雄 「生徒憲章」誕生／現教諭・横田

洋 増野悦典論の試み／現講師・小島康

夫

(卒業生の回想) 不思議な私の健康／中

7山崎嘉七 大演習と川越中学校／中16

早川金助 すばらしいわが母校／中17福

島茂吉 川中周辺今昔／中18長谷川央

遠い思い出／中19山田健司 川高は心の

風土／中20打木村治 川越中学の思い出

出／中20鯉沼寛一 先輩剣友を語る／中

23北村博学 私の履歴書／中24岸田長

教え子／中25佐々木信治 二十五周年の

頃／中27関谷俊雄 思い出の断片／中27

丸山光男 萩原貞一先生のこと／中28徳

田信夫 川中でてから半世紀／中31宮下

辰夫 同窓会活動／中32佐々木忠一 飯

田・伊丹両先生を偲ぶ／中32増島良平

「川越高女生」思慕時代／中33岡部一雄

おもいで／中33野上誠 恩師と学友／中

36西川瀨八 二人の恩師／中37松本博一

友／中44山根豊 動員の思い出／中48赤

田健一 わがゲートル事始／高2本橋藤

治 中学一年の夏／高3阿部新一 句集

「初雁」について／高3大澤米吉 終戦

の年に入學して／高3斉藤恒 川中二十

会／高3中村生秀 部活の思い出／高7

江守秀男 川高時代／高21 山崎元男

川越高校の思い出／高26 岩田文夫

〈卒業生の座談会〉

その1 (中23・中32)

(出席者) 中23北村博学／中24青山一

夫／中25佐々木信治／中26石川秀夫／中

27中島豊／中28徳田信夫／中29山内勤

中30小川禎三

(学校側) 小室忠良校長／中42柴崎和郎

教頭／小泉功／高2伊藤豊／高4田中啓

彦／高木宏／高6小島芳寿／高10内河輝

臣各教諭

その2 (中33・中43)

(出席者) 中33岡部一雄／中34仁平信

海／中35梶田進／中36宮原和夫／37松本

博一／中38細田宏一／中39原田定吉／中

40山口茂／中41川崎俊也／中42田中康

富／中43加藤国衛

(学校側) 小室忠良校長／中42柴崎和郎

教頭／高4田中啓彦／高木宏／高6小島

芳寿／高18柴生田建司各教諭

その3 (中44・高6)

(出席者) 中44岩堀徳太郎／中45・6桜井

陽一郎／中45・6桑田稔／中47 (高1)

小山誠三／高2矢島恒夫／高3阿部新

一／高3斉藤恒／高4榎昌男／高4伊藤

昌夫／高5野本智行／高6大原原光行

(学校側) 中42柴崎和郎教頭／小泉功／

高2伊藤豊／高4田中啓彦／高木宏／高

6小島芳寿各教諭

その4 (高7・高16)

(出席者) 高7鈴木勇／高8宇津木浩／

高8中野末光／高9岩井徳十／高10大沢

弘次／高11大塩三千雄／高12鈴木実／高

13弓場洋一郎／高14小川悟／高14吉沢宣

太郎／高15宮下弘道／高16中川惟晴

(学校側) 小室忠良校長／小泉功／高4

田中啓彦／高木宏／高8安野昇／高11小

高秀一／高12宮根七郎各教諭

〈第三部 定時制三十年の歩み〉

(回想) 入間川分校偶吟／旧職員・木村市

郎 朝霞分校の二十一年／旧職員・愛川

敬武 所沢分校の思い出／旧職員・新井

弘達

(座談会) 旧職員 市川正男／宮下辰

夫／原田節二／土屋亮晃／愛川敬武 現

職員 福田信夫／秋葉光／高橋肇藏

〈付〉沿革略年表

〈編集後記〉



創立50周年(1948)、70周年(1970)、80周年(1979)と過去3回発行されている記念誌

研究紀要

紀要

「紀要」の編集は図書・視聴覚部が担当し、年一回発行。国立国会図書館や県立高校（普通科中心）等にも送付している。高度の内容を誇り、広く学術の発展に寄与している。時に論文についての問い合わせもある。

第1集

一九六四年
全53ページ

「紀要」の創刊によせて／西川好明
ネルチンスク（尼布楚）条約考／吉田金一
五代末初藩鎮年表―擁州藩鎮の場合―／栗原益男
中世日本における絶対者の問題―親鸞の思想をめぐって―／宇波彰

二段以上の酸化還元反応について／内田一正

アントシアニンからみた花の色／富樫裕
数学と論証（特に命題の否定）について／梅澤嘉一
混声合唱・鹿のおはなし（作曲）／牧野統

第2集

一九六五年
全85ページ

本年度をかえりみて／西川好明
擁正年間に清国からロシアに派遣された2回の使節について／吉田金一
存在者の段階／持田行雄

現代診断／近藤鉄城
川越市新富町山下の横穴について／小泉功
主要金属腐蝕と塩類溶液との関係／内田一正

埼玉県の工業「I」／岡田潔
大宮台地北部の地質／渋谷紘

複素数とベクトルとの関係について／野口進

確率・統計の問題点（期待金額・中央値を中心にして）／斎藤尚

筆者紹介、後記／石川正明

第3集

一九六六年
全62ページ

「紀要」第三集によせて／小久保宗平
楚辞天問篇における古代中国の伝説／明司弘夫

福沢諭吉における近代精神／宇波彰
東南アジア新興国の青少年団体活動とスポーツ／豊島正夫

English as seen from Some Linguistic Points of View／黒沢平太郎

現職教育論考／梅澤嘉一
M.K.S.A. 単位系について／松村好一
関東ローマ緩衝能／渋谷紘

埼玉県への工場進出について―埼玉県の工業II―／岡田潔

川越周辺における算額について／木村恒雄
東頓近作（晝道）／小名木康佑
編集後記／石川正明

第4集

一九六七年
全80ページ

地の塩／小久保宗平

俳諧の自由―その性格をめぐって―／斎藤彰男

グノース主義／持田行雄

T・S・エリオットの文化論―その方法についての考察―／愛川敬武
木曾馬―その盛衰―／岡田潔

定積分の導入およびその応用に関する一考察／金井昭一

BSCSと比較して現行教科書にみられる方法論上の問題点／富樫裕

Studies in Spoken Shanghai Dialect (1) Phonemics／関根心之

修学旅行の一例／高木宏

定時制における生徒指導／土屋亮晃
執筆者紹介／石川正明
編集後記／野口進

第5集

一九六八年
全88ページ

「紀要」第五集によせて／小久保宗平
埼玉県立川越高等学校図書館沿革史要／佐々木太郎

古代日本史の神話的思考／宇波彰
フランスにおけるコレージュの起源と発展についての一考察／笹森健

English Morphology From Historical Standpoints／黒沢平太郎
高等学校における一次変換の取り扱いにつ

いて／野口進・金井昭

M.K.S.A. 単位系におけるE―H対応とE―B対応について／松村好一

埼玉県西部に分布する黄色浮石層について／渋谷紘

現代学校体育論と国民体育大会についての一試考―主として第22回埼玉国体を中心として―／松本利雄

「音楽する心を育てるための教育」への理念／牧野統

編集後記／石川正明

第6集

一九六九年
全58ページ

「紀要」第六集の発刊に際して／小久保宗平

水中に現われる気泡線の発生機構と地球科学への応用／小池喜雄

溶液の過飽和現象／内田一正
遺伝の法則の代数的取扱いに関する研究／斎藤尚

茨城県のモウセンゴケ自生地について／愛川敬武

学制期・埼玉県における教育行政機関の成立過程／笹森健

アメリカ高校の柔軟性スケジュール／大久原秀雄

昭和四十三年度修学旅行について／岡田潔

川越バイパス(国道16号線) 遺跡調査概報/小泉功

第7集

一九七〇年
全44ページ

「紀要」第七集によせて/福岡鶴吉

明治前期、埼玉県の教育に関する一研究

—特に生徒の就学について—/笹森健

現代の言語論の課題/宇波彰

Affine Variety について—私的ノートと

して—/竹内常夫

流星の対地軌道計算/渋谷絃・地学部天文

班

地理教材の構造化について/岡田潔

学徒体位の変遷と本校生徒の発育発達の促

進に関する一考察/小谷野美津

編集後記/石川正明

第8集

一九七一年
全57ページ

「紀要」第八集によせて/福岡鶴吉

安史の乱—その前夜の政争について—/原

田善治

南部(盛岡)藩における新田開発小考1/

高橋浄蔵

生徒が求めている政治的教養の教育とは何

か/渡辺進

都市化の進展と高校の性格の変化—川越高

校の場合—/岡田潔

STAINING TEST による関東ロームの

アロフェンの検出/渋谷絃

編集後記/愛川敬武

第9集

一九七二年
全52ページ

「紀要」第九集によせて/山村良夫

南部(盛岡)藩における新田開発小考2/

高橋浄蔵

隋末反乱における社会経済史的基盤につい

ての一考察/原田善治

ジョージ・エリオットの自然への愛とキリ

スト教信仰について/黒沢平太郎

本校生徒の食生活の調査—報告とその意見

—/岡部覚治

山梨県北都留郡丹波山村青岩鍾乳洞の地学

的研究/渋谷絃・新幡良一・地学部鍾乳

洞班

編集後記/佐々木太郎

第10集

一九七三年
全58ページ

「紀要」第十集によせて/萩原辰之助

南部(盛岡)藩における新田開発小考3/

高橋浄蔵

隋朝における郡県の設置について(その

一)—とくに北斉領との関連において

—/原田善治

川越織物について/小泉功・森脇康行

見田方遺跡出土の土器/小泉功

ラテン語の英語に及ぼした影響について/

黒沢平太郎

翻訳文学の表現—表記に関する一つの考

察/本多好一

編集後記/愛川敬武

第11集

一九七四年
全61ページ

「紀要」第十一集によせて/萩原辰之助

南部(盛岡)藩成立以降の領地・石高につ

いて/高橋浄蔵

「京越鉄道株式会社発起」について/斎藤

貞夫

東南アジア・印度方面教育事情視察報告/

萩原辰之助

アラスカ植物紀行(一九七二)松崎中正

関東平野西部に分布する礫層について—/

渋谷絃

編集後記/大久原秀雄

第12集

一九七六年
全33ページ

「紀要」第十二集によせて/小室忠良

生徒の意識に見た作文教育/森光真幸

南部藩における石盛・免について/高橋浄

蔵

米国に於ける英語研修講座に参加して/黒

沢平太郎

立処鍾乳洞の地学的研究/渋谷絃

第13集

一九七七年
全37ページ

「紀要」第十三集によせて/小室忠良

新河岸川舟運と船間屋「炭屋」/斎藤貞夫

武蔵国南部領由来についての—考察/高橋

浄蔵

藤原基俊論/下井輝男

アメリカ雑記帳/小室昇

第14集

一九七八年
全43ページ

「紀要」第十四集によせて/小室忠良

「源氏物語」人物造形論/下井輝男

武蔵国南部領農場取り上げ頭末と五ヶ村/

高橋浄蔵

カヤツリグサ科スゲ属植物の解説/牧野彰

吾

生徒会活動の実践報告/森光真幸

鉄の銹と塩類溶液について/内田一正

第15集

一九七九年
全57ページ

「紀要」第十五集によせて/小室忠良

「源氏物語」における隠び妻の伝説—説話

的発想と信仰的要素—/下井輝男

領—武蔵国を中心として—の機能につい

て/高橋浄蔵

新遠近法の研究/斎藤尚

埼玉県産スゲ属植物について/牧野彰吾

小集団コミュニケーションについて/細田

信良

第16集

一九八〇年
全52ページ

Change する教師/飯島武司

総合偏差値から見た本校生徒の入学時の成

績と入学後の成績の関係について/金井

昭夫

P.T.会活動の現状とその展望/森光真幸・

柴生田健司・松本隆治・小柳伸一

最近の研究から①角の二等分②度数分布/

斉藤尚
埼玉県の伊佐沼に飛来する鳥類／高橋守・
関根洋・横村博雄
本校生徒の体力と意識／体育科

第17集

一九八一年
全74ページ

学びへのあせりを持つ／飯島武司
川高生徒指導部の活動報告―生徒指導の実
例と研修をめぐって―森光真幸
尾瀬地域の動物相調査報告Ⅶ―亜高山森林
帯の哺乳類の生息状況／高橋守
相対論による宇宙旅行／中村和幸
足跡／飯島武司
川越河筋川岸と内国通運会社定約／斎藤貞
夫
「あなり」の解釈について／斎藤恭一
定家十体論考／下井輝男

第18集

一九八二年
全86ページ

生徒の実態を見据えた教師に／飯島武司
本校の進路指導について／進路指導部
修学旅行の問題点とその方向―アンケート
調査をめぐって―森光真幸
化学式より物理的性質の考察／内田正
秩父・ヨーバケ巡検記／中村木の実
Ectoparasite Fauna On Mammals And
Birds In Satama And Gunma Pre-
fectures, Central Japan. Part 2,
Ixodid Ticks(Acarina: Ixodoi-
dea)／Mamoru TAKAHASHI and
Mariko SEKINE

イギリスにおける数学教育 特に同型につ
いて／中村和幸
「つれづれ草」の成立過程について／斎藤
恭一

第19集

一九八三年
全90ページ

研究紀要と教育の方向／下出一夫
演算子による漸化式の一般的解法／中村和
幸
最近の研究から 1. コンピューターの活
用法について 2. 循環数列／斎藤尚
正規分布の指導／塩崎園夫
Stomach Contents／Mamoru TAKA-
HASHI・Takayoshi ARAI・Satoshi
ODACHI
仙波東照宮における照葉樹林／牧野彰吾
「つれづれ草」光広本と正徹本との校異
表／斎藤恭一
新河岸川舟運文書目録／斎藤貞夫
河越館跡について／小泉功

第20集

一九八四年
全116ページ

紀要の20年／宮島秀夫
新教育課程における最初のコースおよび科
目選択者数が確定するまで／内河輝臣・
山田正志・新井利邦
生徒が意欲的に取り組む高校理科Ⅰ「人間
と自然」の指導法の開発および改善に関
する研究／牧野彰吾・高橋守
昭和五十八年度における本校の大学進学状
況の考察／内野智司

川越高校における生徒指導の様態／森光真
幸
パソコン利用による教材の作成／斎藤尚
川越の算額／中村和幸
慶応二年・川越新河岸の打ちこわし記録／
斎藤貞夫

第21集

一九八五年
全85ページ

人が教育をつくる―豊かな社会への教育
改革―／宮島秀夫
新教育課程の諸問題 問題点とその実際の
対応―各教科
生徒が意欲的に取り組む高校理科Ⅰ「人間
と自然」の指導法の開発および改善に関
する研究(続)／高橋守・牧野彰吾
川越市南大塚古墳群の山王塚について／小
泉功
数学と日本語／小室秀雄

第22集

一九八六年
全73ページ

巻頭言 紀要発刊に寄せて／小室英夫
自動機械系の増殖モデル／中村和幸
埼玉県の伊佐沼に飛来する鳥類Ⅳ／高橋
守・小峯昇・横村博雄
職人尺絵を扱った見学授業／小泉功
新発見の天海喜多院法度文書について／斎
藤貞夫
源氏物語講談 夕顔巻(一)／畠山俊・田辺
司・福田公明・岩井諭
「中務内侍日記」全釈／斎藤恭一・福田公明

第23集

一九八七年
全117ページ

学は殖なり／小室英夫
天球儀を使った太陽の日周運動の確認につ
いて／下山田隆・佐藤政雄
高等学校教育について―生徒の実態に応じ
てどう対処すべきか―／吉沢俊
埼玉県と群馬県におけるツツガムシおよび
恙虫病の概要／高橋守
源氏物語講談 夕顔巻(二)／畠山俊・田辺
司・福田公明・岩井諭
「二十四代集」抄／福田公明・斎藤恭一
「つれづれ草」ノートその一―「四十段」
のまき―／斎藤恭一
川越五河岸・扇河岸の開発と発展／斎藤貞
夫

第24集

一九八八年
全85ページ

巻頭言／渋谷健
天球儀を使った天体の日周運動の確認につ
いてⅡ／下山田隆・佐藤政雄・江川義夫・
本吉一彦
埼玉県におけるつつが虫病媒介種と1感染
地である秩父市における野鼠寄生ツツガ
ムシ類／高橋守・町田和彦
授業での話題から／中村和幸
「四代集」(本文・続き)／斎藤恭一・福田
公明
川越五河岸・寺尾河岸の成立と発展／斎藤
貞夫

第25集

一九八九年
全50ページ

巻頭言／渋谷健

化学の授業に使えるいくつかのモデル・教具の作成について／小倉毅

市販のソフトを使った薬品管理の試みの報告（中間報告）／小倉毅

期日・緯度と昼の長さについての考察／内田一正

中国旅行に参加して／斉藤貞夫

長野県南佐久郡南牧村飯盛山で発見した蜚

気楼について／西川正己

古典入門期の文法指導について―和歌を教材として―／畠山俊

第26集

一九九〇年
全50ページ

巻頭言／渋谷健

野外におけるつがが虫病リケッチア保有ツ

ツガムシ幼虫の分布／高橋守・村田道里・町田和彦

発砲スチロール球の串刺しモデルによる各種結晶格子の作成／小倉毅

富士山麓青木ヶ原樹海に発見した「神座川越風穴（108号）」について／西川正己

地学部探検隊一同

無理数の話題から／中村和彦

印欧祖語に辿る英単語のルーツ／浦田文夫

第27集

一九九一年
全33ページ

巻頭言／渋谷健

「グレチックのパラドックス」について／中村和幸

英会話学校探訪記／土肥美和

恙虫病患者発生地の野鼠から分離したつがが虫病リケッチア（Rt）のMLD50と実験的感染野鼠からのRt分離（予報）／高橋守・村田道里

「万葉集」読み人知らずの歌の抄／斎藤恭一

第28集

一九九二年
全103ページ

第28号の発刊に寄せて／鈴木良栄

AETとともに／浦田文夫・川田万里子・土肥美和

漢文公開研究授業の記録／福田公明

フトゲツツガムシ *Leptotrombidium Pallidum alidum* の生活史／高橋守

仙波東照宮「三十六歌仙絵額」の歌を讀む／関口弘

古文教科書試案／福田公明・斎藤恭一・鈴木隆治

第29集

一九九三年
全30ページ

新前教師のころ／鈴木良栄

御前崎から糸魚川へ―秋葉街道、中央構造線フォッサマグナ、塩の道を歩く―／熊井昌男

平成四年度 職員研修会報告（テーマ・エイズ）／図書部研修係

権田直助著「国文学柱」の文章論的意義について／梶田隆

第30集

一九九四年
全37ページ

発刊に寄せて／鈴木良栄

渡良瀬川紀行／熊井昌男

話し言葉の問題点と話し言葉の演習（抄録）／福田公明・内田正俊

細金恒男先生講演「新学力感と高校入試制度」

第31集

一九九五年
全69ページ

一苦労し／深谷正雄

第2回話し言葉の問題点と話し言葉の演習（抄録）／福田公明

川越の算額／三浦良朗

中学校における皇国民の練成―一九四二年の川越中学―／野口孝

第32集

一九九六年
全50ページ

談話の話題／深谷正雄

富士山麓青木ヶ原樹海に発見した西湖第8風穴、西湖第11風穴について／西川正己

地学部探検隊一同

中学生の軍志願と勤労働員―一九四三―四五年の川越中学―／野口孝

大田堯先生講演「今、教育に問われているもの―生命からの問いかけ―」

第33集

一九九七年
全38ページ

「学ぶこと」と「教えること」／深谷正雄

三角関数の表について／三浦良朗

家庭科における高齢化社会への対応／宮敦子

終戦直後の川越中学校―一九四五年八月―一九四六年十二月―／野口孝

第34集

一九九八年
全38ページ

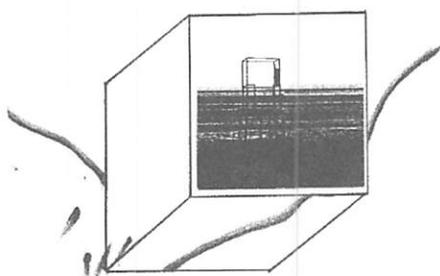
紀要第34集の発刊に寄せて／大沢幸夫

富士山麓青木ヶ原樹海に発見した溶岩洞穴―新称、西湖第16風穴―／西川正己・飯塚利男

地学部探検隊一同

短編小説の教材化／柳沢民雄

文豪・島崎藤村／栗原和彦



カット・梶田 勇(高19)

図書館報

くすの木

図書部報（現在の図書館報「くすの木」は第1号〜4号が資料欠落、一九五四年（昭和29年）の第5号から執筆記事、執筆者を中心にまとめた。第11号〜第13号、第18号〜第19号も欠けている。後者の間に「図書館報」から「図書館報くすの木」と名称が変わっている。なお、生徒の記事についてはクラス名がわかるものは極力示した。

第1号〜第4号

欠番

第5号

一九五四年

思いつくまゝ／校長 渡辺正紀

読書論／齋藤彰男

「希臘にて」による／菅谷規矩雄

所感／那須大輔

第6号

一九五六年

読書雑感／教頭 木橋信治

墨汁二滴／3F宮本英世

金沢文庫見学記／2C小作幸男

第7号

一九五六年

読書の葉／西田幾多郎「読書」より／教

諭 石川正明

墨汁二滴（承前）／3F宮本英世

送卒業部員／2C小作幸男

第8号

一九五七年

〈私の薦める本（二）〉

木島平治郎／西川喜四郎／平正夫／仲久／齋藤彰男
民話集を読んで／3年 安藤武

第9号

一九五七年

図書館の新築／3B安藤武

〈読書調査報告〉

西鶴論／2B尾崎満治

ロンドン東京5万キロを読んで／2A神谷忠彦

忠彦

「破戒」を読んで／2B塩谷繁松

〈創作〉 海原／安藤武

「日一言」を読んで／1B神谷孝篤

第10号

一九五七年

「女殺油地獄」を読んで／2F鈴木友吉

第11号〜第13号

欠番

第14号

一九五八年

〈私の薦める本（二）〉

化学 内田一正／数学 石川正明

〈読書感想〉

女性の生き方／3年 田中晃

感じたまま／2E小松崎和夫

「大地」を読んで／2年 新井隆

「雪国」／1C新井満

〈創作〉 竜飛／3B尾崎満治

第15号

一九五九年

読書漫筆／定時制主事 渡辺元一

耶馬溪とか云う／尾崎満治

四〇〇〇米の深海を行く／深海深平

「人間失格」を読んで／2年 O. T.

第16号

一九六〇年

たのしみ／図書部顧問 佐々木太郎

緋色の研究／3年 H. M.

しゃぼんだま／浅見精一

「破戒」をよんで／Y. H.

支離滅裂／T. O.

〈詩〉 線路／浅見精一

第17号

一九六一年

現代の人間像／石川正明

「夜と霧の隅で」読んで／3年 K. N.

第18号〜第19号

欠番

第20号

一九六三年

アユのはなし／教諭 横田洋

雑感／2年 P. Q.

田舎教師より／2年 部員

太陽のない町／2年 迷

第21号

一九六三年

利用を望む／校長 西川好明

青い手帳／3D佐藤和一

高校生と読書／3D安藤武

訪問記「足利学校」／3D小林良二

図書案内（聖書とキリスト）／図書 有山紀子

「討論会」開かれる

「延々2時間半の盛況」

第22号

一九六三年

東洋文庫について／教頭 吉田金一

図書館をいかに利用するか／定時制主事

宮下辰夫

文化祭を終えて／部長
文化祭の反省／二部部長 新井貴美子
討論会のこと／3D小林良一
蛍光灯の光の下で／二部2B矢部悦子

第23号

一九六四年

にわとりは考える／教諭 佐々木太郎
卒業に際して／3D小林良一
読書に想う／定4年 和田徹
読書私感／2E清水富夫

第24号

一九六四年

学校図書館と教科学習／教諭 石川正明
新入生の英語学習について／教諭 野口邦雄
国語について二、三／教諭 金子節夫
高校数学の学習法／教諭 野口進
意欲を欠けば傍観出来るかも知れないが／
図書部 神山保弘

二部生徒の学校での生活／定時 関根進
川越図書館を訪ねて／前田

第25号

一九六四年

理科教育の目標と学習／教諭 那須大輔
化学の学習法／教諭 内田一正
生物の学習について／教諭 岡田幹男
地学の特徴と学習法／教諭 渋谷絃
交歓会を終えて／3B前田福治
「友情」を読んで／1F高篠秀夫
「友情」／1F松戸康年
「青い江の島」／1G梶野明

「春の嵐」／1G中村猛夫
「追われゆく坑夫たち」を読んで／1I双木静夫

第26号

一九六五年

社会科の学習法／教諭 佐々木太郎
倫理・社会の学び方／教諭 鈴木勲一
政治・経済の学習にあたって／教諭 鈴木勲一

日本史学習のために／教諭 小泉功
世界史学習のために／教諭 中島俊朗
地理の学習のために／教諭 原田節二
「ヒマラヤ」／清水富夫

図書部に入部して／2B安野丈雄
「おれについてこい」／2B岩田哲男
ヘルマン・ヘッセと「車輪の下」／1B山崎孝次

「土地」／高野豊
「丘は花さかり」／1H双木静夫

第27号

一九六五年

不日有感／教諭 石川正明
新入生の英語学習について／教諭 野口邦雄
高校数学の学習法／教諭 野口進
国語について二、三／教諭 金子節夫
理科教育の目標と学習／教諭 那須大輔

化学の学習法／教諭 内田一正
生物の学習について／教諭 岡田幹男
地学の特徴と学習法／教諭 渋谷絃
社会科の学習法／教諭 佐々木太郎
倫理・社会の学び方／教諭 鈴木勲一

政治・経済の学習にあたって／教諭 鈴木勲一
日本史学習のために／教諭 小泉功
世界史学習のために／教諭 中島俊朗
地理の学習について／教諭 原田節二
図書館の利用について／教諭 野口進

第28号

一九六五年

私の小学校時代の読書／校長 小久保宗平
「テレビの組立て」／教諭 本多好一
「ベトナム戦争」を読んで／2A高野豊
炎は流れる1「明治の人」／3G吉沢
読書について／図書部部长
いたずらの天才たち／3A安野丈雄
十三夜／2C内藤源一郎

第29号

一九六五年

一冊の本／定時制主事 宮下辰夫
「政治理論史」／教諭 渡辺進
より多く視聴覚教材の利用を／岡田潔
「果樹園のセラナーテ」／2A手塚章夫
「マクベス」／2C山崎孝次
「にんじん」を読んで／2A高野豊
「山の音」／2F根本信介
「荒野の呼び声」／2C山崎孝次
「土」／2C内野源二郎
堀辰雄／2C島崎利男
くもの糸／2E根本信介

第30号

一九六六年

雑想／明司弘夫
「戦争と平和」／1D村上厚
「次郎物語」と作者／2年 高野豊
「地獄変」／2G矢部和夫
漱石の二十十日／2J城田修
私の好きな本／2C山崎孝次
図書部と私／2C山崎孝次

第31号

一九六六年

不日有感／教諭 石川正明
国語の学習／教諭 本多好一
数学の学び方／教諭 木村恒雄
英語の学習／教諭 黒沢平太郎
理科教育の目標と物理の学習／教諭 那須大輔
化学の学習法／教諭 内田一正
生物の学習について／教諭 岡田幹男
地学の特徴と学習法／教諭 渋谷絃
社会科の学習法／教諭 佐々木太郎
「倫理・社会」の学び方／教諭 渡辺進
政治・経済の学習にあたって／教諭 鈴木勲一

第32号

一九六六年

日本史学習のために／教諭 小泉功
世界史学習のために／教諭 中島俊朗
地理の学習にあたって／教諭 岡田潔
図書館の利用について／教諭 野口進
枯淡／近藤鉄城
△夏休みのための読書▽
「思想」の本を説く／教諭 渡辺進

自然科学の本／教諭 富樫裕

明智光秀／3 A矢部和夫

蒼き狼／3 G山崎孝次

野の人／3 A城田修

カマーンゾフの兄弟／2 B村上厚

小川高校図書館訪問記／部長 山崎孝次

第33号

一九六六年

アメリカ文学史における超絶主義／教諭

黒沢平太郎

個性を生かせ／教諭 田中啓彦

「生まれ出づる悩み」／1 B谷津明男

「小さきものへ」を読んで／1 C酒井直

銀二郎の片腕／1 C酒井直

文化祭をふりかえって／2 B村上厚

文化祭について／2 I藤波政明

国立国会図書館を訪問して／1 B鈴木教一

第34号

一九六七年

新約聖書の構成／教諭 持田行雄

読書実態調査報告／教諭 田中啓彦

定時制生徒の図書館利用／司書 小久保昌行

図書を検索について／司書 栗原敏夫

読書の楽しみ／3 E谷中博史

「戦争と平和」を読んで／定4年 二階堂 絃一

「明暗」を読んで／定2年 井上美智子

「伝記」に思うこと／教諭 本多好一

第35号

一九六七年

勉学と読書／校長 小久保宗平

学校図書館雑考／教諭 石川正明

図書館の利用について／教諭 野口進

読書の方法／教諭 持田行雄

レポートの書き方／教諭 田中啓彦

視聴覚資料について／教諭 岡田潔

「国語」の学習法／教諭 横田洋

高校数学の学び方／教諭 野口進

英語の学習法／教諭 大久原秀雄

社会科学習法／教諭 佐々木太郎

地理の学習にあたって／教諭 岡田潔

理科学習の心構え／教諭 富樫裕

生物の学習について／教諭 富樫裕

地学の学習法／教諭 渋谷絃

音楽の学習／教諭 牧野統

美術の学習／教諭 大沢寛

書道の学習／教諭 小名木保佑

保健体育の心／教諭 豊島正夫

第36号

一九六七年

〈図書館竣工十周年記念号〉

図書館利用のすゝめ／校長 小久保宗平

明治文庫の想い出／教諭 佐々木太郎

レオナルド・ダ・ヴィンチの問題

—第十三回読書研究会によせて—

教諭 宇波彰／愛川敬武／細田信良

〈読書感想文集〉

一冊の本を読んで／図書部 谷津明男

「現代のヒューマニズム」を読んで／2 E

溝畑富士雄

芥川龍之介の「歯車」を読んで／定2年

皆川泰男

S・L・Aの「全国優良学校図書館」の選

定をうけて／谷津

大宮高図書館訪問記／田中朝郎

シルクロード—乾燥地帯のくにぐに—／教

諭 中島俊朗

第37号

一九六八年

勉学と読書／校長 小久保宗平

学校図書館雑考／教諭 石川正明

図書館の利用について／教諭 野口進

明治文庫の想い出／教諭 佐々木太郎

読書の方法／教諭 持田行雄

レポートの書き方／教諭 田中啓彦

視聴覚資料について／教諭 岡田潔

第38号

一九六八年

英作文学習について／教諭 細田信良

「太平洋戦争」／司書 小久保昌行

「さまぐれ星のメモ」を読んで／2 G森住 松雄

図書の利用について／司書 栗原敏夫

第39号

一九六八年

数学を理解するために／教諭 梅沢嘉一

「BSCS生物—生命の探究—」／教諭 愛 川敬武

『世界史』を読むなら／教諭 増田寧

「国民の歴史」2 「倭の五王」／教諭 小泉 功

「マスコミ黒書」／3 A野原茂

第40号

一九六八年

化学の学習法／教諭 内田一正

アメリカ大統領選挙制度の問題点／3 E杉 田恭一

ひとむかし／教諭 金子節夫

自然食のすすめ／司書 小峯啓己

第41号

一九六八年

社会党問題から考える／3 B津田薫

「万事お金」を読んで／定2年 小林緑

「近代日本の争点」／司書 小久保昌行

雑感—三—／教諭 金子節夫

第42号

一九六八年

「日本の兵器産業」を読んで／教諭 横田 洋

「表現の世界」／講師 牛窪勲

第43号

一九六八年

「人体の矛盾」／教諭 渋谷絃

「白きたおやかな峰」を読んで／教諭 野 口進

「日本の兵器産業」(その二)／教諭 横田 洋

「図書館にある文学全集」U

第44号 一九六九年

「ソビエト新時代」/教諭 岡田潔
「ヨブ記」—その今日への意義—を読み
て/教諭 原田義治
写真雑感/教諭 岡野勝一郎
構造主義の理解のために/教諭 愛川敬武

第45号 一九六九年

図書館の利用について—新入生のために—
館報題字「くすの木」に寄せて/教諭
佐々木太郎

第46号 一九六九年

国語学習の心構え/教諭 田中啓彦
理科の学習法/教諭 内田一正
商業課程について/教諭 高橋浄蔵
家庭科についての感想/教諭 肥後璉子
私の読書法/教諭 宇波彰
英語をいかに学ぶか/教諭 大島英昭
数学の学習法について/教諭 金井昭夫
僕の図書館利用法/3年 森住松尾
図書館の利用法/卒業生 平沢涉

読書における選書の重要性/校長 福岡鶴吉

読書研究会の報告 邪馬台国問題/教諭 愛川敬武

「ソクラテスの弁明」を読んで/2C丸山勇

第47号 一九七〇年

真の事実を求めて/教諭 石川正明
新入生の英語学習について/教諭 野口邦雄

第48号 一九七〇年

数学の勉強法/教諭 斎藤尚
国語の学習/教諭 金子節夫
職業科目の履法について/教諭 高橋浄蔵
理科の勉強法について/教諭 松村好一
社会科学学習法について/教諭 岡田潔
レポートの書き方/教諭 愛川敬武
視聴覚資料について/教諭 高木宏

第49号 一九七〇年

図書館利用のすすめ/教諭 田中啓彦
読書という個人的体験/教諭 松崎全良
「人間失格」を読んで/1日和田秀実
「車輪の下」/1G大谷圭吾
「田舎教師」を読んで/1F関隆
「偷盗」を読んで/1H斎藤郁男
「羊粥」を読んで/1H信国速水
「渚にて」を読んで/1F江守裕

数学への招待/教諭 木村恒雄
パスカル「パンセ」のすすめ/3B渋谷良久

新購入の物理関係図書/教諭 松村好一
「細胞—その動的構造」/教諭 愛川敬武
ただで送ってくる本/教諭 森江進

第50号 一九七〇年

「近代の政治思想」を読んだ後に/3A星野達郎
「海と毒薬」を読んで/1H広江昇
「生い立ちの記」三部作を読んで/2G玉上和男
「現代日本の民主主義」に関して/3C豊田昇

第51号 一九七〇年

「第二次世界大戦下のヨーロッパ」を読んで/3C井上隆一郎
象をなでる—私の文学観—/2F水村裕一
「福翁自伝」をめぐる/教諭 愛川敬武

第52号 一九七一年

読書の周辺—高校の頃—/教諭 渡辺圭一
△フランス読書会の記録△
2年A組「月と六ペンス」/宇津木 田島

第53号 一九七一年

図書館の利用について/教諭 愛川敬武
高校一年生のときに読んだ本/教諭 杉田勝
レポートを書くことについて/教諭 渡辺進

読書と友人—あ、悔恨のヘンレキー—/教諭 森光真幸

古都への招待—修学旅行コーナーの設置—
「零の発見」/2日平田明彦
「スパルタとアテネ」/2A高山次郎

第54号 一九七一年

世は春に/校長 山村良夫
△クラス読書会の記録△
3年G組「それから」/雪田

第55号 一九七一年

「クラブと読書」/2C福田寛
「森鷗外の世界」/U
「シベリアのマンモス」/S
「西域物語」/1

第56号 一九七二年

「私の読んだ本」を読んで/3B鹿谷英治
「野火」の追求/2G小倉正樹
「野火」を読んで/2F熊谷繁之
「大尉の娘」/2日入子福司
「怒りのぶどう」とアメリカ文学/2日高 篠達雄
「日本の過疎地帯」を読んで/3F玉上和男
「舞踏会」を読んで/1D鈴木賦

カサとチョウチン/図書館長 佐々木太郎
英語の学習について/教諭 大久原秀雄
数学の学び方について/教諭 木村恒雄
国語学習の心がまえ/教諭 田中啓彦
理科(生物)を学ぶにあたって/教諭 富

櫻裕

「社会科学で何を学ぶか」／教諭 富田貞一
家庭科の学び方／講師 服部弘子
レポートの書き方／教諭 高木宏

第57号

一九七二年

読書ということ／教諭 紺野雄三
表現のパラドックス／教諭 本多好一
人の世に熟あれ 人間に光あれ／教諭 増田寧

新約聖書概説／教諭 黒井恒男
古代への情熱／教諭 吉田洋征
怒りのふどう／教諭 黒沢平太郎

第58号

一九七二年

駄弁／細田宏一
「公書」の政治経済学／渡辺進
読書と旅と青春／3F 盛田隆一

第59号

一九七二年

△読書感想文コンクール入選作品▽
「寡占」／3A 宇治哲哉
「社会認識の歩み」／3D 高橋秀多
「水の健康診断」／3F 加藤幸彦
「恐るべき公害」／3C 福田雅之
「四日市・死の海と闘う」／3B 兼高俊一
「戦後日本の労働運動」／3C 光地照雄
川越城跡／小泉功
△読書会報告▽「水の健康診断」

第60号

一九七三年

私と読書／教諭 石井正雄
隔靴搔痒／教諭 大久原秀雄
国語の学習と心構え／教諭 田中啓彦
こんなこと／教諭 安野昇
化学の古今と学習法／教諭 内田一正

第61号

一九七三年

「くすの木」考／校長 萩原辰之助
自然科学と私／教諭 牧野彰吾
動物と太陽コンパス」をを読んで／2H 梶原政憲
「化石サルから日本人まで」をを読んで／2G 平野義昭

第62号

一九七三年

戦争と文学／教諭 宇波彰
乱読のはてに／教諭 森光真幸
或る日の大石内蔵助／1F 山田正樹
「城の崎にて」をを読んで／1A 伊東健介
「ふるさと雑考」／定時3年 佐藤良夫
ふるさと／定時3年 久留間実

第63号

一九七三年

「昆虫学への招待（昆虫の食性）」をを読んで／2H 粕谷久寿
「剣」をを読んで／2E 一本松敬太
「吾輩は猫である」をを読んで／2B 築井伸

「デントロカカリア」をを読んで／2C 寺西幸雄

「さよなら快傑黒頭巾」をを読んで／2E 谷口吉光

「ヴィリエ・ド・リラタン頌」をを読んで／2E 水村裕

「美德の不幸」をを読んで／2C 富元保敬

「落語全集」思いつくままに／2B 辛坊治郎

第64号

一九七三年

ある読書の記憶から／教頭 沢原正夫
読書の効用と愛読書／教諭 作山好郎
私の読書歴／2B 三宅達夫
私と読書／1A 清水喜雄

第65号

一九七四年

最近の読書から／教諭 加美越生
蝋／教諭 小柳伸一
図書館について／1I 福岡頭太郎
図書館の働き／1F 立木範明
図書館雑感／1G 照沼 斉藤、小野
新米職員感想／図書館 高篠政子
故渡辺進先生ご遺族よりの寄贈本について

第66号

一九七四年

「金閣寺」／3年 水村裕
「白鳥の歌なんか聞えない」をを読んで／3年 谷口吉光
「沈黙」をを読んで／2年 森達哉

「李陵」読後感／2年 韓東熙
「沈黙」をを読んで／2年 松津徹
読後随感／教諭 作山好郎

第67号

一九七五年

国語勉強法／教諭 森光真幸
理科の学習と読書／教諭 内河輝臣
英語学習にあたって／教諭 細田信良
図書館の利用法―数学への勧誘／教諭 丸山哲夫
社会科学習と図書館利用／教諭 安野昇

第68号

一九七五年

図書委員会発足 新しい図書館運営を自由な読書を／図書委員長 山路和樹
「倫理学演義」／学校長 小室忠良
△特集 川高図書館の実態▽

第69号

一九七五年

△特集 図書館歴訪記▽
「二十歳のエチュード」／3E 内田克弘
「あ、玉杯に花うけて」／2C 渡辺浩

第70号

一九七六年

図書館報が贈る読書案内
読書会を斬る
快挙柿沼君全国読書感想文コンクール入賞
「今日の芸術」／加藤雅昭
「カラマーゾフの兄弟」／渋谷良久

「平塚らいてう自伝 元始 女性は太陽であつた」／三木民夫

第71号 一九七六年

〈特集 作家研究（大江健三郎 五木寛之）〉
「若きウェルテルの悩み」／教頭 小室英夫

第72号 一九七六年

〈特集 マンガ〉
あの人はこの本を読んでいた（アンケートに答えた有名人：井上ひさし、北杜夫、星新一、藤堂明保、矢野健太郎、永六輔）
コロボックル物語①「誰も知らない小さな国」／2C細田英之

「さよなら快傑黒頭巾」を読んで／2E前島和行
秩父高校図書館を訪問して

第73号 一九七七年

〈特集 図書館を見なおそう〉
「楼蘭」／入子優
「心の泉について」／小谷野欣二

第74号 一九七七年

〈座談会 3年目を迎えた図書委員会〉
「王去石」／粕川優

第75号 一九七八年

〈秩父高校との合同読書会（人間失格）の報告〉
「明治・大正の文豪を求めて」
「死の島」

〈新図書館見取り図〉

第76号 一九七八年

〈特集 県立・市立2つの図書館〉
〈特集 SF〉
「異邦人」から「ベスト」へ／教諭 山田正志

第77号 一九七九年

新図書館ついに完成／小林英也 土肥清人
山本裕治
NHKのアニメーション／関宏

第78号 一九七九年

「戦中と戦後の間」／校長 飯島武司

第79号 一九七九年

〈特集 雑誌〉
「両地書」／教諭 作山好邦

第80号 一九八〇年

「自註鹿鳴集」／司書 岩塚尚子
「インタビュー 前司書の岩塚さんと司書の草野さん、新司書の萩原さんです。」

第81号 一九八〇年

「第二の性」／教諭 中村嘉子
「大地」／教諭 森文字
「征まくら」／教諭 多田庸子
本の思い出／教諭 山岸てる子

第82号 一九八一年

〈西部地区図書委員交流会報告〉
「海の沈黙」／教諭 関口弘

第83号 一九八一年

55年度貸し出し成績
アンケート結果報告
1. 読んだ本の種類
2. 最近読んだ本
3. 好きな作家
4. 図書館で購入して欲しい本等
川女・川高合同読書会

第84号 一九八一年

乱読・雑読・拙読の日々／教諭 森光真幸
アンケート結果報告
図書館の利用
川高の図書館について

昭和56年度新着図書紹介

「翔ぶが如く」
「窓ぎわのトットちゃん」等
田島司書へのインタビューコーナー
川越高校読書会報告

第85号 一九八二年

あの日の美女／校長 飯島武司
迷路／菅沼拓三
生徒の購入希望とその傾向／教諭 小泉功
読書について思うこと／2B西尾浩二
三つの提言／2B鴨田重裕
「僕に似合う笑顔」を探すために／村上高

一
手花火／秋山滿
血の歯車／時輪兼成
南の島のオヨヨ島／長谷川真人
小説「冬」／露木聡

第86号 一九八二年

一冊の本／新井利邦
〈読書会報告「車輪の下」〉

第87号 一九八二年

浦和第一女子高校訪問記
私の読書体験記／柴生田建司

第88号 一九八三年

短歌（うた）は憧れである／校長 飯島武

近郊図書館レポート(県立川越図書館)

第89号

一九八三年

宿題/校長 宮島秀夫
「川越舟運」を刊行して/斎藤貞夫

第90号

一九八三年

正会員/校長 宮島秀夫
前委員長より一言/菅沼拓三
現委員長より一言/鈴木隆
山下文庫について
ようこそ川高へー曹さん来校すー/鈴木

△特集 川高館報90号までの歩み
「くすの木」90号を迎えて想う/吉村

第91号

一九八四年

字舞/校長 宮島秀夫

△投稿作品特集号

大宅壮一の風景/1F野口良平

馬鹿/1C佐甲格

詩集/2年 Thunder boy M.F.

残響の鐘/2年 天道真人

「末は大臣」/1D小林一洋

第92号

一九八四年

「折々のうた」より/校長 宮島秀夫
「転身物語」/教諭 高岸知子

第93号

一九八四年

友を思う/教頭 下出一夫

知性と学力/前委員長 鈴木隆

ごあいさつ/後期委員長 岡本洋平

川越で二つの図書館の創始者 安部立郎/
教諭 小泉功

「美味礼讃」/教諭 瀬野昭憲

第94号

一九八五年

野の花/校長 宮島秀夫

読書と学習の古今/講師 内田一正

幻想の彼方に/2年 岡本洋平

存在と日常/鈴木隆

道路にゴミを捨てよう/佐甲格

白狐譚/野口良平

第95号

一九八五年

「昔岩波 今ジャンプ」/校長 小室英夫

私の「文学との出会い」/教諭 田辺司

三角山の文学碑/教諭 島山俊

第96号

一九八五年

先見性を養おう/校長 小室英夫

行動を通じて学ぶ/教頭 福原勇

「冥想」/教諭 福田公明

断片(フラグメント)/岡本洋平

ごあいさつ/大岩秀範

「心」を読んで/1B東小園寛

モリス・ラウエル氏の幸福/門生功

第97号

一九八六年

私の野鳥記/校長 小室英夫

私の読書歴/教諭 吉澤俊

死をめぐる心の情景/1F高橋弘司

友情(PART2)/小竹男一郎

行列バスターズ/2C上村昌平

第98号

一九八六年

夏の思い出(すばらしい高校生)/校長 小室英夫

「テロルの決算」(沢木耕太郎)/野口孝

△立教高校訪問記

芥川龍之介/藤野功一

息のある内の苦勞/小竹男一郎

図書館への誘い

第99号

一九八六年

国際化時代を迎えて/校長 小室英夫

★★★トマトのみそ汁/教諭 斎藤裕治

ひねくれのすすめ/大岩秀範

吉田秀和/藤野功一

行動の原理 現代社会研究会/山下秀康

△大妻嵐山女子高校訪問記

「漢北非歌」/2C園尾学

第100号

一九八七年

「紙」管見/校長 小室英夫

△図書紹介1

マハール帝国/教諭 牧野敦史

そのけそのけ自動車が通る/教諭 山岸てる子

△特集 「くすの木」100号を迎えて

自殺論/現代社会研究会 山下秀康

文明と人間性「ニングル」より/1G山田和紀

おじさん/2F西村幸治

第101号

一九八七年

心の豊かさを増す為に/校長 渋谷健

着任して思うこと/教諭 海老名玄

絵について/藤野功一

分裂した社会/山下秀康

第102号

一九八七年

眼横鼻直/校長 渋谷健

新座北高における討論会にて/Phantom Knight

いじめ解決の手引き/1E田中宏之

僕のインドネシア体験/3A二瓶大輔

第103号

一九八八年

能力の限界/校長 渋谷健

子連れ沖組放浪記/教諭 福原勇

僕のインドネシア体験(二) 二瓶大輔

ファンタジー考/2H西村三津夫

△追悼 佐々木太郎先生

想い出/校長 渋谷健

佐々木先生の思い出／元教諭 小泉功
潤徳な名教諭／元教諭 内田一正
太郎先生を偲んで／衆議院議員 矢島恒夫

「逝去を悼む」元教諭 那須太郎
太郎さんの温存／小山誠三(中47)
含羞／杉山英夫(中41)
太郎さん／栗原達夫(中41)
温厚なお人柄／田中明子(定6)

書庫の中／司書 萩原恵子
春うらら／図書館担当 栗原進
エディ／関健太郎
奄美水軍討入記念日／関健太郎
土猫／ヒヨ／2A佐藤環

第104号

一九八八年

新しい文化の創造を／校長 渋谷健
僕のインドネシア体験(三)／二瓶大輔
私の山登り／教頭 松崎中正
川越喜多院の五百羅漢の発刊の苦労／
小泉功
「ショートショート二編」
ある星の滑走路／佐藤環
オリンピック／佐藤環
人間／尾形直彦

第105号

一九八八年

「生憎」と「あいにく」／校長 渋谷健
晝寝／荻野辰雄
呪文／佐藤環

第106号

一九八九年

机上にある一冊の本／校長 渋谷健
「特集」へミンクウェイ

へミンクウェイの生涯について／文体に
ついて／へミンクウェイをめぐるエビソ
ード
雑感／滝本信一
へミンクウェイ随想／福田公明
へミンクウェイと現代／2F木下啓
被実験体の短い一生／2F小林健太郎

第107号

一九八九年

二世／校長 渋谷健
「特集」井上靖
井上靖の生い立ち
井上靖の小説と私／岩井諭
映画「敦煌」鑑賞記／3E木下啓
井上靖の文学について思った事／1C前
野哲也
個人と社会―社会学から―／2C鈴木一郎
森林が消えたら／3K肥后明彦

第108号

一九八九年

「円」は「園」の略字か？／校長 渋谷健
ギリシアとローマの神話の背景
「老人と海」を読んで／1D矢島敬史郎

第109号

一九九〇年

激変／校長 渋谷健

清少納言と紫式部
九十年代―平成時代の日本を考える
或る日の会話／2G坪井一史
「さぶ」を見て思うこと／2E浜田倫史

第110号

一九九〇年

「ことば」あれこれ／校長 渋谷健
江戸時代の変遷／二天文学の比較と総括
論／江戸時代の庶民文学について／九
尺二間の割長屋／元禄の作家 井原西
鶴／「好色一代男」を読んで／―化政の
俳人―小林一茶

第111号

一九九〇年

旅の途中で／校長 渋谷健
「特集」中国文学
中国文学の魅力
中国文学の歴史
中国文学の思想
「三國志通俗演義」の作者、羅貫中
文化大革命と現代中国
文才と生活能力

第112号

一九九一年

私と図書館／校長 渋谷健
「拷問」／2A市村恒士
数学読物紹介／丸山哲夫
去りゆく者から／校長 渋谷健

第113号

一九九一年

読書雑感／校長 鈴木良栄
正しいコピー機の使い方講座
私と図書館／教頭 梶田隆

第114号

一九九一年

阿る／校長 鈴木良栄
開い／委員長 吉田裕輝
水増し／3I岡崎拓海
読書会班―更なる自己啓発の場―
「随筆」一九九一年の秋
川越の近代化
西武ライオンズ優勝
学校五日制問題について

第115号

一九九二年

他国では／校長 鈴木良栄
予餞会の在り方について
速報！新刊案内！
「余項」
悲劇(第一幕)
田中芳樹氏を再評価する

第116号

一九九二年

ほごりまみれの宝物／校長 鈴木良栄
読書会班―一学期の主な報告
「新刊紹介」
「人生28の知恵」山野達夫構成／葛飾発ア

メリカ行き」落合信彦著／「自民党は再
生できるのか」佐々木毅著／「現代社会
主義を考える」ロシア革命から二世紀
へ」

△図書委員の一人言
「僕の文学」／「教科書と裁判」／「桜の下
で」／入学して数ヶ月

第117号

一九九二年

眼を貫ぶ／校長 鈴木良栄

職務―先代委員長 引退の弁／3F吉田裕

揮

目標／小林岳史

本を返して！

読書会班の話

川高川女合同討論会

△新刊紹介

「フラインマンさん最後の冒険」

「死者は空中を歩く」赤川次郎著

「ユリアと魔法の都」辻邦生著

△特集 近代の文学

近代文学の概略／近代小説と私／夏目漱

石／樋口一葉／森鷗外／田山花袋／芥川

龍之介／小林多喜二／有島武郎と横光利

一／戦中の文学

第118号

一九九三年

図書館の行方／校長 鈴木良栄

柳田国男と南方熊楠／渡辺学而

三浦綾子／元田雄一

本の勧誘「道ありき」／元田雄一

川越城／大庭武

オリンピック後のバルセロナ／教頭 堀田

隆

第119号

一九九三年

漢字の難しさ／校長 鈴木良栄

△図書委員会からの耳よりな話／梅原勇樹

「Yの悲劇」／山本豊

「イギリスは愉快だ」／岸川仁

演劇「アルジャーノンに花束を」を見て／

元田雄一

「イギリスはおいしい」／細野高志

これからの図書館／和田耕一

オペラ座の怪人へカストン・ルーン／竹下

盛泰

今の「時」を見つめて／富澤秀行

たか号漂流二十七日たった一人の生還

者／内室和巳

仏教とキリスト教／北野祐介

原発について／橋野早人

第120号

一九九三年

豆腐さまざま／校長 鈴木良栄

世界あの人この人／梅原勇樹

気分転換としての旅／山本豊

図書委員会活動春秋／林健作

悩みの効果的な克服法／2I元田健一

海が聞こえる（永室牙子著）／宮内伸太郎

先代委員長 引退の辞／小林岳史

抱負／齋藤郁生

図書館アラカルト①―図書館って何だ／教

論 栗原進

第121号

一九九四年

表紙・埼玉県読書感想画コンクール優良賞

受賞作品「自由の旅人・南方熊楠」／2

E山口聡一郎

△特集 卒業したら読みたい本

本との付き合い／校長 鈴木良栄

進路指導室から

思い出に残る1冊の本／教諭 中根章介

「英会話最後の挑戦」を読んで／教諭 土

肥美和

みんなに推薦する本は「乱読」／教諭 吉

田尚司

エネルギー問題／和田耕一

「シリーズ」

詩を読む／泉芳樹

「シリーズ」図書館の本①― 武将と茶道

（桑田忠親）／関口勝広

「シリーズ」図書館の本②―

信州に上医あり（南木佳子）／園部寛

県最優秀作品紹介（課題図書の一部）

「青少年読書感想文全国コンクールから

「共存しようよYeah! Yeah!」／山

下達也

シミュレーション戦記／大澤啓佐

核について／1D鎌田英人

図書館アラカルト②―附則二項の問題／教

諭 栗原進

埼玉県の歴史①―原始・古代編―／泉芳樹

エックス線とガンマ線の診断／元田雄一

「シリーズ」図書館の本③

人間失格（太宰治）／吉野裕司

オゾン層の破壊／北野祐介

ここに入學してから／橋野早人

「シリーズ」図書館の本④―

ファラオの食卓（吉村作治）

「シリーズ」図書館の本⑤―

墨攻（酒見賢二）―一條禎明

宗教と思想の統一／山本豊

世界あの木この木／梅原勇樹

第122号

一九九四年

「将は知るや、兵の苦しみ」／館報班班長

泉芳樹

時間の不足／大澤啓佐

「たのもしき日本語」／梅原勇樹

「沈黙の春」カーソン／和田耕一

本の紹介―「聖書」／元田雄一

自殺について―マニュアルとは何か／竜矢

偏見大園日本／山本豊

「中島敦」ちくま日本文学全集／佐藤友

彦

図書 図書館について／島村保幸

本の歴史／影山一樹

本の歴史／内海俊介

ベストセラー／金子大樹

図書館アラカルト③―フライバイ／教諭

栗原進

第123号

一九九四年

活字信仰／校長 深谷正雄

先代委員長引退の辞／齋藤郁生

新委員長のあいさつ／酒井工

△特集 環境問題▽

日本のODAによる環境破壊／内海俊介

「アルトニウムの恐怖」／2 E 門脇誠記

ソ連の核実験の影響／和田耕一

原発について／大澤啓佐

「チェルノブイリ・クライシス」／橋野早人

本の紹介／島村保幸

マティソン郡の橋／2 E 川島悠一

「深夜特急」について／1年 佐藤友彦

本の紹介／「プロンクス物語」／影山一樹

三毛猫ホームズについて／1 A 金子大樹

図書館アラカルト④―続フライバシー／教

諭 栗原進

第124号

一九九五年

話せば分るか／校長 深谷正雄

文化講演会（奥泉光氏）内容要約

△特集 エイズ▽

エイズと生きる時代／2 E 門脇誠記

エイズのしくみとメカニズムについて／1

F 影山一樹

エイズと生きる時代／2 D 和田耕一

日本のエイズ／1 H 内海俊介

AIDSについて／2 I 大澤啓佐

シエルゲンにハマって／2 E 川島悠一

「にんじん」／2 J 橋野早人

◎恐怖の杜則について／1 A 金子大樹

怪談・奇譚のはなし／1 G 佐藤友彦

本の紹介／1 A 島村保幸

なぜ彼は「変身」したか？／佐野篤

第125号

一九九五年

「鏡の中の世界」から／校長 深谷正雄

戦後五十年／3 I 橋野早人

「よりよい社会になるには？」／2 I 長沼啓

司

異常気象について／1 B 久富達也

「差別について考える」／1 E 松崎智一

オカルトマニアの方へ／1 C 竹岡啓

三浦綾子「旧約聖書入門」／3 G 大澤啓佐

北村丈さんの作品について／1 A 成木仁

河童が覗いたインド／3 F 和田耕一

たかが漱石されど漱石／3 F 坂田知弘

読書紹介

三「国定」のすすめ／1 A 森田智史

夏に読んでほしい本／1 J 山崎純

図書館アラカルト⑤―職員専門性／教諭

栗原進

第126号

一九九五年

北からの光／校長 深谷正雄

先代委員長引退の辞／酒井工

新委員長あいさつ 本を探す／2 I 早川亮

△特集 川越▽

「川越」／2 G 橋本修一

第二の故郷我が川越／2 G 鈴木聡

川越／1 C 竹岡啓

川越を歩こう／伊藤剛

狭山市と狭山事件／1 E 松崎智一

日米安保条約と沖繩県／2 I 長沼啓司

Kの声なき祈り―カフカ「審判」―／3 H

佐野篤

「新本格推理ブームと他メディアへの進出」／3 C 鹿島隆一

本の紹介／山本浩

孫子の兵法書／2 B 田村信彦

池波正太郎の作品／1 J 山崎純

日本語について／1 A 成木仁

「水滸伝のすすめ」／1 A 成木仁

図書館アラカルト⑥―川越情報／教諭 栗原進

教育と三つの力／校長 深谷正雄

△特集 教育▽

教育の何たるかについて／1 C 竹岡啓

教育と教科書／2 I 長沼啓司

書き殴り／伊藤剛

「教育問題について」／1 E 松崎智一

教育とは／田村信彦

本の紹介

「西遊記」のすすめ／1 A 森田智史

「タイム・リープ」／伊藤剛

「コンスタンティノープルの陥落」／1 A 成木仁

木仁

図書館アラカルト⑦―図書委員会活動／教諭 栗原進

第127号

一九九六年

今夜はあなたとミステリー／2 A 竹岡啓

推理もの／3 J 伊藤剛

「金田一少年の事件簿」／1 D 媚山敬介

「金田一少年の事件簿」の傾向と対策／1

J 武捨君彦

小椋の沙霧／鷹鷲羽泉

函館の黄昏／3 J 坂北辰也

巨大建造物の謎／1 J 平岡渉

何よりも不思議なこと／2 A 矢沢英輝

テロリストのパラソル／1 G 水谷文彦

「上意討ち心得」／2 B 成木仁

ニュートロン（島尾永康著）／3 J 関口亮一

ピアニシモを読んでみよう／栗原典利

第128号

一九九六年

「時代精神と文化」／2 J 萩原友来

「血族」／1 J 新井宗男

司馬遼太郎の燃えよ剣について／1 C 石塚

海／校長 深谷正雄

△特集 ミステリー▽

ミステリー概論／大野大

第129号

一九九六年

危険な話／3 J 矢島規雄

現実／1 C 根本智生

自伝のすすめ／2 J 萩原友来

図書館アラカルト⑧―くすの木祭／教諭 栗原進

エンテに花束を／2 A 竹岡啓

「日本の歴史がわかる本」の紹介／2 B 成

森本哲郎「ゆたかさへの旅」／2 A 矢沢英

輝

エンテに花束を／2 A 竹岡啓

「日本の歴史がわかる本」の紹介／2 B 成

森本哲郎「ゆたかさへの旅」／2 A 矢沢英

輝

慶一

ルバイヤートについて／1C根本智生
カードミステリー〜失われた魔法の島〜
1F吉田清隆

不思議の海のナディア／1J平岡渉
ミスト・アトラスの書〜について／1G水
谷文彦

創竜伝はやめられない／1C媚山敬介
手塚治虫のメッセージ／1J武捨君彦
図書館アラカルト⑩〜全国学校図書館大
会／教諭 栗原進

第130号

一九九七年

音読のすすめ／校長 深谷正雄

技術革新と個人の存在意識／1G水谷文彦
時間について／2A矢沢英輝
デジタルの恐怖／2A竹岡啓

「蔵づくりの町並みに関する考察」
―明治川越―／2J萩原友米

インテペンダンス・テイ／1F吉田清隆
あくまで米のインテペンダンス・テイ／
1J武捨君彦

「日本をタメにした九人の政治家」の紹
介／2B成木仁

電脳の未来を考える／1C石塚慶一
時とともに成長するゲーム／1C媚山敬介
コンピューターの進化／1C根本智生

新入生の皆さんへ／2A竹岡啓
図書館アラカルト⑩〜麻布と日比谷／教諭
栗原進

栗原進

第131号

一九九七年

「環境」について／校長 大沢幸夫

〈特集 環境〉
身近な環境／1E村端良平

文明と森林伐採との密接な関係／1E三村
崇

諫早湾干拓について／1F遠藤光
環境保護・・・／1F永田祐介
ます己の罪を知れ／2H水谷文彦

全生物にとつての「環境」を／1J菅沼亮
介

川高生のまわりの環境／2H根本智生
自然環境の破壊と保護／2A平岡渉
環境問題を考える／2D栗原和也

環境改善のために／1J林泰之
あゝ、遙かなる白子川と僕とキミと、この
緑／1J加藤壮太

原子力の話／2J石塚慶一
希薄なる危機感／2J深町英樹
「汚れからの脱却を」／1E矢澤啓之

日本人の道徳／1D中島貫
音楽の環境について／3B遠藤肇
題名のない作文／3E小椋義明

題名のない作文 その二／3E小椋義明
人は誰でも素直だった／2E上野和寛
去りゆく者より／3F竹岡啓

図書館アラカルト⑩〜学校図書館法改正／
教諭 栗原進

第132号

一九九七年

「少年犯罪」について／校長 大沢幸夫
〈特集 犯罪〉

直前の精神／2D栗原和也
犯罪者の人権とは／1J林泰之
罪として・・・／1J加藤壮太

初めての賄賂／1D中島貫
「はんざい」／1F永田祐介
拳銃について／1F遠藤光

犯罪について考える／2A平岡渉
映画館で映画を見ることのスズメ／2E武
捨公彦

白倉由美とその作品について／2H根本智
生

図書館アラカルト⑩〜百周年に向けて①／
教諭 栗原進

となりのおじさん／教頭 館野俊則
〈特集 エッセイ〉

今回のテーマはエッセーです。／1F永田
祐介

巨星の死／2H水谷文彦
マン・イン・ザ・ミラー／2E武捨公彦
コンビニの深夜営業がなくなる／2A平岡
渉

変わりつつある学生／2D栗原和也
無用の知識／1D中島貫
パトリトワード／2H根本智生

太平洋雀争？／1D中島貫
読書紹介／1F遠藤光
本の紹介「呪われた町」／1E三村崇

図書館アラカルト⑩〜百周年に向けて②／

第134号

一九九八年

教諭 栗原進

私とスポーツ／校長 大沢幸夫

僕の趣味／1A宮本卓也
趣味の世界／1D田辺徳将
パトリトワード2／3I根本智生

「沈黙の艦隊」と核問題／3D平岡渉
私の趣味／2G小林大祐
軍事マニアのさけび／3I石塚慶一

趣味の選択／2D佐野誠
I've just seen a face／3D武捨公彦

「真実」とは何か／3D水谷文彦
図書館アラカルト⑩〜百周年に向けて
③／元教諭 栗原進

静かな秋の日に／教頭 松木晴信
〈特集 日本〉

文化／東家友也
日本の教育を考える／中島貫
日本の今の世の中／南雲仁史

蘇れ日本マンガ／佐野誠
「ある平凡かつ善良な一市民の日記」(平均
的日本人の日常)／1D田邊徳将

泥沼に陥りゆく日本経済／村田聡司
輝く！沖繩からのアーティスト／2F中嶋
雅己

University in Universal Japan／2H
加藤壮太
日本の文化に興味を持つとう／2G小林大祐

日本改造／1A新井浩義
わけわからぬCM／2F萩原武
図書館アラカルト⑮／1百周年に向けて④
／元教諭 栗原進

第136号 一九九九年

家庭の役割／校長 大沢幸夫
△特集 結婚観 世界の終末予想
世界と人生さようなら／1G東家友也
ノストラダムスの妄想／2F萩原武
週末妄想談／2G小林大祐
ノストラダムスと終末予想／1G南雲仁史

僕の結婚観／2C中島賢
ノストラダムスの予言について／1G畑本
高広
ワタクシノ結婚観？／1A宮本卓也
七月まであと少し／1D田辺徳将
世界の終わりとは／2F中嶋雅己

図書館アラカルト⑯／1百周年に向けて
⑤／元教諭 栗原進

PT会報

かわたか

PT会広報委員会が編集を担当し、学校生活や生徒教職員の様子が生き生きと描かれている。現在は三月、七月、十二月の年三回発行されている。

創刊号 一九七三年十二月

PT会の発展を祈る／会長 渋谷幸雄
夏の「地区支部会」／高木宏
PT会だより創刊によせて／校長 萩原辰之助
家庭教育学級に参加して／山路みゆき

第2号 一九七四年三月

生徒集会所建設を訴える／会長 渋谷幸雄
卒業期を迎えて／副会長 佐藤徳二郎
前PT会長小川大三氏を悼む／橋本精太郎

第3号 一九七四年七月

学校と家庭を結ぶ／会長 宇津木清蔵

任務を終えて／前会長 渋谷幸雄
かわたかに期待／校長 萩原辰之助
人格教育を望む／2代会長 染谷清四郎

第4号 一九七四年十二月

地区別懇談会を考える／各地区からの声
(代表地区委員)
高校時代の思い出／教諭 萩原秀雄他
研修旅行／小泉守一

第5号 一九七五年三月

さようならくすの木第二十七回卒業を祝う／会長 宇津木清蔵他
食堂食べあるき／広報委員会
歴代会長を訪ねて／6代 戸田梅吉氏
高校時代の思い出／富田真一、石井正雄

第6号 一九七五年七月

「かわたか」のひびき／校長 小室忠良
川高の発展のために／会長 宇津木清蔵
川越高校と別れて／前校長 萩原辰之助
なくそう交通事故／広報委員会

第7号 一九七五年十二月

第三回常任理事会(九月十四日)
歴代会長を訪ねて／9代 山口秋氏
高校時代の思い出／斉藤市三、細田信良
部(クラブ)活動について／学校側、生徒側、親の立場

第8号 一九七六年三月

思い出をくすの木に／PT会長 宇津木清蔵他
堅実と誠意の伝統を／同窓会長 岡村了一
高校時代の思い出／野口進

第9号 一九七六年七月

皆様のご協力を／会長 宇津木清蔵
一杯の麦ジュース／沢原正夫
服装を考える／父兄の意見
歴代会長を訪ねて／第十一代 石川秀夫氏
高校時代の思い出／斉藤貞夫、新井邦明

第10号 一九七六年十二月

親子の新発見／アンケート結果から
歴代会長を訪ねて／第十二代 川合喜二氏
八十周年記念事業実行委活動を始める

研修旅行（秋の信濃路を行く）／岩田正
高校時代の思い出／丸山哲夫、内河輝臣

第11号 一九七七年三月

くすの木をあとに／（祝卒業）宇津木清蔵
高校時代の思い出／山田正志
親子の新発見／その二 子から見た親
展 報委より
海外教育事情視察報告／藤井広司

第12号 一九七七年七月

魅力ある環境づくりを／会長 岩田正
意気ますますあがる川高／校長 小室忠良
一層の発展を祈る／前会長 宇津木清蔵
夏こそファイトで（夏休みをどうす）す
か／アンケートより
川高生のあしおと／庭球部、卓球部
高校時代の思い出／失敗あれこれ（小室英
夫）

第13号 一九七七年十二月

大学入試を考える／（家庭教育学級から）
広報委員会

歴代会長を訪ねて／第十四代 天沼照雄
研修旅行／筑波大学 土浦一高訪問
高校時代の思い出／牛窪勲、小室昇

第14号 一九七八年三月

いま飛翔のとき（第三十回卒業）／会長

岩田正他

歴代会長を訪ねて／第十五代 渋谷幸雄
高校時代の思い出／小高秀一、金井昭夫
かせと学級閉鎖について／小谷野美津

第15号 一九七八年七月

激動の底にあるもの／校長 小室忠良
歴代会長を訪ねて／第十五代 宇津木清蔵
高校時代の思い出／田中啓彦、粕川優
地区PT会を生かそう／アンケート結果
から
新しい入試制度の内容と対策／（家庭教育
学級）

第16号 一九七八年十二月

共通一次出願を終えて／進路指導部
高校時代の思い出／横田洋、斉藤尚
研修旅行／江南高校、湘南高校を訪ねて
川高生の意識調査から／（家庭教育学級か
ら）

第17号 一九七九年三月

八十年の伝統を踏まえていざ／（第三十
一回卒業）会長 岩田正他
高校生の性教育／第三回家庭教育学級から
高校時代の思い出／内田一正、松村敏男
共通一次を終えて／（受験生に聞く）

第18号 一九七九年七月

エミーちゃん／校長 飯島武司
和の輪を広げよう／会長 岩田正
高校時代の思い出／小泉功
進路指導について／第一回家庭教育学級か
ら

第19号 一九七九年十二月

伝統と歴史の八十年／創立八十周年を祝し
て 記念事業実行委員長 宇津木清蔵他
記念講演／国弘正雄氏
共通一次出願を終えて／進路指導部より
高校時代の思い出／松村秀、横村博雄
高校生問題から見た川高生／第二回家庭教
育学級から

第20号 一九八〇年三月

万華鏡／校長 飯島武司
贈る言葉／会長 岩田正、学年主任 内田
一正他
父親の独り言（第三回家庭教育学級か
ら）／山田秀夫
高校時代の思い出／渡辺耕造、伊藤真
東南アジア紀行その一／粕川優

第21号 一九八〇年七月

修正なき要求／校長 飯島武司
残したものと残ったもの／会長 竹内康雄
進路指導について／家庭教育学級より
高校時代の思い出／中村嘉子
母親はなにができるか／卒業生の母親に聞

第22号 一九八〇年十一月

ちゃんあなこ／校長 飯島武司
役員選挙の民主化で積極的なPT会に／副
会長 杉浦公昭
地区PT会報告（全体会、分科会）／各部
のまとめ

第23号 一九八〇年十二月

「ちよつと借りる」は日常のこと／生活指
導の問題点
修学旅行のまとめ／松村秀
共通一次出願を終えて／進路指導部より
高校時代の思い出／作山好邦、池／谷伸也

第24号 一九八一年三月

音（お題）／校長 飯島武司
卒業おめでとう／岡部覚治他
群れの中で子は育つ（家庭教育学級から）
高校時代の思い出／中川例、小室秀雄
体育優良校表彰について

第25号 一九八一年七月

人なみ／校長 飯島武司
格差の時代／会長 竹内康雄
漠然とした不安のなかで／学級懇より
ほからの受験体験記／進学相談会より

第26号 一九八一年十月

固定観念／校長 飯島武司
五十六年度地区別PT会、共に学び合う場
を（全体会、分科会）
親しみある広報を（アンケート調査結果より）
進路問題に最大の関心

第27号 一九八一年十二月

憧れの教育／校長 飯島武司
川高生全書／家庭教育学級講話（吉田正）
共通一次出願を終えて／進路指導部
健康的な生徒／保健アンケートより
修学旅行記／関口弘
高校時代の思い出／牧野敦史
研修旅行／安積高校

第28号 一九八二年三月

ロボット／校長 飯島武司
くすの木のように力強く（祝、第三四回卒業生）／小柳伸一他
第三回家庭教育学級、真剣に生活する姿
を／岡部覚治他
朗報を期待して／進路指導部より
爽快な気分満喫（第一回スキー教室／柴田建司）
生田建司
高校時代の思い出／松浦智

第29号 一九八二年七月

なんとなく／校長 飯島武司

学ぶ喜びを共に／会長 小林茂雄
子どもを信じ見守る親に／（第一回家庭教育学級）平田慶子先生

ふりむけば熟年／竹内前会長
クラブ活動と受験／広報委員会
家庭教育と子供の人格
進学相談会（先輩からの助言）

第30号 一九八二年十月

そうかしら／校長 飯島武司
地区別PT会の全体会から（個性に応じた将来を）
分科会から（二年、二年、三年）

第31号 一九八二年十二月

裸になる／校長 飯島武司
座談会・ぼくらの浪人時代
雨・柿・宿・寺／深澤一博
高校時代の思い出／山岸てる子

第32号 一九八三年三月

胸間を読む／校長 飯島武司
卒業によせて／会員の声
贈る言葉／第三学年団
灰色とんでもない／青春の真つ只中（一九八二年学校行事から）

第33号 一九八三年七月

おしん／校長 宮島秀夫

伝統のよさに新風を／会長 小林茂雄
特集・高校の授業を大切に
高校時代の思い出（内野智司・岡松哲）

第34号 一九八三年十月

傷あと／校長 宮島秀夫
対談「大自然に学ぶ」（宮島秀夫・飯島武史）
第三十二回校内水泳大会から

第35号 一九八三年十二月

時の茶屋／校長 宮島秀夫
共通一次出願状況／進路指導部
第二回家庭教育学級、生徒指導の現状 第三回歴史散歩
強歩大会、奥武蔵縦走
高校時代の思い出／吉沢義和
「日本に憧れ」中国の青年たち／森光真幸
研修旅行・自主性を育てる教育／千種高校

第36号 一九八四年三月

青春／校長 宮島秀夫
卒業を祝して（第三十六回卒業生への言葉）／宮坂忠彦他
夜明け／下出一夫
二十一世紀に活躍するあなたがたに／講演 柴田鉄治
第二回スキー教室／深澤一博
高校時代の思い出／鈴木和彦

第37号 一九八四年七月

クラス会／校長 宮島秀夫
躍動する季節に／会長 小林茂雄
学級懇談会
先輩の体験に学ぼう／進学懇談会
高校時代の思い出／吉田正、岩井諭
おとなしくなった川高生／教育実習生に聞く

第38号 一九八四年十月

北大／宮島秀夫
父母はいま何を：（五九年度地区PT会から）／全体会、分科会
親の気になるクラブ活動
交換学生 宮岡勲君に聞く
燃えあがる後夜祭（くすの木祭見学記）

第39号 一九八四年十二月

花の志／校長 宮島秀夫
第二回家庭教育学級「高校生の心理と生活」
読書（勉強の合間のやすらぎ）
高校時代の思い出／福田公明
修学旅行記／小室秀雄
校内強歩大会（奥武蔵路を行く）
研修旅行に参加して（小田原高校／蔵野宏史）

第40号

一九八五年三月

合わない／校長 宮島秀夫

贈る言葉（第三十七回卒業生へ）／岡部覚
治他

堅実な進路選択／昭和六十年年度出願状況

高校時代の思い出／細田宏

卒業生の遺作 母校へ／小山彦三氏

先輩の生活と意見／卒業生から大学生活について

第41号

一九八五年七月

本懐／校長 小室英夫

小成に甘んずることなく／会長 鈴木禮八

校長 小室英夫

高校時代の思い出／田辺司、芝崎茂弥

まず自己の確立を／（進路懇談会）

第42号

一九八五年十月

盛岡雑感／校長 小室英夫

相互の情報交換、積極的に参加／六十年年度

地区別PT会

特集 先輩の生活と意見／卒業生二四名

第43号

一九八五年十二月

音楽部全国大会に同行して／校長 小室英夫

夫

共通一次出願状況／進路指導部

高校生のこころと家庭の役割／家庭教育学

級

川高生の生活と学習
修学旅行記／関口弘

第44号

一九八六年三月

鳳雛集立つ／校長 小室英夫

贈る言葉／梅沢正寿他（第三十八回卒業生）

初陣の成果を期待／進路指導部

講演 戦後四十年日本の選択／岡村和夫氏
くすの木をあとに（有田博、蓮見昌延、佐藤武史、宮崎聡史）

第45号

一九八六年七月

邂逅／校長 小室英夫

御挨拶／PT会会長 鈴木禮八

二期目の会長を拝命して／後援会長 渋谷幸雄

幸雄

特集 '86一年生の実像

目標をしっかりと（先輩からのアドバイス）／進路懇談会

第46号

一九八六年十月

秋篠寺にて／校長 小室英夫

地区別PT会報告

39会くすの木祭

高校時代の思い出／青木恭子

会員の声／中田満子

第47号

一九八六年十二月

バラの花はバラらしくー個性の尊重ー校長 小室英夫

共通一次出願状況／六十一年度 進路指導部

より充実した大学生活を送るために／伊藤洋（早大生部部長）

特集 '86三年生の実像

修学旅行見聞録／柏川優

銀賞を手にして（全日本合唱コンクール全国大会）／塚原秀子

高校時代の思い出／清水徳雄

第48号

一九八七年三月

今 旅立 君に／校長 小室英夫

贈る言葉／（三十九回卒業生へ）関口弘他

複数受験で史上最高の受験者数／進路指導部

講演 異文化コミュニケーションの基本課題／佐々木忠一氏

くすの木をあとに／卒業生四名より

第五回スキー教室／滝本信一

第49号

一九八七年七月

打てば響く／校長 渋谷健

九十年の歴史と伝統の重みを感じて（対談）小室英夫、渋谷健

入試にかけたこの一年／入試体験談五名

大学入試の実情と問題点／家庭教育学級

第50号

一九八七年十月

山家そたちのほほじろが／校長 渋谷健

高い出席率、熱心な対談／六十二年地区別PT会

（教師の目、親の目）川高生

「かわたか」創刊のこころ／関口喜子

'87川高生に聞く

第51号

一九八七年十二月

年令相応の深い味／校長 渋谷健

共通一次出願状況／六十二年度 進路指導部

親と子の関係（家庭教育学級）豊田重穂

進路に向けての発言／内野先生他

修学旅行日記／丸山哲夫

高校時代の思い出／伊藤豊

第52号

一九八八年三月

米百俵／校長 渋谷健

贈る言葉／吉田正他

個性にかなった進路選択／進路指導部

講演 医学と心／関根毅

くすの木をあとに／服部元信他3名

高校時代の思い出／野口孝

第53号

一九八八年七月

和顔施／校長 渋谷健

着任のこ挨拶／松崎中正

高校時代の思い出／三浦良朗・浅井一郎
川高生の「自由」とは？／校長・P後会長
対談
めさせ現役合格／進学懇談会

第54号 一九八八年十月

終戦の日の回想／校長 渋谷健
懇談会を交流の場に／六十二年度地区別P
T会
一年間の留学を終えて／二瓶大輔他二名
第四十一回くすの木祭

第55号 一九八八年十二月

今こそ知ろう「自由の有り難さ」／校長
渋谷健
大学入試はどうなるか／六十四年度進
路指導部
講演 今、若者に期待されるもの／島野昌
甫
海外留学で体験したもの／後英彰他4名
修学旅行反省記／遠山壮一他

第56号 一九八九年三月

花語らず／校長 渋谷健
贈る言葉／第四十二回卒業生へ／丸山哲
夫他
平成元年度出願状況／進路指導部
講演 私と憲法との出会い／岡村一
くすの木をあとに／須藤博史他
高校時代の思い出／西川正己

第57号 一九八九年七月

九閃の功を：／校長 渋谷健
総会・保護者会報告
ご挨拶／小峯賢 道祖土武
進学懇談会 CHALLENGE
家庭教育学級 進路
高校時代の思い出／岡田明

第58号 一九八九年十月

信用は得難く／校長 渋谷健
地区懇を生かして熱い交流のひとつ／平
成元年度地区別PT会
特集 くすの木祭
川高生のあしあと

第59号 一九八九年十二月

脚下照顧／校長 渋谷健
入試の特徴／進路指導部
家庭教育学級 講演／山川一陽先生
特集 食事と健康に関するアンケート
修学旅行記

第60号 一九九〇年三月

蠟梅そしてチエコの犬／校長 渋谷健
贈る言葉／第四十二回卒業生へ／梅沢正
寿他
講演 国際化時代を生きる／島野昌甫
くすの木をあとに／秋田良明他

高校時代の思い出／今案亮一

第61号 一九九〇年七月

教師冥利／校長 渋谷健
新PT会長 後援会長あいさつ／足立誠
北村平
特集 放課後(平均的川高生は)
毎日の授業を大切に／進学懇談会
高校時代の思い出／角田英雄

第62号 一九九〇年十月

同窓生の絆／校長 渋谷健
猛暑の中 ホットな交流／平成二年度地区
PT会
特集 らいふらりい／図書館利用
第四十三回 くすの木祭(極楽トンボの三
日天下)

第63号 一九九〇年十二月

継続の大切さ／校長 渋谷健
センター試験出願者数 過去最高
家庭教育学級(第三回) 親は子に何を求め
るか／岡野静二氏
特集 卒業生その後 職業選択は堅実な方
向へ
画期的な修学旅行 強歩大会

第64号 一九九一年三月

コメント／校長 渋谷健

贈る言葉(第四十三回卒業生へ)／関口弘
他

平成二年度大学入試出願状況
芸術鑑賞会／漆原啓子バイオリンリサイタ
ル

くすの木をあとに／大塚信孝他
高校時代の思い出／石井啓之

第65号 一九九一年七月

母親の力／校長 鈴木良栄
PT会 後援会総会報告
挨拶／教頭 榎田隆 P T会会長 北沢紀
史夫
特集 自立への道／親離れ、子離れできて
いますか
先生紹介 三年生の先生に聞きました

第66号 一九九一年十月

親離れの苦労／校長 鈴木良栄
特集 自立への道／座談会(親の立場から)
二年生の先生に聞きました
くすの木祭報告 学区をたずねて 研修旅
行報告・PR

第67号 一九九一年十二月

教員の子離れ／校長 鈴木良栄
特集 自立への道(意識アンケートから)
一年生の先生に聞きました(先生紹介
No.二)
第三回家庭教育学級／川高生の進路につい

て(渋谷健前校長)

第68号 一九九二年三月

卒業にあたって/校長 鈴木良栄
第四四回卒業生へ 前途に期待して/楢田隆他

くすの木をあとに/大谷地雄平他
芸術鑑賞会報告

九十二年入試(センター試験と本校生の傾向)
学区をたずねて(比企)

第69号 一九九二年七月

くすの木からの便り/校長 鈴木良栄
P後総会報告

挨拶/P T会長 北沢紀史夫 後援会会長 北村平

特集 素顔の川高生/昼食探訪
合格率五十五%超える/第一回家庭教育字

級
私の青春の一冊/福原勇

第70号 一九九二年十月

部活動の思い出/校長 鈴木良栄
平成四年度地区P T会

私の青春の一冊/福田公明
特集 素顔の川高生/部活探訪

第71号 一九九二年十二月

朝 朝日は東より昇る/校長 鈴木良栄
九十二年入試の特徴/進路指導部
第三回家庭教育学級 国際化時代の青少年教育/松山幸雄氏
修学旅行記

私の青春の一冊/山梶恵子
特集 素顔の川高生(進路を語る)

第72号 一九九三年三月

たくましさと優しさを/校長 鈴木良栄
贈る言葉(第四十五回卒業生へ)/鈴木和夫他

くすの木をあとに/加藤圭一郎他
私の青春の一冊/小此木利樹

芸術鑑賞会/長谷川陽子 チェロリサイタル

第73号 一九九三年七月

粗であり野だが、卑ではない/校長 鈴木良栄
総会開かれる/平成五年度P T会后援会総会

挨拶/P T会長 川西一純 後援会長 道祖土武

第一回 家庭教育学級 現役合格四十一%超える

私の青春の一冊/小倉毅

第74号 一九九三年十月

異文化に触れて/校長 鈴木良栄
平成五年度地区別P T会

私の青春の一冊/岩井諭
当世 川高生気質(見直しませんか?モラルの原点)

第75号 一九九三年十二月

生徒からの贈り物/校長 鈴木良栄
九四年入試の特徴/進路指導部

家庭教育学級 講演/渡辺圭一
私の青春の一冊/中村潔

当世 川高生気質(育てよう!友情を)

第76号 一九九四年三月

一期一会/校長 鈴木良栄
贈る言葉/第四十六回卒業生へ/岡松哲他

くすの木をあとに/神田裕康他
私の青春の一冊/仲山嘉史

同窓会文化講演会 日本経済の国際化と私たち/小島延夫氏

第77号 一九九四年七月

樟への想い/校長 深谷正雄
総会開かれる/平成六年度P後総会

挨拶/P T会長 斉藤博 後援会会長 足立誠
特集 樟の青春(川高生を語る)/座談会

深谷校長他
私の青春の一冊/柳沢民雄

第78号 一九九四年十月

夏 活動の時季/校長 深谷正雄

平成六年度地区別P T会
陸上競技大会 芸術鑑賞会実施
四七回 くすのき祭
特集 樟の青春(川高生が語る大人感覚)

第79号 一九九四年十二月

関西旅行記/校長 深谷正雄
九十五年入試の特徴

家庭教育学級(第三回)/高校生をもつ親のあり方/竹内克好氏

特集 樟の青春(川高での日々時間を越えて)

第80号 一九九五年三月

花の色は/校長 深谷正雄
贈る言葉(第四七回卒業生へ)/熊井昌男

他
くすの木をあとに/飯久保潤他
同窓会文化講演会 現実とはひとつではない/奥泉光氏

第81号 一九九五年七月

樟を吹く風/校長 深谷正雄
総会報告(平成七年度P T会后援会総会)

挨拶/P T会長 金子建一 後援会長 足立誠

特集 親の想いの子の思い(座談会 親と子の本音)

家庭科授業始まる/宮敦子
近年の入試の動向(第一回家庭教育学級)

私の青春の一冊／森田智裕

第82号

一九九五年十月

親と子の季節／校長 深谷正雄
和やかに情報交換(平成七年度地区別PT
会)

特集 親の想い子の思い
百周年準備委員会報告

第83号

一九九五年十二月

交りと流れの中で／校長 深谷正雄
戦後教育の展開と改革／講演 鈴木良栄氏
修学旅行記

私の青春の一冊／石塚稔成

特集 親の想い子の思い(二行詩にたくし
て)

第84号

一九九六年三月

いい日いい顔／校長 深谷正雄
贈る言葉(第四十八回卒業生へ)／仲山嘉
史他

くすの木をあとに／内藤義人他

私の青春の一冊／野口孝

同窓会文化講演会 青年期と性／村瀬幸浩
氏

第85号

一九九六年七月

樟 新粧／校長 深谷正雄
総会開かれる／平成八年度P後総会

挨拶／PT会長 金子建二、後援会長 北
沢紀史夫 教頭 館野俊則

親の想い子の思い(川高生の食事情)
進路講演会(第一回家庭教育学級)

百周年に向けての校舎改修政策
私の青春の一冊／杉崎一彦

第86号

一九九六年十二月

四季のある学期／校長 深谷正雄
平成八年度地区別PT会
百周年に向けて

私の青春の一冊／吉原武夫

親の想い子の思い(家族との接点
メイクドラマ(第四十九回くすのき祭

第87号

一九九七年三月

雄飛の翼を広げて／校長 深谷正雄
贈る言葉(第四十九回卒業生へ)／村井恒
夫他

くすの木をあとに／中山賢史他

私の青春の一冊／宮敦子

百周年に向けて

第88号

一九九七年七月

樟遠望／校長 大沢幸夫
総会報告(平成九年度P後総会)
挨拶／PT会長 市川明広、後援会長 北
沢紀史夫 教頭 松木晴信

親の想い子の思い(今心に描いている
こと)

進路講演会(第一回家庭教育学級)

私の青春の一冊／内田正俊

第89号

一九九七年十二月

実りの秋／校長 大沢幸夫
平成九年度地区別PT会(入試・校内モラ
ル・学習環境討論)

第三回家庭教育学級／国際化時代における
家庭の役割

私の青春の一冊／福島佳克
(最終回)親の想い子の思い(二十一世紀
に向けて)

メイクドラマ(第五十回くすのき祭九／一
三〇九／一四)

第90号

一九九八年三月

船出する君達へ／校長 大沢幸夫
贈る言葉(第五十回卒業生へ)／根岸登他
くすの木をあとに／坪広志他

私の青春の一冊／丹羽俊治

百周年に向けて／栗原進

第91号

一九九八年七月

立志／校長 大沢幸夫
総会報告(平成十年度PT会・後援会)
特集 百周年に向けて

進路講演会(第一回家庭教育学級)

私の青春の一冊／佐賀博

第92号

一九九八年十二月

躍動の季節／校長 大沢幸夫
活発な意見交換の中から(平成十年度地区
別PT会)

私の青春の一冊／関根修

特集 百周年記念事業
川高生 秋の行事から

第93号

一九九九年三月

大きな節目／校長 大沢幸夫
贈る言葉(第51回卒業生へ)／根岸和弘他
くすの木をあとに／岡野慎一郎他
百周年に向けて

クラブ訪問(軟式庭球部)



カット：吉田行男(高21)

旧職員等一覽

(歴代校長)

代氏名 着任 退任

第1代 増野 悦典 明32・4・1～明35・10・20

(但し35・2・24～35・10・20まで休職)

和田亀之助 明35・2・26～明35・3・17

(校長事務取扱い)

第2代 小倉 敏行 明35・3・3～明36・12・16

前原仙次郎 明36・12・26～明37・1・13

(校長事務取扱い)

第3代 前原仙次郎 明37・1・14～大元・8・2

第4代 渡部 鏑 大元・8・2～大2・4・4

第5代 服部捨太郎 大2・4・5～大6・6・18

吉川 俊男 大6・6・19～大6・7・6

(校長事務取扱い)

第6代 古賀 毅 大6・7・6～大8・10・17

第7代 岡田 恒輔 大8・10・18～大10・8・1

第8代 野山 忠幹 大10・8・2～大14・3・10

金子 道啓 大14・3・11～大14・4・7

(校長事務取扱い)

第9代 岩泉善太郎 大14・4・8～昭8・3・25

松岡 末吉 昭8・3・25～昭8・4・6

(校長事務取扱い)

第10代 大谷 徳馬 昭8・4・6～昭10・5・13

第11代 木原 元三 昭10・5・13～昭16・7・31

第12代 栗岡 亀治 昭16・7・31～昭19・5・14

第13代 小島 承一 昭19・5・15～昭21・3・29

福森 治 昭21・3・30～昭22・7・11

寺島光雅天海 昭21・12・31～昭22・7・11

(校長事務取扱い)

第15代 日新 義虎 昭22・7・11～昭24・8・16

第16代 荒井 実 昭24・8・17～昭28・8・15

第17代 渡辺 正紀 昭28・8・16～昭35・3・31

第18代 西川 好明 昭35・4・1～昭40・3・31

第19代 小久保宗平 昭40・4・1～昭44・3・31

第20代 福岡 鶴吉 昭44・4・1～昭46・3・31

第21代 山村 良夫 昭46・4・1～昭48・3・31

第22代 萩原辰之助 昭48・4・1～昭50・3・31

第23代 小室 忠良 昭50・4・1～昭54・3・31

第24代 飯島 武司 昭54・4・1～昭58・3・31

第25代 宮島 秀夫 昭58・4・1～昭60・3・31

第26代 小室 英夫 昭60・4・1～昭62・3・31

第27代 渋谷 健 昭62・4・1～平3・3・31

第28代 鈴木 良榮 平3・4・1～平6・3・31

第29代 深谷 正雄 平6・4・1～平9・3・31

第30代 大沢 幸夫 平9・4・1～平11・3・31

第31代 橋本 恭明 平11・4・1～

(同窓会歴代会長)

代氏名 任期

第1代 前原仙次郎 明40・9・1～大元・8・2

第2代 渡部 鏑 大元・8・2～大2・4・4

(P T 会歴代会長)

代	氏名	任期
第3代	服部捨太郎	大2・4・5 大6・6・18
第4代	古賀 毅	大6・7・6 大8・10・17
第5代	岡田 恒輔	大8・10・18 大10・8・1
第6代	野山 忠幹	大10・8・2 大14・3・9
第7代	岩泉善太郎	大14・4・8 昭8・3・25
第8代	大谷 徳馬	昭8・4・6 昭10・5・13
第9代	木原 元三	昭10・5・13 昭16・7・31
第10代	栗岡 亀治	昭16・7・31 昭19・5・14
第11代	小島 承一	昭19・5・15 昭21・3・29
第12代	福森 治	昭21・3・30 昭21・12・1
	(以上学校長)	
第13代	山崎 嘉七	昭21・12・1 昭34・5・10
第14代	伊藤長二郎	昭34・5・10 昭40・8・9
第15代	北村 博学	昭40・9・26 昭50・5・11
第16代	岡村 了一	昭50・5・11 平2・5・13
第17代	佐々木忠一	平2・5・13 平6・5・8
第18代	渋谷 健	平6・5・8
第1代	奥平 巧	昭23 昭24
第2代	染谷清四郎	昭25
第3代	水村善太郎	昭26
第4代	田中 梅吉	昭27
第5代	市川 宗貞	昭28 昭29

第6代	時田伝左衛門	昭30
第7代	西川清三郎	昭31 昭33
第8代	戸田 梅吉	昭34 昭35
第9代	高橋俊太郎	昭36
第10代	山口 秋	昭37 昭39
第11代	関田 富雄	昭40
第12代	石川 秀夫	昭41 昭42
第13代	川合 喜一	昭43
第14代	天沼 照雄	昭44 昭45
第15代	小川 大三	昭46 昭47
第16代	渋谷 幸雄	昭48
第17代	宇津木清蔵	昭49 昭51
第18代	岩田 正	昭52 昭54
第19代	竹内 康雄	昭55 昭56
第20代	小林 茂雄	昭57 昭59
第21代	鈴木 禧八	昭60 昭62
第22代	北村 平	昭63
第23代	道祖土 武	平元
第24代	足立 誠	平2
第25代	北沢紀史夫	平3 平4
第26代	川西 一紘	平5
第27代	斎藤 博	平6
第28代	金子 建二	平7 平8
第29代	市川 明広	平9
第30代	榎田 幹夫	平10

(後援会歴代会長)

代	氏名	任期
第1代	水村善太郎	昭24
第2代	染谷清四郎	昭25
第3代	染谷清四郎	昭38 昭45
第4代	高橋俊太郎	昭46 昭59
第5代	渋谷 幸雄	昭60 昭62
第6代	小林 茂雄	昭63 平元
第7代	北村 平	平2 平4
第8代	道祖土 武	平5
第9代	足立 誠	平6 平7
第10代	北沢紀史夫	平8 平9
第11代	川西 一紘	平10

※後援会は昭和26年よりP T 会に合併、38年より復活。

※その間、改築協力会長に奥平巧(中1・昭和26 28)、校舎建築促進会長・理科教室建築促進会長に戸田梅吉氏。

(歴代教職員一覽)

氏名

教科等

着任 離任 退任

水野	秋田	村瀬	三田	小倉	和田	市村	磯部	芳賀	沢木	竹井	小川	塚原	増野	佐藤	太田	関根	寺尾	飯田	阿部	吉田	中島	室田	山下	古沢	渡辺	木下	氏名			
澄治	鎌之助	米之助	定吉	敏行	亀之助	巖	精一	景介	從義	和平	圭三	常之助	悦興	藤助	寛三	作次郎	熊三	卯平	親呢	宅信	協和	孝三郎	一二	与総	斧人	準一郎	氏名			
国語	理科	社会	体育	校長	理科数学	体育	英語	理科数学	英語	数学	体育	理科	校長	理科	国語書道	国語書道	英語	体育音楽	剣道指南	書記	書道	書記	国語	英語	体育	書記	教科等			
明32.4	明36.1	明34.3	明35.8	明35.3	明32.4	明32.4	明35.7	明35.6	明34.4	明35.4	明34.12	明35.9	明32.4	明32.4	明34.8	明33.4	明34.4	明34.4	明32.9	明34.3	明32.5	明33.9	明33.4	明32.4	明32.4	明32.4	明32.4	着任		
明37.4	明37.3	明37.2	明37.3	明36.12	明36.12	明36.10	明36.10	明36.10	明36.8	明36.8	明35.12	明35.10	明35.8	明35.7	明35.7	明35.6	明34.12	明34.11	明34.8	明34.6	明34.4	明34.4	明34.3	明34.3	明33.8	明32.5	離任			
古谷	原田	東	村沢	鷺田	山根	田中	佐藤	松本	野尻	田中	伊丹	富永	新島	中島	伊藤	島田	岡島	高田	山路	鈴木	田沢	菱形	土田	神岡	瀬戸川	中尾	大平	原田	松園	田端
喜十郎	栄旦	尚胤	晴蔵	利治	美之作	惟昇	朝寛	定一郎	平太郎	鎌六	中渡	百介	吉太郎	政市	諄典	誘	秀二郎	庸三	清四郎	重之	雄一郎	文章	寅蔵	隆徳	新蔵	栄旦	郷美	八十次	田端	
国語書道	書記	英語社会	英語	数学	書記	国語	書記	英語	英語	理科	英語	理科	理科	英語	書記	英語	体育	英語	数学	体育	英語	体育	社会	英語	理科	英語	書記	音楽	体育	
明40.3	明39.9	明39.8	明41.4	明38.5	明41.3	明36.8	明32.4	明34.9	明40.3	明38.4	明37.6	明39.5	明39.4	明37.10	明37.4	明37.7	明39.5	明38.5	明38.11	明32.11	明37.2	明34.4	明37.4	明37.4	明37.11	明36.11	明36.10	明34.5	明37.4	明37.1
明44.3	明44.3	明44.3	明42.9	明42.3	明42.1	明41.4	明41.4	明41.2	明40.9	明40.9	明40.4	明40.3	明40.3	明40.3	明39.9	明39.8	明39.8	明39.4	明39.2	明39.1	明38.11	明38.4	明38.4	明38.4	明38.3	明37.10	明37.10	明37.9	明37.8	明37.5
吉川	星野	服部	篠崎	竹越	前田	谷口	間野	松崎	岡田	佐々	岡本	小島	大久保	星野	佐藤	東海林	渡部	掛原	秋山	坂本	別所	須藤	桑原	前原	木村	和田	前川	小宮	築根	
俊男	仙蔵	捨太郎	与十郎	昇治	真吉	吉蔵	八重太	求己	彦五郎	理宜造	定	奄	保七郎	文一郎	浪雄	繁	鏑	静質	蓮三	浪次郎	堯	栄吉	侃	仙次郎	満三	(小幡)弘基	三郎	堅次郎	喜一郎	
社会	剣道	校長	国語	数学	柔道	柔道	英語	英語社会	理科	理科	国語	理科	英語	書道国語	英語	英語	校長	書記	理科	数学	理科	英語	体育	校長	校長事務取扱	英語	英語	国語	英語	理科
明44.4	明32.4	大2.4	明44.11	明41.5	明34.3	大5.3	大3.1	明36.9	大3.4	大2.3	明33.4	大元.10	大元.9	明37.9	明44.9	大元.9	大元.8	明44.5	明40.4	明42.6	明44.5	明42.11	明39.9	明36.12	明45.4	明34.4	明44.4	明40.4	明40.3	明40.4
大6.9	大6.8	大6.6	大6.3	大6.3	大6.3	大6.2	大5.6	大5.2	大4.10	大4.1	大3.11	大3.4	大2.4	大2.12	大2.4	大2.4	大2.3	大2.3	大2.3	大元.11	大元.10	大元.8	大元.8	大元.8	大元.7	大元.3	大元.10	大元.9	大元.4	大元.4

前田	堤	大友	猪飼	阿部	熊代	松崎	高橋	鍋島	渚	西村	岩泉	古賀	米良	田中	早川(武田)	秋岡	若原	加唐	荒野	中	三島	佐藤	菊地	柴田	小川	小杉	間中	坪内	倉町	詫間
藤之助	達也	金次	誠吉	隆介	信助	祐存	太郎	信太郎	忠男	真	善太郎	毅	文太郎	真藏	敬止	成己	種次郎	卯之助	喜藏	一十	和介	金太郎	一	隆	栄吉	省三	龍吉	鉾三郎	良次郎	喜久彦
理科	国語	体育	数学	英語	英語	国語	書記	数学	理科	体育・柔道	英語	校長	国語	社会	体育	体育	理科	英語	社会	修身・美術	英語	柔道	理科	国語	数学	英語・剣道	剣道	体育	数学・柔道	体育
大9・3	大8・5	大8・3	大7・4	大7・3	大7・8	大7・4	大8・4	大6・3	大8・4	大8・3	大6・10	大6・7	大3・12	明38・4	大6・12	大7・3	大4・11	大5・7	明35・4	明34・4	大3・4	大6・4	大4・2	大3・3	大2・1	明40・11	大2・3	大元・9	明37・2	明38・4
大10・3	大10・3	大10・3	大10・1	大9・11	大9・9	大9・8	大9・6	大9・4	大8・11	大8・11	大8・11	大8・10	大8・4	大8・4	大8・3	大7・10	大7・7	大7・7	大7・6	大7・5	大7・4	大7・4	大7・4	大7・4	大7・4	大7・4	大7・3	大7・3	大7・3	大6・11
藤野	金子	竹内鹿女	松尾	野山	松本	福田	高松	佐藤	中込	長谷川	原富	西川	山田	篠原	金田	進士	白川	高木	橋本	草間	柳	小泉	岸田	岡田	鈴木	飯沼	宮崎	湯浅		
嘉谷	道啓	女太郎	楸	忠幹	信彦	聡太	鶴吉	保一	賢三	誠一	慶太郎	広宣	武夫	豊州	福次	織平	常介	次郎	高次	亮静	国五郎	直一郎	藤造	久雄	恒輔	憲次郎	峯次郎	邦助	好包	
理科	校長事務取扱	書道	英語	校長	柔道	柔道	英語	社会	理科	国語	数学	英語	英語	書記	理科	英語・理科	英語・修身	数学	理科・数学	社会	英語	数学	国語	英語	校長	数学	英語	国語	英語	
大7・10	大7・4	明35・9	大12・3	大10・8	大13・3	大12・4	大10・11	大12・4	大12・4	大10・4	大11・3	大10・3	大9・11	明32・5	大10・4	大11・11	大10・3	大9・3	大8・12	大5・3	大10・4	大10・2	大10・7	大8・12	大8・10	大7・11	大2・5	大8・3	大9・9	
大14・4	大14・4	大14・4	大14・3	大14・3	大13・11	大13・10	大13・10	大13・5	大13・4	大13・4	大13・3	大13・3	大12・7	大12・5	大12・4	大12・3	大12・3	大12・3	大12・3	大12・3	大11・10	大11・3	大11・1	大10・9	大10・8	大10・6	大10・5	大10・4	大10・3	
松岡	春木(松永)	松井	田中	忍田	原口	久保	岩泉	村本	岡	浅子	土屋	吉永	高野	岡田	溝部	石井	加瀬	榎本	吉村	吉見	萩原	相場	三浦	石川	細野	岡田	鯨井	金子	野村	松本
末吉	逸朗	卯吉	明雄	豊作	多一	提多	善太郎	猶太郎	鉄之助	英	長夫	武助	泰四郎	万雄	一僊	庫吉	大助	弘三	勝敏	周治	貞一	重雄	勘之助	隆豊	尚彦	長蔵	寅松	岩吉	良助	真次郎
英語・校取事	国語	教	数学	数学	体育・武道・作業	美術・作業	校長	国語	教	英語・剣道	剣道	国語・書道	数学	社会	教	社会	国語	数学	社会・理科	英語	理科	教	英語	英語	数学	数学	社会・武術	国語	書記	書記
大7・6	昭6・8	昭7・12	昭5・9	昭2・3	大9・4	大7・6	大14・4	明40・5	昭4・8	昭6・8	大6・5	大14・5	大10・6	大7・8	昭2・3	大14・4	大11・2	大12・4	大15・4	大13・3	大12・3	大14・4	大13・9	大12・4	大15・9	大13・4	大13・5	大14・6	大9・6	
昭10・5	昭9・9	昭9・8	昭9・7	昭9・3	昭9・3	昭9・3	昭8・3	昭8・3	昭7・12	昭7・7	昭7・5	昭6・7	昭5・9	昭5・3	昭4・8	昭4・3	昭3・8	昭3・4	昭3・4	昭3・4	昭3・4	昭2・3	昭2・3	昭2・3	昭2・2	昭2・8	昭2・3	昭2・3	昭14・8	昭14・7

飯田 亮	国語	大9.8	原 鉦吾	英語・商業	昭12.4	奥沢 義一	理科	昭17.8
大谷 徳馬	校長	昭8.4	吉村 勝敏	理科	昭14.3	菅野 円三郎	教員	昭17.8
下田 保平	英語修身・商業	昭14.3	岡田 万雄	社会・修身	昭10.6	板東 正民	国語	昭18.3
桜井 静	社会・音楽	昭3.4	塩谷 敏三	不明	昭15.3	高橋 堅造	理科	昭18.5
坂戸 公隆	国語	昭10.6	大原 三八雄	英語	昭15.4	栗岡 亀治	校長	昭19.4
大橋 重五郎	社会	昭5.3	岩永 胖	国語	昭10.8	渡辺 元二	国語	昭16.7
加藤 豊	美術・作業	昭9.3	細野 博	国語	昭11.9	小川 武	国語	昭18.3
毛利 勉	国語	昭9.9	蛭田 武治	配属将校	昭15.3	海北 条司	配属将校	昭17.5
宮田 岩男	作業・農業	昭9.4	羽賀 与七郎	数学	昭15.4	木村 啓太郎	教員	昭17.8
鈴木 忠直	英語・商業	昭10.6	木原 元三	校長	昭10.5	鹿沼 辰次郎	国語	昭16.1
岸田 彰夫	社会	昭11.3	上田 外男	国語	昭11.3	渡辺 謙	英語	昭18.9
井上 安三	書記心得	昭12.11	秋山 亨	体育・武道	昭9.3	太田 朗	英語	昭19.9
高橋 一男	国語・社会	昭8.5	神谷 礼三	英語	昭15.5	坂西 恒吉	体育	昭16.9
保泉 海実	理科・作業	昭13.10	小松 國三郎	教員	昭10.5	前田 潔	体育・武道・柔道	昭9.3
橋本 高次	理科・作業	昭3.4	中山 崇	国語	昭13.11	飯島 染男	教員	昭18.9
田代 成人	社会	昭12.11	小高 勝次	音楽	昭15.3	小川 栄吉	数学	昭3.8
古屋 一夫	国語	昭12.11	梅沢 忠造	国語	昭16.5	地井 博	英語・商業	昭16.11
野原 朋一	体育・武道	昭13.9	平野 久	英語・社会	昭2.3	吉川 静雄	国語	昭16.8
藤田 昇一郎	作業・農業	昭12.3	吉田 融	英語	昭3.4	福島 昇	英語	昭17.4
長坂 志げ子	書記心得	昭13.9	代永 富美雄	社会	昭15.8	牧野 徹夫	英語	昭16.9
西川 重男	体育	昭14.7	草薙 武吉	社会	昭12.3	野原 茂之	理科	昭19.3
野口 敏子	書記心得	昭14.7	土佐 敬重	数学	昭16.5	関口 文雄	美術	昭14.11
高田 隆三	美術・作業	昭11.3	原山 辰雄	理科	昭13.4	金久保 金治	配属将校	昭19.6
後藤 益太郎	社会	昭14.4	伊ヶ崎 清	配属将校	昭15.8	大野 誠一郎	教員	昭18.1
小山 ひで子	書記心得	昭14.8	小川 広吉	教員	昭16.10	吉沢 幸一	教員	昭19.11
横田 俊夫	理科・数学	昭14.3	松本 与三郎	理科	昭15.3	間中 鹿太郎	書記・剣道	昭42.2
三品 有明	教員	昭14.12	浅野 八郎	国語	昭4.8	小島 承一	校長	昭19.5
川田 幸二	英語	昭2.4	浅野 光良	国語	昭10.6	長谷川 貞平	数学	昭12.3
葛宗 孟	数学	昭9.8	金沢 熙	英語	昭16.3	横田 忠輔	英語	昭15.7
三上 一雄	社会・音楽・作業	昭11.3	山梨 省吾	英語	昭17.3	久保田 太郎	英語	昭18.7
		昭15.3			昭18.3	寺島光雅(天海)	社会・敬服	昭20.4
								昭22.7

福森 治	校長	昭21.3	笠原 キン	業務主事	昭19.3	仲(矢口)良雲(久)	英語	昭20.4
鈴木 睦雄	國語	昭17.4	大沢 龍男	書道	昭24.7	土屋 亮晃	體育	昭28.4
秋葉(関根)光	数学	昭20.10	木村 信寿	理科	昭23.3	佐々木 信治	國語	昭19.5
鶴野 光	美術・書道	昭21.7	中島 恒子	書記心得	昭16.6	本橋 信治	理科・教頭	昭21.6
小沢 俊郎	英語	昭22.4	石川 正明	数学	昭25.3	間庭 博	英語	昭29.7
宮坂 忠彦	数学	昭22.6	下山 均	事務職	昭25.4	内藤 清子	教務助手	昭29.2
鳥塚 一男	理科	昭21.7	関根 正司	事務主事	昭11.4	芳村 信太郎	社会	昭20.6
小高 勝次	音楽	昭23.4	芳賀 仁八	業務主事	昭26.10	戸口 武義	事務長	昭27.7
小島 鴻次	英語	昭21.6	河盛 鋭治	数学	昭21.9	小久江 満	数学	昭27.12
大護 八郎	社会	昭20.5	田口 千代子	養護	昭21.7	渡辺 正紀	校長	昭28.8
白井 正	美術	昭17.3	山口 利通	事務主事補	昭19.12	奥富 幸吉	事務主事	昭28.11
望月 良平	理科	昭21.1	松本 喜兵衛	體育	昭19.2	内藤 和子	教務助手	昭34.5
鈴木 豊和	書道	昭20.8	荒井 実	業務主事	昭24.8	鈴木(堀越)光子	事務助手	昭31.4
市川 正男	社会・音楽	昭17.4	田村 武男	校長	昭28.4	戸口 克怡	保体	昭29.4
松田 丑二	国語	昭19.8	佐々木 逸子	事務主事補	昭25.5	深見 浩晴	実習助手	昭29.5
原田 節二	社会	昭19.9	木島 平治郎	英語	昭24.4	木所(守屋)正代	事務主事補	昭30.5
梅沢 仙州	英語・社会	昭23.9	西川 喜四郎	英語	昭20.6	守屋 静子	数学主事補	昭35.4
島村 盛助	英語	昭22.1	飯野(岩上)昭	数学	昭27.9	山畑 文江	助手	昭35.5
日新 義虎	校長	昭22.7	日暮 耀子	事務助手	昭29.11	掛原 俊雄	数学	昭17.3
長谷川 弁治郎	事務主事	大14.9	田中 正雄	国語	昭14.3	大川 明治	理科・数学	昭23.5
島崎 幾雄	国語	昭19.3	石川 正男	體育	昭19.10	小川 禎三	国語	昭32.4
宮下 盛利	数学	昭23.4	秋山(島山)ふさ子	養護	昭21.2	高野 茂二	英語	昭34.4
澤原 正夫	社会	昭24.3	安部 良三	数学・理科	昭27.10	進藤 明子	事務主事補	昭36.4
梶田 英太郎	社会	昭24.3	笠原 嘉助	業務主事	昭14.10	佐藤 徳四郎	国語	昭20.7
柿沼 英雄	助手	昭24.4	野村尚良(闊)	社会	昭17.4	川野 栄一郎	保体	昭33.4
都筑 三郎	事務職員	昭25.2			昭33.3	内藤 五郎治	教頭	昭34.4
木村 冉	理科	昭19.5			昭27.10	関根 長三郎	事務長	昭35.4
坂田 今朝三	数学	昭17.9			昭21.2	山田 節	助手	昭37.2
末広 幸子	音楽	昭25.5			昭27.10	金子 修三	助手	昭37.4
北野 茂夫	理科	昭26.3			昭32.12	横田 稲吉	理科	昭26.12
山崎 隆司	助手	昭26.4			昭33.3			昭39.3

小高	小原	尾高	小寺	平	岡田	酒井	鈴木	奥田	神山	関根	唐木	佐野	那須	久郷	吉田	原田	小池	西川	田中(松本)	每熊	有山	池上	深谷	荒井	武内	原	長岡			
秀一	敏広	智子	博	正夫	幹雄	徹	勲二	和枝	保弘	正司	近一	博之	大輔	敏夫	金一	節二	克己	好明	明子	啓子	紀子	紀行	正雄	幸枝	久恵	多喜男	鉄次郎			
音楽	保体	教務助手	英語	英語	作業・実業	保健・農業・理科	社会	事務主事	図書館助手	事務長	数学	国語	理科	英語	教頭	社会	業務主事	校長	図書館助手	図書館助手	事務主事補	英語	事務主事	助手	数学	業務主事				
昭39・4	昭38・4	昭38・4	昭37・4	昭26・4	昭25・5	昭14・5	昭36・4	昭39・4	昭36・4	昭38・11	昭36・4	昭34・4	昭15・4	昭39・4	昭38・4	昭38・4	昭35・4	昭38・4	昭28・12	昭38・4	昭38・4	昭37・11	昭37・4	昭36・4	昭35・7	昭33・4	昭28・3			
昭42・3	昭42・3	昭42・3	昭42・3	昭42・3	昭42・3	昭42・3	昭41・12	昭41・11	昭41・5	昭41・3	昭41・3	昭41・3	昭41・3	昭40・3	昭40・3	昭40・3	昭40・3	昭40・3	昭39・11	昭39・3	昭39・3	昭39・3	昭39・3	昭39・3	昭39・3	昭39・3	昭39・3			
福岡	小川	松村	秋吉	岡田	金子	新井	豊島	山口	秋本	岡村	新井	平沼	松崎	石川	近藤	石倉	水村	水村	岡野	小久保	栗原	二階堂	小久保	小峯	中島	影山	瀬上	斎藤	梶田	明司
鶴吉	君代	好一	清雄	節夫	龍二	正夫	昇	利雄	ゆかり	マス	新井	全良	正明	鉄城	又五郎	幸枝	勝美	勝一郎	宗平	敏夫	紘一	昌行	勝己	俊朗	増夫	節夫	芳之	英太郎	弘夫	
校長	購買部事務員	理科	事務主任	社会	国語	実習助手	保体	実習助手	実習助手	図書館助手	教務助手	事務主事	国語	数学	業務主事	実習助手	図書館助手	教頭	校長	図書館助手	業務主事	図書館助手	事務主事	社会	数学	保体	図書館助手	社会	教頭	
昭44・4	昭44・4	昭38・4	昭35・4	昭32・4	昭38・4	昭45・4	昭37・4	昭44・4	昭44・2	昭41・12	昭39・12	昭38・4	昭30・4	昭24・3	昭28・11	昭43・5	昭43・4	昭42・4	昭40・4	昭40・1	昭39・6	昭39・5	昭34・9	昭32・6	昭42・4	昭41・4	昭40・4	昭42・4	昭40・4	
昭46・3	昭46・3	昭46・3	昭46・3	昭46・3	昭45・12	昭45・8	昭45・5	昭45・3	昭45・3	昭45・3	昭45・3	昭45・3	昭45・3	昭45・3	昭44・5	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭44・3	昭43・9	昭43・3	昭43・3	昭42・8	昭42・3	
足立	堀江	木村	荒井	角田	渡辺	松田	細田	平塚	山村	真田	牛久保	野沢	川島	井上	本多	富樫	梅澤	佐々木	梶野	手嶋	小林	石崎	那須	田畑	斎藤	牧野	大山	高遠	牧田	田中
有一	聡之助	恒雄	桂	英雄	進	光昭	宏一	美希男	良夫	英雄	弘明	純子	裕	好一	裕	嘉一	太郎	けい子	尚幸	敏恵	俊一	大輔	幸子	彰勇	統	乃婦	良子	好一	栄一	
図書館助手	国語	数学	社会	事務主任	社会	実習助手	教頭	実習助手	校長	国語	図書館助手	事務主事	教務助手	事務主事補	国語	理科	数学	社会	事務主事補	購買部事務員	実習助手	教頭	事務主事	国語	音楽	事務主事	事務主事補	国語	実習助手	
昭45・4	昭42・4	昭38・9	昭44・4	昭41・7	昭40・4	昭47・4	昭47・4	昭47・4	昭46・4	昭46・4	昭45・4	昭45・4	昭44・4	昭38・4	昭38・4	昭31・4	昭17・7	昭46・7	昭46・4	昭45・11	昭45・9	昭44・4	昭39・4	昭27・1	昭26・4	昭39・4	昭46・3	昭46・3	昭45・4	昭45・4
昭49・3	昭49・3	昭49・3	昭49・1	昭48・12	昭48・12	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭48・3	昭47・9	昭47・3	昭47・3	昭47・3	昭47・3	昭47・3	昭47・3	昭47・3	昭46・6	昭46・3	昭46・3	昭46・3	昭46・3

藤江	陽子	實習助手	昭48.4	昭49.3	小高	芳男	國語	昭47.4	昭54.3	関根	万理子	實習助手	昭53.4	昭57.3
愛川	敬武	理科	昭42.4	昭49.12	高橋	光江	教務助手	昭48.9	昭54.3	渡辺	耕造	保体	昭53.4	昭57.3
渡辺	圭一	国語	昭45.4	昭50.3	小室	忠良	校長	昭50.4	昭54.3	多田	庸子	数学	昭55.4	昭57.3
萩原	辰之助	校長	昭48.4	昭50.3	今井	茂夫	理科	昭53.11	昭54.3	森	文子	英語	昭55.4	昭57.3
小野寺トヨ子	實習助手		昭49.4	昭50.3	関根	洋	實習助手	昭53.12	昭55.1	清田	恵子	事務主事	昭56.10	昭57.9
松葉	孝夫	英語	昭34.4	昭51.3	野口	邦雄	英語	昭15.3	昭55.3	栗原	積	業務主任	昭44.5	昭58.3
松崎	中正	英語	昭38.4	昭51.3	横田	洋	国語	昭37.4	昭55.3	石井	正雄	数学	昭45.4	昭58.3
秋月	直胤	音楽	昭47.6	昭51.3	松村	敏男	保体	昭38.4	昭55.3	古塩	鴨井 登子	事務主事	昭47.4	昭58.3
澤原	正夫	教頭	昭48.4	昭51.3	森江	進	数学	昭38.4	昭55.3	佐藤	正三	事務主事	昭47.4	昭58.3
関根	賢二	事務主事	昭46.4	昭51.4	飯塚	寿一	数学	昭39.4	昭55.3	牧野	彰吾	理科	昭47.10	昭58.3
大久原	秀雄	英語	昭33.4	昭51.11	金井	昭夫	数学	昭41.4	昭55.3	加美	越生	社会	昭48.4	昭58.3
渋谷	紘	理科	昭38.4	昭52.3	黒井	恒男	理科	昭41.4	昭55.3	飯島	武司	校長	昭49.4	昭58.3
増田	寧	社会	昭39.4	昭52.3	萩原	秀雄	保体	昭41.4	昭55.3	武田	英雄	数学	昭57.4	昭58.3
大島	英昭	英語	昭40.4	昭52.3	宇波	彰	英語	昭42.4	昭55.3	小林	恵治	實習助手	昭57.10	昭58.3
黒澤	平太郎	英語	昭40.4	昭52.3	細田	信良	英語	昭42.4	昭55.3	大澤	則子	事務主事	昭58.8	昭58.12
野口	進	数学	昭37.4	昭52.11	安野	昇	社会	昭43.4	昭55.3	大熊	新作	業務主任	昭39.4	昭59.3
小室	英夫	教頭	昭51.4	昭52.11	岩猿	尚子	司書	昭53.4	昭55.3	齊藤	尚	数学	昭39.4	昭59.3
松本	利雄	保体	昭21.4	昭53.3	齊藤	邦夫	理科	昭39.4	昭56.3	柴生田	建司	保体	昭45.5	昭59.3
小谷野美津	養護		昭32.4	昭53.3	牛窪	勲	書道	昭43.4	昭56.3	森光	真幸	国語	昭46.4	昭59.3
松本	成二	国語	昭36.4	昭53.3	吉田	洋征	数学	昭43.10	昭56.3	小柳	伸一	国語	昭49.4	昭59.3
高木	宏	社会	昭40.4	昭53.3	富田	貞一	社会	昭46.4	昭56.3	小峯	昇	理科	昭50.4	昭59.3
藤井	廣司	事務長	昭41.5	昭53.3	佐々木	太郎	図書館主事	昭48.4	昭56.3	山田	正志	国語	昭50.4	昭59.3
高篠	政子	事務主事	昭49.4	昭53.3	笠間	寿一郎	事務長	昭53.4	昭56.3	小林	武	保体	昭53.4	昭59.3
堀越	俊男	数学	昭49.4	昭53.3	古塩	隆晴	事務主事	昭53.4	昭56.3	萩野	幸子	教務助手	昭54.4	昭59.3
萩原	照子	實習助手	昭50.4	昭53.3	佐野	美智子	養護	昭53.4	昭56.3	榎本	和代	實習助手	昭57.4	昭59.3
松崎	茂	事務主事	昭51.5	昭53.3	長島	一雄	事務主任	昭49.1	昭56.9	入江	高子	主事	昭59.4	昭59.5
紺野	雄三	理科	昭46.4	昭53.10	田中	照美	事務主事	昭56.6	昭56.9	難波	田中 和江	實習助手	昭58.4	昭59.9
田中	啓彦	国語	昭40.4	昭53.12	内田	一正	理科	昭26.12	昭57.3	秋月	景太	数学	昭59.4	昭59.12
中西	章	理科	昭35.4	昭54.3	宮根	七郎	保体	昭39.4	昭57.3	大澤	寛	美術	昭24.3	昭60.3
小島	芳寿	英語	昭39.4	昭54.3	金子	芙美子	事務主任	昭48.4	昭57.3	作山	好邦	国語	昭48.4	昭60.3
岡部	恭子	事務主任	昭43.4	昭54.3	柴崎	和郎	教頭	昭52.12	昭57.3					

飯塚	小室	牧	新井	岡部	本吉	北條	荒井	松本	塩崎	宮坂	松村	齋藤	小泉	遠藤	山下	榎本	岡崎	宮島	下出	齊木	田中	藤井	高岸	佐伯	横村	小室	石田	中川	内河		
利男	英夫	みゆき	利邦	覚治	一彦	久子	桂	博良	困夫	忠彦	秀	市三	功	真広	勝子	節子	智美	秀夫	一夫	孝一	賢一	郁	知子	勝	博雄	秀雄	弘夫	洌	輝臣		
数学	校長	業務主事	事務主事	英語	保体	実習助手	主事	教頭	主事	数学	数学	理科	保体	社会	実習助手	主事	主事	実習助手	校長	教頭	主事	事務長	社会	国語	英語	国語	数学	英語	社会	理科	
昭61.4	昭60.4	昭59.2	昭51.4	昭42.4	昭60.10	昭60.10	昭60.4	昭58.4	昭56.4	昭55.4	昭54.4	昭48.4	昭25.3	昭60.4	昭54.5	昭60.4	昭59.10	昭58.4	昭57.4	昭57.4	昭56.4	昭55.4	昭54.4	昭54.4	昭53.4	昭53.4	昭52.4	昭49.4	昭49.4		
昭62.3	昭62.3	昭62.3	昭62.3	昭62.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭61.3	昭60.9	昭60.9	昭60.7	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	昭60.3	
山岸	深澤	河野(中村)嘉子	齋藤	伊藤	丸山	福田	越立	井上	鈴木	山下	吉沢	内野	池之谷	松本	梅沢	松本	松崎	井龍	島山	田辺	鈴木	齋藤	江川	高松	高清水	松本	柏川	伊藤	小高	下山	
てる子	一博	嘉子	恭一	豊	哲夫	さち子	道典	賢司	和男	泰吉	優	智司	伸也	隆治	正寿	なか	中正	宏昌	俊	司	康三	貞夫	義夫	恵	康人	絹代	優	眞	秀一	隆	
社会	理科	数学	国語	英語	数学	主事	主事	保体	主事	事務室長	数学	社会	保体	国語	社会	業務主任	教頭	主事	国語	国語	英語	社会	理科	教頭	主事	主任	社会	理科	音楽	理科	
昭55.4	昭55.4	昭55.4	昭54.4	昭52.4	昭48.4	平元.4	平元.4	平元.4	昭61.4	昭60.4	昭58.4	昭56.4	昭55.4	昭53.4	昭53.4	昭38.5	昭63.4	昭61.4	昭60.4	昭60.4	昭57.4	昭48.4	昭62.4	昭61.4	昭60.4	昭56.4	昭52.4	昭52.4	昭51.4	昭61.4	
平3.3	平3.3	平3.3	平3.3	平3.3	平3.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平2.3	平元.3	平元.3	平元.3	平元.3	平元.3	平元.3	昭63.3	昭62.3	昭62.3							
野口	小此木	後藤	梶田	小谷野	加藤	齊藤	今榮	鈴木	牧野	小林	山崎	川田	細田	中島	松浦	関口	高橋	下村	中村	吉田	瀬野	藤本	馬場	青木	小峯	宮田	高篠	渋谷	野澤	吉澤	
多恵子	利樹	朝彦	隆	幸也	誠一	裕治	亮一	和彦	敦史	迪子	由里	万里子	宏	敦子	智	弘	守	延代	和幸	正	昭憲	幸喜	清	みどり	賢	明代	栄	健	啓之	義和	
主事	国語	社会	教頭	主事	主事	保体	保体	保体	英語	英語	主事	英語	数学	主任	理科	国語	理科	英語	数学	英語	英語	保体	社会	主事	教頭	主任	主任	校長	保体	書道	
平4.9	平4.4	平3.4	平3.4	平2.4	平2.4	昭61.4	昭59.4	昭57.4	昭55.4	昭55.4	平3.4	平2.4	昭59.4	昭57.4	昭56.4	昭55.4	昭54.4	昭54.4	昭53.4	昭52.4	昭51.4	平2.4	平2.4	平2.4	平元.4	昭63.4	昭63.4	昭62.4	昭57.4	昭56.4	
平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平5.3	平4.3	平4.3	平4.3	平4.3	平4.3	平3.3															

松元	祐美子	主事	平5.4	平5.11
林	俊夫	数学	昭58.4	平6.3
岩井	論	国語	昭59.4	平6.3
平野	杜子	国語	昭60.4	平6.3
清水	徳雄	数学	昭61.4	平6.3
滝本	信一	英語	昭61.4	平6.3
角田	英雄	事務室長	※平2.4	平6.3
鈴木	良栄	校長	平3.4	平6.3
田端	昭彦	理科	昭57.4	平7.3
上野	寿介	業務主事	昭58.4	平7.3
岡松	哲	理科	昭58.4	平7.3
小泉(小池潤子)		実習助手	昭59.4	平7.3
福田	公明	国語	昭59.4	平7.3
浦田	文夫	英語	昭60.4	平7.3
熊井	昌男	社会	昭60.4	平7.3
新井	國夫	主任	平4.4	平7.3
関根	智子	主事	平4.4	平7.3
萩原	恵子	司書	昭55.4	平8.3
山本	喜美子	養護	昭56.4	平8.3
青木	恭子	理科	昭59.4	平8.3
松村	道彦	保体	昭59.4	平8.3
芝崎	茂弥	数学	昭60.4	平8.3
内野	進	社会	昭63.4	平8.3
鈴木	和夫	保体	平元.4	平8.3
茂木	清子	業務主事	平2.4	平8.3
石川	富夫	教頭	平5.4	平8.3
伊勢	弘明	主任	平5.4	平8.3
坂本	義仁	事務室長	平6.4	平8.3
大澤	真由美	主事	平7.4	平8.3
宮古	正男	実習助手	昭48.4	平9.3
小澤	孝夫	理科	昭60.4	平9.3
小倉	毅	理科	昭61.4	平9.3
野口	孝	社会	昭61.4	平9.3
海老名	玄	国語	昭62.4	平9.3
岡田	明	数学	平元.4	平9.3
土肥	美和	英語	平2.4	平9.3
足立	さち子	主任	平5.4	平9.3
深谷	正雄	校長	※平6.4	平9.3
本木	宏恵	実習助手	平7.4	平9.3
鈴木	和恵	主事	平8.4	平9.6
篠崎	誠	保体	昭55.4	平10.3
吉田	尚司	社会	昭58.4	平10.3
栗原	進	国語	昭59.4	平10.3
福原	勇	社会	昭60.4	平10.3
三浦	良朗	数学	昭61.4	平10.3
加藤	光昭	英語	昭62.4	平10.3
長島(鳴崎)眞弓		主任	平3.4	平10.3
吉敷	茂	数学	平6.4	平10.3
新井	啓司	主事	平7.4	平10.3
大木	七太郎	事務室長	平8.4	平10.3
渡邊	亮	数学	平8.4	平10.3
石島	恵子	事務補助	平8.6	平10.3
萩原	きよみ	養護	平9.4	平10.3
矢谷	真二郎	英語	平9.4	平10.3
赤木	秀次	保体	平3.4	平10.8
浅井	一郎	音楽	昭63.4	平11.3
春日	敬行	社会	平元.4	平11.3
栗原	和彦	国語	平元.4	平11.3
小松	晴彦	国語	平元.4	平11.3
仲山	嘉史	社会	平元.4	平11.3
大塚	成子	国語	平6.4	平11.3
宮	敦子	家庭	平7.4	平11.3

館野	俊則	教頭	平8.4	平11.3
岩崎	裕	主任	平9.4	平11.3
大沢	幸夫	校長	平9.4	平11.3
桑島	えり	実習助手	平9.4	平11.3
田川	桂	養護	平10.4	平11.3
佐野	正	保体	平10.9	平11.3
小林	すぎ	養護	昭16.7	不明

歴代職員名簿について

(1) 常勤した全教職員を離・退任した年月の順に集録した。

非常勤講師、開設準備校関係者、学校医等は省か
せていただいた。

(2) 二回目の勤務の場合には※印を在任期間の上に付
した。

(3) 在職中に改姓、改名した場合は旧姓、旧名をカッ
コで付した。

歴代クラス担任一覧

明治 32 年度 (1899)	1 年		2 年												
	甲	佐藤藤助	理科 地理 図画	甲	古澤与総	英語									
	乙	水野澄治	国語												
明治 33 年度 (1900)	1 年		2 年		3 年										
	甲			甲			甲								
	乙			乙											
	丙			この年の資料無し											
明治 34 年度 (1901)	1 年		2 年		3 年		4 年								
	甲	澤木從義	英語	甲	関根作次郎	国語	甲	岡本 定	国語	甲	小幡弘基	英語			
	乙	村瀬米之助	社会	乙	菱形重之	英語	乙	水野澄次	国語						
	丙	飯田卯平	体育 音楽	丙											
明治 35 年度 (1902)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲	佐藤惟昇	国語	甲			甲	関根作次郎	国語	甲	岡本 定	国語	甲	小幡弘基	英語
	乙	村瀬米之助 (9/10迄) 菱形重之	社会 英語	乙			乙			乙					
	丙	竹井和平	数学	丙	澤木從義	英語	丙								
明治 36 年度 (1903)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲	秋田鍬之助	理科	甲	佐藤惟昇	国語	甲	和田弘基	英語	甲	芳賀景介	理科 数学	甲	岡本 定	国語
	乙	竹内鹿女太郎	書道	乙	菱形重之	英語	乙	佐藤惟昇	国語	乙			乙		
	丙	竹井和平	数学	丙	竹井和平	数学	丙			丙					
明治 37 年度 (1904)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲	松園郷美	音楽	甲	竹内鹿女太郎	国語 習字	甲	岡本 定	国語	甲	和田弘基	英語	甲	伊藤政市	英語
	乙	大平新藏	英語	乙	田中美之作	数学	乙	菱形重之	英語	乙	松崎求己	英語	乙	中尾隆徳	理科
	丙			丙			丙			丙			丙		
明治 38 年度 (1905)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲	星野文一郎	書道 国語	甲	竹内鹿女太郎	書道	甲	田中美之作	数学	甲	岡本 定	国語	甲	伊藤政市	英語
	乙	田中平太郎	英語	乙	伊丹鍬六	理科	乙	菱形重之	英語	乙	中島良太郎	理科	乙	和田弘基	英語
	丙			丙			丙			丙			丙		
(この間、明治39年～大正8年までは基礎資料が無く確認できず。)															
大正 9 年度 (1920)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲			甲			甲	岡田萬雄	社会	甲			甲		
	乙			乙			乙			乙			乙		
	丙			丙			丙			丙			丙		
大正 10 年度 (1921)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲	山田武夫	英語	甲			甲	久保堤多	美術	甲			甲		
	乙	金田福次	理科	乙			乙			乙			乙		
	丙	石川隆豊	英語	丙			丙			丙			丙		
大正 11 年度 (1922)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年						
	甲	金田福次	理科	甲	山田武夫	英語	甲	藤野嘉谷	理科	甲	松岡末吉	英語	甲	飯田 亮	国語
	乙	加瀬大助	国語	乙	岡田萬雄	社会	乙	高松鶴吉	英語	乙	高野泰四郎	数学	乙	草間國五郎	英語
	丙	橋本高次	理科	丙	西川廣宣	英語	丙	原富慶太郎	数学	丙	久保堤多	美術	丙	村本猶太郎	国語

大正 年度 (1923)	中 22	1 年			2 年			3 年			4 年			5 年		
		甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙	甲	乙	丙
大正 12 年度 (1923)	中 22	甲	岡田萬雄	社会	甲	長谷川貞平	数学	甲	藤野嘉谷	理科	甲	高松鶴吉	英語	甲	久保堤多	美術
		乙	西川廣宣	英語	乙	萩原貞一	理科	乙	佐藤保一	社会	乙	高野泰四郎	数学	乙	飯田 亮	国語
		丙	榎本弘三	数学	丙	松尾楸	英語	丙	石川隆豊	英語	丙	原富慶太郎	数学	丙	松岡末吉	英語
大正 13 年度 (1924)	中 23	甲	高野泰四郎	数学	甲	萩原貞一	理科	甲	石川隆豊	英語	甲	原山辰雄	理科	甲	久保堤多	美術
		乙	榎本弘三	数学	乙	長谷川誠一	国語	乙	村本猶太郎	国語	乙	岡田長蔵	数学	乙	松岡末吉	英語
		丙	加瀬大助	国語	丙	岡田萬雄	社会	丙	松尾楸	英語	丙	三浦勲之助	英語	丙	飯田 亮	国語
大正 14 年度 (1925)	中 24	甲	村本猶太郎	国語	甲	高野泰四郎	数学	甲	岡田萬雄	社会	甲	久保堤多	美術	甲	三浦勲之助	英語
		乙	下田保平	英語	乙	石川隆豊	英語	乙	長谷川貞平	数学	乙	平川大助	国語	乙	飯田 亮	国語
		丙	榎本弘三	数学	丙	萩原貞一	理科	丙	保泉海実	理科	丙	原山辰雄	理科	丙	岡田長蔵	数学
昭和 元年 年度 (1926)	中 25	甲	三浦勲之助	英語	甲	石川隆豊	英語	甲	石井麻吉	社会	甲	吉村勝敏	社会	甲	村本猶太郎	国語
		乙	坂戸公隆	国語	乙	吉永武助	国語	乙	久保堤多	美術	乙	原山辰雄	理科	乙	保泉海実	理科
		丙	平川大助	国語	丙	榎本弘三	数学	丙	下田保平	英語	丙	岡田萬雄	社会	丙	飯田 亮	国語
昭和 2 年度 (1927)	中 26	甲	吉永武助	国語	甲	加瀬大助	国語	甲	下田保平	英語	甲	久保堤多	美術	甲	岡田萬雄	社会
		乙	吉村勝敏	理科	乙	坂戸公隆	国語	乙	榎本弘三	数学	乙	長谷川貞平	数学	乙	飯田 亮	国語
		丙	川田幸二	英語	丙	忍田豊作	数学	丙	石井麻吉	社会	丙	梅澤仙洲	英語	丙	村本猶太郎	国語
昭和 3 年度 (1928)	中 27	甲	下田保平	英語	甲	吉永武助	国語	甲	梅澤仙洲	英語	甲	加瀬大助	国語	甲	飯田 亮	国語
		乙	桜井 静	社会	乙	川田幸二	英語	乙	石井麻吉	社会	乙	坂戸公隆	国語	乙	村本猶太郎	国語
		丙	小川栄吉	数学	丙	長谷川貞平	数学	丙	平野 久	英語	丙	保泉海実	理科	丙	久保堤多	美術
昭和 4 年度 (1929)	中 28	甲	桜井 静	社会	甲	梅澤仙洲	英語	甲	長谷川貞平	数学	甲	坂戸公隆	国語	甲	久保堤多	美術
		乙	小川栄吉	数学	乙	下田保平	英語	乙	吉永武助	国語	乙	橋本高次	理科	乙	飯田 亮	国語
		丙	浅野八郎	国語	丙	川田幸二	英語	丙	原山辰雄	理科	丙	保泉海実	理科	丙	村本猶太郎	国語
昭和 5 年度 (1930)	中 29	甲	坂戸公隆	国語	甲	下田保平	英語	甲	原山辰雄	理科	甲	長谷川貞平	数学	甲	飯田 亮	国語
		乙	吉永武助	国語	乙	小川栄吉	数学	乙	川田幸二	英語	乙	梅澤仙洲	英語	乙	村本猶太郎	国語
		丙	桜井 静	社会	丙	大橋重五郎	社会	丙	浅野八郎	国語	丙	保泉海実	理科	丙	久保堤多	美術
昭和 6 年度 (1931)	中 30	甲	桜井 静	社会	甲	松永逸郎	国語	甲	下田保平	英語	甲	橋本高次	理科	甲	村本猶太郎	国語
		乙	忍田豊作	数学	乙	長谷川貞平	数学	乙	浅野八郎	国語	乙	坂戸公隆	国語	乙	久保堤多	美術
		丙	川田幸二	英語	丙	平野 久	英語	丙	小川栄吉	数学	丙	原山辰雄	理科	丙	飯田 亮	国語
昭和 7 年度 (1932)	中 31	甲	下田保平	英語	甲	忍田豊作	数学	甲	平野久	英語	甲	川田幸二	英語	甲	久保堤多	美術
		乙	大橋重五郎	社会	乙	坂戸公隆	国語	乙	田中明雄	数学	乙	榎本弘三	数学	乙	飯田 亮	国語
		丙	小川栄吉	数学	丙	松永逸郎	国語	丙	浅野八郎	国語	丙	長谷川貞平	数学	丙	梅澤仙洲	英語
昭和 8 年度 (1933)	中 32	甲	春木逸朗	国語	甲	下田保平	英語	甲	忍田豊作	数学	甲	梅澤仙洲	英語	甲	飯田 亮	国語
		乙	浅野八郎	国語	乙	久保堤多	美術	乙	坂戸公隆	国語	乙	川田幸二	英語	乙	長谷川貞平	数学
		丙	平野 久	英語	丙	橋本高次	理科	丙	大橋重五郎	社会	丙	小川栄吉	数学	丙	田中明雄	数学
昭和 9 年度 (1934)	中 33	甲	葛宗 孟	数学	甲	前田 潔	体育	甲	下田保平	英語	甲	長谷川貞平	数学	甲	梅澤仙洲	英語
		乙	加藤 豊	美術	乙	浅野八郎	国語	乙	原山辰雄	理科	乙	坂戸公隆	国語	乙	川田幸二	英語
		丙	高橋一男	国語	丙	保泉海実	理科	丙	橋本高次	理科	丙	大橋重五郎	社会	丙	小川栄吉	数学
昭和 10 年度 (1935)	中 34	甲	平野 久	英語	甲	葛宗 孟	数学	甲	川田幸二	英語	甲	浅野光良	国語	甲	長谷川貞平	数学
		乙	坂戸公隆	国語	乙	加藤 豊	美術	乙	浅野八郎	国語	乙	原山辰雄	理科	乙	梅澤仙洲	英語
		丙	小川栄吉	数学	丙	高橋一男	国語	丙	保泉海実	理科	丙	橋本高次	理科	丙	大橋重五郎	社会
昭和 11 年度 (1936)	中 35	甲	梅澤仙洲	英語	甲	平野 久	英語	甲	葛宗 孟	数学	甲	浅野八郎	国語	甲	橋本高次	理科
		乙	長谷川貞平	数学	乙	上田外男	国語	乙	大原三八雄	英語	乙	保泉海実	理科	乙	浅野光良	国語
		丙	三上一雄	音楽	丙	小川栄吉	数学	丙	高橋一男	国語	丙	川田幸二	英語	丙	原山辰雄	理科
昭和 12 年度 (1937)	中 36	甲	原山辰雄	理科	甲	長谷川貞平	数学	甲	上田外男	国語	甲	葛宗 孟	数学	甲	浅野光良	国語
		乙	岩永 胖	国語	乙	藤田昇一郎	作業	乙	平野 久	英語	乙	梅澤仙洲	英語	乙	川田幸二	英語
		丙	高橋一男	国語	丙	三上一雄	音楽	丙	小川栄吉	数学	丙	大原三八雄	英語	丙	橋本高次	理科
昭和 13 年度 (1938)	中 37	甲	大原三八雄	英語	甲	原山辰雄	理科	甲	長谷川貞平	数学	甲	浅野光良	国語	甲	橋本高次	理科
		乙	川田幸二	英語	乙	岩永 胖	国語	乙	三上一雄	社会	乙	上田外男	国語	乙	葛宗 孟	数学
		丙	高田肇三	美術	丙	田代成人	社会	丙	藤田昇一郎	農業	丙	平野 久	英語	丙	梅澤仙洲	英語
昭和 14 年度 (1939)	中 38	甲	小川栄吉	数学	甲	大原三八雄	英語	甲	田中正雄	国語	甲	前田 潔	体育	甲	浅野光良	国語
		乙	中山 崇	国語	乙	川田幸二	英語	乙	原山辰雄	理科	乙	梅澤仙洲	英語	乙	上田外男	国語
		丙	三上一雄	作業	丙	関口文雄	美術	丙	岩永 胖	国語	丙	長谷川貞平	数学	丙	平野 久	英語

昭和 15 年度 (1940)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	甲	草薙武吉 社会	甲	小川栄吉 数学	甲	上田外男 国語	甲	前田 潔 体育	甲	浅野八郎 国語
	乙	細野 博 国語	乙	関口文雄 美術	乙	那須大輔 理科	乙	羽賀興七郎 数学	乙	平野 久 英語
	丙	野口邦雄 英語	丙	中山 崇 国語	丙	代永富美雄 社会	丙	原山辰雄 理科	丙	長谷川貞平 数学
	丁	鹿沼辰次郎 国語								
昭和 16 年度 (1941)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	1	吉田 融 英語	1	岡田幹雄 実業	1	坂西恒吉 体育	1	那須大輔 理科	1	前田 潔 体育
	2	土佐敬重 数学	2	牧野徹夫 英語	2	関口文雄 美術	2	代永富美雄 社会	2	原山辰雄 理科
	3	浅野八郎 国語	3	地井 博 英語	3	中山 崇 国語	3	草薙武吉 社会	3	平野 久 英語
	4	鹿沼辰次郎 国語	4	中嶋忠造 国語						
昭和 17 年度 (1942)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	1	掛原俊雄 数学	1	小川栄吉 数学	1	関口文雄 美術	1	小川広吉 教練	1	那須大輔 理科
	2	白井 正 美術	2	野村 闊 社会	2	横田忠輔 英語	2	山梨省吾 英語	2	坂西恒吉 体育
	3	市川正男 音楽	3	小川 武 社会	3	福島 昇 英語	3	鈴木睦雄 国語	3	佐々木太郎 社会
	4	地井 博 英語	4	岡田幹雄 農業	4	鹿沼辰次郎 国語				
昭和 18 年度 (1943)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	1	白井 正 美術	1	小川 武 社会	1	掛原俊雄 数学	1	坂田今朝三 数学	1	鈴木睦雄 国語
	2	板東正民 国語	2	久保田太郎 英語	2	坂西恒吉 体育	2	関口文雄 美術	2	那須大輔 理科
	3	野村 闊 社会	3	市川正男 音楽	3	地井 博 英語	3	福島 昇 英語	3	佐々木太郎 社会
	4	横田稲吉 理科	4	渡辺元二 国語	4	岡田幹雄 実業	4	鹿沼辰次郎 国語		
昭和 19 年度 (1944)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	1	関口文雄 美術	1	白井 正 美術	1	島崎幾雄 国語	1	掛原俊雄 数学	1	松田丑二 国語
	2	福島 昇 英語	2	佐々木信治 国語	2	小川栄吉 数学	2	佐々木太郎 社会	2	那須大輔 理科
	3	坂田今朝三 数学	3	長谷川貞平 数学	3	坂西恒吉 体育	3	横田忠輔 英語	3	那須大輔 理科
	4	岡田幹雄 実業	4	鈴木睦雄 国語	4	久保田太郎 英語				
昭和 20 44 年度 (1945)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	1	那須大輔 理科	1	仲 良雲 英語	1	市川正男 社会	1	島崎幾雄 国語	1	繰上げ卒業
	2	原田節二 地理	2	大護八郎 社会	2	佐々木信治 国語	2	木村 冉 理科	2	
	3	忍田豊作 数学	3	坂田今朝三 数学	3	長谷川貞平 数学	3	掛原俊雄 数学	3	
	4	石川正男 体育	4	岡田幹雄 実業	4	佐々木太郎 社会	4	白井正 美術	4	
	5	佐藤徳四郎 国語	5	芳村信太郎 社会	5	西川喜四郎 英語				
昭和 21 年度 (1946)	1 年		2 年		3 年		4 年		5 年	
	1	松田丑二 国語	1	那須大輔 理科	1	坂田今朝三 数学	1	長谷川貞平 数学	1	木村 冉 理科
	2	関根 光 数学	2	原田節二 社会	2	大護八郎 社会	2	佐々木信治 国語	2	島崎幾雄 国語
	3	鈴木豊和 書道	3	忍田豊作 数学	3	野口邦雄 英語	3	市川正男 社会	3	白井 正 美術
	4	横田忠輔 英語	4	石川正男 体育	4	岡田幹雄 実業	4	佐々木太郎 社会		
		5	佐藤徳四郎 国語	5	久保田太郎 英語	5	西川喜四郎 英語			
昭和 22 46 年度 (1947)			併設中学 2 年		併設中学 3 年		旧制中学 4 年		旧制中学 5 年	
			1	本橋信治 理科	1	那須大輔 理科	1	岡田幹雄 実業	1	小島鴻次 英語
			2	秋葉 光 数学	2	石川正男 体育	2	大護八郎 社会	2	佐々木太郎 社会
			3	田中正雄 国語	3	忍田豊作 数学	3	野口邦雄 英語	3	市川正男 社会
		4	横田稲吉 理科	4	原田節二 社会	4	山口利通 体育	4	佐々木信治 国語	
		5		5	佐藤徳四郎 国語	5	島塚一男 理科	5	西川喜四郎 英語	
昭和 23 47 年度 高 1 (1948)							併設中学 3 年 (第 9 学年)			
							A	那須大輔 理科		
							B	矢口 久 英語		
							C	田中正雄 国語		
							D	野口邦雄 英語		
		新制高校 1 年 (第 10 学年)		新制高校 2 年 (第 11 学年)		新制高校 3 年 (第 12 学年)				
		A	松田丑二 国語	A	小島鴻次 英語	A	佐々木信治 国語			
		B	佐藤徳四郎 国語	B	本橋信治 理科	B	西川喜四郎 英語			
		C	望月良平 理科	C	市川正男 社会					
		D	木村信寿 理科	D	島崎幾雄 国語					
		E	掛原俊雄 数学	E	佐々木太郎 社会					
昭和 24 48 年度 高 2 (1949)			新制高校 1 年 (第 10 学年)		新制高校 2 年 (第 11 学年)		新制高校 3 年 (第 12 学年)			
			A	田中正雄 国語	A	佐藤徳四郎 国語	A	本橋信治 理科		
			B	矢口 久 英語	B	那須大輔 理科	B	佐々木太郎 社会		
			C	木村信寿 理科	C	野村 闊 社会	C	大川明治 理科		
			D	忍田豊作 数学	D	掛原俊雄 数学	D	島崎幾雄 国語		
		E	岡田幹雄 実業	E	野口邦雄 英語	E	西川喜四郎 英語			
昭和 25 3 年度 (1950)			1 年		2 年		3 年			
			A	佐藤徳四郎 国語	A	那須大輔 理科	A	佐々木信治 国語		
			B	矢口 久 英語	B	野村 闊 社会	B	掛原俊雄 数学		
			C	石川正明 数学	C	大川明治 理科	C	木村 冉 理科		
			D	本橋信治 理科	D	田中正雄 国語	D	佐々木太郎 社会		
			E	芳村信太郎 社会	E	野口邦雄 英語	E	西川喜四郎 英語		
		F	岡田幹雄 実業	担	忍田豊作 数学	担	河盛鏡治 数学			

昭和 高4 26年度 (1951)	1年			2年			3年		
	A	佐々木信治	国語	A	平 正夫	英語	A	那須大輔	理科
	B	芳村信太郎	社会	B	佐藤徳四郎	国語	B	田中正雄	国語
	C	大沢 寛	美術	C	石川正明	数学	C	掛原俊雄	数学
	D	西川喜四郎	英語	D	大川明治	理科	D	横田稲吉	理科
	E	木村信寿	理科	E	小泉 功	社会	E	野口邦雄	英語
	F	仲 良雲	英語	F	岡田幹雄	実業	F	佐々木太郎	社会
昭和 高5 27年度 (1952)	1年			2年			3年		
	A	那須大輔	理科	A	佐々木信治	国語	A	平 正夫	英語
	B	田中正雄	国語	B	内田一正	理科	B	佐藤徳四郎	国語
	C	掛原俊雄	数学	C	仲 良雲	英語	C	大川明治	理科
	D	野口邦雄	英語	D	小泉 功	社会	D	佐々木太郎	社会
	E	芳村信太郎	社会	E	岡田幹雄	実業	E	野村 関	地理
	F	渋谷 健	社会	F	大沢 寛	美術	F	石川正明	数学
昭和 高6 28年度 (1953)	1年			2年			3年		
	A	平 正夫	英語	A	那須大輔	理科	A	佐々木信治	国語
	B	佐藤徳四郎	国語	B	田中正雄	国語	B	仲 良雲	英語
	C	芳村信太郎	社会	C	掛原俊雄	数学	C	小泉 功	社会
	D	内田一正	理科	D	野口邦雄	英語	D	岡田幹雄	実業
	E	安部良三	数学	E	渋谷 健	社会	E	岩上 昭	数学
	F	佐々木太郎	社会	F	斎藤彰勇	国語	F	大川明治	理科
昭和 高7 29年度 (1954)	1年			2年			3年		
	A	佐々木信治	国語	A	平 正夫	英語	A	那須大輔	理科
	B	近藤鉄城	国語	B	内田一正	理科	B	田中正雄	国語
	C	小泉 功	社会	C	佐藤徳四郎	国語	C	掛原俊雄	数学
	D	岡田幹雄	理科	D	芳村信太郎	社会	D	野口邦雄	英語
	E	大川明治	理科	E	小久江満	数学	E	渋谷 健	社会
	F	岩上 昭	数学	F	安部良三	数学	F	斎藤彰勇	国語
昭和 高8 30年度 (1955)	1年			2年			3年		
	A	那須大輔	理科	A	掛原俊雄	数学	A	佐藤徳四郎	国語
	B	田中正雄	国語	B	近藤鉄城	国語	B	内田一正	理科
	C	野口邦雄	英語	C	野村 関	社会	C	横田稲吉	理科
	D	大沢 寛	美術	D	大川明治	理科	D	芳村信太郎	社会
	E	渋谷 健	社会	E	小泉 功	社会	E	安部良三	数学
	F	斎藤彰勇	国語	F	飯野 昭	数学	F	小久江満	数学
昭和 高9 31年度 (1956)	1年			2年			3年		
	A	横田稲吉	理科	A	那須大輔	理科	A	掛原俊雄	数学
	B	小名木康佑	書道	B	大沢 寛	美術	B	近藤鉄城	国語
	C	安部良三	数学	C	田中正雄	国語	C	野村 関	社会
	D	小久江満	数学	D	野口邦雄	英語	D	大川明治	理科
	E	間庭 博	英語	E	斎藤彰勇	国語	E	仲 久	英語
	F	芳村信太郎	社会	F	渋谷 健	社会	F	小泉 功	社会
昭和 高10 32年度 (1957)	1年			2年			3年		
	A	平 正夫	英語	A	横田稲吉	理科	A	那須大輔	理科
	B	掛原俊雄	数学	B	芳村信太郎	社会	B	野口邦雄	英語
	C	内田一正	理科	C	佐藤徳四郎	国語	C	石川正明	数学
	D	仲 久	英語	D	小川禎三	国語	D	安部良三	数学
	E	梅澤嘉一	数学	E	間庭 博	英語	E	渋谷 健	社会
	F	大川明治	理科	F	小久江満	数学	F	斎藤彰勇	国語
昭和 高11 33年度 (1958)	1年			2年			3年		
	A	掛原俊雄	数学	A	平 正夫	英語	A	横田稲吉	理科
	B	野口邦雄	英語	B	内田一正	理科	B	芳村信太郎	社会
	C	石川正明	数学	C	大川明治	理科	C	佐藤徳四郎	国語
	D	大久原秀雄	英語	D	影山増夫	数学	D	小川禎三	国語
	E	斎藤彰勇	国語	E	小泉 功	社会	E	間庭 博	英語
	F	岡田 潔	社会	F	梅澤嘉一	数学	F	小久江満	数学
昭和 高12 34年度 (1959)	1年			2年			3年		
	A	小川禎三	国語	A	芳村信太郎	社会	A	平 正夫	英語
	B	小名木康佑	書道	B	野口邦雄	英語	B	内田一正	理科
	C	佐藤徳四郎	国語	C	岡田 潔	社会	C	影山増夫	数学
	D	原多喜男	数学	D	石川正明	数学	D	小泉 功	社会
	E	高野茂二	数学	E	大久原秀雄	英語	E	大川明治	理科
	F	小久江満	数学	F	斎藤彰勇	国語	F	梅澤嘉一	数学
昭和 高13 35年度 (1960)	1年			2年			3年		
	A	平 正夫	英語	A	小川禎三	国語	A	掛原俊雄	数学
	B	渋谷 健	社会	B	内田一正	理科	B	岡田 潔	社会
	C	中西 章	理科	C	佐藤徳四郎	国語	C	石川正明	数学
	D	影山増夫	数学	D	高野茂二	英語	D	大久原秀雄	英語
	E	梅澤嘉一	数学	E	原多喜男	数学	E	斎藤彰勇	国語
	F	佐野博之	国語	F	松葉孝夫	英語	F	野口邦雄	英語

昭和 高14 36年度 (1961)	1年			2年			3年		
	A	掛原俊雄	数学	A	平 正夫	英語	A	小川禎三	国語
	B	大久原秀雄	英語	B	影山増夫	数学	B	小名木康佑	書道
	C	石川正明	数学	C	佐野博之	国語	C	松葉孝夫	英語
	D	岡田 潔	社会	D	梅澤嘉一	数学	D	内田一正	理科
	E	齋藤彰勇	国語	E	渋谷 健	社会	E	高野茂二	英語
	F	中島俊朗	社会	F	中西 章	理科	F	原多喜男	数学
昭和 高15 37年度 (1962)	1年			2年			3年		
	A	野口邦雄	英語	A	佐々木太郎	社会	A	平 正夫	英語
	B	深谷正雄	英語	B	齋藤彰勇	国語	B	渋谷 健	社会
	C	松本成二	国語	C	中島俊朗	社会	C	佐野博之	国語
	D	唐木近一	数学	D	大久原秀雄	英語	D	影山増夫	数学
	E	酒井 徹	保体	E	岡田 潔	社会	E	梅澤嘉一	数学
	F	原多喜男	数学	F	野口 進	数学	F	中西 章	理科
	G	横田 洋	国語						
H	松葉孝夫	英語							
昭和 高16 38年度 (1963)	1年			2年			3年		
	A	平 正夫	英語	A	野口邦雄	英語	A	佐々木太郎	社会
	B	影山増夫	数学	B	松葉孝夫	英語	B	大久原秀雄	英語
	C	原田節二	社会	C	松本成二	国語	C	齋藤彰勇	国語
	D	佐野博之	国語	D	原多喜男	数学	D	岡田 潔	社会
	E	梅澤嘉一	数学	E	渋谷 健	社会	E	野口 進	数学
	F	森江 進	数学	F	深谷正雄	英語	F	中島俊朗	社会
	G	松崎中正	英語	G	横田 洋	国語			
	H	本多好一	国語	H	唐木近一	数学			
	I	小寺 博	英語						
J	富樫 裕	理科							
昭和 高17 39年度 (1964)	1年			2年			3年		
	A	大久原秀雄	英語	A	内田一正	理科	A	松葉孝夫	英語
	B	野口 進	数学	B	影山増夫	数学	B	中島俊朗	社会
	C	小島芳寿	英語	C	原田節二	社会	C	松本成二	国語
	D	小高秀一	音楽	D	梅澤嘉一	数学	D	大沢 寛	美術
	E	岡田 潔	社会	E	本多好一	国語	E	松村好一	理科
	F	齋藤 尚	数学	F	鈴木勲二	社会	F	木村恒雄	数学
	G	富樫 裕	理科	G	森江 進	数学	G	唐木近一	数学
	H	松崎全良	国語	H	松崎中正	英語	H	横田 洋	国語
	I	金子節夫	国語	I	佐野博之	国語			
J	渋谷 紘	理科	J	小寺 博	英語				
昭和 高18 40年度 (1965)	1年			2年			3年		
	A	齋藤彰勇	国語	A	大久原秀雄	英語	A	鈴木勲二	社会
	B	松葉孝夫	英語	B	野口 進	数学	B	佐野博之	国語
	C	松本成二	国語	C	小高秀一	音楽	C	松崎中正	英語
	D	木村恒雄	数学	D	齋藤邦夫	理科	D	本多好一	国語
	E	高木 宏	社会	E	岡田 潔	社会	E	小寺 博	英語
	F	黒澤平太郎	英語	F	小島芳寿	英語	F	中西 章	理科
	G	豊島正夫	保体	G	金子節夫	国語	G	内田一正	理科
	H	渋谷 紘	理科	H	松崎全良	国語	H	影山増夫	数学
	I	飯塚寿一	数学	I	齋藤 尚	数学	I	梅澤嘉一	数学
J	増田 寧	社会	J	富樫 裕	理科	J	森江 進	数学	
昭和 高19 41年度 (1966)	1年			2年			3年		
	A	梅澤嘉一	数学	A	齋藤彰勇	国語	A	大久原秀雄	英語
	B	鈴木勲二	社会	B	松葉孝夫	英語	B	岡田 潔	社会
	C	小寺 博	英語	C	松本成二	国語	C	小島芳寿	英語
	D	小高秀一	音楽	D	黒澤平太郎	英語	D	金子節夫	国語
	E	森江 進	数学	E	増田 寧	社会	E	松崎全良	国語
	F	渡辺 進	社会	F	木村恒雄	数学	F	野口 進	数学
	G	田中啓彦	国語	G	豊島正夫	保体	G	齋藤邦夫	理科
	H	横田 洋	国語	H	飯塚寿一	数学	H	富樫 裕	理科
	I	金井昭夫	数学	I	渋谷 紘	理科	I	中西 章	理科
J	大島英昭	英語	J	高木 宏	社会	J	齋藤 尚	数学	

昭和 高20 42年度 (1967)	1 年			2 年			3 年		
	A	岡田 潔	社会	A	森江 進	数学	A	斎藤彰勇	国語
	B	斎藤邦夫	理科	B	本多好一	国語	B	豊島正夫	保体
	C	斎藤 尚	数学	C	渡辺 進	社会	C	松葉孝夫	英語
	D	松崎中正	英語	D	横田 洋	国語	D	増田 寧	社会
	E	金子節夫	国語	E	田中啓彦	国語	E	松本成二	国語
	F	松崎全良	国語	F	中島俊朗	社会	F	黒澤平太郎	英語
	G	小島芳寿	英語	G	金井昭夫	数学	G	飯塚寿一	数学
	H	愛川敬武	理科	H	宇波 彰	英語	H	高木 宏	社会
	I	堀江聡之助	国語	I	黒井恒男	理科	I	木村恒雄	数学
			J	大島英昭	英語	J	渋谷 紘	理科	
昭和 高21 43年度 (1968)	1 年			2 年			3 年		
	A	斎藤彰勇	国語	A	岡田 潔	社会	A	本多好一	国語
	B	木村恒雄	数学	B	斎藤邦夫	理科	B	宇波 彰	英語
	C	黒澤平太郎	英語	C	金子節夫	国語	C	田中啓彦	国語
	D	富樫 裕	理科	D	斎藤 尚	数学	D	中島俊朗	社会
	E	松本成二	国語	E	堀江聡之助	国語	E	大島英昭	英語
	F	飯塚寿一	数学	F	松崎全良	国語	F	森江 進	数学
	G	細田信良	英語	G	松崎中正	英語	G	渡辺 進	社会
	H	高木 宏	社会	H	小島芳寿	英語	H	横田 洋	国語
	I	渋谷 紘	理科	I	愛川敬武	理科	I	愛川敬武	理科
			J	黒井恒男	理科	J	黒井恒男	理科	
昭和 高22 44年度 (1969)	1 年			2 年			3 年		
	A	中西 章	理科	A	細田信良	英語	A	岡田 潔	社会
	B	黒井恒男	理科	B	斎藤彰勇	国語	B	小島芳寿	英語
	C	本多好一	国語	C	森江 進	数学	C	安野 昇	社会
	D	増田 寧	社会	D	高木 宏	社会	D	松崎全良	国語
	E	宇波 彰	英語	E	富樫 裕	理科	E	愛川敬武	理科
	F	金井昭夫	数学	F	飯塚寿一	数学	F	斎藤 尚	数学
	G	田中啓彦	国語	G	黒澤平太郎	英語	G	斎藤邦夫	理科
	H	吉田洋征	数学	H	渋谷 紘	理科	H	松崎中正	英語
	I	大島英昭	英語	I	松本成二	国語	I	堀江聡之助	国語
昭和 高23 45年度 (1970)	1 年			2 年			3 年		
	A	渡辺 進	社会	A	増田 寧	社会	A	斎藤彰勇	国語
	B	斎藤邦夫	理科	B	吉田洋征	数学	B	細田信良	英語
	C	荒井 桂	社会	C	本多好一	国語	C	森江 進	数学
	D	斎藤 尚	数学	D	宇波彰	英語	D	黒澤平太郎	英語
	E	松崎中正	英語	E	黒井恒男	理科	E	富樫 裕	理科
	F	堀江聡之助	国語	F	田中啓彦	国語	F	飯塚寿一	数学
	G	小島芳寿	英語	G	大島英昭	英語	G	松本成二	国語
	H	石井正雄	数学	H	金井昭夫	数学	H	高木 宏	社会
	I	渡辺圭一	国語	I	中西章	理科	I	渋谷 紘	理科
昭和 高24 46年度 (1971)	1 年			2 年			3 年		
	A	木村恒雄	数学	A	斎藤邦夫	理科	A	田中啓彦	国語
	B	高木 宏	社会	B	斎藤 尚	数学	B	安野 昇	社会
	C	紺野雄三	理科	C	渡辺圭一	国語	C	増田 寧	社会
	D	松本成二	国語	D	松崎中正	英語	D	本多好一	国語
	E	黒澤平太郎	英語	E	渡辺 進	社会	E	中西 章	理科
	F	牛窪 勲	普通	F	小島芳寿	英語	F	黒井恒男	理科
	G	真田英雄	国語	G	荒井 桂	社会	G	金井昭夫	数学
	H	細田信良	英語	H	石井正雄	数学	H	吉田洋征	数学
	I	森江 進	数学	I	宮根七郎	保体	I	大島英昭	英語
昭和 高25 47年度 (1972)	1 年			2 年			3 年		
	A	富田貞一	社会	A	木村恒雄	数学	A	渡辺 進	社会
	B	森光真幸	国語	B	松本成二	国語	B	渡辺圭一	国語
	C	松葉孝夫	英語	C	紺野雄三	理科	C	荒井 桂	社会
	D	渋谷 紘	理科	D	高木 宏	社会	D	堀江聡之助	国語
	E	横田 洋	国語	E	黒澤平太郎	英語	E	宮根七郎	保体
	F	飯塚寿一	数学	F	牛窪 勲	普通	F	石井正雄	数学
	G	富樫 裕	理科	G	細田信良	英語	G	斎藤 尚	数学
	H	萩原秀雄	保体	H	真田英雄	国語	H	斎藤邦夫	理科
	I	田中啓彦	国語	I	柴生田建司	保体	I	小島芳寿	英語

昭和 高26 年度 (1973)	1 年			2 年			3 年		
	A	愛川敬武	理科	A	松葉孝夫	英語	A	紺野雄三	理科
	B	大島英昭	英語	B	金井昭夫	数学	B	牛窪 勲	書道
	C	宇波 彰	英語	C	横田 洋	国語	C	細田信良	英語
	D	岡部覚治	保体	D	萩原秀雄	保体	D	松本成二	国語
	E	吉田洋征	数学	E	森光真幸	国語	E	柴生田建司	保体
	F	小高芳雄	国語	F	飯塚寿一	数学	F	木村恒雄	数学
	G	黒井恒男	理科	G	田中啓彦	国語	G	森江 進	数学
	H	安野 昇	社会	H	松崎中正	英語	H	黒澤平太郎	英語
	I	増田 寧	社会	I	渋谷 紘	理科	I	高木 宏	社会
昭和 高27 年度 (1974)	1 年			2 年			3 年		
	A	斎藤貞夫	社会	A	斎藤 尚	数学	A	松葉孝夫	英語
	B	丸山哲夫	数学	B	宇波 彰	英語	B	横田 洋	国語
	C	松本成二	国語	C	大島英昭	英語	C	森光真幸	国語
	D	小島芳寿	英語	D	小泉 功	社会	D	萩原秀雄	保体
	E	黒澤平太郎	英語	E	野口 進	数学	E	富田貞一	社会
	F	石井正雄	数学	F	黒井恒男	理科	F	田中啓彦	国語
	G	松村敏男	保体	G	吉田洋征	数学	G	飯塚寿一	数学
	H	斎藤市三	保体	H	安野 昇	社会	H	金井昭夫	数学
	I	牧野彰吾	理科	I	小高芳雄	国語	I	松崎中正	英語
昭和 高28 年度 (1975)	1 年			2 年			3 年		
	A	作山好邦	国語	A	石井正雄	数学	A	増田 寧	社会
	B	堀越俊男	数学	B	斎藤貞夫	社会	B	小高芳雄	国語
	C	内河輝臣	理科	C	斎藤市三	保体	C	宮根七郎	保体
	D	牛窪 勲	書道	D	小島芳寿	英語	D	大島英昭	英語
	E	細田信良	英語	E	松本成二	国語	E	宇波 彰	英語
	F	加美越生	社会	F	牧野彰吾	理科	F	黒井恒男	理科
	G	中川 洌	社会	G	丸山哲夫	数学	G	吉田洋征	数学
	H	渋谷 紘	理科	H	松村敏男	保体	H	斎藤 尚	数学
	I	小柳伸一	国語	I	黒澤平太郎	英語	I	安野 昇	社会
昭和 高29 年度 (1976)	1 年			2 年			3 年		
	A	横田 洋	国語	A	作山好邦	国語	A	松本成二	国語
	B	金井昭夫	数学	B	小柳伸一	国語	B	斎藤市三	保体
	C	小峯 昇	理科	C	中川 洌	社会	C	松村敏男	保体
	D	宮根七郎	保体	D	加美越生	社会	D	小島芳寿	英語
	E	山田正志	国語	E	渋谷 紘	理科	E	丸山哲夫	数学
	F	森光真幸	国語	F	堀越俊男	数学	F	石井正雄	数学
	G	飯塚寿一	数学	G	牛窪 勲	書道	G	黒澤平太郎	英語
	H	萩原秀雄	保体	H	内河輝臣	理科	H	斎藤貞夫	社会
	I	新井利邦	英語	I	細田信良	英語	I	牧野彰吾	理科
昭和 高30 年度 (1977)	1 年			2 年			3 年		
	A	松本成二	国語	A	横田 洋	国語	A	小柳伸一	国語
	B	柴生田建司	保体	B	新井利邦	英語	B	中川 洌	社会
	C	小高秀一	音楽	C	飯塚寿一	数学	C	加美越生	社会
	D	小高芳男	国語	D	宮根七郎	保体	D	牛窪 勲	書道
	E	柏川 優	社会	E	小峯 昇	理科	E	細田信良	英語
	F	黒井恒男	理科	F	萩原秀雄	保体	F	作山好邦	国語
	G	宇波 彰	英語	G	瀬野昭憲	英語	G	内河輝臣	理科
	H	安野 昇	社会	H	山田正志	国語	H	中西 章	理科
	I	吉田 正	英語	I	金井昭夫	数学	I	堀越俊男	数学
昭和 高31 年度 (1978)	1 年			2 年			3 年		
	A	田中啓彦	国語	A	吉田洋征	数学	A	横田 洋	国語
	B	斎藤 尚	数学	B	小高秀一	音楽	B	新井利邦	英語
	C	伊藤 豊	英語	C	小高芳男	国語	C	山田正志	国語
	D	松村敏男	保体	D	柏川 優	社会	D	宮根七郎	保体
	E	斎藤邦夫	理科	E	黒井恒男	理科	E	瀬野昭憲	英語
	F	丸山哲夫	数学	F	吉田 正	英語	F	小峯 昇	理科
	G	小島芳寿	英語	G	柴生田建司	保体	G	飯塚寿一	数学
	H	牧野彰吾	理科	H	安野 昇	社会	H	金井昭夫	数学
	I	渡辺耕造	保体	I	松本隆治	国語	I	森光真幸	国語
J	伊藤 眞	理科							

昭和 高32 54年度 (1979)	1年			2年			3年		
	A	斎藤市三	保体	A	伊藤 豊	英語	A	小高秀一	音楽
	B	梅沢正寿	社会	B	松村敏男	保体	B	松本隆治	国語
	C	加美越生	社会	C	斎藤貞夫	社会	C	宇波 彰	英語
	D	作山好邦	国語	D	渡辺耕造	保体	D	粕川 優	社会
	E	横村博雄	国語	E	丸山哲夫	数学	E	吉田 正	英語
	F	小室秀雄	数学	F	斎藤恭一	国語	F	内河輝臣	理科
	G	細田信良	英語	G	牧野彰吾	理科	G	吉田洋征	数学
	H	小林 武	保体	H	中村和幸	数学	H	黒井恒男	理科
	I	牛窪 勲	書道	I	伊藤 眞	理科	I	安野 昇	社会
J	中川 洌	社会	J	佐伯 勝	英語				
昭和 高33 55年度 (1980)	1年			2年			3年		
	A	森光真幸	国語	A	加美越生	社会	A	斎藤恭一	国語
	B	瀬野昭憲	英語	B	小林 武	保体	B	伊藤 豊	英語
	C	高岸知子	国語	C	梅沢正寿	社会	C	渡辺耕造	保体
	D	高橋 守	理科	D	作山好邦	国語	D	佐伯 勝	英語
	E	下村延代	英語	E	牛窪 勲	書道	E	伊藤 眞	理科
	F	山田正志	国語	F	中川 洌	社会	F	斎藤貞夫	社会
	G	藤井 郁	社会	G	横村博雄	国語	G	斎藤 尚	数学
	H	新井利邦	英語	H	松村 秀	理科	H	丸山哲夫	数学
	I	小峯 昇	理科	I	小室秀雄	数学	I	中村和幸	数学
J	宮根七郎	保体	J	斎藤市三	保体	J	牧野彰吾	理科	
昭和 高34 56年度 (1981)	1年			2年			3年		
	A	柴生田建司	保体	A	藤井 郁	社会	A	小林 武	保体
	B	山岸てる子	社会	B	下村延代	英語	B	作山好邦	国語
	C	小高秀一	音楽	C	瀬野昭憲	英語	C	横村博雄	国語
	D	牧野敦史	英語	D	山田正志	国語	D	中川 洌	社会
	E	小林迪子	英語	E	小峯 昇	理科	E	森 文子	英語
	F	吉田 正	英語	F	多田庸子	数学	F	小室秀雄	数学
	G	松本隆治	国語	G	高岸知子	国語	G	松村 秀	理科
	H	池之谷伸也	保体	H	高橋 守	理科	H	大沢 寛	美術
	I	深澤一博	理科	I	宮根七郎	保体	I	梅沢正寿	社会
J	中村嘉子	数学	J	新井利邦	英語	J	斎藤市三	保体	
昭和 高35 57年度 (1982)	1年			2年			3年		
	A	斎藤貞夫	社会	A	小林迪子	英語	A	新井利邦	英語
	B	斎藤恭一	国語	B	吉田 正	英語	B	瀬野昭憲	英語
	C	鈴木康三	英語	C	柴生田建司	保体	C	高岸知子	国語
	D	伊藤 眞	理科	D	山岸てる子	社会	D	藤井 郁	社会
	E	丸山哲夫	数学	E	松浦 智	理科	E	内野智司	社会
	F	中村和幸	数学	F	深澤一博	理科	F	山田正志	国語
	G	佐伯 勝	英語	G	粕川 優	社会	G	下村延代	英語
	H	松本隆治	国語	H	河野嘉子	数学	H	小峯 昇	理科
	I	加美越生	社会	I	池之谷伸也	保体	I	斎藤 尚	数学
J	牧野彰吾	理科	J	牧野敦史	英語	J	高橋 守	理科	
昭和 高36 58年度 (1983)	1年			2年			3年		
	A	中川 洌	社会	A	斎藤貞夫	社会	A	粕川 優	社会
	B	小林 武	保体	B	斎藤恭一	国語	B	吉田 正	英語
	C	横村博雄	国語	C	中村和幸	数学	C	池之谷伸也	保体
	D	田端昭彦	理科	D	伊藤 眞	理科	D	山岸てる子	社会
	E	鈴木和彦	保体	E	吉田尚司	社会	E	小林迪子	英語
	F	小室秀雄	数学	F	丸山哲夫	数学	F	河野嘉子	数学
	G	松村 秀	理科	G	佐伯 勝	英語	G	松浦 智	理科
	H	吉沢 優	数学	H	鈴木康三	英語	H	牧野敦史	英語
	I	小柳伸一	国語	I	松本隆治	国語	I	深澤一博	理科
J	吉沢義和	書道	J	野澤啓之	保体	J	柴生田建司	保体	
昭和 高37 59年度 (1984)	1年			2年			3年		
	A	瀬野昭憲	英語	A	中川 洌	社会	A	斎藤貞夫	社会
	B	岡松 哲	理科	B	内河輝臣	理科	B	斎藤恭一	国語
	C	松村道彦	保体	C	小室秀雄	数学	C	伊藤 眞	理科
	D	吉田尚司	社会	D	田端昭彦	理科	D	鈴木康三	英語
	E	岩井 諭	国語	E	鈴木和彦	保体	E	大澤 寛	美術
	F	新井利邦	英語	F	吉沢義和	書道	F	丸山哲夫	数学
	G	林 俊夫	数学	G	松村 秀	理科	G	中村和幸	数学
	H	藤井 郁	社会	H	横村博雄	国語	H	野澤啓之	保体
	I	細田 宏	数学	I	斎藤市三	保体	I	佐伯 勝	英語
J	篠崎 誠	保体	J	吉沢 優	数学	J	作山好邦	国語	

昭和 高 60 年度 (1985)	1 年			2 年			3 年		
	A	吉田 正	英語	A	熊井昌男	社会	A	吉沢義和	書道
	B	栗原 進	国語	B	岡松 哲	理科	B	野澤啓之	保体
	C	小林迪子	英語	C	岩井 諭	国語	C	田端昭彦	理科
	D	柏川 優	社会	D	若木 恭子	理科	D	福田公明	国語
	E	小高秀一	音楽	E	松村道彦	保体	E	鈴木和彦	保体
	F	山岸てる子	社会	F	新井利邦	英語	F	松村 秀	理科
	G	深澤一博	理科	G	林 俊夫	数学	G	下村延代	英語
	H	松浦 智	理科	H	瀬野昭憲	英語	H	吉沢 優	数学
	I	池之谷伸也	保体	I	細田 宏	数学	I	齋藤市三	保体
J	牧野敦史	英語	J	篠崎 誠	保体	J	高橋 守	理科	
昭和 高 61 年度 (1986)	1 年			2 年			3 年		
	A	小倉 毅	理科	A	今栄亮一	保体	A	田辺 司	国語
	B	福原 勇	社会	B	栗原 進	国語	B	岩井 諭	国語
	C	芝崎茂弥	数学	C	柏川 優	社会	C	松村道彦	保体
	D	小澤孝夫	理科	D	牧野敦史	英語	D	熊井昌男	社会
	E	浦田文夫	英語	E	深澤一博	理科	E	瀬野昭憲	英語
	F	丸山哲夫	数学	F	池之谷伸也	保体	F	新井利邦	英語
	G	畠山 俊	国語	G	松浦 智	理科	G	細田 宏	数学
	H	齋藤恭一	国語	H	山岸てる子	社会	H	林 俊夫	数学
	I	齋藤裕治	保体	I	小林迪子	英語	I	岡松 哲	理科
J	中村和幸	数学	J	平野杜子	国語	J	若木恭子	理科	
昭和 高 62 年度 (1987)	1 年			2 年			3 年		
	A	田辺 司	国語	A	中村和幸	数学	A	柏川 優	社会
	B	野口 孝	社会	B	福原 勇	社会	B	小林迪子	英語
	C	三浦良朗	数学	C	浦田文夫	英語	C	牧野敦史	英語
	D	福田公明	国語	D	芝崎茂弥	数学	D	池之谷伸也	保体
	E	野沢啓之	保体	E	齋藤裕治	保体	E	山岸てる子	社会
	F	岡松 哲	理科	F	畠山 俊	国語	F	松浦 智	理科
	G	細田 宏	数学	G	齋藤恭一	国語	G	今栄亮一	保体
	H	滝本信一	英語	H	小澤孝夫	理科	H	清水徳雄	数学
	I	吉沢 優	数学	I	下村延代	英語	I	深澤一博	理科
	J	田端昭彦	理科	J	小倉 毅	理科	J	平野杜子	国語
K	鈴木和彦	保体							
昭和 高 63 年度 (1988)	1 年			2 年			3 年		
	A	瀬野昭憲	英語	A	田端昭彦	理科	A	齋藤恭一	国語
	B	松村道彦	保体	B	野口 孝	社会	B	齋藤裕治	保体
	C	熊井昌男	社会	C	吉沢 優	数学	C	浦田文夫	英語
	D	加藤光昭	英語	D	岡松 哲	理科	D	畠山 俊	国語
	E	下村延代	英語	E	野沢啓之	保体	E	福原 勇	社会
	F	根岸和弘	美術	F	福田公明	国語	F	小澤孝夫	理科
	G	林 俊夫	数学	G	三浦良朗	数学	G	芝崎茂弥	数学
	H	岩井 諭	国語	H	田辺 司	国語	H	松本隆治	国語
	I	高橋 守	理科	I	滝本信一	英語	I	中村和幸	数学
	J	海老名 玄	国語	J	若木恭子	理科	J	小倉 毅	理科
K	清水徳雄	数学	K	鈴木和彦	保体				
平成 高 42 年度 (1989)	1 年			2 年			3 年		
	A	浅井一郎	音楽	A	下村延代	英語	A	岡松 哲	理科
	B	池之谷伸也	保体	B	内野 進	社会	B	鈴木和彦	保体
	C	西川正己	理科	C	根岸和弘	美術	C	福田公明	国語
	D	牧野敦史	英語	D	河野嘉子	数学	D	滝本信一	英語
	E	小林迪子	英語	E	岩井 諭	国語	E	野沢啓之	保体
	F	深澤一博	理科	F	松村道彦	保体	F	野口 孝	社会
	G	今栄亮一	保体	G	林 俊夫	数学	G	三浦良朗	数学
	H	平野杜子	国語	H	高橋 守	理科	H	吉沢 優	数学
	I	中根章介	数学	I	加藤光昭	英語	I	若木恭子	理科
	J	山岸てる子	社会	J	海老名 玄	国語	J	田端昭彦	理科
K	栗原 進	国語	K	瀬野昭憲	英語	K	細田 宏	数学	
平成 高 43 年度 (1990)	1 年			2 年			3 年		
	A	浦田文夫	英語	A	浅井一郎	芸術	A	瀬野昭憲	英語
	B	春日敬行	社会	B	小林迪子	英語	B	根岸和弘	芸術
	C	小澤孝夫	理科	C	深澤一博	理科	C	加藤光昭	英語
	D	中村和幸	数学	D	齋藤裕治	保体	D	岩井 諭	国語
	E	齋藤恭一	国語	E	中根章介	数学	E	内野 進	社会
	F	土肥美和	英語	F	仲山嘉史	社会	F	海老名 玄	国語
	G	福原 勇	社会	G	山岸てる子	社会	G	林 俊夫	数学
	H	栗原和彦	国語	H	平野杜子	国語	H	清水徳雄	数学
	I	小倉 毅	理科	I	西川正己	理科	I	松村道彦	保体
	J	芝崎茂弥	数学	J	今栄亮一	保体	J	河野嘉子	数学
K	小松晴彦	国語	K	岡田 明	数学	K	高橋 守	理科	

平成3年度 高44 (1991)	1年			2年			3年		
	A	野口 孝	社会	A	村井恒夫	保体	A	西川正己	理科
	B	丹羽俊治	社会	B	福原 勇	社会	B	牧野敦史	英語
	C	細田 宏	数学	C	春日敬行	社会	C	小林迪子	英語
	D	福内登茂榮	国語	D	中村和幸	数学	D	仲山嘉史	社会
	E	鈴木和彦	保体	E	土肥美和	英語	E	斉藤裕治	保体
	F	石井啓之	数学	F	小澤孝夫	理科	F	浅井一郎	音楽
	G	赤木秀次	保体	G	芝崎茂弥	数学	G	松浦 智	理科
	H	三浦良朗	数学	H	栗原和彦	国語	H	平野杜子	国語
	I	福田公明	国語	I	小倉 毅	理科	I	中根章介	数学
	J	青木恭子	理科	J	小松晴彦	国語	J	今栄亮一	保体
			K	浦田文夫	英語	K	岡田 明	数学	
平成4年度 高45 (1992)	1年			2年			3年		
	A	松村道彦	保体	A	福内登茂榮	国語	A	村井恒夫	保体
	B	加藤光昭	英語	B	赤木秀次	保体	B	大館義広	国語
	C	海老名 玄	国語	C	石井啓之	数学	C	春日敬行	社会
	D	中村 潔	理科	D	野口 孝	社会	D	遠藤一郎	背道
	E	内野 進	社会	E	青木恭子	理科	E	土肥美和	英語
	F	林 俊夫	数学	F	丹羽俊治	社会	F	福原 勇	社会
	G	滝本信一	英語	G	岩井 諭	国語	G	小松晴彦	国語
	H	福本 彰	理科	H	三浦良朗	数学	H	浦田文夫	英語
	I	渋谷忠司	数学	I	根岸 登	英語	I	芝崎茂弥	数学
	J	田端昭彦	理科	J	鈴木和彦	保体	J	小澤孝夫	理科
						K	小倉 毅	理科	
平成5年度 高46 (1993)	1年			2年			3年		
	A	浅井一郎	音楽	A	内野 進	社会	A	野口 孝	社会
	B	西見 正	数学	B	田端昭彦	理科	B	福内登茂榮	国語
	C	森田智裕	体育	C	渋谷忠司	数学	C	岩井 諭	国語
	D	高橋克己	英語	D	中村 潔	理科	D	丹羽俊治	社会
	E	五十公野順	社会	E	山根恵子	英語	E	赤木秀次	保体
	F	中里秀子	英語	F	福本 彰	理科	F	福田公明	国語
	G	吉原武夫	理科	G	滝本信一	英語	G	三浦良朗	数学
	H	西川正己	理科	H	林 俊夫	数学	H	根岸 登	英語
	I	二本松敬太	保体	I	松村道彦	保体	I	石井啓之	数学
	J	岡田 明	数学	J	加藤光昭	英語	J	青木恭子	理科
平成6年度 高47 (1994)	1年			2年			3年		
	A	柳沢民雄	英語	A	浅井一郎	音楽	A	海老名 玄	国語
	B	石塚稔成	数学	B	西見 正	数学	B	福原 勇	社会
	C	西野 博	数学	C	森田智裕	体育	C	中村 潔	理科
	D	横田雅之	保体	D	高橋克己	英語	D	浦田文夫	英語
	E	春日敬行	社会	E	五十公野順一	社会	E	松村道彦	保体
	F	小松晴彦	国語	F	中里秀子	英語	F	渋谷忠司	数学
	G	小澤孝夫	理科	G	吉原武夫	理科	G	加藤光昭	英語
	H	大館義広	国語	H	土肥美和	英語	H	福本 彰	理科
	I	芝崎茂弥	数学	I	二本松敬太	保体	I	山根恵子	英語
	J	遠藤一郎	背道	J	岡田 明	数学	J	内野 進	社会
平成7年度 高48 (1995)	1年			2年			3年		
	A	内田正俊	国語	A	西野 博	数学	A	浅井一郎	音楽
	B	丹羽俊治	社会	B	小倉 毅	理科	B	二本松敬太	保体
	C	谷本幸隆	国語	C	芝崎茂弥	数学	C	森田智裕	体育
	D	花井 敦	英語	D	柳沢民雄	英語	D	高橋克己	英語
	E	高橋泰綱	数学	E	春日敬行	社会	E	五十公野順一	社会
	F	石井啓之	数学	F	石塚稔成	数学	F	中里秀子	英語
	G	赤木秀次	保体	G	小澤孝夫	理科	G	西見 正	数学
	H	野口 孝	社会	H	小松晴彦	国語	H	土肥美和	英語
	I	大塚成子	国語	I	大館義広	国語	I	吉原武夫	理科
	J	三浦良朗	数学	J	横田雅之	保体	J	岡田 明	数学
K	福内登茂榮	国語							
平成8年度 高49 (1996)	1年			2年			3年		
	A	山根恵子	英語	A	花井 敦	英語	A	春日敬行	社会
	B	福島佳克	社会	B	丹羽俊治	社会	B	小松晴彦	国語
	C	谷本幸隆	国語	C	中村 潔	理科	C	宮 敦子	家庭
	D	関根俊彦	社会	D	大塚成子	国語	D	大館義広	国語
	E	福本 彰	理科	E	野口孝	社会	E	高橋克己	英語
	F	加藤光昭	英語	F	石井啓之	数学	F	小澤孝夫	理科
	G	渋谷忠司	数学	G	赤木秀次	保体	G	石塚稔成	数学
	H	畑中一郎	理科	H	高橋泰綱	数学	H	柳沢民雄	英語
	I	佐藤茂夫	理科	I	内田正俊	国語	I	横田雅之	保体
	J	杉崎一彦	英語	J	三浦良朗	数学	J	西野 博	数学
			K	福内登茂榮	国語				

平成 高50 9年度 (1997)	1年			2年			3年		
	A	森田智裕	保体	A	谷本幸隆	国語	A	花井 敦	英語
	B	西見 正	数学	B	佐藤茂夫	理科	B	福原 勇	社会
	C	小松晴彦	国語	C	杉崎一彦	英語	C	丹羽俊治	社会
	D	宮 敦子	家庭	D	渋谷忠司	数学	D	中村 潔	理科
	E	渡辺 亮	数学	E	諸田純一	保体	E	福内登茂榮	国語
	F	二本松敬太	保体	F	関根俊彦	社会	F	石井啓之	数学
	G	佐藤健二	理科	G	畑中一郎	理科	G	三浦良朗	数学
	H	五十公野順一	社会	H	福島佳克	社会	H	大塚成子	国語
	I	吉原武夫	理科	I	山梶恵子	英語	I	赤木秀次	保体
J	中里秀子	英語	J	福本 彰	理科	J	内田正俊	国語	
						K	高橋泰綱	数学	
平成 高51 10年度 (1998)	1年			2年			3年		
	A	佐賀 博	理科	A	佐藤健二	理科	A	谷本幸隆	国語
	B	西野 博	数学	B	吉原武夫	理科	B	畑中一郎	理科
	C	横田雅之	保体	C	新堀 聡	数学	C	山梶恵子	英語
	D	高橋克己	英語	D	二本松敬太	保体	D	福島佳克	社会
	E	米山隆夫	国語	E	中里秀子	英語	E	諸田純一	保体
	F	飯塚利男	数学	F	宮 敦子	家庭	F	石井啓之	数学
	G	岩崎 淳	社会	G	森田智裕	保体	G	福本 彰	理科
	H	阿部 宏	理科	H	福内登茂榮	国語	H	佐藤茂夫	理科
	I	石塚稔成	数学	I	西見 正	数学	I	関根俊彦	社会
J	遠藤静枝	家庭	J	五十公野順一	社会	J	杉崎一彦	英語	
平成 高52 11年度 (1999)	1年			2年			3年		
	A	内田正俊	国語	A	米山隆夫	国語	A	五十公野順一	社会
	B	関根 修	数学	B	飯塚利男	数学	B	森田智裕	保体
	C	室田栄治	社会	C	阿部 宏	理科	C	丹羽俊治	社会
	D	花井 敦	英語	D	横田雅之	保体	D	荻野辰雄	英語
	E	高橋泰綱	数学	E	遠藤静枝	家庭	E	福内登茂榮	国語
	F	中村 潔	理科	F	佐賀 博	理科	F	二本松敬太	保体
	G	比留間康夫	数学	G	高橋克己	英語	G	西見 正	数学
	H	斎藤和弘	英語	H	岩崎 淳	社会	H	佐藤健二	理科
	I	斎藤 実	数学	I	石塚稔成	数学	I	新堀 聡	数学
J	志藤修司	社会	J	西野 博	数学	J	西川正己	理科	

歴代クラス担任一覧作成について

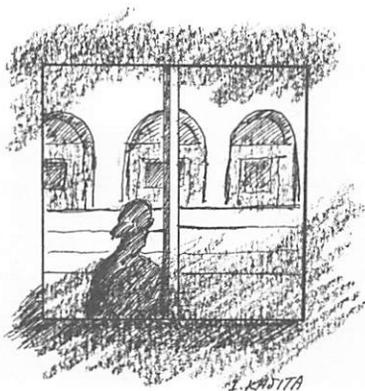
・1900(明治33)年、及び1906(明治39)年～1919(大正8)年までは基礎資料が無く確認できなかった。1920(大正9)年から1952(昭和27)年度については履歴カードなどを利用して担任名を推定した。しかし年度途中で担任が代わっていたりして不明な部分を残している。

クラス名称については、1940(昭和15)年度までは甲・乙・丙を、1941(昭和16)年からは算用数字を、1948(昭和23)年度からはアルファベットのクラス表示を採用している。

1947(昭和22)年・1948(同23)年の旧制から新制への移行の仕方もこの一覧表から読み取ることができる。

なお、1943(昭和28)年度以降の担任名は学校要覧を参照した。戦後の川越高校の学級数の変遷も分かり興味深い。

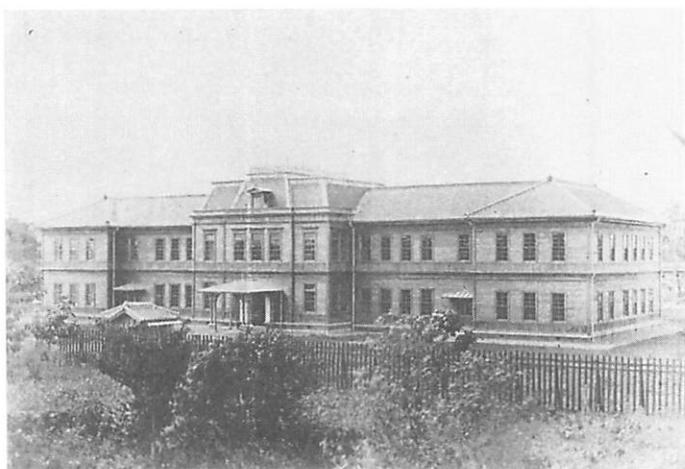
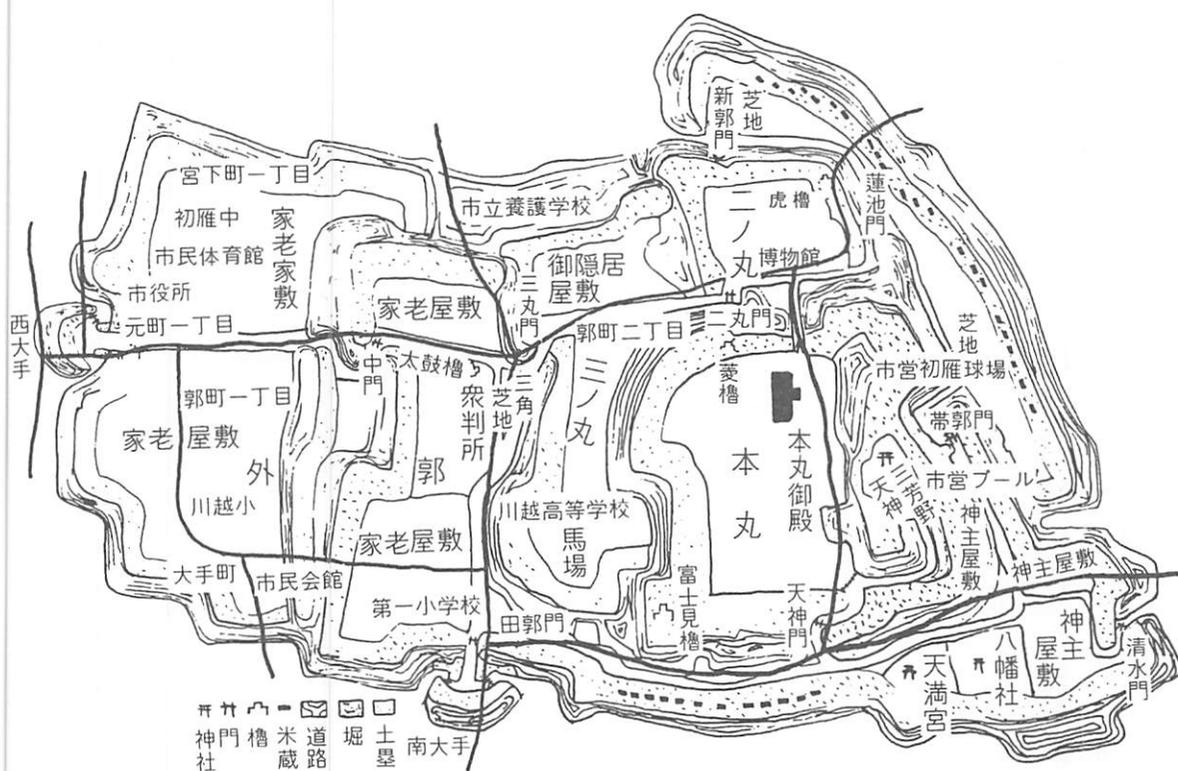
・年度の右側の数字は、その年度の卒業生の回期を示す。



カット・梶田 勇(高19)

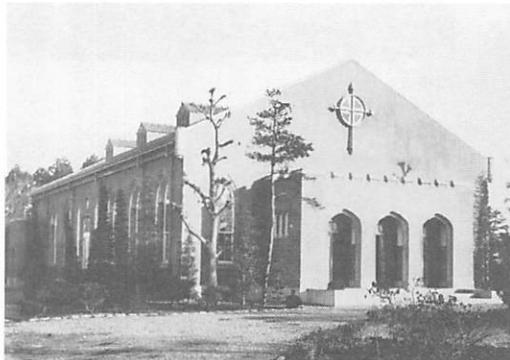
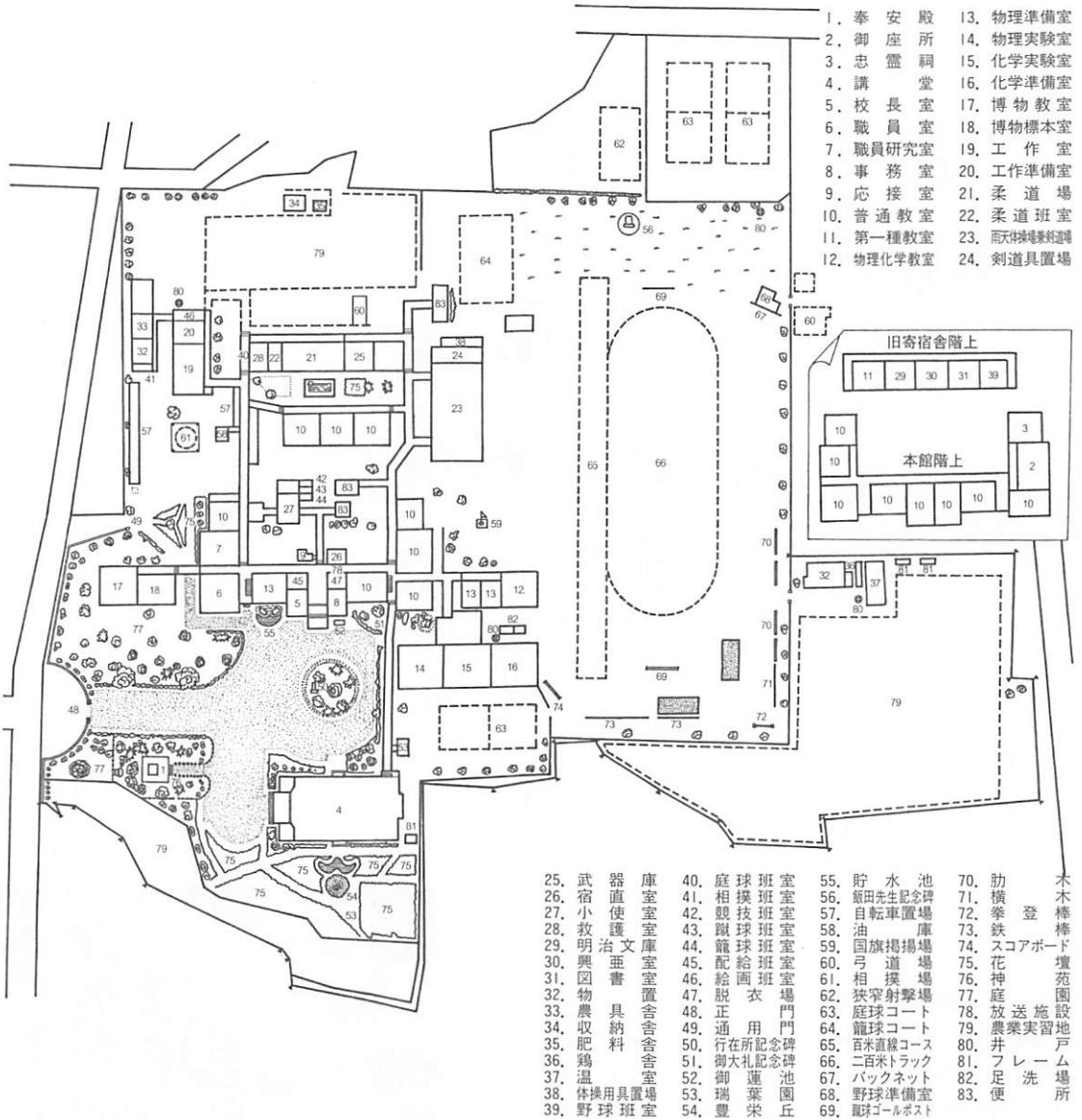
校舎・施設の変遷

〈川越城址と川越高校周辺〉



1897 (明治30)年に川越町に第三尋常中学を建設する案が成立したとき、町の最高学府にふさわしいところとして町で一番由緒ある川越城址が選ばれた。本校校舎部分は一ノ丸跡、校庭部分は一ノ丸跡にあたることからわかる。

校舎施設配置図（昭和17年度）



〈講堂の新築に歓喜〉

1918（大正7）年の理科教育充実のための物理・化学実験室の新築に続いて、1930（昭和5）年、待望の講堂が完成した。「県下一だ！ 我が県内では類のない大きさと優美さとを備えて、今新たに建築された我が川中の新講堂に対してどれ程の歓喜を覚えたことであろうか」〔正文木夫（中30）〕と在校生に記させたゴシック風の講堂は1969（昭和44）年の旧体育館建設まで40年間、川中・川高生の誇りであった。

校舎施設配置図（昭和36年度）



〈新校舎と体育館・図書館の完成〉

1899（明治32）年以來生徒を育ててきた校舎が1952（昭和27）年10月、5棟の近代的な校舎に生まれ変わり、同年12月体育館も完成した。それまでの校舎内の狭い図書室に代わって昭和33年、待望の独立図書館も完成した。なおこの頃の県立高校は敷地内（外）に校長公舎を持つことが多かった。



新校舎



体育館



図書館

校舎施設配置図（昭和40年度）

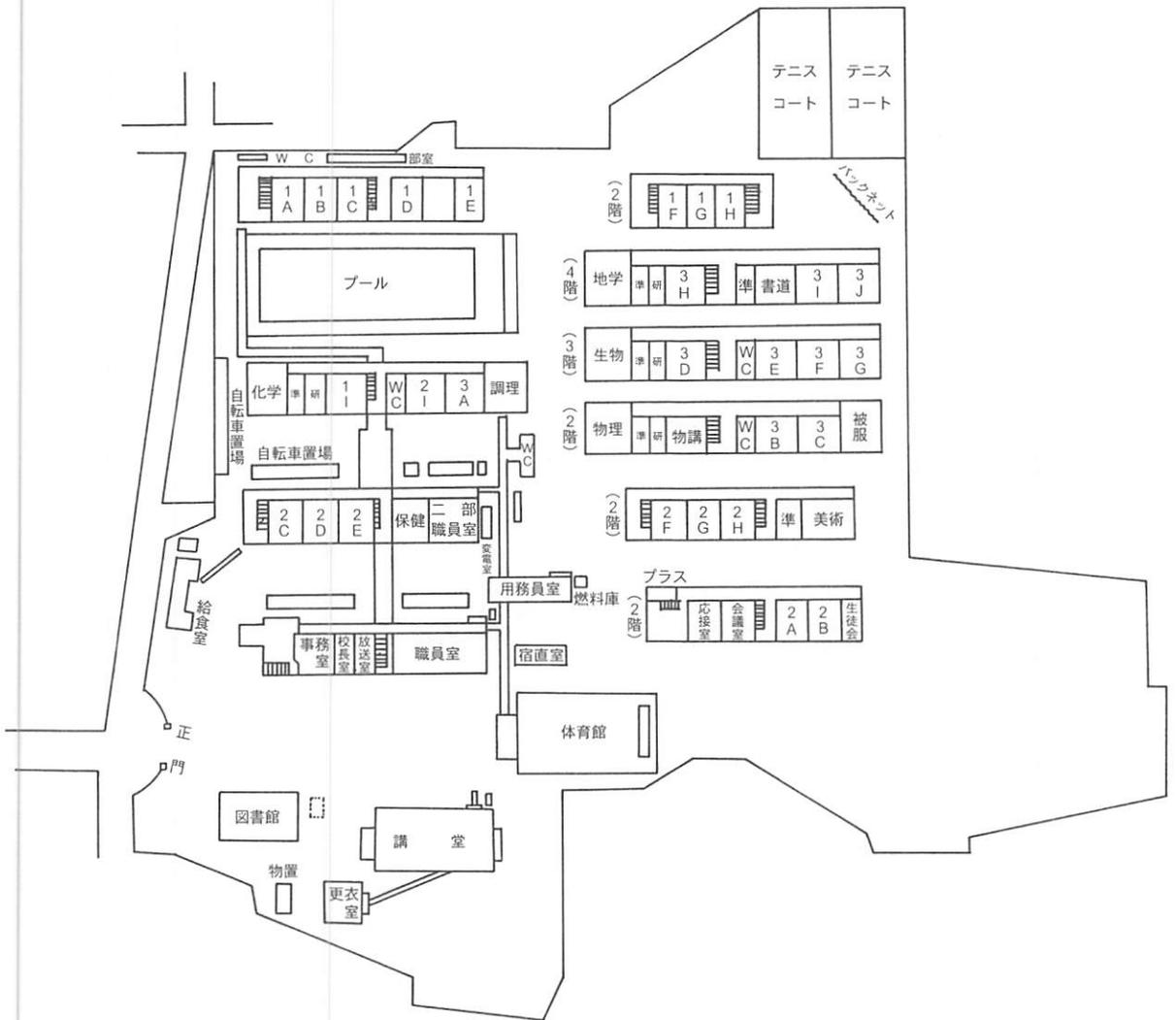


<理科棟完成>

それまでの木造モルタルではなく初の鉄筋コンクリート校舎として1962（昭和37）年、3階建の理科棟（上図の「第三棟」）が完成した。続く生徒激増期への対応として1965（昭和40）年、理科棟は図の点線部分が増築され現在の4階建になった。「食堂」（給食室）もこの時期に拡張され、全定生徒とも大助かりであった。



校舎施設配置図（昭和43年度）

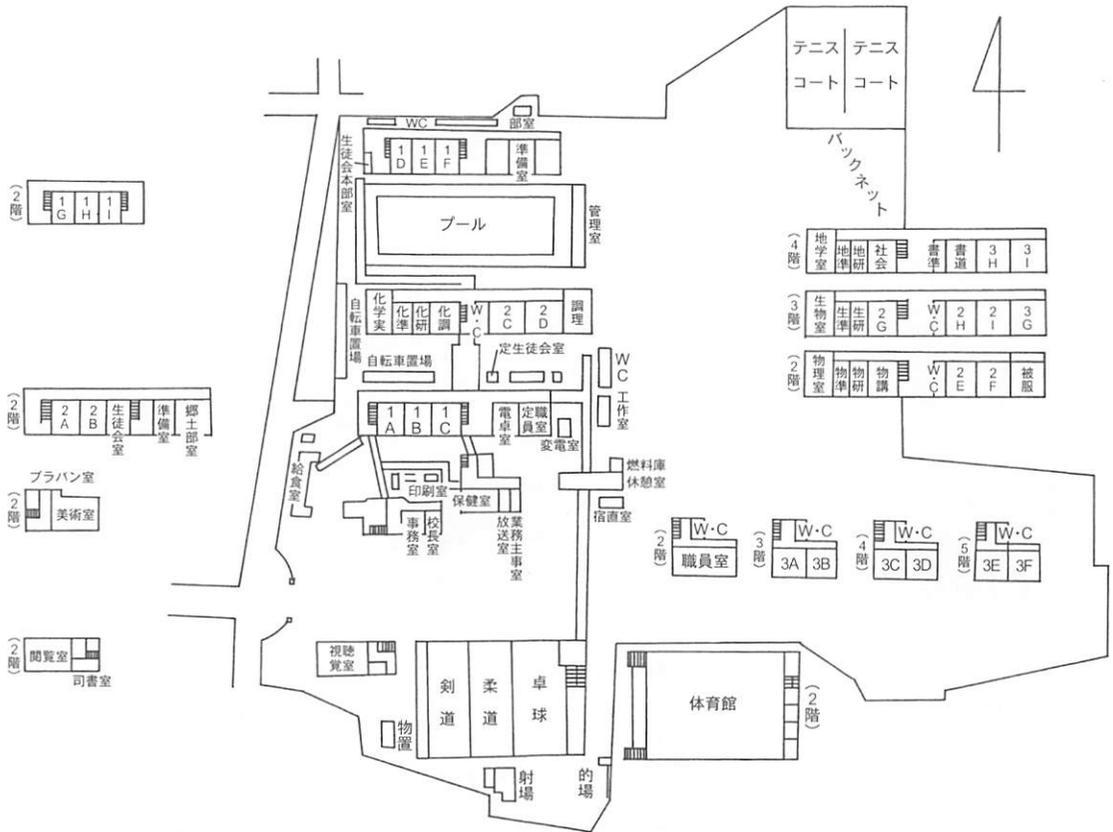


〈50メートルプールの完成〉

大正時代以来の本校の悲願であったプール建設が1966（昭和41）年に実現した。現体育館付近の25メートルプール案もあったが、後援会の施設拡充費を得て理科棟北側の平屋の校舎を取りこわして50メートルの日本水泳連盟公認のプールが完成した。



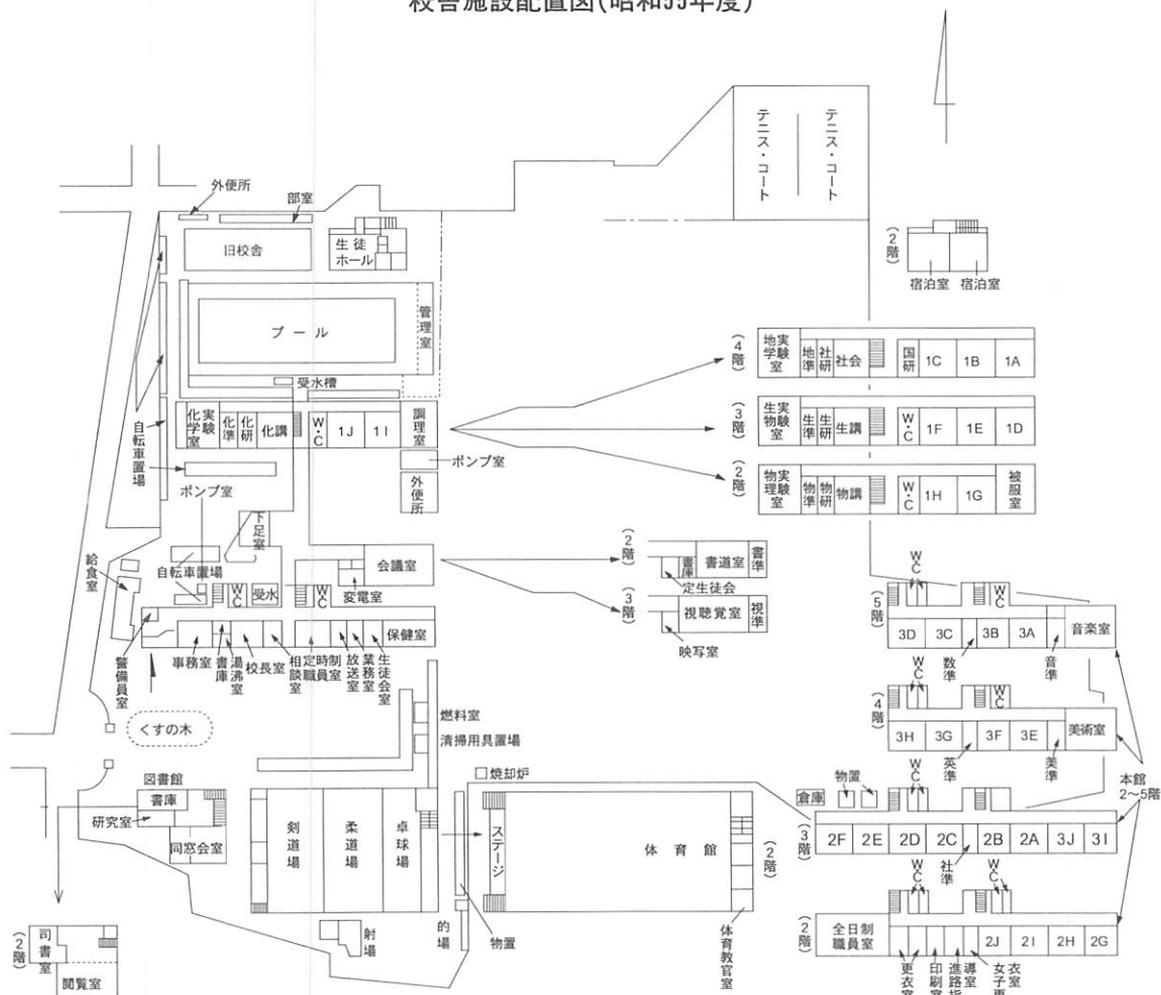
校舎施設配置図（昭和49年度）



〈県下高校随一の体育館完成〉

1969 (昭和44) 年、創立70周年を記念して体育館兼講堂の建設が進められ、1970 (昭和45) 年3月に竣工した。建坪455坪、鉄筋コンクリート2階 (一部3階) 建の体育館は県下高校随一の規模であり、本校キャンパスに一大偉観を加えたのである。

校舎施設配置図(昭和55年度)

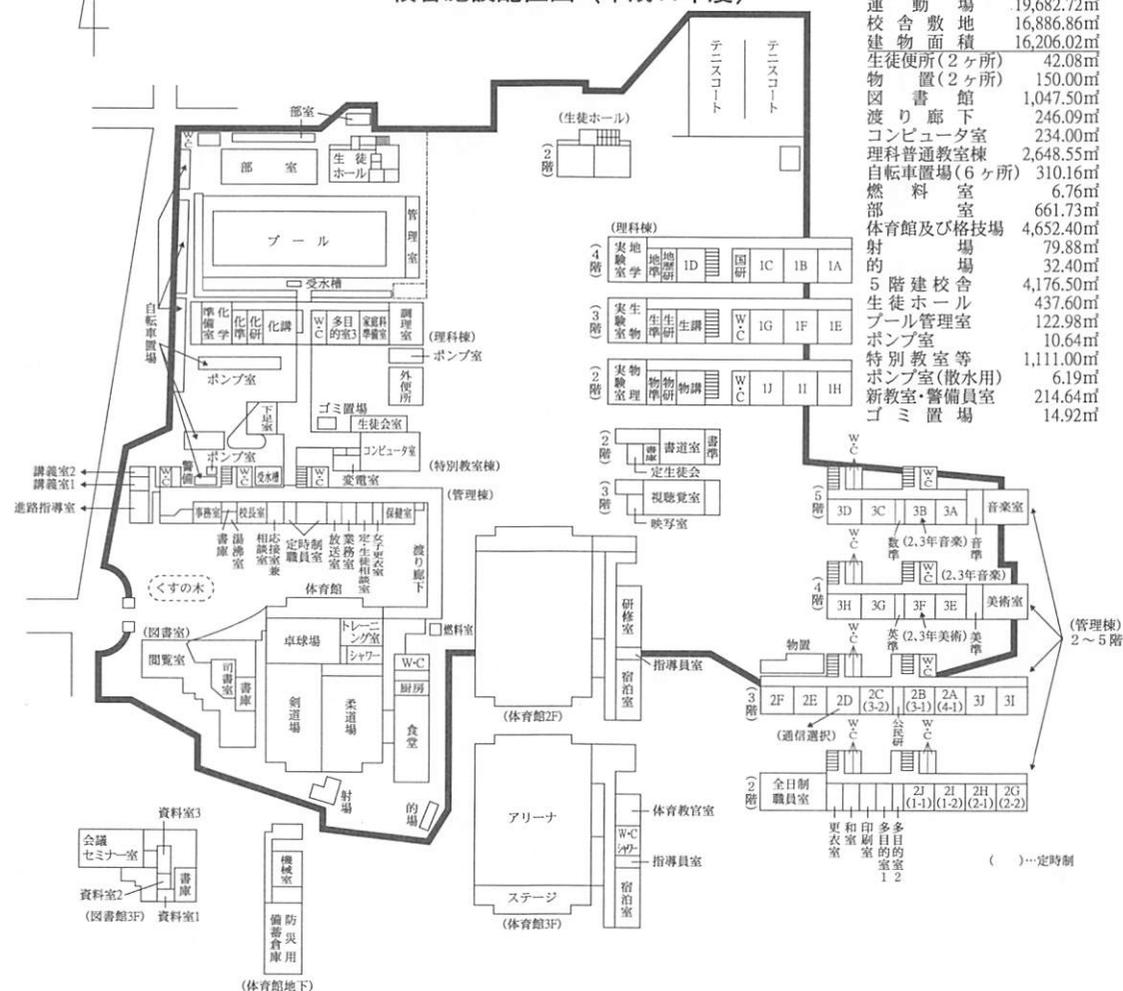


〈管理棟、部室棟の完成〉

それまで理科棟を除いて2階建てであった校舎が、4期の工事を経て現在の管理棟の完成に至るのは1979(昭和54)年11月のことである。3年後にはプール北側に部室棟が完成し、給食室を教室に改修し、会議室を食堂に転用するなどしながら川高校舎は現在の形に整えられてくる。



校舎施設配置図（平成11年度）



校地面積	36,569.58㎡
運動場	19,682.72㎡
校舎敷地面積	16,886.86㎡
建物面積	16,206.02㎡
生徒便所(2ヶ所)	42.08㎡
物置(2ヶ所)	150.00㎡
図書館	1,047.50㎡
渡り廊下	246.09㎡
コンピュータ室	234.00㎡
理科普通教室棟	2,648.55㎡
自転車置場(6ヶ所)	310.16㎡
燃料室	6.76㎡
部室	661.73㎡
体育館及び格技場	4,652.40㎡
射的場	79.88㎡
32.40㎡	
5階建校舎	4,176.50㎡
生徒ホール	437.60㎡
プール管理室	122.98㎡
ポンプ室	10.64㎡
特別教室等	1,111.00㎡
ポンプ室(散水用)	6.19㎡
新教室・警備員室	214.64㎡
ゴミ置場	14.92㎡

〈新体育館・新図書館の完成〉

創立100周年にあたる1999（平成11）年の春に、新体育館と新図書館が完成した。高さ25mの重層体育館には、食堂、合宿所、トレーニングルームがあり、さらに備蓄倉庫等、防災拠点としての機能も備えている。新図書館にはインターネット対応のマルチメディアコーナーや、最新の視聴覚機器を備えたセミナー室も併設されている。写真では新しくなった門も見ることができる。



生徒憲章

私達はあらゆる問題を真剣に考え、社会に対し広い視野と正しい判断力を養い、それらを基礎にした自主的民主的な活動を通して、私達の人間性を高めることが高校生活における重要な目標の一つであると考えている。この観点から自主的民主的活動の制限は私達の目指すものと背反するものであると考え、私達は今後あらゆる表現の自由と、自主的民主的活動（政治的活動を含む）の自由を保障し、それらを健全で有意義なものに高めてゆこうとする努力を通して、私達自身の間形成をはかってゆくことに意見の一致をみた。私達はここに「生徒憲章」を制定し、この目標を達成する決意である。

第一条 あらゆる自主的民主的活動（集会への参加、その開催、サークルの結成、その他）の自由を保障する。

第二条 掲示、印刷物の発行、配布等のあらゆる表現の自由を保障する。

第三条 服装については個人の自由意志に任せる。

生徒規約

私達は学校生活をより円滑にするために次の規約を制定する。

1. 校内の施設器具等は、破損汚損紛失等のことがないよう努める。もしこれらのことが起こった場

合には直ちに学級主任または関係職員に届け出る。
2. 火気を取り扱う場合には関係職員または学級主任の許可を得て行い、後始末を完全に済ます。

3. 校内で盗難にあつたり物品を紛失又は拾得した場合には直ちに学級主任または関係職員に届け出る。

4. 自宅もしくはその付近に法定伝染病患者が生じたときには直ちに学校に届け出る。

5. 学校又はその付近に火災等があつたときには関係生徒はすみやかに登校して防除に努める。

6. 自主的民主的活動のために学校の施設を利用する場合、その責任者は事前に学校に届け出る。

7. 掲示、印刷物は、責任者名をもって事前に特別委員会に届け出る。但し、内容については干渉されない。

8. 掲示物は所定の場所に掲示し、掲示期間は原則として一週間とする。

9. 体育の授業時間は適当な運動服装（原則として白色）に着替える。

10. 週番は全校週番と学級週番とする。

11. 全校週番は三年各学級二名ずつ輪番に当たり、職員週番の指導によって下記の事項を行う。

(1) 全校生徒集会の場合整列の指揮
(2) 校内の清潔整頓に関すること。
(3) 全校週番日誌に必要事項を記入すること。

12. 学級週番は各学級二名ずつ輪番に当たり、学級主任の指導により下記の事項を行う。

(1) 時間割変更その他の伝達事項。

(2) 分担区域の清潔整頓に関すること。
(3) その他学級に関する事項。
13. 週番引継は月曜日に行う。

付 記

1. この生徒憲章及び生徒規約は昭和45年4月1日より実施する。

2. 生徒憲章及び生徒規約の改正は生徒会会則の改正に準じて行う。

下記の了解と期待の下に、「生徒憲章」および「生徒規約」を承認する。

記

1. 生徒憲章は、生徒の達成すべき目標をかかげたものと理解し、生徒の自主的に申し合わせた努力目標として、学校はこれを尊重すべきものと考えらる。

2. 生徒憲章にいう「表現の自由」には、個人攻撃等、誹謗の自由は含まれないものと了解する。

3. 生徒憲章および生徒規約にいう、自主的民主的活動には政党等校外の政治団体の争いが校内に持ち込まれることによって学校本来の目標が妨げられること、および暴力の行使は含まれないものと了解する。

4. 服装については、高校生にふさわしく、簡素かつ清潔なものの着用が期待される。

5. 生徒規約6の条項は県立高校としての管理権をさまたげないものと了解する。

昭和四十五年二月二十六日

埼玉県立川越高等学校長

教育課程の変遷

1894(明治27)年の省令による教育課程

同年制定された「埼玉県立尋常中学校規程」による教育課程が本校の最初のカリキュラムであった。

計	体 操	図 画	習 字	化 学	物 理	博 物	数 学	歴 史	地 理	外 国 語	国 語、 漢 文	倫 理	学 科
二八	三	二	一			一	四	一	二	六	七	一	授時間 毎週教 第一 年
	普通 兵式	自在 画	楷 書			博 物 初 歩	算 術・ 幾 何	本 邦 歴 史	本 邦 地 理	習 字 読 方・ 訳 解・ 書 取・ 綴 字・	講 読・ 書 取・ 作 文	人 倫 道 徳 ノ 要 旨	
二八	三	一	一			一	四	一	二	七	七	一	授時間 毎週教 第 二 年
	兵 式	自 在 画 用 器 画	行 書			植 物・ 動 物	算 術・ 代 数・ 幾 何	同 上	万 国 地 理	書 取・ 全 話・ 作 文・ 文 法	読 方・ 訳 解・ 文 法	講 読・ 作 文・ 同 上	
二九	三	一	一			一	四	二	一	七	七	一	授時間 毎週教 第 三 年
	同 上	同 上	草 書		物 理	動 物・ 鉱 物	同 上	万 国 歴 史 朝 鮮・ 支 那	同 上	文 法 書 取・ 作 文・ 読 方・ 訳 解・	同 上	同 上	
三〇	三	一				二	四	二	一	七	七	一	授時間 毎週教 第 四 年
	同 上	同 上		化 学	同 上	生 理 衛 生	代 数・ 幾 何	同 上	地 文	文 法・ 翻 訳 書 取・ 作 文・ 読 方・ 訳 解・	講 読・ 作 文	同 上	
三〇	三			二	二		四	三	一	七	七	一	授時間 毎週教 第 五 年
	同 上			同 上	同 上		代 数・ 幾 何・ 三 角	万 国 歴 史 本 邦 歴 史	地 文	同 上	同 上	同 上	

1902 (明治34) 年の県令による教育課程

この県令による「埼玉県立中学校学則」は1943 (昭和18) 年まで有効であった。

合計	体操	唱歌	図画	法制及経済	物理及化学	博物	数学	歴史、地理	(外国語) 英語	国語及漢文	修身	学科目		
二八	三	一	一			二	四	二一	一五	一 一 五	一	時教毎 数授週	第一学年	
	普通、兵式	普通楽譜法	自在画			鉱物	算術	日本歴史地理	習講 字読	習文法、 作文 字	講 讀	道德ノ要旨		課程
二八	三	一	一			二	二二	一二	六	一 一 五	一	時教毎 数授週	第二学年	
	同上	同上	自在画			植物	代算 術	外国歴史地理	講 讀	同上	同上	同上		課程
二九	三	一	一			二	二二	一二	二五	一 一 五	一	時教毎 数授週	第三学年	
	同上	同上	自在画			動物生理、 衛生	代幾 何	外国歴史地理	講 話、 作文 法 文 讀	同上	同上	同上		課程
三〇	三		一		第一、第二、第三、第四期	二	二二	一二	二五	一 五	一	時教毎 数授週	第四学年	
	同上		自在画		化学	動物	同上	同上	同上	文法、 作文 讀	同上	同上		課程
三〇	三			二	四		二二	一一一	二五	三期 三	第一、第二、第三、第四期	一	時教毎 数授週	第五学年
	同上			法制及経済	物理		幾何	外国歴史地理	同上	国文法、 作文 史 文 讀	講 文 法、 作文 讀	同上及倫理	課程	

1913 (大正2) 年頃の教育課程

たとえば、地理・歴史に「満州地理」が加わっているのは文部省の施行規則の改正による。

計	体操	唱歌	図画	実業	法制及経済	物理及化学	博物	数学	地理史	外国語(英語)	国語及漢文	修身	学科目					
二九	三	一	一				二	四	三	六	八	一	時教毎 数授週	第一学年				
	教 練、 体 操	歌 本 練 曲 習	考 案 画	写 生 画、 臨 画、			植 物、 動 物	算 術	日 本 地 理 史	書 取、 習 字	話 方、 作 文	発 音、 綴 字	習 作 文 読		講 義 読	作 法	勅 令 心 得	課 程
二九	三	一	一				二	四	三	七	七	一	時教毎 数授週	第二学年				
	同 上	同 上	同 上				同 上	代 数	日 本 地 理 史	書 取、 習 字	話 方、 作 文	同 上	講 義 読		道 徳 ノ 要 領	作 法	課 程	
三〇	三	一	一				二	五	三	七	七	一	時教毎 数授週	第三学年				
	同 上	同 上	考 案 画、 幾 何 画	写 生 画、 臨 画、			生 理 及 衛 生 物	代 数、 幾 何	世 界 地 理 史	書 取、 文 法	話 方、 作 文	文 作 法	講 義 読、 作 文		同 上	講 義 読	課 程	
(三)三二	三		一	(二)		四	二	四	三	七	六	一	時教毎 数授週	第四学年				
	同 上		同 上			物 理、 化 学	博 物 通 論	同 上	同 上	同 上	文 作 法	講 義 読	講 義 読		道 徳 ノ 要 領	特 質、 作 法	我 國 道 徳 ノ 要 領	成 申 詔 書
(三)三二	三		一	(二)	二	四		四	三	七	六	一	時教毎 数授週	第五学年				
	同 上		幾 何 画		法 制、 經 済	同 上		三 代 数、 幾 何 法	日 本 地 理 概 説	外 國 地 理 概 説	書 取、 作 文	話 方、 作 文	講 義 読		同 上	講 義 読	同 上	課 程

1921 (大正10) 年頃の教育課程

武道が独立教科として初登場する。

計	武 道	体 操	図 画	経 済 ・ 法 制	化 学 ・ 物 理	博 物 学	数 学	地 理 ・ 歴 史	英 語	漢 文 ・ 国 語	修 身	学 科 目
三二	二	三	一			二	五	三	六	八	一	学 第 年 一
三二	二	三	一			二	五	三	七	八	一	学 第 年 二
三三	二	三	一		二	二	五	三	八	六	一	学 第 年 三
三三	二	三	一		四	二	四	三	七	六	一	学 第 年 四
三四	二	三	一	二	四		五	三	七	六	一	学 第 年 五

1931 (昭和6) 年頃の教育課程

法制・経済が廃されて公民科となり、作業科が新設される。

計	武 道	体 操	音 楽	図 画	作 業	公 民	化 学 ・ 物 理	博 物 学	数 学	地 理 ・ 歴 史	英 語	漢 文 ・ 国 語	修 身	学 科 目
三〇	二	三	一	一	二			二	三	三	五	七	一	学 第 年 一
三一	二	三		一				二	五	三	七	八	一	二
三一	二	三		一			二	二	五	三	七	六	一	三
三三	二	四		一		一	四	二	五	三	五	五	一	四
三三	二	四		一		二	四		五	三	六	五	一	五

1937 (昭和12) 年頃の教育課程

一種は実業コース、二種は進学コースである。

数 週 計	武 道	農 ・ 商	教 練 操	作 業 科	音 楽	図 画	理 科	数 学	外 国 語	地 理 史	漢 国 文 語	公 民 科	修 身	学 科 目	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年	第五学年	
	剣道及柔道		遊戯、 體操、 及競技	園芸 工作	歌曲 樂典	自在画	一般理科	整数、 正数、 一次方 程、負 数、分 数、 幾何 図形	聴方、 讀方、 及解 話方及 作文 書取、 習字	外国史 外国地 理	国語講 讀 作文文 法 習字		生徒心 得 勅語 道德ノ 要領 作法	第一学 科課程	第二学 科課程	第三学 科課程	第四学 科課程	第五学 科課程		
三十	二		三	二	一	一	二	三	五	三	七		一	時数	每週	每週	每週	每週	每週	
			同上	同上	同上	同上	博物 物理及 化学	二次方 程、 直線 形、 円	同上	外国史 外国地 理	国語講 讀 漢文講 讀 作文習 字		成申詔 書 道德ノ 要領 作法	第三学 科課程	第四学 科課程	第五学 科課程	第六学 科課程	第七学 科課程	第八学 科課程	
三一	二		三	二	一	一	三	四	五	三	六		一	時数	每週	每週	每週	每週	每週	
			同上	同上		自在画 用器画	同上	分數方 程、 比例、 相似 形、 銳角、 三角 函数	聴方、 讀方、 及解 話方及 作文 書取、 文法	外国史 日本地 理	国語講 讀 漢文講 讀		国民精 神作 興ニ 関 スル 詔書 道德ノ 要領 作法	第三学 科課程	第四学 科課程	第五学 科課程	第六学 科課程	第七学 科課程	第八学 科課程	
三一	二		三	一		一	三	五	六	三	六		一	時数	每週	每週	每週	每週	每週	
		農業・ 商業	同上	同上		同上	同上	基本 教材ノ 補充 級数 対数	同上	外国史 日本地 理	国語講 讀 漢文講 讀 文法 習字	公民要 領	道德ノ 原理 社会生 活ノ 原理 国民道 徳 作法	第四学 科課程	第五学 科課程	第六学 科課程	第七学 科課程	第八学 科課程	第九学 科課程	
三五	二	三	四	一		一	六	三	三	三	六	二	一	時数	每週	每週	每週	每週	每週	
		農業・ 商業	同上	同上		同上	応用 理科	平面及 直線 多面 体、 曲面 体、 三角 函数 及其 応用 全課 程總 括及 補充	同上	国史 自然 地理 概説 人文 地理 概説	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
三五	二	三	四	一		一	四	三	三	三	六	二	一	時数	每週	每週	每週	每週	每週	
		農業・ 商業	同上	同上		同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

1943 (昭和18) 年頃の教育課程

戦時下で修業年限が4年に短縮されている。

毎週時数計	修練	外国語科	実業科	工 図 書 音 作 画 道 楽	武 体 教 道 操 練	科 数 理 物 数 象 学	科 民 国 地 歴 国 修 理 史 語 身	教 科 修 練
三五	三	四		唱歌、聴覚訓練 音楽理論、鑑賞 書写態度、練習 用筆及結体ノ実習 書式、書蹟ノ鑑賞 描画、図案、製図鑑賞	講話 稽古 剣道及柔道基本応用 体操及競技、衛生訓練 (別ニ定ムルトコロニヨル)	一般的考察 (植物、動物、人) 基礎的操作ト観察物ノ 変化ノ考察 物ノ变化ノ考察 非金屬ト其化合物 炭素化合物 物ノ变化ノ考察 非金屬ト其化合物 炭素化合物 物ノ变化ノ考察 非金屬ト其化合物 炭素化合物	皇國ノ使命 青少年学徒ニ賜ハリタ ル勅語 中学校生徒ノ修練 講義(国文、漢文、 文法、作文、話方 東亞及世界 歐阿米各地域ノ特性 (一) 図表ト式、正数ト負 ノ数 (二) 測量ニ関シテ、一次 函数ノ画キ方 対称、回転、合同	第一学年課程
三五	三	四		同上	同上	同上	同上	第二学年課程
三五	三	四		同上	同上	同上	同上	第三学年課程
三六	三	四	四	3教科選択	同上	同上	同上	第四学年課程
三六	三	四	四	同上	同上	同上	同上	時数

1951 (昭和26)年度の教育課程 ()は選択科目である。

H・R	外国語	体育	保健	芸術	理科	数学	社会	国語	教科
	英語	体育	保健	書道 音楽	地学 生物学	幾何 解析II 解析I	人文地理 世界史 日本史 一般社会	漢文 国語乙 国語甲	
1	5	1	3	(2) (2) (2)	5	5	5	2 3	学年 第一
1	5	1	3	(2) (2) (2)	5	5	(5) (5)	2 3	学年 第二
1	6		3	(2) (2) (2)	(5) (5)	5	(5) (5)	2 3	学年 第三

高校の教育課程は1960 (昭和35) 年に改訂されたが全面実施は'63年からである。50年代後半から'60年代初めの川高生は下記カリキュラムで学んだ。
()は選択科目である。3年次から文・理コースに分かれた。

1961 (昭和36)年度の教育課程

計	H・R	英語	音楽	美術	書道	体育	保健	生物学	化学	物理学	数学III	数学II	数学I	人文地理	世界史	日本史	社会	漢文	国語乙	国語甲	科目	
33	1	5	(2) (2) (2) 2			1	2	(3) (3) (3) 6					6	(2) (2) 2	(2)	2	2	2	4		学年 第一	
33	1	5	(2) (2) (2) 2			1	2	(2) (2) (2) 4			3	3		(5) (5) (5) 5	(5)	(5)	(5)		3	4		学年 第二
32	1	5	(2) (2) (2) 2				3	(5) (5) (5) 5	5					(5) (5) (5) 5	(5)	(5)	(5)		2	4		文 第三学年
31	1	5	(2) (2) (2) 2				3	(5) (5) (5) 5	5					(5) (5) (5) 5	(5)	(5)	(5)		2	3		理 第三学年

1963年度生からの教育課程

次の教育課程が1970 (昭和45) 年に告示、1973 (昭和48) 年に実施されるまで'60年代から'70年代初めまでのカリキュラムである。倫社政経が登場している。

学年	教科 標準単位数	国語		社会				数学			理科			保体		芸術			外国語・英語B	特別教育活動(H・R)	計					
		現代国語	古典乙I	古典乙II	倫理社会	政治経済	日本史	世界史B	地理B	数学I	数学II	数学III	物理学B	化学B	生物	地学	体育	保健				音楽I	美術I	書道I	音楽II	美術II
I		3	3					4	6					4	2	3			2					6	1	34
II		3	3		2			2		6		3	2			3	1					2		6	1	34
III	文型	2		3	2	4	2				4	2	2			3	1					2		6	1	34
	理型	2		3	2	3	2				6	2	3			3	1					0		6	1	34

1973年度生からの教育課程

次の教育課程が1978（昭和53）年に告示、1982（昭和57）年に実施されるまでの主として'70年代の教育課程である。教科外活動に必修クラブが登場する。

教科 科目 標準 単位数	国語		社会			数学			理科				保体		芸術					外国語	各外 教科 活動		計														
	現代 国語	古典 国語	倫理 ・ 社会	政治 ・ 経済 史	日本 史	世界 史	地理 B	数学 I	数学 II	数学 III	物理学 I	物理学 II	物理学 III	化学 I	化学 II	化学 III	生物 I	生物 II	生物 III	地学 I	地学 II	地学 III		体育 I	保健 II	音楽 I	美術 I	書道 I	音楽 II	美術 II	書道 II	音楽 III	美術 III	書道 III	英語 B	ホーム ・ ルーム	クラブ 活動
学年	7	5	3	2	2	3	3	3	6	5	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	11	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	15	3	3	
	7	6	3	2	2	4	3	4	3	6	5	4	6	3	3	3	3	2	3.2			11	2	2		2		2		16	17	3	3	3	102		
I	2	3							3	6						3	2					4	1	2								6	1	1	34		
II	3	3		2			2			5			3	3									3	1			2						5	1	1	34	
III	文型	2		3		2	4	2					4																					6	1	1	34
	理型	2		3		2	3	2					6																					5	1	1	34

1982年度生からの教育課程

次の教育課程が1989（平成元）年に告示、1994年に実施されるまでの主として'80年代の教育課程である。国・数・英など、科目が細分化された。

教科 科目 標準 単位数	国語			社会			数学				理科				保体		芸術			外国語			ホーム ・ ルーム	クラブ 活動	計																	
	国語 I	国語 II	国語 表現	現代 社会 史	日本 史	世界 史	地理 I	政治 経済 II	数学 I	代 数	基 礎 幾 何	微 分 積 分	確 率 統 計	理 科 I	理 科 II	物 理 学	化 学 学	生 物 学	地 学 学	体育 I	保健 II	音楽 I II III				美術 I II III	書道 I II III	英語 I	英語 II A	英語 II B	英語 II C											
標準 単位数	4	4	2	3	4	4	4	4	4	2	2	4	3	3	3	3	3	4	2	4	4	4	4	9	2	各 2	各 2	各 2	4	5	3	3	3									
I	5				2																															1	1	34				
II		3			2	2																															1	1	34			
III	文			○ 2	2	3																																3 ○ 2	3	1	1	34
	理			○ 2	3																																		3 ○ 2	3	1	1

※3年文系は○の中から3科目、理系は2科目選択

1994年度生からの教育課程

新教育課程が1999(平成11)年に告示、2003年に実施されるまでの主として'90年代の教育課程である。社会が地歴・公民に分かれ、家庭科が必修になっている。

教科	科 目	標準 単位	1年	2年	3年				計 備 考	
					文(5)		理(5)			
					必修	選択	必修	選択		
国 語	国 語 I	4	5						13/15/17/19	
	国 語 II	4								
	国 語 表 現	2				#2				
	現 代 文	4		2	2		2			
	現 代 語	2						1		
	古 典 I	3		3						
	古 典 II	3			3					
地 理 史 史	古 典 購 読	2				#2		#2	9/11/13 } 2より1科目 選択	
	世 界 史 B	4		3		#2		#2		
	日 本 史 B	4			3	#2	3	#2		
公 民	地 理 B	4	3			2 #2		#2	} 4/6/8 } 2より1科目 選択	
	倫 理	2	2			#2		#2		
数 学	政 治・経 済	2		2		#2		#2		
	数 学 I	4	3						13/15/17/19	
数 学 II	3		4							
数 学 III	3						4			
数 学 A	2	2								
数 学 B	2		2							
理 科	数 学 C	2			2	#2	2	#2		
	物 理 I B	4		3		#2		#2	12/14/16/18 } 2より1科目 選択	
	化 学 I B	4		2		2 #2		#2		
	生 物 I B	4	3			#2		#2		
	地 学 I B	4	2			#2		#2		
	物 理 II	物 理 II	2							} 3より2科目 選択
		化 学 II	2						3	
生 物 II		2								
保 健 体 育	地 学 II	2								
	体 育	9	3	3	3		3		11	
芸 術	保 健	2	2							
	音 楽 I	音 楽 I	2	} 2						4/6 } 2は各1科目 選択
		美 術 I	2							
		書 道 I	2							
	音 楽 II	音 楽 II	2	} 2						
		美 術 II	2							
		書 道 II	2							
音 楽 III	音 楽 III	2						#2		
	美 術 III	2				2		#2		
	書 道 III	2						#2		
外 国 語	英 語 I	4	3						15/17/19	
	英 語 II	4		3		#2				
	オーラルコミュニケーションB	2	2							
	リーディング	4			3	#2	3	#2		
	ライティング	4		2	2		2			
家 庭 小 計	生 活 一 般	4		1	2		2		3	
特 別 活 動	ホ ー ム ル ー ム 活 動		1	1	1		1		卒業までに履修さ せる各教科・科目 の単位数の計 96単位 卒業までに修得さ せる各教科・科目 の単位数の計 96単位	
	ク ラ ブ 活 動		1	1	1		1			
学 校 裁 量 時 間										
	週 当 り 総 時 数		34	34	34		34			
	備 考				#2より 3科目選択		#2より 2科目選択			

()は現役内数

1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	入試年度	
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	卒業回数	
403	401	403	404	457	442	455	450	448	453	460	454	470	528	526	496	456	451	455	451	431	413		卒業者数	
5(2)	7(2)	10(2)	6(2)	4(2)	9(5)	15(6)	15(6)	14(3)	12(6)	16(6)	21(5)	18(9)	11(5)	14(4)	10(4)	12(6)	15(5)	11(6)	6(6)	5(2)	12(6)	6(3)	東京大	
1(1)		2(1)	5(3)	6(4)	2(1)	2(1)	7(2)	3(1)	4(0)	10(3)	21(3)	5(2)	8(1)	2(0)	4(2)	4(0)	7(0)	5(2)	3(0)	5(1)	3(0)	4(3)	京成大	
11(3)	6(5)	4(3)	7(3)	11(3)	10(3)	5(2)	8(4)	20(5)	22(6)	16(6)	17(2)	21(5)	22(8)	25(5)	28(5)	21(6)	20(9)	16(11)	12(4)	15(3)	14(6)	13(7)	東京工業大	
3(0)	5(4)	8(3)	8(4)	3(3)	7(1)	9(3)	10(3)	12(0)	13(4)	5(2)	14(4)	11(5)	13(5)	6(2)	13(5)	12(2)	14(5)	11(3)	9(3)	9(3)	8(4)	4(2)	一橋大	
49(30)	44(26)	52(37)	40(27)	33(21)	27(16)	28(19)	25(12)	15(6)	18(7)	39(13)	27(8)	42(7)	26(14)	24(11)	35(13)	29(13)	29(14)	29(14)	33(21)	25(12)	22(15)	17(5)	埼玉大	
17(8)	15(6)	14(0)	11(6)	16(12)	14(6)	14(5)	9(2)	7(3)	5(2)	8(3)	8(0)	14(2)	7(3)	8(4)	14(7)	12(4)	8(6)	7(2)	10(3)	5(1)	6(3)	6(1)	千葉大	
7(2)	4(1)	19(14)	18(9)	21(11)	12(7)	20(12)	22(6)	16(4)	15(7)	11(3)	18(6)	13(6)	14(12)	13(4)	22(7)	13(5)	16(11)	11(3)	6(3)	12(3)	11(2)	7(3)	東北大	
11(4)	3(1)	7(1)	4(2)	2(0)	6(2)	9(2)	12(6)	7(4)	9(3)	9(3)	9(3)	9(2)	12(1)	11(3)	3(0)	13(7)	10(5)	11(1)	5(1)	15(2)	10(5)	7(3)	北海道大	
4(1)	3(1)	6(3)	7(2)	4(3)	13(5)	16(9)	12(6)	17(8)	9(4)	10(4)	10(2)	7(4)	12(5)	8(5)	6(2)	6(2)	12(4)	8(2)	8(2)	9(4)	5(3)	3(1)	横浜国大	
1(0)	3(0)	1(0)		1(0)	2(2)	2(1)	3(2)	1(1)	1(0)	15(5)	10(2)	12(3)	2(1)	5(0)	2(0)	1(0)	2(0)	1(1)	2(1)	2(1)	1(0)		名古屋大	
1(0)	1(1)	2(1)	2(0)					4(1)	3(1)	6(1)	11(1)	2(1)	3(3)	1(1)	1(1)			1(0)	1(1)		3(0)		大阪大	
6(5)	13(6)	6(5)	16(8)	5(3)	10(8)	8(3)	2(0)	4(4)	5(3)	5(2)	4(3)	5(1)	4(4)	1(1)	1(1)	4(1)	4(3)	1(1)	8(6)	5(4)	8(5)	3(3)	筑波大	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	東京教育大
								1(0)							2(0)									北海道教育大
				2(1)				1(0)				1(0)		1(0)					1(1)					旭川医科大
2(0)			2(1)		1(0)	3(0)	1(0)		2(0)	1(1)	4(0)			1(0)	2(0)				1(0)	1(0)	1(0)	1(0)		弘前大
												1(0)			2(1)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)		1(0)			秋田大
		2(1)	2(0)	1(0)		2(1)	1(0)	1(0)	2(0)		1(1)	2(1)	2(0)		2(1)	6(1)	1(0)	1(0)	3(0)			1(0)		山形大
1(0)																1(0)					1(0)			福島大
		3(0)	2(1)					1(0)				3(1)		1(1)	2(1)	3(0)		1(0)	2(0)		1(0)	1(0)		宇都宮大
2(0)	3(1)		1(1)	2(2)	3(1)	3(1)	1(0)		2(1)	3(0)	3(0)	1(0)		2(1)	4(1)	2(0)	2(2)	2(0)		1(0)		1(0)		群馬大
	1(0)	1(0)	1(0)		1(1)	2(0)	2(1)		1(0)	3(1)			1(0)	3(1)			1(0)	2(0)			1(1)	1(0)		東京医歯大
3(2)	2(2)	3(2)	2(1)	9(6)	3(2)	1(0)	5(3)	3(1)	2(0)	7(1)	3(1)	3(0)	2(1)	2(1)	2(1)	7(6)	2(0)	4(1)	1(0)		3(1)	3(3)		東京外国語大
6(2)	4(1)	16(4)	6(2)	13(7)	9(3)	10(4)	2(2)	6(4)	1(0)	3(0)	5(1)	7(2)	7(1)	4(3)	8(1)	6(3)	9(5)	5(0)	9(5)	4(3)	2(1)	7(1)		東京学芸大
4(1)	5(3)	5(1)	8(4)	5(3)	5(3)		1(1)	5(3)	7(3)	5(1)	7(3)	4(2)	6(2)	2(0)	4(0)	9(6)	7(5)	3(1)	7(3)	4(3)	6(3)	7(0)		東京農工大
1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	3(2)					1(1)	1(0)	1(0)			1(0)			1(0)	2(0)	1(0)		1(1)	1(0)		東京芸術大
		1(0)						1(1)					1(0)		1(0)			1(1)						東京商船大
7(3)	2(2)	5(2)	8(7)	11(6)	6(2)	10(6)	12(6)	8(2)	5(4)	5(1)	7(1)	9(3)	8(3)	5(2)	5(1)	12(5)	5(4)	9(3)	13(6)	5(2)	4(1)	13(4)		電気通信大
1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(1)	4(2)	1(0)	1(1)	1(0)	1(0)	1(0)	4(1)	1(1)	1(0)	3(1)	1(0)	3(1)	3(1)		3(1)	6(1)	1(1)	1(0)		新潟大
															1(0)	3(1)	2(1)							富山大
3(0)	1(0)	3(1)	2(0)	2(2)	3(1)	4(0)	1(0)	1(1)	1(0)	2(0)	4(1)	4(1)	4(1)	2(1)	3(3)				2(0)	2(1)	1(0)	1(0)		金沢大
					1(0)	1(0)						1(0)				1(0)					1(0)			福井医科大
				1(1)	1(0)		2(2)	3(0)	1(0)		1(0)	1(0)				1(0)						1(1)	1(0)	山梨大
		1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)		1(0)		1(0)	3(0)		1(1)		1(0)						1(1)	1(0)	山梨医科大
3(1)	1(1)	7(5)	1(0)	4(2)	1(1)	2(1)	4(2)	1(0)	1(0)	1(0)	3(2)	3(0)	3(2)	4(2)	4(0)	3(1)	1(0)	3(1)	1(0)	3(0)	1(1)	8(2)		信州大
2(0)		1(0)						1(0)	1(1)				1(1)		4(2)		1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	3(2)	1(1)	静岡大
		1(1)	1(0)				2(0)				1(0)		1(1)	1(0)				1(0)						名古屋工大
																				1(0)	1(0)			三重大
			1(0)	1(0)	1(0)					3(1)	4(1)				1(0)							2(0)	1(0)	神戸大
		1(0)																	1(0)	1(1)		1(0)		山口大
1(0)	1(0)	2(0)	1(1)					3(0)		4(1)	1(0)	1(0)	1(0)	1(1)				1(0)			1(1)	1(1)		九州大
								1(0)		1(0)			1(0)	1(0)								1(0)		長崎大
		1(1)						1(0)						1(1)		1(0)		1(0)	1(0)					鹿児島大
																			2(0)	1(0)	1(0)			琉球大
17(13)	14(11)	6(3)	10(4)	10(6)	21(10)	9(6)	12(4)	11(7)	7(3)	3(0)	2(2)	8(4)	7(2)	9(3)	13(3)	13(1)	14(7)	11(3)	11(4)	20(8)	11(4)	8(3)		東京都立大
																1(0)	1(1)		1(1)		1(0)			会津大
	2(2)	5(2)	2(0)	3(1)	1(0)			1(0)	1(1)				1(0)	2(1)		1(0)	3(0)		2(1)	1(0)	2(0)	2(0)		高崎経済大
										3(0)	2(0)	5(1)	1(1)	1(0)	1(1)	3(1)		2(1)		1(1)		1(1)		都立科技大
2(1)	2(0)	3(0)	1(1)	1(0)	1(0)	1(0)				2(2)	3(0)	3(0)	3(0)	2(0)	4(0)	10(2)	5(1)	3(2)	3(0)	1(1)	1(0)	1(0)		横浜市立大
		1(0)	4(0)		3(0)	4(1)	2(0)				1(0)						2(0)		2(0)				1(0)	都留文科大学
			1(0)	3(1)	2(0)		2(0)		2(1)		2(0)	2(1)	1(0)											静岡県立大
									1(0)			1(1)	1(0)	1(0)		2(1)					1(0)		1(0)	大阪府立大
1(0)		1(0)	2(1)		2(0)	2(1)	2(2)	3(2)	3(3)	7(1)	2(1)		3(0)	4(2)	7(3)	1(0)	4(1)	2(0)	1(0)	2(0)				防衛医科大学校
	1(1)	2(1)	5(5)		2(1)	3(2)	4(2)	3(2)	3(3)	7(1)	2(1)		3(0)	4(2)	7(3)	1(0)	4(1)	2(0)	1(0)	2(0)		1(0)	7(2)	防衛大学校
		3(0)		1(0)	2(1)			2(0)	1(0)	1(0)	1(0)					1(0)	1(0)					1(0)		気象大学校
11(3)	13(2)	6(1)	13(5)	13(5)	9(4)	7(2)	6(3)	7(3)	8(3)	2(0)	5(3)	4(0)	8(2)	2(0)	9(3)	7(2)	5(2)	2(0)	6(1)	6(1)	7(1)	9(1)		その他
184	165	214	195	200	195	193	183	176	180	202	243	232	207	179	219	226	207	176	179	175	159	144		計
(83)	(80)	(106)	(95)	(116)	(89)	(87)	(74)	(64)	(64)	(60)	(59)	(64)	(86)	(60)	(65)	(77)	(91)	(60)	(74)	(60)	(67)	(49)		

()は現役内数

1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	入試年度			
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	卒業(同数)			
404	401	403	404	457	442	455	450	448	453	460	454	470	528	526	525	496	456	451	455	451	431	413	卒業生数			
121(33)	101(24)	93(33)	115(30)	111(47)	149(37)	145(38)	175(38)	169(27)	177(51)	160(37)	158(33)	180(37)	167(43)	141(36)	166(35)	191(41)	143(41)	156(48)	133(37)	140(42)	140(38)	149(37)	早稲田大			
48(17)	40(12)	48(9)	43(20)	45(18)	51(16)	62(12)	62(20)	83(15)	71(15)	71(25)	84(18)	68(13)	55(19)	52(19)	71(13)	84(21)	61(16)	46(17)	48(10)	45(19)	62(16)	52(22)	慶應大			
85(26)	70(17)	80(28)	68(19)	73(24)	115(15)	94(18)	123(20)	122(15)	121(18)	93(11)	97(13)	133(13)	125(19)	143(20)	140(23)	162(35)	142(28)	116(24)	117(24)	114(20)	126(22)	78(25)	明治大			
83(41)	63(20)	73(26)	70(26)	68(23)	69(19)	50(13)	67(10)	85(13)	64(8)	85(23)	101(11)	88(6)	58(19)	96(17)	101(11)	99(14)	101(27)	99(29)	95(17)	117(23)	98(21)	75(23)	東京理科大			
42(16)	38(15)	42(16)	36(12)	32(20)	34(7)	37(12)	49(17)	56(8)	39(9)	56(19)	48(6)	34(6)	41(9)	28(9)	42(5)	73(14)	47(16)	41(13)	58(13)	28(7)	39(12)	32(12)	上智大			
46(14)	38(7)	43(8)	38(13)	38(10)	64(14)	57(15)	43(5)	50(7)	41(12)	50(2)	34(11)	42(6)	56(11)	42(7)	66(14)	56(15)	45(13)	52(13)	56(9)	44(9)	62(23)	52(21)	立教大			
81(29)	49(15)	51(19)	42(17)	42(17)	56(18)	70(9)	60(7)	59(6)	55(12)	79(12)	73(14)	49(11)	70(11)	85(10)	88(18)	97(27)	97(26)	99(26)	78(14)	81(23)	84(23)	81(19)	中央大			
33(13)	40(14)	58(11)	42(17)	56(26)	20(3)	18(2)	25(2)	25(4)	34(3)	19(3)	27(2)	12(1)	25(7)	35(11)	40(9)	28(8)	21(8)	36(9)	29(5)	26(8)	36(5)	35(10)	青山学院大			
41(4)	39(7)	40(6)	28(9)	46(7)	54(6)	39(5)	35(2)	40(1)	40(1)	29(5)	42(3)	23(1)	41(2)	52(7)	59(3)	60(6)	57(12)	66(9)	47(4)	71(4)	68(18)	47(8)	法政大			
37(11)	39(14)	34(9)	32(11)	30(5)	34(3)	33(3)	32(5)	16(3)	35(5)	54(2)	35(1)	58(2)	64(6)	92(5)	90(6)	105(10)	76(12)	61(6)	71(13)	54(6)	65(8)	54(6)	日本大			
40(11)	13(4)	19(3)	24(9)	20(6)	13(6)	15(0)	17(1)	16(2)	12(1)	19(3)	16(1)	10(0)	7(1)	22(7)	26(5)	22(5)	23(3)	15(5)	22(1)	19(3)	29(4)	19(4)	学習院大			
7(1)	2(0)	4(0)	2(2)	4(1)	9(3)	3(0)	2(0)	2(0)	6(0)	2(1)	4(2)	15(0)	24(0)	30(1)	36(1)	14(0)	23(2)	13(4)	10(0)	17(3)	14(2)	15(5)	駒沢大			
19(3)	10(7)	11(2)	11(6)	8(0)	4(0)	6(2)	11(0)	10(3)	6(1)	7(0)	2(0)	14(1)	15(1)	26(2)	34(4)	58(3)	45(2)	36(2)	45(6)	55(1)	34(4)	39(4)	東洋大			
6(1)	7(5)	7(0)	8(0)	6(0)	6(2)	7(1)	8(0)	5(0)	7(0)	9(0)	8(1)	10(0)	5(0)	17(0)	9(1)	15(0)	10(1)	14(2)	17(0)	23(1)	12(1)	6(0)	専修大			
5(1)	3(1)	4(1)	4(2)	3(1)	8(4)	6(2)	1(0)	5(1)	3(0)	8(0)	8(2)	5(1)	7(2)	4(1)	5(0)	7(0)	1(0)	5(0)	11(0)	11(0)	1(1)	4(1)	同志社大			
10(1)	3(1)	3(1)	3(0)	7(4)	2(0)	1(0)	2(0)	4(1)	2(0)	2(2)	2(0)	6(0)	8(0)	5(1)	13(4)	18(4)	15(2)	17(4)	15(0)	22(5)	8(3)	16(3)	立命館大			
2(0)	1(0)			2(0)	1(0)		1(0)	1(0)	2(0)	1(0)			1(0)	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)		1(0)		1(0)	関西大		
					1(0)	4(1)								2(0)	1(1)	4(1)	1(0)	4(0)			1(0)	1(1)		関西学院大		
3(1)	14(3)	14(1)	12(8)	8(2)	10(0)	8(0)	11(3)	16(4)	9(3)	11(1)	6(0)	5(0)	13(1)	21(3)	20(0)	23(3)	17(3)	15(5)	30(4)	21(2)	24(10)	30(10)	芝浦工大			
6(0)	10(2)	12(3)	8(5)	4(1)	4(0)	4(0)	8(1)	11(0)	6(0)	9(0)	4(1)	12(0)	16(1)	22(4)	32(0)	37(5)	8(1)	17(1)	11(0)	13(2)	16(5)	29(6)	東京電機大			
13(3)	14(5)	9(3)	15(5)	7(1)	6(0)	11(1)	8(2)	9(0)	10(2)	5(1)	2(1)	4(0)	9(1)	3(0)	3(0)	2(0)	1(0)	7(0)	9(0)	2(0)	6(1)	14(0)	武蔵工大			
16(1)	8(2)	12(0)	13(2)	10(3)	6(2)	4(2)	3(0)	1(0)	6(0)	5(1)	5(1)	1(0)	5(2)	7(0)	14(2)	7(1)		10(1)	6(0)	19(0)	5(0)	10(3)	國學院大			
5(1)	17(0)	10(0)	10(2)	10(3)	10(2)	12(1)	14(1)	5(1)	14(0)	7(0)	5(2)	16(1)	16(1)	25(0)	30(1)	27(2)	24(3)	14(4)	13(1)	14(3)	8(4)	15(1)	成蹊大			
1(0)	11(0)	6(0)	7(0)	7(1)	17(2)	8(0)	11(0)	10(1)	8(1)	11(0)	9(0)	12(0)	11(0)	13(0)	22(1)	14(1)	8(1)	11(0)	8(2)	9(0)	12(2)	8(1)	成城大			
1(0)	1(0)	1(0)		1(0)	1(0)	1(0)	1(0)				1(0)	1(0)	1(0)	3(0)	1(0)	1(0)		1(0)	3(0)	1(0)				日本医科大		
	1(0)				1(0)							1(0)		9(0)										獨協医科大		
2(0)			1(1)	2(1)								1(0)	1(0)			1(0)	3(0)			1(1)	4(0)	1(0)	3(0)	北里大		
2(2)			2(1)				1(0)			1(0)			2(0)	2(0)	4(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	2(0)	2(0)	杏林大		
										2(0)	2(0)	4(0)	2(0)	7(1)	5(0)	14(1)	10(0)	7(1)		1(0)	2(0)			城西大		
																									駿河台大	
1(1)		2(0)	1(0)	1(0)			2(0)	2(1)		1(0)	3(0)	1(0)	5(2)	5(0)	10(0)	5(0)	5(1)	5(0)	1(0)	3(0)	3(2)	2(0)	2(0)	東京国際大		
1(0)	1(1)	1(0)	6(0)	2(0)		1(0)	3(0)	1(0)		2(0)	2(1)	2(0)	3(1)	9(0)	3(1)	5(0)	6(2)	2(1)	2(0)	2(0)	4(0)	3(3)	3(3)	獨協大		
		1(1)	5(0)	3(1)	2(1)	4(1)	1(0)		1(1)	1(0)	1(0)	1(0)	1(1)	3(0)	2(0)	4(0)	2(1)	4(0)	3(0)	1(1)	3(1)	5(0)	5(0)	文教大		
3(1)	3(1)	4(3)	3(1)	2(1)	1(1)										4(0)	1(0)		1(0)		1(1)				明海大		
	1(0)		1(0)			2(0)	1(0)						2(0)	1(0)	1(1)	1(0)	3(0)	1(0)	1(0)		2(0)	2(0)	2(0)	千葉工科大		
2(0)	2(1)				3(2)	1(0)	1(0)	2(0)		1(0)	1(0)	2(1)	8(0)	24(0)	4(0)	14(0)	23(2)	19(1)	7(1)	9(1)	5(1)	4(0)	4(0)	亜細亜大		
6(1)	8(4)	3(0)	4(2)	2(0)	1(0)	3(0)	4(0)	5(0)	4(0)	3(0)	15(0)	6(0)	12(1)	13(3)	14(2)	9(0)	4(1)	9(2)	6(2)	13(4)	8(0)	11(1)	11(1)	工学院大		
3(2)	4(2)	4(1)	2(1)	2(2)	5(4)	7(3)		1(0)	3(2)	2(0)	6(1)	4(3)	3(1)	2(0)	2(1)	3(1)	2(0)	3(0)	1(1)	1(1)				国際基督教大		
1(1)			1(1)		1(1)			1(0)	1(0)				1(0)	2(1)	3(0)	2(0)	7(1)	4(0)	6(2)	7(0)	3(0)	5(0)	5(0)	国士館大		
			3(2)	3(0)	2(0)	2(1)	1(0)						2(0)	2(0)	3(0)	3(0)	1(0)	2(0)	3(0)	4(0)	2(0)	4(0)	4(0)	昭和大		
	1(0)	2(0)				2(0)	1(0)		1(0)	1(0)		4(0)	15(1)	16(0)	22(1)	34(1)	22(2)	18(2)	11(0)	9(1)	16(3)	6(3)	6(3)	大東文化大		
			1(1)	1(0)								1(0)	2(0)	3(0)	3(0)	5(0)	1(0)	1(0)		2(1)	2(0)	1(0)	1(0)	拓殖大		
				1(0)			1(0)						2(0)	1(1)	1(0)	2(0)	4(0)	3(1)	2(0)	2(1)	1(0)	2(1)	1(0)	2(1)	帝京大	
9(6)	5(2)		4(0)	4(1)	1(1)	3(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(1)	5(0)	10(0)	5(0)	7(1)	9(1)	8(1)	5(1)	5(1)	7(1)	5(1)	5(0)	2(0)	2(0)	東海大		
15(4)	9(2)	17(5)	18(1)	8(0)	9(1)	2(0)	2(1)	4(0)	3(0)				4(0)	6(0)	1(0)	6(0)	6(0)	4(0)	1(0)	3(0)	2(0)	4(1)	4(1)	東京経済大		
								1(0)				1(0)	1(0)	1(0)	3(1)	1(0)	1(0)	1(1)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	4(3)	東京工科大
1(0)	3(0)	3(1)	2(0)	1(0)	1(1)	1(0)	1(0)	3(1)		1(0)	1(0)	5(0)	3(2)	2(0)	4(1)	5(0)		2(0)	4(1)	5(4)	5(2)	7(1)	7(1)	東京農業大		
6(3)	1(0)	1(1)	3(2)		2(0)	1(0)	3(1)		1(0)	2(2)	1(1)	1(0)		2(0)	2(1)	4(1)	7(2)	3(1)	1(1)	9(1)	4(1)	6(2)	6(2)	東京薬科大		
3(0)			2(0)	1(1)	1(0)		2(0)			1(0)	1(0)		1(1)		3(0)	2(0)	2(0)		1(0)	4(1)	5(2)	2(0)	2(0)	東邦大		
15(1)	15(4)	16(0)	8(0)	2(0)	7(0)	7(1)	3(0)	4(0)	5(0)	5(0)	3(0)	3(0)	11(1)	5(1)	6(0)	14(3)	15(0)	17(0)	11(0)	6(0)	10(1)	6(0)	6(0)	武蔵大		
5(0)	8(3)	7(3)	8(2)	9(0)	11(1)	17(2)	8(0)	1(0)	7(0)	4(0)	3(0)	8(0)	17(1)	12(0)	18(2)	16(1)	8(1)	4(0)	1(0)	8(1)	2(0)	12(2)	12(2)	明治学院大		
1(1)		2(0)	2(0)	1(1)	4(1)		5(0)		3(1)	3(1)					3(0)	2(0)	2(1)		1(0)		3(1)	4(2)	4(2)	明治薬科大		
			1(0)		1(1)	2(0)		1(0)						1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	明星大	
1(0)			1(0)		5(3)	1(0)			1(0)		1(0)	1(0)	7(0)	2(0)	6(0)	4(2)	6(1)	2(1)	4(0)	6(0)	1(0)	3(1)	3(1)	立正大		
17(7)	14(5)	15(7)	20(9)	14(6)	14(4)	8(5)	18(4)	10(2)	10(2)	8(0)	9(0)	16(8)	17(6)	19(2)	39(5)	29(5)	21(2)	27(5)	19(6)	21(2)	28(4)	28(8)	28(8)	その他		
845	707	752	730	695	816	756	833	838	811	834	832	871	972	1128	1286	1426	1151	1089	1043	1082	1066	991	991	計		
(258)	(200)	(201)	(239)	(234)	(175)	(148)	(142)	(116)	(148)	(152)	(127)	(111)	(177)	(170)	(173)	(234)	(236)	(180)	(180)	(199)	(248)	(249)	(249)			
3(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	3(1)	9(4)	2(0)	2(2)	2(1)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	7(3)	3(1)	短大・専門学校		
0(0)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	就職		

大学別合格状況 (1955~1999)

【私立大学編】

入試年度	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976
卒業回(倍)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
卒業者数	302	307	284	306	309	316	303	308	298	292	425	537	520	519	506	445	427	429	418	410	397	410
早稲田大	20(8)	25(4)	21(3)	27(9)	29(9)	18(5)	28(4)	16(6)	24(5)	39(17)	20(13)	65(23)	66(22)	65(12)	87(15)	63(9)	76(14)	80(22)	66(29)	70(15)	82(28)	93(18)
慶應大	5(3)	6(1)	3(3)	8(1)	12(4)	8(2)	9(4)	16(6)	13(3)	15(8)	14(6)	32(7)	18(2)	19(3)	30(4)	25(3)	24(6)	27(12)	29(20)	28(8)	32(14)	30(8)
明治大	10(8)	9(5)	9(5)	19(10)	24(11)	27(10)	42(20)	31(24)	47(22)	46(29)	47(36)	57(26)	63(23)	68(19)	95(20)	64(13)	72(26)	77(28)	80(39)	79(24)	89(28)	54(11)
東京理科大	2(2)	3(0)	4(2)	1(1)	3(1)	5(1)	5(0)	4(2)	7(1)	6(3)	15(12)	8(8)	26(7)	24(8)	24(4)	24(9)	43(9)	39(11)	35(15)	39(20)	48(22)	41(15)
上智大	1(1)	2(0)	1(1)	4(3)	7(1)	8(3)	8(2)	10(6)	15(8)	12(6)	12(7)	11(2)	11(3)	23(8)	17(9)	16(8)	14(2)	27(9)	29(7)			
立教大	6(3)	13(4)	11(6)	6(5)	14(5)	6(5)	8(8)	10(6)	7(3)	25(13)	14(9)	19(11)	21(13)	16(5)	27(3)	22(5)	27(5)	34(6)	21(8)	45(15)	22(4)	25(2)
中央大	23(12)	18(8)	24(6)	20(9)	17(10)	23(14)	30(12)	25(13)	25(14)	51(31)	33(23)	42(25)	46(27)	60(22)	63(16)	64(15)	59(16)	60(28)	41(34)	47(15)	66(20)	65(15)
青山学院大	5(1)	2(1)	3(2)	4(0)	4(3)	3(1)	5(3)	10(5)	8(5)	10(10)	24(16)	19(4)	23(14)	21(7)	19(2)	27(9)	23(9)	18(9)	29(4)	25(6)	17(3)	
法政大	12(11)	15(10)	10(5)	7(6)	12(11)	13(10)	12(8)	14(9)	15(14)	23(17)	27(24)	37(27)	32(15)	36(15)	45(13)	35(5)	36(17)	36(11)	12(9)	33(9)	41(11)	40(13)
日本大	24(21)	19(9)	12(5)	11(7)	27(10)	23(16)	27(19)	21(12)	25(15)	28(18)	19(16)	27(20)	23(16)	21(8)	28(9)	18(5)	32(14)	22(10)	24(16)	20(8)	35(10)	31(3)
学習院大	3(2)	3(0)	6(1)	1(1)	3(2)	1(1)	1(1)	3(2)	5(4)	9(3)	8(2)	11(3)	1(1)	8(3)	10(1)	5(1)	17(3)	15(3)	19(12)	27(3)	14(5)	26(6)
駒沢大	1(1)	2(2)	1(0)	3(1)	4(1)	1(1)	4(1)	3(2)	2(2)	1(1)	2(1)	2(2)	5(1)	4(2)								
東洋大	3(2)	2(2)	1(0)	5(3)	2(2)	6(5)	4(2)	19(14)	7(5)	17(14)	21(13)	17(7)	20(11)	36(24)	28(6)	20(9)	31(11)	13(3)	7(2)	15(5)	20(6)	
専修大	1(1)	2(1)	2(2)	1(0)	2(2)	2(2)	4(3)	11(7)	6(3)	10(2)	12(7)	16(1)	7(3)	9(3)	11(9)	6(0)	6(0)					
同志社大	1(1)	1(1)	1(1)	4(0)	2(0)	1(0)	2(0)	5(0)	6(2)	6(2)	3(1)	1(0)	5(1)	7(0)								
立命館大	1(0)	2(1)	2(0)	3(0)	5(0)	3(1)	2(0)	3(0)														
関西大																						
関西学院大																						
芝浦工大	2(1)	1(1)	2(1)	1(1)	4(4)	4(2)	2(1)	6(4)	4(4)	12(10)	8(6)	5(2)	3(1)	6(2)	7(3)	17(8)	16(8)	5(5)	6(3)	3(1)	5(3)	
東京電機大	1(0)	2(2)	5(3)	7(1)	7(6)	9(7)	8(4)	15(6)	18(10)	1(1)	14(5)	6(3)	16(5)	14(4)	11(2)	7(1)						
武蔵工大	1(0)	1(1)	4(3)	3(1)	2(1)	4(3)	2(2)	4(2)	4(1)	1(0)	3(3)	11(5)	12(5)	3(2)	6(1)	8(5)	4(2)	8(1)	7(4)	10(1)	14(4)	6(2)
國學院大	2(1)	5(5)	1(1)	5(5)	1(0)	3(3)	1(1)	2(1)	5(2)	1(1)	8(3)	5(2)	14(2)	11(1)	9(3)	4(0)	5(1)	4(1)	5(0)	9(1)	9(1)	
成蹊大	1(1)	1(0)	1(0)	2(1)	3(2)	2(2)	3(2)	5(0)	5(2)	3(0)	9(1)	3(2)	4(2)	1(0)	8(1)	4(0)	7(2)					
成城大	2(1)	1(1)	2(0)	2(0)	1(0)	5(0)	1(0)	4(0)														
日本医科大	3(1)	2(1)	1(0)	1(0)																		
獨協医科大																						
北里大	1(0)	1(0)	1(1)	1(0)	1(1)																	
杏林大	1(1)																					
城西大	2(2)	2(1)																				
駿河台大																						
東京国際大	1(1)	1(1)	1(0)	1(1)	1(1)																	
獨協大	2(0)	1(0)	7(1)	3(1)	2(0)	1(1)	4(1)	2(2)	5(1)													
文教大																						
明海大	3(2)	2(1)	2(1)	1(1)																		
千葉工科大	3(2)	3(1)	1(0)	3(3)	1(0)	3(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(0)	2(1)	1(0)	3(0)	1(1)	1(1)							
亜細亜大	1(0)	2(1)	1(1)	2(1)	1(1)																	
工学院大	1(1)	1(1)	3(3)	2(2)	3(3)	6(3)	9(7)	4(4)	6(5)	12(10)	8(6)	5(5)	7(2)	17(5)	11(6)	9(5)	1(1)	5(0)	4(3)	5(2)		
国際基督教大	2(1)	1(1)	2(0)	4(2)	1(0)																	
国士館大	2(2)	1(0)	1(1)	1(1)	1(0)	2(1)																
昭和	2(1)	1(0)																				
大東文化大	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)																		
拓殖大	4(3)	4(1)	2(2)	1(1)																		
帝京大																						
東海大	2(2)	1(1)	1(1)	2(2)	1(0)	4(3)	7(6)	3(3)	1(1)	2(2)	8(1)	9(2)	2(2)	4(1)	6(3)	5(2)	10(5)					
東京経済大	4(2)	2(1)	1(1)	3(3)	2(0)	6(5)	2(1)	2(2)	4(2)	6(5)	9(8)	16(9)	10(7)	6(0)	8(1)	8(3)	7(5)	9(8)	4(2)	4(2)	11(1)	6(1)
東京工科大																						
東京農業大	2(2)	1(1)	1(1)	2(0)	2(2)	2(1)	2(1)	1(1)	6(4)	3(3)	3(2)	4(4)	2(1)	7(2)	2(0)	2(1)	5(2)					
東京薬科大	1(0)	1(0)	1(1)	3(2)	1(0)	1(0)	2(2)	1(0)	2(0)	1(0)	3(0)	4(3)	2(0)	4(2)	3(2)	2(1)	4	0				
東邦大	1(0)	1(0)																				
武蔵大	1(1)	1(0)	2(2)	1(0)	4(1)	2(1)	5(0)	5(1)	10(3)	4(1)	11(3)	15(1)	6(1)	10(2)	6(2)	2(0)	4(0)	5(0)	10	0		
明治学院大	1(0)	2(0)	6(4)	2(2)	12(2)	12(1)	6(0)	7(2)	4(3)	5(3)	4(0)	6(0)	4	0								
明治薬科大	1(1)	1(1)	1(0)	2(2)	1(1)	1(0)	1(1)	1(0)	1(0)	2(1)												
明星大	2(2)	1(0)	2(1)																			
立正大	1(1)	1(1)	1(1)	1(0)	1(1)	1(1)	1(1)															
神奈川大	1(0)	2(1)	1(1)	1(0)	2(0)	1(1)	1(1)	1(0)	1(1)	5(0)	2(1)	1(0)	1(0)	1	0							
その他	8(7)	1(1)	7(4)	5(1)	7(5)	10(7)	12(5)	9(6)	4(4)	3(1)	7(4)	4(0)	17(9)	10(2)	13(3)	16(3)	11(4)	16(6)	8(2)	7(4)	15(7)	18(6)
計	128 (86)	135 (58)	130 (55)	137 (73)	184 (85)	172 (99)	207 (107)	192 (105)	261 (136)	322 (184)	303 (219)	474 (254)	434 (193)	486 (163)	617 (159)	524 (113)	597 (188)	581 (215)	466 (245)	529 (151)	617 (191)	601 (139)
短大・専門学校	0(0)	0(0)	1(1)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	12(8)	6(5)	8(4)	9(4)	5(1)	9(8)	3(1)	9(7)	1(0)	2(0)	3(2)
就職	(26)	(37)	(61)	(70)	(70)	(83)	(62)	(46)	(26)	(21)	(18)	(14)	(20)	(14)	(12)	(8)	(5)	(4)	(0)	(1)	(6)	(2)

現在の川越高校

(1999年度学校要覧から抜粋)

1. 教育目標・努力点

(1) 教育目標

人格の完成をめざし、真理と正義を愛し、個人の価値をたっぴ、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた、心身ともに健康な生徒の育成を期する。

(2) 本年度の努力点

(1) 学力の向上と進路指導の充実

積極的な学習態度を育て、学力の向上に努める。

各生徒が個性に応じた将来の進路を自ら選択・実現でき得よう組織的・継続的な指導の充実をはかる。

(2) 体力の増強と体育・スポーツの奨励

体育施設を活用して、体育・スポーツを奨励し、体力の増強と明朗闊達な精神の育成をはかる。

(3) 情操教育の充実と文化の奨励

様々な芸術に接することにより、情操を豊かにし、精神的向上心の育成をはかる。また、図書館の利用等を通して、読書する心を養う。

(4) 生活指導の推進

教師と生徒とのふれあいを通して、基本的な生活態度・習慣の育成をはかる。

集団活動や行事に全生徒を積極的に参加させ、連帯感を高め、自主・責任・友愛の精神を養う。

(5) 人間の尊重

生命の安全を第一とする。

個人の考え・行動を尊重することを基本に、他人の立場を尊重し、理解する態度を養う。

同和教育の実施とその充実に努める。

(6) 教育課程の研究と編成

教育課程を研究し、理解を深め、生徒の実態に応じた教育課程を編成するよう努める。

(7) 教育環境の整備・美化

教育環境の整備・美化に努め、清潔にしてうるおいのある教育の場の造成に努める。

(8) 職員研修の推進

絶えず研修に努め、教育内容の改善と充実をはかる。

(9) 保護者との連携

保護者との連絡を密にし、教育活動の充実をはかる。

2. 日課表・勤務時間

(1) 日課表

校 時	時 間
職員朝会	8:30 ~ 8:40
ホームルーム	8:40 ~ 8:50
1	8:50 ~ 9:40
2	9:50 ~ 10:40
3	10:50 ~ 11:40
4	11:55 ~ 12:45
予 鈴	13 : 15
5	13:20 ~ 14:10
6	14:20 ~ 15:10
7	15:20 ~ 16:10

(2) 教員等勤務時間

	月～水・金	木	土
勤務開始	8:20	8:20	8:20
休憩時間	11:40 ~ 11:50 12:45 ~ 13:20	11:40 ~ 11:55 12:45 ~ 13:20 15:30 ~ 15:40	
休息時間	9:40 ~ 9:50 10:40 ~ 10:45 14:10 ~ 14:20 15:25 ~ 15:30	9:40 ~ 9:50 10:40 ~ 10:45 14:10 ~ 14:20 15:25 ~ 15:30	9:40 ~ 9:50 10:40 ~ 10:45
勤務終了	16:45	17:50	13:10

- ただし、長期休業中にかかる週については、一日の勤務時間が月曜～金曜については8時間、土曜については4時間となるよう必要に応じて割り振りを行う。
- 各月の第2週、第4週については、40時間を月曜～金曜に割り振る。
- その他については、学校職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例、同規則及び関連通知によって割り振る。
- 第7校時が実施される日については、最終の休息時間を第7校時終了後の5分間とする。

(3) 事務職員等勤務時間

通 年		月 ~ 金	土 (1・3・5週)
	勤務開始	8:20	8:20
	休憩時間	12:20 ~ 13:05	
	休息時間	10:00 ~ 10:15 15:00 ~ 15:15	10:00 ~ 10:15
	勤務終了	17:05	12:20

4週のをあいだに、月～金の平日1日（8時間）を指定日とする。

2000年

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	金 陸上競技大会予備日	月 大掃除	水 ①②テ	⑤ (元旦) 冬季休業 (閉庁土曜日)	火 3年大票提出(15:00)	水 採点	1
2	土	火 修学旅行直前指導 テ	木	⑥	水 3学年成績会議 大掃除	木 採点	2
3	⑧	④ (文化の日)	金	月	木 推薦入学面接	金	3
4	月	木 (2年修学旅行) 実力考査(3年第3回)	土	火	金 テ	土	4
5	火 (保護者会)	金 実力考査(3年第3回)	⑥	水	土	⑦	5
6	水	土 百周年記念	月	木	⑧	月 一般募集選抜会議	6
7	木	⑥	火	金	月	火 入学許可候補者発表 予備会	7
8	金 テ	月 美術展・書道展	水 ③④	土 (休業土曜日)	火	水 卒業式	8
9	土 (休業土曜日)	火 (2学年振替休日)	木	⑧	水 推薦入学選考会議	木 1・2学年期末考査	9
10	⑧ (体育の日)	水 ③④	金 期末考査	⑨ (成人の日)	木 内定通知書交付	金	10
11	⑨ (振替休日)	木	土 (休業土曜日)	火 始業式、大掃除	⑩ (建国記念の日)	土 (休業土曜日)	11
12	火	金	⑩	水 ①②	土 (休業土曜日)	⑪	12
13	水 ③④	土 (休業土曜日)	月	木	⑪	月	13
14	木 創立百周年記念 講演会(体育館)	⑥ (県民の日)	火	金 3年家庭学習 テ	月	火	14
15	金 (生)	月	水 (教)	土 センター試験	火 願書提出	水	15
16	土	火	木 防災訓練	⑩	水 " ③④	木	16
17	⑩	水 ①②	金 (生)	月 3年午後自己採点	木 志願先変更	金 1、2年小票提出 (10:00)	17
18	月	木	土	火	金 (生)	土 入学許可候補者登校 日(10:00~)	18
19	火	金 (生)	⑪	水 ③④	土	⑪	19
20	水 ①②	土	月 小票提出(10:00)	木 3学年期末考査	⑪	⑪ (春分の日)	20
21	木	⑪	火 大票提出(15:00)	金 (生)	月	火 1、2年大票提出 (15:00)	21
22	金 創立百周年記念式典 祝賀会準備 大掃除	月	水 成績会議、職員会議 大掃除	土 (休業土曜日)	火	水 大掃除、学年末成績 会議、職員会議	22
23	土 (休業土曜日) 創立百周年記念式典祝賀会	④ (勤労感謝の日)	⑥ (天皇誕生日)	⑪	水 志願先変更特例 ⑩(教)	木 追認考査 追認定会議	23
24	⑪	水 ③④(教)	金 終業式	月	木	金 終業式	24
25	月	木	土 冬季休業 (休業土曜日) スキー 教室	火 実力考査(2年3回 1年2回)	金 大掃除	土 学年末休業 (休業土曜日)	25
26	火	金	⑫	水 ①②(教)	土 (休業土曜日)	⑫	26
27	水 中間考査(教)	土 (休業土曜日)	月	木 願書・調査書・学習 の記録等一覧	⑫	月 テ	27
28	木	⑫	火	金 3年小票提出(13:00)	月 一般募集学力検査	火	28
29	金	月 大掃除	水	土	火 一般募集面接	水	29
30	土 創立百周年記念 俳句大会(図書館)	火 3年 出願準備 OT	木	⑬		木	30
31	⑬		金	月		金	31
備考	自転車通学者指導 交通安全指導 第3回家庭教育学級 (10/) 照度検査 (中下旬2~3週間) 百周年記念親善ゴルフ大会 (10/25)	同和教育(L.H.R) 博物館見学 強歩大会 同窓会百周年記念祝賀会 (11/13)	PT会広報「かわたか」 第95号(12/24) 図書館報「くすの木」 第138号(12/24) 第3回百周年記念 実行委員会	学力検査準備開始 第4回P後常任理事会 (1/15)	1年オリエンテーション (コース選択について) 県学校環境衛生調査 食堂食品衛生検査(3回目)	第3回PT会地区委員会 PT会広報「かわたか」 第96号 4/3(月) 転入考査 図書館報「くすの木」 第139号(3/24)	備考

3. 年間行事計画表

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
1	木 転・新任者の着任式 全室合同職員会議(9:00)	土 体育館図書館落成 記念講演会 11:00~	火 夏季計画開始 進路 OT(2年)	木 夏季計画発表	⑧	水 始業式、大掃除	1
2	金	⑧	水 ③④	金 水泳大会(1年)	月	木	2
3	土 (閉庁土曜日)	⑨ (憲法記念日)	木	土	火	金	3
4	⑩	⑩ (国民の休日)	金	⑩	水	土	4
5	月	⑪ (こどもの日)	土	月	木	⑩	5
6	火	木	⑩	火 ↑ プール水質調査	金	月	6
7	水 ↓	金 避難訓練 尿検査(2次) 8:50~	月	水 期末考査	土 (閉庁土曜日)	火	7
8	木 始業式、大掃除、入学式	土 (休業土曜日)	火 修学旅行 OT(LHR2年) 進路 OT(1年)	木	⑧	水 ①②	8
9	金 対面式	⑩ ↑ 1年 同窓会総会	水 眼科検診(1・2・3年) 10:00~1:30~①②	金 ↓	月	木 (9/11 振休)	9
10	土 (休業土曜日)	月 歯科検診(2年 F~J)9時~ 簡易水道水質検査	木 球技大会第1日	土 (休業土曜日)	火	金	10
11	⑪	火 遠足	金 球技大会第2日	⑩	水	土 (休業土曜日) 創立百周年記念実行委員会	11
12	月 身体計測(3年) 8:50~	水 胸部 X 線画像撮影9:00~ (1年・教職員) ③④	土 (休業土曜日)	月	木	⑩ ↓ くすのき祭	12
13	火 身体計測(1,2年) 8:50~	木 耳鼻科検診(1,3年) 1:30~	⑩	火	金	月	13
14	水 心臓検診(1年)8:50~ ①②	金 PT 会総会・保護者会	月 実力考査(3年1回)	水 芸術鑑賞会 (国立劇場)	土 (休業土曜日)	火 (9/12 振休)	14
15	木 新入生歓迎会	土	火 実力考査(2・3年1回)	木 小票提出(10:00)	⑩	⑩ (敬老の日)	15
16	金	⑩	水 ③④	金 大票提出(15:00) (生)	月	木 実力考査(3年2回)	16
17	土 第1回 P 後常任理事会	月 スポーツテスト(3年)	木	土 成績会議、職員会議 大掃除	火	金 実力考査(2年・3年 2回、1年1回) (生)	17
18	⑪	火 進路 OT2年(コース選択と進路) スポーツテスト(2年)	金 (生)	⑩	水	土 創立百周年記念音楽会 (市民会館)	18
19	月	水 スポーツテスト(1年) ①②	土 第1回百周年記念 実行委員会	月 終業式	木	⑩	19
20	火 尿検査(1次)8:50~ 進路 OT3年	木	⑩	⑩ (海の日)	金	月	20
21	水 尿検査(1次予備)、内科検診 (2年 A~E)1:30③④	金 (生)	月	水 ↑ 夏季休業 (教)	土 (閉庁土曜日)	火	21
22	木 歯科検診(3年) 8:50~	土 (休業土曜日)	火 修学旅行 OT (LHR2年)	木 地区別 PT会	⑩	水 ③④	22
23	金 離任式	⑩	水 ①②	金	月	⑩ (秋分の日)	23
24	土 (休業土曜日)	月 ↑ 中間考査	木 歯科検診(1年)9:00 ~13:30~	土 (休業土曜日)	火	金	24
25	⑩	火	金	⑩	水	土 (休業土曜日)	25
26	月 内科検診(1年 A~E) 1:30~	水 (教)	土 (休業土曜日)	月	木	⑩	26
27	火 歯科検診(2年 A~E) 8:50~	木	⑩	火	金 学校説明会	月	27
28	水 大掃除、内科検診(1年 F ~J・3年)1:30①②	⑩ (開校記念日)	月	水	土 (休業土曜日)	火	28
29	⑩ (みどりの日)	土	火 修学旅行 OT (LHR2年)	木	⑩	水 大掃除 ①②(教)	29
30	金 内科検診1:30~ (2年 F~J)	⑩	水 大掃除 ③④(教)	金 学校説明会	月	木 陸上競技大会	30
31	月	月 大掃除	土	土 (閉庁土曜日)	火		31
備考	生徒健康相談日 (1:30~)(生)転入考査 教職員健康相談日 (1:30~)(教)ア縮切 1年生図書オリエンテーショ ン P後・同窓会計監査(4/12) 心臓検診(2次) 生徒総会、自転車通 学者点検指導 尿検査(予備日・全年)	地区委員会 教育実習直前 O.T. (5/29) くすのき祭関係 HR 討議 (LHR) 1年 交通講話、自転車 通学指導 生徒会役員改選(立会演 説会・投票) 1年 進路アンケート (生活意識調査 上旬) 家庭教育学級運営委員会 (5/29)	教育実習(5/31~6/13) 第2回 P 後常任理事会(6/5) 交通安全指導 地区委員会(6/5) 結核検査(精密検査) 食堂食品衛生検査 (6/1 1時30分~)	部室清掃 PT会広報「かわたか」 第94号(7/19)	くすのき祭実行委員会 プール水質検査(2回目)	教育実習(9/20~10/3) くすのき祭参加団体保健 管理指導 第3回 P 後常任理事会 第2回家庭教育学級 全国学校環境衛生検査 (上旬) 食堂食品衛生検査(2回目)	備考
	①②③④は土曜日の時間割						

№	職名	氏名	教科	H・R	校務分掌	クラブ顧問	№	職名	氏名	教科	H・R	校務分掌	クラブ顧問
49	教諭	横田雅之	保体	2 D	教務	野球	76	業務主任	佐藤 二三子			文書集配・印刷・清掃	
50	教諭	室田栄治	公民(倫)	1 C	教務	弁論・新聞	77	業務主任	野口 多恵子			文書集配・造園・清掃	
51	教諭	鯨井 ひかり	国語		環境整備	弦楽合奏	78	業務主任	佐藤 次夫			造園・清掃 修繕	
52	教諭	福島佳克	地歴(世・倫)		図書・視聴覚	応援・郷土	79	図書館助手	山本 めぐみ			図書館事務	
53	教諭	花井 敦	英語	1 D	進路指導	吹奏楽	80	図書館助手	吉田 晚子			図書館事務	
54	教諭	比留間 康夫	数学	1 G	保健体育	卓球	81	非常勤	大西 ふたば	英語			
55	教諭	森田智裕	保体	3 B	PT会・後援会	剣道	82	非常勤	島崎 則子	家庭			
56	教諭	佐賀 博	理科(化)	2 F	教務	放送 吹奏楽	83	非常勤	田崎 由美子	芸術(音)			
57	教諭	内田正俊	国語	1 A	PT会・後援会	陸上・音楽	84	非常勤	峯 孝貴	保体			
58	教諭	杉崎一彦	英語				85	非常勤	真下 真朱美	家庭			
59	教諭	米山 隆夫	国語	2 A	生徒指導	排球・文芸	86	ALT	エリンカベナ フルム				
60	教諭	岡 豊	保体		教務	籠球							
61	教諭	西野 博	数学	2 J	教務	軽音楽・ ラグビー							
62	教諭	岩田博雄	国語	2年付	生徒指導	排球							
63	教諭	新堀 聡	数学	3 I	進路指導	山岳・庭球							
64	教諭	関根 修	数学	1 B	教務	山岳							
65	教諭	西山貴晃	英語		教務	応援							
66	養護教諭	福田 久仁子			保健体育								
67	養護教諭	大徳 裕美			保健体育								
68	実習助手	仁科 美奈子											
69	実助臨	渡辺 恵美											
70	事務室長	山崎 昭男			事務全般・人事 支出・団体会計								
71	主任	田中 敏史			物品・財産管理・ 服務・団体会計								
72	主事	堀口 友子			給与・人事・福利厚生・視 覚カード・読書料・学費								
73	主事	青鹿 容子			歳出・調査・庶 務・団体会計								
74	主事	小宮 正			図書・入・学校保健会・日本 育英会・庶務・調査・団体会計								
75	司書	中野 史子			図書館事務 図書館施設設備管理								

(3) 学校医・学校薬剤師

職名	氏名	科目	着任年月
学校医	佐藤 治邦	内科	H11.6
	川越市脇田本町11-23 電話 0492-44-0677		
学校医	犬竹 庸二	内科	H 9.4
	川越市大手町4-3 電話 0492-22-4141		
学校医	岸 弥生	眼科	S36.7
	川越市石原町1-10 電話 0492-23-1900		
学校医	時田 信博	耳鼻科	S57.4
	川越市古谷上27-1 電話 0492-35-0100		
学歯医	大塚 尚昭	歯科	S56.4
	川越市通町14-3 電話 0492-22-1824		
学歯医	小川 功	歯科	H11.4
	川越市広栄町25-5 電話 0492-45-5518		
学薬師	堀内 慶治		S63.4
	川越市三久保町4-7 電話0492-22-0061		

4. 全日制職員一覧

(1) 職名別現員数

校長	教頭	教諭	養護教諭	非常勤講師	A L T	室長	主任	主事	司書	実習	業務	図書館手	学校医	学業 校師	技師	計
1	2	62	2	5	1	1	3	1	1	2	3	2	6	1	1	94

(2) 職員

No	職名	氏名	教科	H・R	校務分掌	クラブ顧問	No	職名	氏名	教科	H・R	校務分掌	クラブ顧問
1	校長	橋本 恭明	公民 (倫)				25	教諭	渋谷 忠司	数学		環境整備	ラジオ・ 書道
2	教頭	松木 晴信	国語				26	教諭	畑中 一郎	理科 (生)		図書・視聴覚	新聞・生物
3	教頭	深澤 一博	理科 (物)				27	教諭	石塚 稔成	数学	2 I	保健体育	映視研・空 航
4	教諭	根岸 和弘	芸術 (美)		図書・視聴覚	美術	28	教諭	吉原 武夫	理科 (物)	3年付	進路指導	弦楽合奏 ・卓球
5	教諭	中根 章介	数学	3年 主任	環境整備	籠球	29	教諭	中里 秀子	英語	3年付	保健体育	写真・美術
6	教諭	荻野 辰雄	英語	3 D	保健体育	ラグビー	30	教諭	山梶 恵子	英語		進路指導	古典ギター
7	教諭	村井 恒夫	保体	2年 主任	保健体育	排球	31	教諭	福本 彰	理科 (物)		教務	物理
8	教諭	柏木 敬子	国語	3年付	教務	野球	32	教諭	関根 俊彦	地歴 (地)		PT会・後援会	山岳・弓道
9	教諭	滝澤 民夫	地歴 (日)		図書・視聴覚	郷土・水泳	33	教諭	齋藤 実	数学	1 I	PT会・後援会	弓道
10	教諭	遠藤 静枝	家庭	2 E	環境整備	J R C・ 音楽	34	教諭	二本松 敬太	保体	3 F	生徒指導	柔道
11	教諭	根岸 登	英語		環境整備	放送・英語	35	教諭	五十公野 順一	地歴 (世)	3 A	環境整備	庭球
12	教諭	諸田 純一	保体		生徒指導	蹴球	36	教諭	島田 俊一	地歴 (地)	1年付	進路指導	山岳
13	教諭	柳沢 民雄	英語	2年付	図書・視聴覚	英語	37	教諭	谷本 幸隆	国語		生徒指導	水泳
14	教諭	近藤 伸一	国語	1年 主任	生徒指導	剣道・将棋	38	教諭	西見 正	数学	3 G	PT会・後援会	バドミント ン
15	教諭	宮寺 勇	芸術 (音)		PT会・後援会	音楽・ 古典ギター	39	教諭	阿部 宏	理科 (物)	2 C	図書・視聴覚	映・視研 理物
16	教諭	西川 正己	理科 (地)	3 J	進路指導	地学	40	教諭	石井 啓之	数学		教務	球楽 ・軽音楽
17	教諭	栗原 山郎	英語	1年付	進路指導	文芸・ 演奏	41	教諭	斉藤 和弘	英語	1 H	生徒指導	山岳・バド ミントン
18	教諭	小島 正喜	保体	1年付	生徒指導	陸上	42	教諭	志藤 修司	公民 (政)	1 J	環境整備	蹴球・論 弁
19	教諭	吉田 やす子	家庭		保健体育	体操・ J R C	43	教諭	高橋 泰綱	数学	1 E	生徒指導	航空・籠球
20	教諭	佐藤 茂夫	理科 (化)		生徒指導	ラグビー ・化学	44	教諭	岩崎 洋	地歴 (日)	2 H	進路指導	将棋・柔道
21	教諭	大館 義広	国語		図書・視聴覚	体操	45	教諭	飯塚 利男	数学	2 B	教務	ラジオ・学 地
22	教諭	福内 登茂榮	国語	3 E	進路指導	弓道	46	教諭	高橋 克己	英語	2 G	環境整備	野球
23	教諭	遠藤 一郎	芸術 (書)	2年付	生徒指導	書道	47	教諭	丹羽 俊治	地歴 (世)	3 C	教務	蹴球・写真
24	教諭	佐藤 健二	理科 (化)	3 H	生徒指導	化学・ 古典ギター	48	教諭	中村 潔	理科 (生)	1 F	図書・視聴覚	生物・バド ミントン

(2) 各種委員会

○印：委員長

	委員会	委員名			
1	企画委員会	教頭：○深澤、松木 数学：飯塚 英語：花井 三年：中根 保健体育：福田 同窓会：西川	事務室長：山崎 理科：佐賀 家庭：遠藤(静) 教務：福本 環境整備：志藤	国語：近藤 保健体育：横田 一年：近藤 生徒指導：諸田 図書視聴：柳沢	地歴公民：志藤 芸術：遠藤(一) 二年：村井 進路指導：吉原 P. 後援会：関根(俊)
2	図書館 運営委員会	国語：大館 保健体育：二本松	地歴公民：福島 芸術：根岸(和)	数学：高橋(泰) 英語：柳沢	理科：畑中 家庭：吉田
		図書：○柳沢、滝沢、阿部、福島、中村、中野			
3	学校保健委員会	校長：橋本 保健主事：○福田	教頭：深澤、松木 養護教諭：福田、大徳	事務室長：山崎 保健：村井	
4	教育課程 研究委員会	国語：内田 保健体育：小島 教務：福本	地歴公民：室田 芸術：遠藤(一) 教育課程：○佐賀、西野、岡	数学：石塚 英語：斉藤(和)	理科：阿部 家庭：遠藤(静) 生徒指導：佐藤(健)
5	施設設備 貸与委員会	教頭：○深澤、松木 生徒指導：諸田	事務室長：山崎	教務：福本	環境整備：遠藤(静)
6	同和教育連絡会	一年：島田 国語：谷本 保健体育：諸田 同和教育：○横田、室田、西山	二年：飯塚 地歴公民：島田 芸術：根岸(和)	三年：中里 数学：比留間 英語：高橋(克)	HR係：二本松 理科：佐藤(健) 家庭：吉田 事務室：青鹿
7	スキー教室 委員会	一年(2)：比留間、関根(修) 体育科：○横田		二年：佐賀 生徒指導：高橋(泰)	
8	行事検討委員会	一年：室田 教務：○飯塚、福本	二年：岩田	三年：柏木 生徒会：二本松	体育科：岡 進路指導：福内
9	学芸行事委員会	国語：○福内 生徒会係：米山	芸術：宮寺	地歴公民：岩崎 生徒指導：近藤	
10	コンピュータ 管理委員会	教務：飯塚	進路指導：花井	○中村、齋藤(実)、阿部	
11	校務分掌検討 委員会(7名)	○中根、根岸(和)、村井、荻野、根岸(登)、柳沢、近藤			
12	校務分掌調整 委員会(7名)	○遠藤(一)、佐藤(健)、栗原、渋谷、小島、畑中、滝澤			
13	P T会校内常任 理事(3名)	○中根、根岸(和)、荻野			
14	100周年記念事業 実行委員会 (11名)	○根岸、福本、関根(俊)、西川、宮寺、佐賀、大館、五十公野、渋谷、齋藤(実)、二本松			
15	推薦委員会	教頭：深澤、松木 進路：○吉原、西川、栗原、福内、山梶、島田、岩崎、花井、新堀 三学年団：中根、五十公野、森田、丹羽、荻野、二本松、西見、佐藤(健)、柏木、中里	教務主任：福本		
16	留学委員会 (6名)	1年：栗原、2年：西野、教務：横田、英語：山梶、柳沢 総務：○根岸			

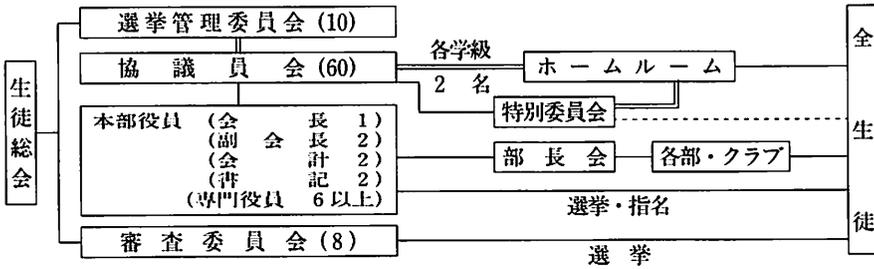
5. 校務分掌一覽表

(1) 各 部

部 名	業 務 内 容	担 当 者
教 務 部 (福本)	教 務	○石井、丹羽、岡、西野、関根(修)、福本
	時 間 割	○飯塚、横田、室田、佐賀、柏木、西山
	教 育 課 程	○佐賀、岡、西野
	同 和 教 育	○横田、室田、西山
	教科書・学校要覧	○飯塚、石井、丹羽、佐賀、関根(修)
	学 事	○丹羽、飯塚、西野、関根(修)
	教育実習生・留学生	○石井、横田、室田、柏木
	(定員 12名)	
生 徒 指 導 部 (諸田)	生 活 指 導	○小島、諸田、近藤、佐藤(茂)、佐藤(健)、岩田
	渉 外	○諸田、近藤、佐藤(茂)、二本松
	生 徒 会	○米山、遠藤(一)、二本松、谷本、斉藤(和)、高橋(泰)
	庶 務	○佐藤(健)、小島、遠藤(一)、斉藤(和)、高橋(泰)、岩田
	(定員 12名)	
進 路 指 導 部 (吉原)	進 学	○吉原、福内、新堀、岩崎
	就 職	○栗原、西川
	情 報	○花井、新堀
	資 料	○西川、吉原
	奨 学 生	○山梶、島田
	(定員 9名)	
保 健 体 育 部 (福田)	保 健 指 導	○比留間、村井、中里
	保 健 管 理	○吉田、荻野、大徳
	健 康 相 談	○吉田、福田
	調 査 統 計	○比留間、石塚、荻野
	日本体育学校健康センター	○比留間、石塚、中里
	体 育	○村井、大徳
	(定員 8名)	
環 境 整 備 部 (志藤)	施 設 ・ 営 繕 ・ 備 品	○渋谷、中根、根岸(登)、志藤
	清 掃	○高橋(克)
	清 掃 用 具	遠藤(静)、高橋(克)、渋谷、鯨井
	美 化 委 員 会	鯨井、高橋(克)、五十公野
	防 災	○五十公野、高橋(克)、鯨井、志藤
厚 生	○根岸(登)、中根、遠藤(静)、五十公野	
	(定員 8名)	
図 書 視 聴 覚 部 (柳沢)	図 書	○柳沢、畑中、福島、滝澤、中村、大館、阿部
	視 聴 覚 ・ 放 送	○阿部、中村、根岸(和)、福島
	研 修	○大館、根岸(和)、滝澤、畑中
	(定員 8名)	
P ・ 後 部 (関根(俊))	P T 会	○関根(俊)、齋藤(実)
	後 援 会	○森田、西見
	安 全 互 助 会	○宮寺、内田
	(定員 6名)	
	同 窓 会	○西川、栗原、石井、高橋(克)、花井、森田、内田、西野
	計	63名

6. 生徒会およびクラブ活動

(1) 生徒会組織図 (＝定人数選出、-----有志参加)



(2) 会費年額 6,000円

(3) クラブ顧問および加入者数

クラブ (定員)		ク ラ ブ 顧 問		1 年	2 年	3 年	計
1	新 聞	2	○畑中、室田	4	0	5	9
2	応 援	2	○福島、西山	2	7	1	10
3	放 送	2	○佐賀、根岸 (登)	0	3	5	8
4	吹 奏 楽	3	○花井、佐賀、栗原	50	36	15	101
5	英 語	2	○柳沢、根岸 (登)	3	2	1	6
6	映 視 研	2	○阿部、石塚	6	40	41	87
7	写 真	2	○中里、丹羽	0	2	5	7
8	物 理	2	○福本、阿部	14	24	28	66
9	化 学	2	○佐藤 (健)、佐藤 (茂)	5	9	8	22
10	生 物	2	○中村、畑中	0	2	1	3
11	地 学	2	○西川、飯塚	15	12	9	36
12	音 楽	3	○宮寺、内田、遠藤 (静)	40	26	28	94
13	郷 土	2	○滝澤、福島	0	0	0	0
14	美 術	2	○根岸 (和)、中里	2	4	6	12
15	書 道	2	○遠藤 (一)、渋谷	0	6	2	8
16	航 空	2	○高橋 (泰)、石塚	0	0	3	3
17	ラ ジ オ	2	○飯塚、渋谷	1	4	0	5
18	J R C	2	○遠藤 (静)、吉田	0	1	1	2
19	文 芸	2	○栗原、米山	0	0	2	2
20	人 文 科 学	2	休部	—	—	—	—
21	古 典 ギ タ ー	3	○山梶、佐藤 (健)、宮寺	23	21	17	61
22	将 棋	2	○岩崎、近藤	2	4	8	14
23	軽 音 楽	2	○西野、石井	13	19	23	55
24	弦 楽	2	○吉原、鯨井	7	7	7	21
25	弁 論	2	○室田、志藤	0	0	5	5
文 系 ク ラ ブ 計				187	229	221	637
26	水 泳	2	○谷本、滝澤	7	10	14	31
27	庭球 (軟式)	3	○五十公野、石井、新堀	16	6	8	30
28	山 岳	5	○関根 (俊)、島田、関根 (修)、新堀、斉藤 (和)	2	4	13	19
29	卓 球	2	○比留間、吉原	10	11	7	28
30	籠 球	3	○岡、高橋 (泰)、中根	22	22	20	64
31	野 球	3	○横田、高橋 (克)、柏木	17	10	14	41
32	蹴 球	3	○諸田、丹羽、志藤	31	34	33	98
33	体 操	2	○大館、吉田	9	2	2	13
34	剣 道	2	○森田、近藤	6	4	10	20
35	柔 道	2	○二本松、岩崎	6	5	7	18
36	弓 道	3	○福内、関根 (俊)、齋藤 (実)	20	18	21	59
37	陸 上	2	○小島、内田	20	17	16	53
38	排 球	3	○村井、米山、岩田	4	7	4	15
39	バドミントン	3	○西見、中村、斉藤 (和)	18	9	4	31
40	ラ グ ビ ー	3	○佐藤 (茂)、荻野、西野	29	16	17	62
運 動 系 ク ラ ブ 系				217	175	190	582
全 ク ラ ブ 計				405	404	411	1,220

7. 居住地別生徒数

(1) 生徒在籍 (学年別、男女別)

1 年		2 年		3 年		合 計	
男	女	男	女	男	女	男	女
405	0	410	0	411	0	1,226	0

(2) 居住地別生徒数

地区 市 町 村	学 年 組	在 籍	川	川	坂	戸	東	松	山	・	小	川	越	生	飯	能	入	所	沢	狭	入	間	東	部	朝	霞										
			川	川	坂	鶴	東	吉	滑	鳩	嵐	玉	都	東	小	越	毛	飯	名	日	入	所	東	狭	上	大	三	富	志	新	朝	和	東	そ		
学 年	組	在 籍	越	島	戸	鶴	松	見	川	山	山	川	玉	都	東	小	越	毛	飯	名	日	入	所	東	狭	上	大	三	富	志	新	朝	和	東	そ	
1 年	A	41	9	2	1	6		1	1	1							1		8		2		1	1	3	1		1	2							
	B	41	13	1	2	6			1	1						1			1	5		4		2	1	1						2				
	C	41	10		6	1	6				1							2			1	5		4		1	1	2						1		
	D	41	6		4	1	6			1	1						2	1		1	2	8		1	1		1	1	1	1	1	2				
	E	41	5	2	3		7	2		1	1				1	1			2	2	6		2				3		3							
	F	40	6	3	7	1	6	1		1						1	1	1		3		3		2			1	1		2						
	G	40	8		1	4	4			2						1	1	2			1	5		4		2	1		1		2	1				
	H	40	9		1	3	3	1								1				3	3	8		4	1			2		1						
	I	40	5	2	1	1	3	1			1			1	2	1	3	2		1	2	7		3			2		1	1						
	J	40	7	2	3	1	3	1	1	1					1	1	1			2	2	4		3	2	1	1		1	1	1					
	計	405	78	9	29	15	50	6	2	8	6	0	0	1	5	5	9	8	0	13	14	59	0	29	4	5	8	15	5	9	5	8	0	0	0	
2 年	A	42	14	2	1	1		2						1			2		2		3		4	2	1	1	1	1	3		1					
	B	41	14	2	1			1					1		5			1		2		7		4		1				2						
	C	40	13	1	1	1	1		1		1					1	1	1		2	3	4		2			3						5			
	D	41	8	1	1		7									2				2	3	7		3			1	2		2	1					
	E	41	6			3	2			1				2			1		4	1	6		4		1	1	1	2	4	2						
	F	41	12	2	5	2	5		1	1						1			2	4						1	3		1	1						
	G	41	13	1	1	1	3	1		1						1		1		1	8		6					2	2							
	H	40	10	1	2	1	2			2	3				2	1		3			3	3		2			2	1	1							
	I	41	8		5	3		1		2	1				1	2	1	1	1	2	5	2		4		1				1	1					
	J	42	11	1			8	1	3						1				1	3	4		4	2	1				1							
	計	410	109	11	17	12	28	6	5	7	5	0	1	0	12	3	6	9	3	17	23	44	0	33	4	5	7	9	7	16	5	6	0	0		
3 年	A	45	9	1	4	3								2		1		2	4	6		5		1		1	2	2	2	1						
	B	46	10		3	4						1	1		2	1	2	2			6		5				3	4		1	1					
	C	46	7	1	4	4	6	1			2					2				1	3	4			2	2	2		3							
	D	46	9	2	3	2	3	1		1	1				2				2	1	6		4		1	1		1	4	1	1					
	E	38	8		2	2	1	2		1					1	1	2			2		3		2		1	1	1	4	1	3					
	F	38	4	1	3		2	1			2				2					3	2	5		3		2	1		2	1	1	3				
	G	38	10		2	3	7	1							2					1	2	6		1		1	1		1							
	H	38	7	3	2	1	4	1		3	1				2					1	1	3		3	1	1	1	2			1					
	I	38	6	3	1	2	5			1	1				1				2			7		3		1	1	1	2		1					
	J	38	7		4	3			1	1	1							1	3		2	2	4		4	1		1	1	2						
	計	411	77	11	28	14	38	7	0	7	8	2	1	0	14	3	4	12	0	14	15	50	0	30	2	9	9	12	8	21	6	8	1	0		
合計	1226	264	31	74	41	116	19	7	22	19	2	2	1	31	11	19	29	3	14	52	153	0	92	10	19	24	36	20	46	16	22	1	0			

西武線利用

東上線利用

定時制校内刊行物一覽

※中心校、朝霞分校、入間川分校の生徒会報に、収録されている作品のうち作者名が特定できるものだけ掲載しました（所沢分校分は入手不能でした）。
※短歌、俳句、川柳については紙面の都合で割愛しました。

定時制 中心校 生徒会報

創刊号

一九四九年度
(昭和二四)

巻頭言／4・松澤正夫 創刊を祝う／校長
・荒井実 創刊号によせて／主事・高橋剛
卒業に際して／4・松津明夫

〈生徒会関係〉

生徒会会則 校友会会則 むさしの文庫
則 読書調査について／図書部 部活動報
告(一〇) 生徒会について諸言／3・石
井正美 生徒会の在り方／3・能州尊治
生徒会発足当時を回顧して／3・石井正美
校友会活動を顧みて／2B・細田盛久 生徒
会を反省して／1A・竹中秀二 校友会の在
り方／2B・細田盛久 運動会回顧／3・渡

邊英一

〈研究〉明治文壇の潮流／西藤章夫
〈文芸〉白い山茶花／2C・富田竹雄 前奏
の譜／3・木村利夫 春ごとに／2A・原澤
まさ スケッチ／2C・三上敏子 美と人
生／2C・深見浩照 輝やける星／2B・小谷
野省一 「子鹿物語」より／2A・田中文雄
私達の学問／2C・富田竹雄 思うまま／3
・水口重雄 雲雀、春は来る／2B・細田盛
久 仙波河岸にて／2A・山崎賢三 シヤボ
ン／3・黒瀬和江 沈黙／2C・富田竹雄
一つの試み／3・肥沼誠二郎 泉／2A・宮
崎種治 冬夜小曲／2A・田中文雄

〈短歌〉三首 〈俳句〉五句

第2号

不明

第3号

一九五一年度
(昭和二六)

巻頭言／生徒会長・細田盛久 学問への
道／校長・荒井実 感想／主事・高橋剛
顧みて／4・細田盛久
〈生徒会関係〉

学校行事 生徒会役員 生徒会決算報告
クラス委員会の歩み 本年度を回顧して
むさしの文庫運営報告 部活動報告(一)

一) クラブ活動に寄せて／3B・酒井道郎
生徒会に望む／3A・渡辺進 クラブ活動を
反省して／4A・川崎治男

〈研究〉百科全書について／教諭・野口邦
雄 科学部(電気班)を顧みて／4B・宮崎
種治 美術へ／4A・紫藤実 人生と生物
学／2A・小寺斉 そろばん／3A・内野光夫
天文／2A・小川喜代 新生日本の農業／竹
ノ谷俊行

〈文芸〉ギターを食べる／教諭・佐々木信
治 冬を堪えて／4B・宮崎種治 新しき級
友と共に／3B・古沼安子 世界国家への
道／2A・小川喜代 箱根行／2A・竹ノ谷俊
行 省察偶感／2A・矢島国雄 トシネル／
2B・奥博久 自分から生み出すもの／2B・
内田 二つの社会に生きるもの／2B・清水
健吉 青春放談／卒業生・木村利夫 そ
ば／4B・原沢まさ 冬が来る／4B・宮崎種
治 幻想の旅／4B・山崎賢三 雪／3A・成
瀬智雄 ある夜明／2A・竹ノ谷俊行 秋の
夜／2A 松村光子 別れ／2A・石川美穂子
コスモス／2A・矢島国雄 雪／2B・相田
稔 雨の日も／2A・相田稔
〈短歌〉一九首 〈俳句〉三八句

第4号

一九五二年度
(昭和二七)

巻頭言／生徒会長・渡辺進 所感／校長・
荒井実 自己を尊敬せよ／主事・高橋剛
私の処世訓／後援会長・神山義男
〈生徒会関係〉生徒会クラブ細則 第2回
西部地区定時制体育大会成績 部活動報告
(二六)

〈研究〉オーロラ／2A・横山保彦
〈文芸〉小さい話／教諭・愛川敬武 人間
改造／教諭・船戸英夫 人間性の尊厳につ
いて／3A・成田和夫 孝行の問題／2B・中
島政治 求めるもの／3A・小川喜代 時局
評論／3B・内田貞夫 冬／1B・榎本静江
猫のスポーツ／3B・岩崎春雄 コンサート
のメモより／3A・新井一吉 ノスタルジ
ア／3A・奥山博久 只今会議中／3A・落合
一男 人文地理に関する二、三の問題／教
諭・原田節一 伊勢内宮外宮参詣／4A・西
野正男 京都の印象／4A・加藤義次 星
1B・宮原恵美子 石／1B・原島和枝 ゆ
め／3A・相田稔 無題／3A・小川喜代
〈短歌〉一首 〈俳句〉一〇句

第5号

一九五三年度
(昭和二八)

創造から完成へ／生徒会長・落合一男 冬
日所感／校長・渡辺正紀 青い花／主事・
高橋剛

生徒会関係 むさしの文庫一年を回顧して 第二回定時制総合体育大会 第三回西部地区定時制体育大会成績 部活動報告 (二五)

〈研究〉ヒューマニズムの意味／教諭・愛川敬武

〈文芸〉定時制発展の為に学生としての本分を失うな／4B・新井一吉 虹／教諭・船戸英夫 秋に愛えて／3B・富田元治 徒然なるままに／3A・太田伍郎 人生に希望を／2B・原島和枝 我々の幸福／4B・増島幾二 ジャズとクラシック音楽／4B・新井一吉 伊豆紀行五十首のうち／教諭・細野博 伊勢神宮にて／4A・加藤多二郎 二見浦／4B・山下明 奈良にて／4A・上原宗治 エピソードの女／4A・奥山博久 夏の夜／4B・山下明 小夜に唄えば／2A・宮原恵美子 心／3B・富田元治 人生行路／3A・中沢節子 未開地と戦う開拓者／3A・森田幸一 純真／3A・内藤幸夫 病める妹に／2A・榎本静江 朝／1B・飯泉孝子 星空／1B・宮崎洋子 無能／2B・松本保子 愁々月無きに／3B・富田元治

第6号

一九五四年度 (昭和二九)

巻頭言／生徒会長・太田伍郎 雑音・友情／校長・渡辺正紀 植稲夜に感あり／主事・高橋剛
〈生徒会関係〉部活動報告 (一四)
〈文芸〉青春に生きる／1A・岩城邦男 生命の美化／2A・足立誠 「美の創造」／2C

・村田一布 倫理について／教諭・愛川敬武 ある冬の日に／教諭・船戸英夫 ある恋愛の発端／教諭・阿野宣明 「人」／2C
・安田照子 MUGI／3B・金子正規 朝の一時／3B・斉藤善子 「水を求めて」／2C・佐藤二利 童心／3A・山崎敏行 旅行／3B・関根恒雄 鯛／浦／3B・朝倉秀夫 学窓四年間の回顧／4A・石川健二 回想／4B・小川勝己 風呂屋放談／3A・内山隆シヨパンの伝記を読んで／2A・小堀美和子 句憑舌／3B・太田美鶴 想い出の旅／教諭・細野博 石山寺／4A・石川健二 法隆寺／4A・松本明子 手／3A・山崎敏行 ぶどう／2A・中村光代

第7号

一九五五年度 (昭和三〇)

〈研究〉吾野村「高山」調査概報／社会部
〈文芸〉友達／4・松本保子 原子力平和利用博覧会を顧みて／3B・青木勝次郎 ある一日／4B・伊藤八重治 本のこと／教諭・船戸英夫 結核ということ／1B・坂根秀子 ある化学教師のもののおもい／教諭・三浦寛 夢の海／2B・岩城邦男 雑記帳／2C
・加藤玲子 回想／4A・宿谷美恵子 新米先生行状記／3B・足立誠 佐渡紀行／3A・佐藤二利 旅行抄／4・太田育夫 まがつた線の中で／3A・中村光代 作業衣に／4A・山崎敏行

巻頭言／生徒会長・浅倉秀夫 脱皮／校長・渡辺正紀 師走寸感／主事・高橋剛
〈生徒会関係〉部活動報告 (一四)
〈研究〉吾野村「高山」調査概報／社会部
〈文芸〉友達／4・松本保子 原子力平和利用博覧会を顧みて／3B・青木勝次郎 ある一日／4B・伊藤八重治 本のこと／教諭・船戸英夫 結核ということ／1B・坂根秀子 ある化学教師のもののおもい／教諭・三浦寛 夢の海／2B・岩城邦男 雑記帳／2C
・加藤玲子 回想／4A・宿谷美恵子 新米先生行状記／3B・足立誠 佐渡紀行／3A・佐藤二利 旅行抄／4・太田育夫 まがつた線の中で／3A・中村光代 作業衣に／4A・山崎敏行

第8号

一九五六年度 (昭和三一)

巻頭言／生徒会長・神田孝寿 西海印象記／校長・渡辺正紀 青山白雲／主事・高橋剛

〈生徒会関係〉各部報告 (一六)
〈研究〉入間路／文学部 岩城邦男 私達の生活／会報編集委員会
〈校内弁論大会入賞作品〉
新興宗教への疑問／4・神田久道 私達の手で働きたい職場を／1・五十嵐潔
〈文芸〉エベレストより高い山／教諭・船戸英夫 テモクラシーを顧みて／3A・木下一郎 学問の出発点／3B・中村豊二郎 For a Mental Hospital／3B・岩城邦男 星を追って／3B・加藤玲子 無駄口／2C・坂根秀子 霜／1A・田村文子 高校生になりて／1A・田中幹子 私の希望／2A・川島富美子 我が希望／2B・栗原文夫 俺の心／2C・中島孝雄 街路に立って／2C・富沢久夫 南極探検隊に思う／教諭・愛川敬武 日記より／3B・榎本チヨ子 雑感／4B・佐藤道晃 日本人の英語／4B・松井三郎 わが理想／2C・杉田一郎 大島紀行／4B・渋谷忠雄 修学旅行雑感／4B・神田久道 星をじっと見る／4・佐藤二利 歌声にのせて／3A・小嶺要吉 俺の胸から去って行ったお前に／4・神田久道 あの人／2A・関根清子 夕暮れの窓より／2C・久保田定男

〈生徒会関係〉各部報告 (一六)
〈研究〉入間路／文学部 岩城邦男 私達の生活／会報編集委員会
〈校内弁論大会入賞作品〉
新興宗教への疑問／4・神田久道 私達の手で働きたい職場を／1・五十嵐潔
〈文芸〉エベレストより高い山／教諭・船戸英夫 テモクラシーを顧みて／3A・木下一郎 学問の出発点／3B・中村豊二郎 For a Mental Hospital／3B・岩城邦男 星を追って／3B・加藤玲子 無駄口／2C・坂根秀子 霜／1A・田村文子 高校生になりて／1A・田中幹子 私の希望／2A・川島富美子 我が希望／2B・栗原文夫 俺の心／2C・中島孝雄 街路に立って／2C・富沢久夫 南極探検隊に思う／教諭・愛川敬武 日記より／3B・榎本チヨ子 雑感／4B・佐藤道晃 日本人の英語／4B・松井三郎 わが理想／2C・杉田一郎 大島紀行／4B・渋谷忠雄 修学旅行雑感／4B・神田久道 星をじっと見る／4・佐藤二利 歌声にのせて／3A・小嶺要吉 俺の胸から去って行ったお前に／4・神田久道 あの人／2A・関根清子 夕暮れの窓より／2C・久保田定男

第9号

一九五七年度 (昭和三二)

弔辞／校長・渡辺正紀 葬儀を終えて／主事・市川正男 高橋先生を偲ぶ／4A・岩城邦男

巻頭言／生徒会長・栗原時雨 一無題／校長・渡辺正紀 二つの言葉／教諭・船戸英夫
〈生徒会関係〉第二回定通教育学会大会報告 部活動報告 (一五)
〈寄稿〉松材の印／岸佐平
〈文芸〉美しいと云うこと／4A・中村豊二郎 天才とは何か／2C・木村秀雄 伊呂波うたについて／1B・長谷川紀子 卒業に臨んで／4B・加藤玲子 おとうと／3B・川島富美子 わが希望／4B・酒井忠良 卒業の前に／4B・新井茂 工員と夜学生／1C・会川弘子 過去四年前を思う／4B・松本秀男 ささやかな希望／2A・田中幹子 城下町／4A・岩城邦男 星／2C・矢藤喜代子 救われた二里半の道／3B・岩崎敏子 蜜蜂の生活／1A・大沢弘勝 我が家／2B・田島行夫 文明の発達と恐怖／3B・久保田定男 来春に控えたメートル法化に望む／3B・山口行志 修学旅行余話／4B・栗田 栄 ハツ岳 縦走記／3B・松岡 彪 お月様のお話／3B
・坂根秀子 霧／4B・石森富子 雪のささやき／2B・安斉千津子 東京の空の下／2C
・志村千津子 学び舎／2C・二村長司

弔辞／校長・渡辺正紀 葬儀を終えて／主事・市川正男 高橋先生を偲ぶ／4A・岩城邦男
巻頭言／生徒会長・栗原時雨 一無題／校長・渡辺正紀 二つの言葉／教諭・船戸英夫
〈生徒会関係〉第二回定通教育学会大会報告 部活動報告 (一五)
〈寄稿〉松材の印／岸佐平
〈文芸〉美しいと云うこと／4A・中村豊二郎 天才とは何か／2C・木村秀雄 伊呂波うたについて／1B・長谷川紀子 卒業に臨んで／4B・加藤玲子 おとうと／3B・川島富美子 わが希望／4B・酒井忠良 卒業の前に／4B・新井茂 工員と夜学生／1C・会川弘子 過去四年前を思う／4B・松本秀男 ささやかな希望／2A・田中幹子 城下町／4A・岩城邦男 星／2C・矢藤喜代子 救われた二里半の道／3B・岩崎敏子 蜜蜂の生活／1A・大沢弘勝 我が家／2B・田島行夫 文明の発達と恐怖／3B・久保田定男 来春に控えたメートル法化に望む／3B・山口行志 修学旅行余話／4B・栗田 栄 ハツ岳 縦走記／3B・松岡 彪 お月様のお話／3B
・坂根秀子 霧／4B・石森富子 雪のささやき／2B・安斉千津子 東京の空の下／2C
・志村千津子 学び舎／2C・二村長司

第10号

一九五八年度
(昭和三十三年)

巻頭言／生徒会長・中島孝雄 暖冬雑感／校長・渡辺正紀 機械文明と精神生活／主事・渡辺元一 鎌倉古寺巡礼／教諭・船戸英夫

生徒会関係 部活動報告(二八) クラス自慢

二〇号特集 夜学の思い出／軽部慎男 思い出／3回卒・沢田やえ 事実より方策へ／5回卒・小川喜代 平家物語と河越氏／5回卒・落合一男 夏の夜／7回卒・浅倉秀夫 さまさまの想／8回卒・神田孝寿 孤独な人へ／8回卒・相川定久 文学の散歩／川高二部・原真房

研究 三富新田の研究／社会部・富沢久夫 仙波の船運／3B・浅見平四郎 特別教育活動について／3B・斉木武雄

文学 卒業入學八年間／1C・桜井欣吾 ある日の帰り道／1C・新井千鶴子 散科学／2B・黒崎源司 幸福／3A・田中幹子 雑感／3A・難波則子 雑感／3A・白勢玲子 片方の手／3A・相沢峰男 年賀郵便／3A・大野清 戦争のつめあと／3B・小山国光 日記の中より／3B・秋葉博 愚者の夢／3B

村田敏 僕の思う事／3B・小島三郎 夢／4A・小川幸造 他言／4A・吉田隆 いもほり／4B・岩崎敏子 五井海岸に行つて／1C・土屋浩 丹沢縦走余話／3A・神保照男 伊豆半島旅行記／3B・田中功 旅行の思い出／4A・富沢久夫 古都の奈良／4A・高橋恵子 関西旅行の印象／4A・島崎百

合子 薬師寺／4A・松村裕子 心／1A・吉岡延子 幸福／2B・荒畑せつ子 真昼／3A・小茂島佳子 どんぞ／3B・安斎千津子 河と歳／3B・秋庭博 無常／3B・木村英雄 ふみきり／3B・志村千枝子 試験／3B・武藤輝男 母と私／4B・川島富美子

短歌 四首
特集 お国ことば さつま弁にことよせて／教諭・阿野宣明 熊本の方言／3A・無田星雄 愛媛県の言葉／3B・吉丸誠一 郷土の方言について／4B・平崎勝二 三河弁／教諭・三浦寛

第11号

一九五九年度
(昭和三十三年)

巻頭言／生徒会長・小山国光 歴史／校長・渡辺正紀 自己に生きよ／主事・渡辺元二 東北への旅／教諭・船戸英夫 スキーシーズンに前に／教諭・内島洋 最近の思考から／教諭・宇波彰

生徒会関係 部活動報告(二五) クラス自慢
文学 勇気／3B・細川昌男 私の生活体験／4B・矢藤寛代子 出勤／2A・細川一夫 頭刈り／2A・荷田修平 私の思ったこと／1A・小島恵子 家庭研修日記／4B・黒田幸男 夏の日／3B・松本敏男 下校／2C・新井千鶴子 机を離れて／3B・中山輝明 いやな雨に変わる希望／3B・関根晃 予算会を見て／2C・飯泉 生徒総会を見て／1C

日下綾子 旅行記／4A・吉田京子 修学旅行の思い出／4B・斉木武雄 二条城見学／4A・田村文子 銀閣寺／4A・峯岸勇

奈良の印象／4A・田中幹子 京都見学／4A・田口敏司 三十三間堂／4B・藤木健二郎 雨によせて／1B・大沢ヨウ子 働く仲間／1C・長峰幸子 クモ／3B・関根晃 露／1C・村田愛子 鉛筆／3B・中出国志 EY E／4B・志村千枝子

短歌 九首 俳句 五句
特別企画 分校めぐり(所沢 朝霞)

第12号

一九六〇年度
(昭和三十三年)

巻頭言／生徒会長・富沢邦夫 定通教育振興について／校長・西川好明 灯火親しむべし／主事・渡辺元一

生徒会関係 本校給食施設設備建築整備会計報告 部活動報告(二五) クラス自慢
文学 銀閣寺／4B・荒畑せつ子 友／3B・細川一夫 恋愛観／1B・和田雄三 時間と夜間生／2C・遠藤隼人 人生／3A・矢内ヤス子 かすりのおばさん／2B・長峰幸子 寿命と運命／3B・矢口昭子 会則変更臨時総会に思う／2B・大沢ヨウ子 田圃／3A・志村吉隆 友にささげる／2B・大沢ヨウ子 高麗川に釣る／1C・和田徹 朝のあせ道／1C・中島春子 孤独／3B・新井千鶴子 罪／2C・関根さち代 孤独の敗北／1B・田口勝一 一九五九年一月一日午前二時／2B・大沢ヨウ子

短歌 三首
三浦先生をいたむ 故三浦先生／4B・富沢邦夫 三浦先生／4B・関根晃 三浦先生の思い出／4A・桜井充 岩崎嘉夫 三浦先

生を悔みて／4A・新井好江 みうらくん！／教諭・後藤定男

第13号

一九六一年度
(昭和三十三年)

巻頭言／生徒会長・狄久保昭三 生徒会活動について／校長・西川好明 叩けよしからば開かれん／主事・渡辺元一

生徒会関係 風紀委員会規程 部活動報告(二四) クラス自慢
文学 次郎／3A・村田愛子 ある考察／3B・大沢ヨウ子 病室／八木勇 三ツ峠山 キャンプ／1・小池克己 故郷／1・佐藤節子 私の日常生活／2A・神南乃婦子 瀬戸の小島／3C・高橋俊 無題／3C・根本守家庭／3A・佐伯力 陸奥の果て／4・野村知可子 尾瀬登山／4・小谷野明子 つまみ食い／2B・和田徹 山道を行く／3C・清水樹子 夢／3A・岡田芳子 かなたの塔／1B・渋谷玉江 ころも／3A・村田愛子 秋の空／3B・荒木静子

短歌 二首 俳句 二句

第14号

一九六二年度
(昭和三十三年)

巻頭言／生徒会長・竹ノ谷国広 飛躍の年を迎えて／校長・西川好明 歳々年々人同じからず／主事・山村良夫 恥ずかしがらずに／主任・水村秀郎

生徒会関係
生徒会長になって／新生徒会長・是永伸威 部活動報告(二五) クラス自慢
文学 人生について／4A・川口克己 あ

る生活/3B・谷島信次郎 私の人生観/3A
・宮沢幸子 生きるということ/1B・大谷
勝治 人間とは/1B・安藤一 ある文通/
2B・新井貴美子 日本の青年/1C・安藤清
子 山に登る/1B・松本道代 最近考えて
いること/1C・中島ヒデ子 土曜日/1B・
新井保江 聖ジュリアン物語を読んで/4A
・新井昭 「言語生活」を読んで/1B・矢
部悦子 卒業にあたって/4・小森康雄
一つの声/4・大沢ヨウ子 兄/4A・平井
絃子 母子像 悲秋/1A・森トミ子 キヤ
ンプの思い出/1B・松本道代

第15号

一九六三年度
(昭和三八)

巻頭言/生徒会長・是永伸威 新春を迎え
て/校長・西川好明 「城」雑感/主事・
宮下辰夫 濁点と句読点/主任・長根愛之
丞
〈生徒会関係〉生徒会長になって/新生徒
会長・小池克己 生活時間調査 部活動報
告(一七) クラス自慢
〈文芸〉十人十色/教諭・新井輝雄 こん
な私/2A・青山博子 定時制高校生/2B・
池長竹治 団体生活について/3・武田
叶 鼻を読んで/1C・宮川春恵 若い教
訓/1A・坂本義則 ある随想/2B・矢部悦
子 学校と職場を両立させて/1C・早川良
子 考える事/2A・鈴木誠治 俳句鑑賞/
1C・宮川春恵 ある日の日記帳より/1C・
落合文子 二年A組について/2A・鈴木太
久間 思い出す事/2A・水島美津子 十月
の空/2A・安藤清子 回想四年間/4B・富

田博之 夜のおとずれ/3・渋谷玉江 幸
はいづくる/1B・関口延子 父/1B・白田
きく代 母の手/1B・白田きく代 春/3
・渋谷玉江 夏を想う/2A・安藤清子 ふ
と考える/2B・松本道代 姉/4・谷島信
次郎 友人/1B・関口延子 帰り道/1B・
清水多喜子 僕の手/1C・久保田勝
教養欄 国旗の正しい掲げ方

第16号

一九六四年度
(昭和三九)

巻頭言/生徒会長・小池克己 生徒会長に
なって/新生徒会長・鈴木太久間
〈生徒会関係〉委員会報告(五) 部活動報
告(二六) 特別クラブ報告(二) クラ
ス自慢

〈座談会〉学校と職場の二重生活について
〈文芸〉教訓/3B・小菅清一郎 私の趣
味/1C・新井孝一 幹/3A・水村千恵子
私の思うこと/2B・二階堂絃一 「車輪の
下」を読んで/1B・蛭沢富子 今迄を顧み
て/2B・白井新仁 私の職場/1A・小木悦
夫 会社と学歴/2C・横山利男 夏休みの
三日間/1C・仁平勝久 夏休みの練習/小
島誠一 尾瀬/4A・水村啓子 登山と人
生/3A・松本道代 神津牧場から初谷鉱泉
へ/坂本恵子 口笛/村丘葱 ころろ/3A
・松本 さびしい時/3A・松本美千代
夜/鈴木美代子 夜のおとずれ/吉野ひさ
子 追想/新井孝一 吉見の百穴/2C・島
村知治 ききょう/村丘葱 孤独な星/中
島寿美子

第17号

一九六五年度
(昭和四〇)

巻頭言/矢部悦子 今昔物語私版/主事・
宮下辰夫 物とは/主任・長根愛之丞
〈生徒会関係〉生徒会長になって/3C・古
茂田幸夫 委員会報告(三) 部活動報告
(二四) 特別クラブ報告(二) クラス自
慢

〈座談会〉別学と共学
〈文芸〉田園交響楽を読んで/1C・奥富早
苗 木曾駒ヶ岳山行/3A・横山利男 修学
旅行の思い出/4B・水島美津子 幸せと
は/3A・白井新仁 定時に学んで/3C・
早川良子 信頼される人間に/4A・島村文
男 同窓の友と実社会/1B・田中金光 成
人/2A・並木勝利 帰り道/1A・斉木正一
詩/3A・大森光子 我が青春/1A・斉木正
一 一人/3A・大森光子
〈短歌〉八首 〈俳句〉一〇句

第18号

一九六六年度
(昭和四一)

巻頭言/古茂田幸夫
〈生徒会関係〉生徒会長になって/坂本恵
男 委員会報告(四) 部活動報告(二
八) 特別クラブ報告(二) クラス自慢
秩父学園訪問記

〈文芸〉人間的な温かみを与えられたこ
と/4B・二階堂絃一 幸せについて/2C・
矢口久子 平和への戦い/1B・小倉茂雄
四年間の学校生活と未来について/4A・周
藤好雄 夕焼け/斉木正一 出発/3A・関

良夫 眠り、秋の終わりに/3C・江田幸一

第19号

一九六七年度
(昭和四二)

巻頭言/生徒会長・坂本恵男 卒業生の諸
君へ/校長・小久保宗平 生徒会活動雑
感/主事・須田浩三

〈生徒会関係〉生徒会長になって/2B・市
川洋助 委員会報告(五) 部活動報告
(二九) クラス自慢

〈文芸〉孤独の考え方/2B・森田博 ある
記事を読んで/1A・斉藤優子 真の友/1B
・石川末子 姉妹/2B・鈴木ミチ子 考え
る人/3C・関一茂 鷲峰高原の旅/4B・関
良夫 修学旅行の日記/4A・飛塚昭 若い
朝/1C・関根敦子 初夢/3A・斉木正一
冬の朝/2B・亀山修男 お母さんの手/1A
・吉田きよ子 苦しみの詩集より/1A・山
本彰穂 星空の下で/1C・中田ツル子
星/1B・田中美枝子 小さな男の子/吉野
光子
〈短歌〉四首 〈俳句〉九句

第20号

一九六八年度
(昭和四三)

巻頭言/市川洋助 卒業生諸君へ/校長・
大久保宗平 ふるさとの味/主事・須田浩
三

〈生徒会関係〉生徒会長になって/宮古正
男 委員会報告(五) 部活動報告(一九)
〈文芸〉妙義に登って/教諭・松永利男
妙義山修学旅行の思い出/4B・菅田しん子
歩くことの楽しさ/2A・斉藤優子 ユーモ

ラスな玉入れ合戦／教諭・原田善治
グー
ルインして／1B・関口三利 合宿の思い
出／ソフト部 東松山青年の家合宿／美術
部 関西旅行／佐藤英男 私の体験／3A・
山田順子 働くことの楽しさ／3A・沼崎敬子
友をもつことの大切さ／3B・岡村ゆかり
波乱の二年間／佐藤正三 空手を通して／
1A・前田行雄 「たまゆら」を読んで／2B
・小野沢志げ子 「ある本」を読んで／2C
・田村ケイ子 「石狩平野」を読んで／3B
・皆川泰男 「地獄変」を読んで／1B・柏
谷多鶴子 日暮れの小道／4C・斉木正一
山登り／2A・吉田きよ子 朝の光／2A・高
井百合子 おじいちゃん／2C・斉藤とみ江
おかあさんへ／2A・吉田きよ子

第21号

一九六九年度
(昭和四四)

巻頭言／生徒会長・宮古正男 卒業生諸君
の門出を祝す／校長・福岡鶴吉
〈生徒会関係 委員会報告 (五) 部活動報
告 (二)〉
〈文芸〉友の死に思う／2B・関口三利 東
松山青年の家／3B・青柳賢治 帰省／3B・
鈴木園子 東北三大祭／3B・山本彰想
「アングル・トムス・ケビン」／1A・関口政
行 チーム・ワーク／4A・伊佐光一 父／
2A・橋本文子 青春の素晴らしさ／2B・関
口三利 私の性格／3B・新井澄子 変な世
の中／3A・老沼実 花びら／3B・吉田きよ
子 道／2A・野原真智子 ある朝／3A・鈴
木喜志子
〈短歌〉三首 〈俳句〉二句

第22号

一九七〇年度
(昭和四五)

巻頭言／生徒会長・佐藤正三 猪の年に思
う／校長・福岡鶴吉
〈生徒会関係 委員会活動 (七) 部活動報
告 (二六)〉

〈文芸〉二つの死によって／岡野孝雄 勤
労学生として／3A・小池孝広 看護の無力
さ／高橋春枝 先生の学生時代／教諭・山
口修司 もう一度川高二部を振り返ってみ
よう／3A・小池孝広 先輩に送る言葉／大
沢君江 卒業するにあたって／4A・鈴木喜
志子 僕と岩波新書／4B・岡野孝雄 私の
財産／1B・佐藤育子 四年間を返りみて／
4A・斉藤とみ江 一Bのクラスについて／
1B・松田美枝子 大声で呼ぶ／1B・佐藤け
い子 海／1B・篠沢秀雄 この道／1A・三
角とよ子 母のけがに思う／1B・足立 恋
の詩／1B・佐藤良夫 私の世界／1B・佐藤
育子 弟／1B・山根理恵 おかあさん／1B
・横田幾代 雨／1B・川島 雲／3A・川口
至敏 孤独／3B・原田悦二 ささんか／3B
・前田行雄 平林寺／4A・関根敦子 旅
愁／4B・岡野孝雄 思い出のアルバム／4B
・小林緑 卒業／4A・鈴木喜志子
〈俳句〉六句

第23号

一九七一年度
(昭和四六)

巻頭言／生徒会長・青柳賢治 定時制難
感／校長・山村良夫 鼠はまだ生きてい
る／主事・澤原正夫 くすの木 (初代主事

高橋剛先生を偲んで)／教諭・土屋亮寛
〈生徒会関係 体育祭を顧みて／3B・高沢
達彦 文化祭に思う／3A・小川美代子 楽
しかったハイキングとくすの木祭／2A・金
子成男 委員会報告 (二六) 部活動報告
(二五) クラス紹介

〈卒業関係 先輩に贈る言葉／3A・市川健
吉 後輩に贈る言葉／4A・中里文子
私の職場 1B・岩月美紀子 2B・松田美
枝子 2B・横田幾代 3A・高橋松康 4A・
佐々木正枝 4B・竹ノ谷すみ子
〈映画鑑賞〉あついで壁を見て／2A・小
林敏恵 2A・佐藤けい子 4A・川口至敏
〈文芸〉二十一歳迄の体験／1A・久津間
実 向上と時間／4B・青柳賢治 有間溪谷
への旅／4B・原田悦一 北海道一周の旅／
4A・後藤秀夫 「野菊の墓」を読んで／1B
・田村茂夫 思いやりの心／4B・高橋春枝
セラル・テイラーの屈辱との戦い／2A・飯
島晃 「氷点」を読んで／3A・埴利信
「山椒魚」を読んで／3A・奥富晴代 「桜
守」を読んで／4B・前田行雄 もう一度考
えよう／教諭・笹森健 バレーボールを通
して／教諭・伊藤潔 愛するということ／
3B・高沢達彦 思うこと／3B・高沢達彦
成人に臨んで自分はこう生きたい (川越市
成人者感想文コンクール第二位)／4B・前
田行雄

第24号

一九七二年度
(昭和四七)

巻頭言／生徒会長・高沢達彦 私の五年
生／校長・山村良夫 いわれのない先進意

識／主事・澤原正夫
〈生徒会関係 体育祭について／3B・関根
富士男 くすの木祭雑感／3B・足立有一
委員会報告 (五) 部活動報告 (二二)
クラス紹介

〈卒業関係 卒業生を送る言葉／3A・金子
成男 後輩に贈る言葉／4A・市川健吉
〈生活体験発表入選作品〉苦しみの中で／
4B・井上代吉 めぐりあい／3B・佐藤育
子 青年期に望む／4B・名和周治 公害を
考える／2A・久津間実
〈文芸〉感じのよい会話とコトバ／教諭・
小池善雄 師のこと／教諭・吉田正 私は
泣かない／2A・富樫恵美子 「にこりえ」
を読んで／3B・足立有一 「カインの末裔」
を読んで／3B・鈴木国男 「にこりえ」、
「わかれ道」を読んで／3A・飯島晃 一年
間を振り返ってみて／2B・田村茂男 一年
間を振りかえって／1B・早川郁子 私の職
場／2A・沢木節子 つれづれ／3A・飯島晃
雪／4B・高沢達彦 私の友へ／3B・佐藤育
子 死の旅／1A・佐々木信枝 愛／4B・高
沢達彦 苦しさとは何！／2A・金子成男
第25号
(昭和四八)
一九七三年度
巻頭言／生徒会長・岡田英章 木炭を焼い
た頃／校長・萩原辰之助 ホトル一つ／主
事・木村善三郎
〈生徒会関係 会とは／3A・山中講平 生
徒会に当たってみて思うこと／3B・時田喜美
江 みんなの本部室／平田順子 体育祭／
3A・岸田守 文化祭／1・浜名美恵子

委員会報告(二六) 部活動報告(二三) クラス紹介

卒業関係 卒業生を送る言葉/3B・田村茂夫 後輩に贈る言葉/4B・佐藤育子

生活体験発表入選作品 川越は私の第二のふるさと/4B・山根理恵 厳しかった中学のクラブ練習/3B・鎌田幸江 目標をもつて/1B・草野クニ子 勤労学生として/3A・波木敏雄 愛ある福祉を/3B・田村茂夫

文芸 とりとめなく/教諭・増田佳子 偶感/教諭・秋葉光 高校生活四年間をふりかえって/4A・鈴木国男 小さな目標/4B・三角とよ子 農業を捨てて新しい道へ/1B・草野クニ子 看護婦として/1A・村岡千代子 青春に賭けるバイコロジ野郎/4A・津谷和男 平凡/4A・金子成男 変化/4A・飯島晃 大根島/1B・門脇るみ子 暗い空間で/4B・山根理恵

短歌 三首

第26号

一九七四年度 (昭和四九)

巻頭言/生徒会長・山中謙平 絵馬と私/校長・萩原辰之助 王朝の食べもの/教頭・木村善二郎

生徒会関係 新生徒会長として/3・尾高行雄 悔いのない生徒会/3・長谷部孝一 2B・中村実 委員会報告(二六) 部活動報告(二六) クラス紹介

卒業関係 卒業生に贈る言葉/3・長谷部孝一 在校生に贈る言葉/4A・岸田守

生活体験発表作品 初めて知ったバレー

の楽しさ/2B・矢島あけみ もう一度初心に/4A・山中謙平 人間なんて/2A・諏佐秀夫 人間らしく生きたい/4B・田村茂夫 改心への道/4B・横川英夫

第27号

一九七五年度 (昭和五〇)

巻頭言/生徒会長・尾高行雄 私と柔道/校長・小室忠良 私と民俗学/教頭・原田節二

生徒会関係 新会長あいさつ/3A・小峰和弘 新副会長あいさつ/3B・阿部勝明、

2A・佐川隆良 委員会報告(二六) 部活動報告(二〇) クラス紹介

卒業関係 卒業生に贈ることば/3A・小

峰和弘 在校生に贈ることば/4・尾高行雄

生活体験発表入選作品 ある二つの職業訓練校から/4・本橋豊 昨年の夏/4・伊藤文子 親と子/2・渡辺知恵子

文芸 私の高校時代/教諭・藤野隆司 大黒様考/教諭・高橋淨蔵 林間学校/3・穂積文子 男の世界/4・尾高行雄 小石に/3・草野クニ子 真実追究/3・諏佐秀夫 九州一人旅/3・兵藤清江 北風の中に/青木武夫 私の気持ち/大淵きくえ 登山/星利衛 思い出/村岡千代子

人間と社会について/4A・岸田守 夜空/4A・波木敏雄 放心/4B・鈴木登 学生/3・伊藤肇 わからないもの/3・菊村孝太郎 ふしぎなプランコ/都倉利由貴 念願の九州一周旅行/3・本橋豊 秋によせて/2A・草野クニ子 俺の道/4B・横川英夫 ひとりぼっち/4B・横川英夫 一枚の紙/2B・萩窪真弓 大きな不安/2B・村岡千代子

紙/2B・萩窪真弓 大きな不安/2B・村岡千代子

第28号

一九七六年度 (昭和五一)

巻頭言/生徒会長・小峰和弘 武蔵武士の面影/校長・小室忠良 向上の道/教頭・福田信夫

生徒会関係 新会長あいさつ/3A・鈴木密生 新副会長あいさつ/3A・宮野等 2A

密生 佐藤守利 委員会報告(二六) 部活動報告(一九) クラス紹介

卒業関係 卒業生に贈る言葉/3・鈴木密生 在校生に贈る言葉/4・小峰和弘

文芸 戦争の思い出/教諭・吉田正 「青年とは何か」を語るとき/教諭・犬塚秀男 四年間をふり返って/4・村岡千代子 卒業雑感/4・草野クニ子 別れ/3・板垣初子 「これからの一年」/3・大淵きくえ 生きる目的/3・藤田真弘 初心を大事に!/阿久津輝一 旅のふれあい/4・村岡千代子 「思い出」/大淵きくえ スキー/3・稲月富夫 真っ白なシュータ

ン/3・本間鈴子 「ちいちゃんの小さな友達」/1A・小柏雅市 「それから」を読んで/4・小峰和弘 「伊豆の踊り子」を読んで/1・小柏雅市 明日へ/4・村岡千代子 夢をのせて/3・本間鈴子

巻頭言/生徒会長・鈴木密生 目のつけどころ/校長・小室忠良 心の青春/福田信夫

生徒会関係 新会長あいさつ/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

第29号

一九七七年度 (昭和五二)

文芸 魯迅のこと/教諭・二階淳介 パリの日/教諭・戸島由美子 都会の風/2・佐原春美 十年前の秋を思い出して/4・板垣初子 四年間を振り返って/4・伊藤美代子 「修学旅行」/4・多比良徳江 旅/4・稲月富夫 一人旅/4・野沢厚子 どうわちゃん/3・長沢春美 絵本「かわいそうなぞう」を読んで/3・高橋春美 「僕って何」を読んで/3・藤田真己 思い出 季節の中で/4・小峰政江 愛、Y O U /4・長沢美智子 船出/4・本間鈴子 もしも/3・山内栄子 風、無題/3・峯啓子 声、小樽/2・小柏雅市 死、故郷/1・増田輝子 生きるということ/3・長沢春美

卒業関係 卒業生に贈ることば/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

生徒会関係 新会長あいさつ/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

卒業関係 卒業生に贈ることば/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

生徒会関係 新会長あいさつ/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

卒業関係 卒業生に贈ることば/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

生徒会関係 新会長あいさつ/3A・大内明美 新副会長あいさつ/3A・佐藤英子、

2A・小柏雅市 委員会報告(二六) 部活動報告(一八) クラス紹介

第30号

一九七八年度
(昭和五三)

巻頭言／生徒会長・大内明美 川高生に期待して／校長・小室忠良 内面への志向／教頭・福田信夫

〈生徒会関係〉新会長あいさつ／3・小柏雅市 新副会長あいさつ／3・鈴木千恵子 2・増田輝子 委員会報告(六) 部活動報告(七) クラス紹介

〈文芸〉泣いた赤鬼／教諭・下井輝男 私立の高校時代／教諭・北村昌延 今の自分／4・堀内要 定時制へ通って／4・佐藤守利 文化祭に思う／1・松浦正志 おお！舟がほんの少し出るぞお！／3・小柏雅市 中学時代の先生に会って来たこと／3・佐藤春美 四年間を振り返って／4・松田洋子 4・長沢春美 修学旅行／4・佐藤英子 修学旅行の思い出／佐藤英子 孤独な花、ワシは大空を飛んでいたかった／3・小柏雅市 旅立ち、海の見えない街／4・長沢春美

第31号

一九七九年度
(昭和五四)

巻頭言／生徒会長・小柏雅市 いろいろあらあなあ／校長・飯島武司 「ゆとり」について／教頭・福田信夫

〈生徒会関係〉新会長あいさつ／3・増田輝子 新副会長あいさつ／3・宮沢文雄 2・高田俊一郎 委員会報告(六) 部活動報告(七) クラス紹介

〈卒業関係〉四年間を振り返って／4・石

川恵一、4・小柏雅市、4・落安コヨ、4

・山崎桂

〈文芸〉競争社会雑感／教諭・高橋浄蔵 運動不足を考える／教諭・佐々木義則 定時制と八〇年代への抱負／1・柏崎克己 ヨットへの一人ごと／1・早川佳宏 二年間を振り返って／2・松山千春 がんばれ田淵選手／3・室田義和 芸術作品／4・野口忍生 POEM／1・柏崎克己 紙ひこうき／1・永島弘 小さい空／1・井出三千代 過去／3・鈴木康二郎 相互肯定への不和／4・野口忍生

第32号

一九八〇年度
(昭和五五)

巻頭言／生徒会長・増田輝子 日本の為に世界は無い／校長・飯島武司 近頃感じていること／教頭・藤野雅之

〈生徒会関係〉「精神一致」さ／新生徒会長・高田俊一郎 みなさんよろしく／新副会長・本田和男 生徒会と人間関係／新副会長・黒沢聖造 委員会報告(六) 部活動報告(七) クラス紹介

〈卒業関係〉四年生へ贈る言葉／1・荻島修 2・小林恵 3・北村則子 教諭・坂上裕美 新・安心立命論／教諭・下井輝男 四年間を振り返って／4・松田寛美 4・佐藤利夫 4・室田義和 4・坂本京子 4・和田恵美

〈生活体験発表作品〉私の選んだ道／4・佐藤利夫 発表会全国大会に参加して／4・佐藤利夫

〈文芸〉宿泊研修の感想／1・大床公義

2・柏崎克己 文化祭の感想／4・今谷幸治 修学旅行の思い出／4・小林明 4・小椋喜久代 馬との出会い／1・宮沢重夫

私の思い出／1・名達佐知子 限られた時間内で／2・萩原泉 私の青春／2・飯岡克文 趣味について思う／3・堀口元氣 夕焼け／1・島田節子 別れ／2・鈴木茂樹 ワンタフルタウン、果て無し旅／3・吉井宏和

第33号

一九八一年度
(昭和五六)

巻頭言／生徒会長・高田俊一郎 情報と汗／校長・飯島武司 敢えてひと言／教頭・藤野雅之

〈生徒会関係〉私の抱負／新生徒会長・楠原秀満 力を合わせて／新副会長・本田和男 責務の志／新副会長・今野格尚 委員会報告(六) 部活動報告(七) 一人一言

〈卒業関係〉四年生へ贈る言葉／1・鈴木綾子 2・小野寺寿弘 3・萩原泉 卒業生に願うこと／教諭・説田三佐子 自分向上させるために／教諭・下井輝男 四年間を振り返って／4・堀口勝義 4・黒沢聖造 4・土金香 4・吉井宏和

〈文芸〉日記—この一年—／鈴木綾子 遠足／2・島崎隆 思い出／2・花村紅緒 「自分」と「抱負」／3・萩原泉 戦い、ふりむくアムロ、風にひとり、人生の停車駅／2・宮沢重夫 愛、春の音／4・勝田康之 明日への挑戦、君に会うまでは、思

い出の公園通り、青春のウイジョン／4・吉井宏和

〈短歌〉二首 〈俳句〉二二句

第34号

一九八二年度
(昭和五七)

巻頭言／生徒会長・本田和男 生活体験発表会等へ思う／教頭・山崎達男

〈生徒会関係〉新生徒会長あいさつ／小野寺寿弘 「生徒会」とは何か？／新副会長・川口浩史 みなさんのために、私は動き

ます／新副会長・鈴木綾子 委員会報告(六) 部活動報告(八) 全校討論会報告

〈卒業関係〉卒業生に向けて／教諭・北山昌延 贈る言葉／職員、在校生一人一言 四年間をふりかえって／4・柏崎克己 四年間の思い出／4・本田和男 卒業生一人一言

〈文芸〉雨の遊園地／1・洲合孝彦 遠足の感想文／2・武藤淳 修学旅行／4・福原洋之 修学旅行記／4・松浦正志 銀河への道 明日の明星／3・宮沢重夫 追憶／3・渡辺優美 世の中言いたい放題言

ってやれ音頭／1・深町 ひびわれたケラス／4・沼田雄一 師走の心／4・松浦正志 風に吹かれて北へ行く／1・堀野浩市

第35号

一九八三年度
(昭和五八)

巻頭言／生徒会長・小野寺寿弘 百人の町／校長・宮島秀夫 新年所感／教頭・山崎達男

〈生徒会関係〉新役員挨拶／会長・石井五

和雄 副会長・阿部祥子、井手利一 西部
地区学芸大会報告 全校討論会報告 委員
会報告(六) 部活動報告(八)

卒業関係 卒業にむけて/教諭・福原
勇 贈る言葉/職員 在校生二人一言 高
校生活を振り返って/4・村井尚子 四年
間をふり返って/4・西畑幹夫 卒業生一
人一言

文芸 高山不動尊ハイキング/3・足立
治 遠足/2・城野洋次 修学旅行の思い
出/4・落合初枝 Again one more
play/2・横田岳之 あなたに/4・横
田真美 恋はいつでも/梅沢富子 私
の願い/4・橘舞 ある冬の日に/4・道
坂千恵 ギター弾き/星野奈美 約束/4
・渡辺優美 今日と明日と/2・塩野
浩一 この恋を永遠に/今泉里砂

第36号

一九八四年度
(昭和五九)

巻頭言/生徒会長・石井五和雄 若き日の
大川平三郎/校長・宮島秀夫 戦後四十
年/教頭・竹内忠好
卒業関係 新役員挨拶/会長・川島恵
子、副会長・塩野浩市、小峰正明 委員会
報告(六) 部活動報告(八)

卒業関係 西暦二千年十二月三十一日二
十三時/教諭・斎藤美 贈る言葉/職員一
人一言
文芸 軽井沢へ行って/1・川村広美
川越苑→東武動物公園行/2・石田照美
最後の遠足/3・洲合孝彦 ある車窓の風
景/3・塩野浩市 四年生ホームルームノ

トから/4・鈴木綾子

第37号

一九八五年度
(昭和六〇)

巻頭言/生徒会長・川島恵子 其の友人を
持とう/校長・小室英夫 だからわらい/
教頭・竹内忠好

卒業関係 新役員挨拶/会長・手塚篤
夫、副会長・堀正和、大谷健利 部活動報
告(七) 西部地区学芸大会報告

卒業関係 「友情」と「つき合い」/教諭
・江原裕美 卒業するにあたって/4・横
田守 贈る言葉/職員一人一言 卒業生一
人一言

文芸 遠足の思い出/1・宮原恵子 高
校生らしさをモットーに/2・大谷健利
秋の西武園/3・内田雅治 修学旅行の
詩/4・藤井悦美 ヒロシマ原爆について
考えていること/4・藤井典子 戦争につ
いて/2・佐藤貴久子 修学旅行の感想
文/4・横田岳之 「黒い雨」を読んで/
2・振旗善彦 イーシーなイメージ/2・
桑原武夫 幸福に対する一考察/3・水野
靖昭 気がつくこと/2・大谷健利 「生き
る」人へ/2・武藤友則

第38号

一九八六年度
(昭和六一)

巻頭言/生徒会長・手塚篤夫 衣食足って
礼節を知る/校長・小室英夫 ふるさとと
民主主義/教頭・竹内忠好

卒業関係 新役員挨拶/会長・加治屋
憲一、副会長・高群章、吉野奈美江 委員

会報告(六) 部活動報告(八) くすの
木祭報告 体育祭報告 生活体験発表会報
告 西部地区学芸大会アンケート結果

卒業関係 これからの勉強/教諭・渡辺
正樹 一度だけの青春/4・小峰正明 贈
る言葉/職員一人一言 卒業生一人一言
文芸 遠足/1A・高坂伸行 遠足の思い
出/1B・藤井祐子 遠足の思い出/2・宮
原恵子 遠足/3・大山浩文 「夏の花」
を読んで/4・黒瀬敏雄、山辺弘子

第39号

一九八七年度
(昭和六一)

巻頭言/生徒会長・加治屋憲一 人間万事
塞翁が馬/校長・渋谷健 卒業・進級にあ
たって/教頭・竹内忠好

卒業関係 新役員挨拶/会長・菅野信
男、副会長・富山美恵子、松江秀幸 委員
会報告(九) 部活動報告(八) くすの
木祭報告 体育祭報告 生活体験発表会報
告 西部地区学芸大会/3・吉野奈美江、
1・水沼広之 定通教育を良くする会/3
・辻本由起江、3・富山美恵子

卒業関係 雑感/教諭・佐藤和博 これ
からやっていく事/4・藤田実 学校/4
・渡辺高志 贈る言葉/職員一人一言 卒
業生一人一言
文芸 遠足の感想/1・川田伸二 遠足
のロマンチック/2・金子修 遠足の思い
出/3・富地隆生 修学旅行/4・大山浩
文 修学旅行の感想/4・佐藤貴久子

第40号

一九八八年度
(昭和六三)

時として友を!/校長・渋谷健 私たちと
人権/教頭・竹内忠好

卒業関係 生徒会長を終わって/4・菅
野信男 新生徒会長として/3・宮本浩
委員会報告(七) 部活動報告(二〇)
くすのき祭報告 陽光 定通ニュース
生活体験発表会入選作品/今、新たな決
意で/4・辻本由起江 今までの自分これ
からの私/3・松江秀幸 定時制からの進
学/2・佐々木忠宏 自分と陸上/2・坂
口征一 過去の自分と今の自分/1・染谷
雅昭 定時制に来るまで/1・細村由美子

卒業関係 卒業生に贈る言葉/教諭・山
崎裕 心の傷/教諭・上野睦夫 恩師って
誰のこと?/教諭・松本喜作 卒業にむけ
て/教諭・仲田勝巳 卒業にむけて/教諭
・中島勝巳 卒業生に贈る言葉/教諭・嶋
田恵子 卒業生に一言/事務職員
文芸 心の中に財産を/教諭・松崎雅博
進級させてこめんなさい/教諭・本吉一彦
ことばの旅/教諭・都筑正夫 レクイエ
ム/教諭・佐藤けい子 離見の見/教諭・
渡辺正樹 夢の季節/教諭・佐藤和博
19+1/教諭・田村博 山のこと/教諭・
説田三佐子

第41号

一九八九年度
(平成元)

灯し続けよう希望の光/校長・渋谷健、教
頭・竹内忠好

生徒会関係 第四十二代会長として／宮本浩 90年代に向けて／新生徒会長・橋本和典 副会長になって／佐々木忠宏 生徒会書記として／山田勝 委員会報告(八) 各部報告(九) くすのき祭報告 体育祭報告 西部地区学芸大会報告 クラス紹介(卒業関係) 十円玉の思い出／教諭・松本

定時制 朝霞分校 生徒会報「霞」

創刊号

一九五四年度
(昭和二十九)

巻頭言／校長・渡辺正紀

生徒会関係 本年度生徒会を顧みて／生徒会長・常岡幸市 三十年代新会長に任命されて／3・大沢信一 本年度生徒会を反省して／会計・小菅徳太郎 協力を望む／副会長・高橋末男 野球部／4・田中久夫 排球部／4・窪田一
文芸 関西修学旅行記／4・隅川喜久生 植物を主とする秩父三山縦走記／教諭・荒

喜作 久々の定時制／教諭・福井孝夫 卒業生へのメッセージ／教諭・上野陸夫 祝卒業／教諭・仲田勝巳 たいくか／教諭・小原英資 渡辺恵理 最後の一言／教諭・都筑正夫 私が卒業した日／教諭・山崎和達 教諭・江原裕美 心の中に財産を／教諭・松崎雅博 移動する／教諭・佐藤和

野久雄 三ツ峠登山記／3・大沢信一 積極性について／3・川上満 学生と質問／教諭・近藤昌 堅実／1・峰岸和男 卒業生を送るに当たって／教諭・田矢一男 世の中と学校生活／3・町田浩郎 母に感謝する／1・河合節子 アマチュア演劇／教諭・岡野静二 貧乏ではあるが／1・黒沢光一 日光／教諭・山口利通 水の花／2・池田昭吾 初春／2・小玉政次 真理を求めて／教諭・荒野久雄 古本／3・無木喜代吉 初春の雨／1・増田敏納
短歌 二首 俳句 四四句
後記(表紙にそえて)／主任・白井正

第2号

一九五五年度
(昭和三十〇)

巻頭言／校長・渡辺正紀

生徒会関係 本年度生徒会活動を顧みて／生徒会長・大沢信一 新会長に任命されて／3・高橋末男 夏の思い出／教諭・山口
文芸 関西修学旅行記／4・大沢信一 偶感／教諭・下出一夫 赤とんぼ／3・高橋末男 故郷／4・川上満 ある晴れた日

博 ワンショット／教諭・小山昌子 夢をあきらめないで／教諭・吉田知恵 無題／教諭・本吉一彦 卒業生に一言／教職員 事務職員 卒業生二人一言
生活体験発表会入選作品 現在の高校生生活／1・岡和田裕美 看護の道／2・稲安ちあき 昔の私と今の私／2・富岡美子

に／たかしの・はるを 晩秋／2・峯岸和男 想い出すまに／教諭・岡野静二 高等学校に入学して／近藤すみ子 十年前の教え子／草刈榮芳 思いやり／1・鈴木智子 広島の土を踏みて／教諭・荒野久雄 学生らしく／3・村竹章子 探求の道／教諭・小沢康人 御存知でしょうか／3・石村利生 鮎談義／山口柳風 雲／1・三枝富江 風鈴／1・浜中真砂子 午前／3・村永璋子 機械の音／1・佐伯晶司 大空／1・近藤すみ子 焦り／1・高橋広草原／1・鈴木智子 雨／1・富岡里子 百姓／1・窪田新 秋晴／1・細野利雄 落葉／1・矢沢礼志 月／1・須田邦彦
短歌 一五首 俳句 二四句
後記／主任・白井正

第3号

一九五六年度
(昭和三一)

巻頭言／校長・渡辺正紀

生徒会関係 本年度生徒会を顧みて／生徒会長・高橋末男 新会長に選ばれて／3・増田敏納 珠算部員に望む／2・金井進 図書委員に望む／4・小玉政次

僕の決意／3・南部正樹 家族／3・香川薫 僕が疑問に思ったこと／3・渡辺真一 今、青春のとき／4・鈴木セツ子 振り返って三年、これからの道／4・岩沢正満
文芸 野球と私／4・松江秀幸 四国・京都旅行／4・若林いづみ サマラーンド／2・吉村朋子 遠足／3・永田正嗣

文芸 槍ヶ岳／3・栗原貞公 断章／教諭・小沢康人 ある歴史家の死／教諭・栗原益男 離郷／1・加藤八郎 四人組恒ちやん／1・増田榮三郎 ヒエロの楽隊／2・近藤すみ子 太陽族／3・峯岸和男 習慣と慣習／教諭・岡野静二 盲腸炎／4・高橋末男 鈴／1・黒木訓子 煙草／4・村永璋子 よめ とおめ かさのうち／山口柳風 手／1・三枝悦美 お百姓／4・池田昭吾 夜の町／2・斉木美代子 柿／1・増田榮三郎 柿／2・浜中真砂子 昔いキャンパス／2・神尾千恵子 珠美里／教諭・小沢康人 たまの日曜／2・高橋広ともしび／2・高橋光夫
短歌 三〇首 俳句 三五句
後記／主任・白井正

第4号

一九五七年度
(昭和三一)

巻頭言／校長・渡辺正紀

生徒会関係 本年度生徒会活動を顧みて／生徒会長・増田敏納 生徒会長に選ばれて／3・矢沢礼志 音楽・演劇部長になつて／3・佐伯晶司 珠算部員に望む／3

・金井 進 美術部／4・峯岸和男
 公文芸 行動／教諭・岡野静二 入学試験
 の日／1・船田光一 少女／3・矢沢礼志
 関西旅行／4・渡井君代 青春の嘆き／3
 ・斉木美代子 手紙／教諭・栗原益男 夏
 休みの思い出／3・佐伯昌司 電車の中／
 1・進藤一己 健康／4・黒沢光二 夜／
 1・高橋正衛 働く喜び／2・並木政夫
 君よ帰ってくれ／2・加藤八郎 雑感／教
 諭・小沢康人 水／2・三枝悦美 北園生
 まれの母／3・鈴木智子 西洋館／教諭・
 下出一夫 月夜／3・鈴木智子 朝まだ
 き／2・増田栄三郎 故郷での出来事／3
 ・清水英一 農村の青年／3・有原七次
 流星／1・根本保子 折に触れて／教諭・
 荒野久雄 田舎の一日／1・杉浦美佐子
 心／4・峯岸和男 霧／3・浜中真砂子
 思い出／1・木村和男 床屋／3・岩崎忠
 八月四日／3・近藤すみ子 操り人形／3
 ・斉木美代子 夏の夜／1・正親理代 立
 秋／1・浅川敏男 映画「ピルマの竖琴」
 より／1・宇津木功 午後／3・富岡里子
 父の面影／2・金子節男 忘れな草／3・
 近藤すみ子 ナイター、ブリキ、襦袢／教
 諭・高橋晴夫 私／3・矢沢礼志
 〔短歌〕三八首 〔俳句〕三二句 〔川柳〕四句
 後記／主任・白井正

第5号

一九五八年度
 (昭和三三)

〔生徒会関係〕本年度生徒会活動を顧み
 て／生徒会長・矢沢礼志 生徒会長に選ば
 れて／3・増田栄三郎 我らの庭球部／1

・山崎秀雄 珠算部員に望む／3・富岡靖
 司 柔道部員に望む／3・並木政夫 音楽
 ・演劇部／3・泉マチ子 排球部につい
 て／3・永野悦弘 野球部員に望む／3・
 鈴木昭正
 公文芸 思いのままに／4・斉木美代子
 雑感／3・高尾博久 あの坂道／2・飯倉
 計彦 幸福者は誰／3・大野康子 海の思
 い出／2・根本保子 西丹沢サンザ洞の思
 い出／4・近藤すみ子 幸福／4・須田邦
 彦 道徳と行動／3・西脇信三 ある日／
 1・島村昭子 心に灯を／1・山崎秀雄
 気の向くままに／2・木村和男 皇室に思
 う／3・三枝悦美 霧雨の停留所／1・田
 端宗太郎 拾われて／3・泉マチ子 青少
 年少女不良化の一因／1・山崎秀雄 十二
 分の一の感じ／1・田端宗太郎 残業／2
 ・田中康弘 海は招く／2・根本保子 落
 石／4・近藤すみ子 勉強する事によつ
 て／3・増田栄三郎 街燈／4・須田邦彦
 自分の職業について／3・永野悦弘 今日
 一日を／4・斉木美代子 つりの情景／2
 ・忍田 誉 大阪の灯／4・浜中真砂子
 我家／1・獅子倉良男 キャンプ生活／2
 ・浅川敏男 法隆寺にて／4・近藤すみ子
 愁い／2・木村和男 二度の京都／4・窪
 田新 武蔵野／山口冬男 若い樹／2・星
 野稔 小川／3・西脇信三
 〔短歌〕八首 〔俳句〕一八句 〔川柳〕四句

第6号

一九五九年度
 (昭和三四)

〔生徒会関係〕生徒会長になって／3・星野

稔 解任にあたって／4・増田栄三郎 庭
 球部員に望む／2・村竹弘好 卓球部／4
 ・菊池健次 珠算部を顧みて／4・富岡靖司
 公文芸 ある日曜日／3・杉浦美佐子 秩
 父／2・田端宗太郎 コスモスの花／3・
 鈴木美子 ある日曜日／3・羽入田美津子
 秋／4・神山巖 こけし人形／4・増田英
 三郎 ねこ／3・矢沢千代子 募金運動／
 3・鈴木美子 思い出は消えず／4・三枝
 悦美 道徳教育について／3・矢沢千代子
 車中にて／4・高尾博久 秋川溪谷にて／
 1・橋本万太郎 勉強以外の勉強を怠る
 な／4・西脇信三 雑感／3・相原幸江
 雑感／3・根本保子 修養は湯水／2・高
 尾隆二 蛇師／3・忍田誉 雑感／2・村
 竹弘好 孤独への解放／3・小沢勝正 親
 友／1・星野隆 差／3・進藤一己 エジ
 プトのミイラについて／教諭・愛川敬武
 閑居愚言／教諭・金子藤四郎 美しき瞳／
 3・星野稔 十代の歩み／2・高尾隆二
 赤ケツト／教諭・中里秋光 健康／3・杉
 浦美佐子 秋の空／1・内田幸子 虫の
 声／1・内田幸子 秋風／1・星野隆 清
 流／3・田中正子 母／3・田中康弘 わ
 からない／2・矢内ヤス子 自然を愛す／
 3・浅川敏男 歩み／3・根本保子 星の
 笑い／3・根本保子 空／2・矢内ヤス子
 思い出／3・矢沢千代子
 〔短歌〕五首 〔俳句〕五句 〔川柳〕二句

第7号

一九六〇年度
 (昭和三五)

〔生徒会関係〕生徒会長に任命されて／3

・高尾隆二 昨年度を顧みて／4・星野
 稔 生徒会活動／2・金井克己 柔道部員
 に望む／3・神田三三男
 公文芸 振り返って／4・浅川敏男 青い
 空／4・小林ひとみ 私の心／1・杉浦照
 美 雑感／4・相原幸江 ラッシュ／2・
 金井克己 時間／1・田端光弘 朝のひと
 とき／4・杉浦美佐子 ある鳥の死につい
 て／2・菅野誠 海の役割について／3・
 越智正勝 秋／1・田中利雄 定時に学
 ぶ動機と学んだ回顧／4・小尾和生 私と
 星空の遠い父／1・星野勝子 ひとりで
 4・浅川敏男 真夜中の夢／3・高尾隆二
 修旅記／4・小玉輝 もつと声を小さく／
 教諭・船戸英夫 おとなは正直／3・塩野
 初太郎 夜の町／2・内田幸子 秋／3・
 村竹弘好 静かな夜／1・中町信勝 秋
 雨／1・田中利雄 秋／2・内田幸子 カ
 ミナリ族／1・金井克己 きりの夜／2・
 内田幸子 真鶴にて／3・林繁太郎 道／
 1・中町信勝 お花の時間／4・杉浦美佐
 子 幸福／4・小林ひとみ
 〔短歌〕六首 〔俳句〕一三句

第8号

一九六一年度
 (昭和三六)

〔生徒会関係〕生徒会長就任にあたって／
 3・橋本萬太郎 本年度生徒会活動を顧み
 て／4・高尾隆二 霞によせて／庭球部・
 山内忠雄 美術部員に望む／3・内田正雄
 〔文芸〕松川事件／4・塩野初太郎 実社
 会に飛び立ち／2・田島菊夫 考え／3・
 浅川功 流れ星／4・岩田三郎 明日への

課題／2・鈴木詠子 ある動物の生存競争／3・宮野誠 私の趣味と思ひ出／3・塩味孝之 悩み／2・中町信勝 深夜／4・権藤晃 マスコミ概観／4・塩野初太郎 父と子と／3・大橋まさゆき 私の記録『さめ肌』／3・長山進 私は夜学生／2・中町信勝 不思議に思う事／3・高木行男 映画をみて大人の心に／1・川村勝英 友人／3・金子勇二 核実験に思う／2・渡辺 口と耳と目／3・星野隆 美しい人／3・永井和明 雑文／1・小山勇夫 太陽を胸に／1・土山善三 健在なりテンション／3・大橋まさゆき 富士登山／3・山本貞夫 富士山／3・曾根田富司 過ぎ去った時／3・大沢盛男 ふるさと／3・遠藤秘一 人生／2・中野信勝 今日／3・長山進 星座／3・内田正雄 雨／1・小池勝彦 帰郷／1・佐藤弘治 冬／3・星野隆 帰り道／1・佐藤弘治 目／3・田中英男

〈短歌〉二首 〈俳句〉一九句

第9号

一九六二年度
(昭和三七)

〈生徒会関係〉生徒会長に就任して／3・田島菊夫 華道部／部長・神谷秀子 英会話クラブ便り／部長・田中利雄
〈文芸〉二つの生活／3・安藤正子 順子／2・土屋菜子 集合／1・西村正雄 私の文通／3・清水新五郎 美しい姿／栗栖勉 完成／2・清水徳子 正月／2・鈴木正敏 全日制と定時制／3・中町信勝 鼻の手術／1・前野光子 果立／2・小池

勝彦 心のごみ箱／1・古内千枝子 寝てくらす法／3・田端光弘 就職／1・長谷川隆 四季／2・小峯康政 初めての就職と高校生活／1・島田絹代 現在の私／3・鈴木洋子 青少年とは／1・福田隆 高校生として持つべき物／2・小池勝彦 ホワイトコート／1・西村正雄 雨の日の初恋／3・池ノ内耕一 青い空／2・清水徳子 十九／3・神谷秀子 武甲山登山／3・田中利雄 安芸か歩記／3・鈴木詠子 ファイト／1・布田いく代 あの娘の思い出／1・相沢賢一 万年筆／3・杉浦照美 幸わせ／2・出水博 落葉／3・中町信勝 野原の二本杉／2・志村春雄 夢／3・金井健司 月と一緒に／1・木村博和 秋の日／3・中町信勝 新たな希望／1・谷合春美 我が心／3・神谷秀子 花／1・牧野百合子 妙な気持／3・中町信勝 新雨ニモ負ケズ／4・金子勇二

〈短歌〉五首 〈俳句〉十句

第10号

一九六三年度
(昭和三八)

〈生徒会関係〉生徒会長に就任して／3・小池勝彦 本年度生徒会活動を顧みて／前会長・田島菊夫 会員諸君に望む／前副会長・中町信勝 英会話便り／部長・小池勝彦
〈文芸〉父の死／2・徳永けい子 努力必ず成功／1・渡辺浩 なき友をしのぶ／1・秋山溪子 無精面／3・小池勝彦 青年と未来／4・中村春志 星座随想／3・鈴木正敏 故郷／2・古田島博重 ある休

日／3・藤田美津子 青春期と未来図／3・伊東重文 勤労と幸福／4・中村春志 人生について／1・森田真里子 秒針／2・布田いく代 金星の観察／1・木沢憲次 故郷／3・古賀毅 時間／3・茂木和彦 働きながら学んで／1・神山美津江 朝のひと時と姉の声／1・岩井あい子 おやじ／3・小池勝彦 青春／4・星野勝子 修学旅行／四年生一同 山は友／3・佐々木久雄 谷川岳山頂にて／1・神田浩 姉さん／1・三上けい子 憂うつな覚醒／3・清水徳子 地平線／3・手島三郎 卒業式／1・和智美代子 空／2・牧野百合子 松並木／1・小原千代子 雨／2・鈴木美津江 野すえの秋の虫／1・野田昌子 秋／2・島田絹代 いづこへ／4・中町信勝 ふるさと／1・渡辺浩 秋の一日／2・谷合春美 一本の道を歩む／1・青木富美江 雑草／3・小池勝彦 さむざら／3・小泉芳江 野菊／1・栗原利子 秋の日の思い出／1・秋山溪子 格言十題／1・吉田隆司

〈短歌〉五首 〈俳句〉九句

第11号

一九六四年度
(昭和三九)

〈生徒会関係〉生徒会長に就任して／3・金子春男 本年度生徒会を顧みて／前会長・小池勝彦 四十年生徒会員へ／前副会長・鈴木正敏 バレークラブ便り／長谷川隆 活ける／華道部長・古内千枝子 卓球部便り／部長・金子春男
〈文芸〉鉄腕アトムの話／教諭・川上義正

心の成長という事／教諭・愛川敬武 ぼくのうしろに道はできる／2・新井貞夫 一隅を照らす／4・伊東重文 新潟地震／3・長谷川隆 帰り道／3・布田いく代 剣道仲間／2・鈴木文明 青空の下で／1・岩崎千枝子 努力という事／3・古田島博重 社会の矛盾／3・金子春男 我らしく生きる／1・石山敏 上野にきて／1・細越繁 分岐点と世代／4・小池勝彦 幼い日の思い出／2・三上けい子 就職と高校生生活／1・獅子倉初江 初志を貫く／3・木村博和 TEAをべい／1・三枝光夫 初心忘るべからず／2・青木将夫 体育学校での生活／1・松岡久雄 愛と死を見つめて／1・秋山溪子 『ふたりの明日』を読んで／2・和智美代子 ナンテンの木／2・吉田隆司 変な兄弟／1・島貫利夫 1.ある日公園で／2・片岡久男 人間の姿／1・原子清子 道／1・吉田春夫 四季の楽しみ頃／2・片岡久男 学校の帰り道／1・榎本政江 富士／2・山崎秀雄 二つの心／1・永峰照子 空／1・星野恵子 若き詩人／1・新井三三 田舎道／3・牧野百合子 ふうせん／1・若林陽子 孤独／4・藤田美津子 若さで行こう／3・長谷川隆 孤独を見つめて／2・片岡久男 仕事仲間／1・松本宏 地球／1・浪川誠治 秋の夜／1・柳下文字 さいそく／1・橋本忠 秋のおとずれ／1・中村幸子 帰り道／3・牧野百合子 ふるさとの山／1・梅津英雄 山／1・須貝年雄 星／1・早川敏男 思い出／1・青木タミ子 けんか／1・山崎あけみ 思い

出す父の手／1・細田末子 兄を想う／1
 ・石渡平一 夕暮れの一瞬／3・古内千枝
 子 光る友達／1・森登代子 雨／2・黒
 金清太 カニ／3・谷合春美 喜び／1・
 塩崎正 ホームラン／2・尾崎一郎 目／
 4・藤田美津子
 〈短歌〉三首 〈俳句〉二九句

第12号

一九六五年度
 (昭和四〇)

〈生徒会関係〉会長に就任して／2・細越
 肇 本年度生徒会を顧みて／前会長・金子
 春男 音楽部／4・徳永ケイ子 陸上部
 員／4・相沢俊男
 〈文芸〉随想／教諭・丸田洋 バレーで得
 たもの／4・木村博和 ちっちゃな天使／
 卒業生・小池勝彦 後輩に忠告／4・小川
 俊明 旅／卒業生・鈴木正敏 稲／2・細
 田末子 ポンコッドライブ／卒業生・小池

勝彦 柔道合宿とその体験／4・金子春男
 感心した事／1・近正子 弟への便り／1
 ・小坂四郎 日曜日／2・大森光子 サイ
 クリング紀行／2・小松弘之 私が最も感
 激した事／1・横田栄子 自然と私／2・
 小野里幸子 思い出の道／2・細越肇 思
 い出／4・徳永ケイ子 友情を読んで／3
 ・神田浩 自然と私／2・小路ひろし 友
 情を読んで／3・市齒アツ子 走るきっか
 け／4・相沢俊男 ハイキング／2・若林
 陽子 苦しかった一七八六米／4・布田い
 く代 汗／2・細田末子 故郷の灯／2・
 鈴木正枝 初恋／4・長谷川隆 夜十一時
 の雨／2・早川敏男 夜の灯／2・細田末
 子 遠い星／2・岡田文雄 私は知らない
 い／2・小松弘之 夜道／2・獅子倉初江
 お腹の虫が鳴いている／2・森登代子 女
 の子／4・長谷川隆
 〈短歌〉七首 〈俳句〉二二句

第13号

一九六六年度
 (昭和四一)

〈生徒会関係〉この一年をふりかえって／
 前会長・細越肇 今年のバレー部を省み
 て／部長・吉田隆司 テニス部／部長・高
 橋敏行 新生徒会長になって／3・小松弘
 之
 〈文芸〉ながぐつ／教諭・川上義正 友
 情／3・秋良新一 私の信条／4・山口
 勇 自由／3・岩崎千江子 自由につい
 て／4・新井貞夫 「沈黙」を読んで／2
 ・近 正子 「マーシャの日記」を読ん
 で／2・風間智恵子 「性格」を読んで／
 3・高田和幸 犬／4・山口勇 秋風と語
 ろう／3・斉藤彰 一枚の葉／2・内山昭
 治 顔／3・細田末子 心／3・金子武美
 初秋／3・秋良新一 復活／3・小松弘之
 「幸せの探求」の感想文／3・若林陽子

「あしながおじさん」／4・三上けい子
 「南極越冬記」を読んで／2・木通麗子
 「石川啄木作品選」を読んで／3・只野公
 司 「原爆体験記」／4・石本精子 無題
 心の中、流れ、時／4・小林勝美 死刑
 囚／3・小松弘之 海のむこう／4・三好
 一男 老人／4・長島久美代 未っ子／3
 ・細田末子 誘惑／3・小松弘之 自由／
 3・金子武美 収穫／4・秋山漢子 スポ
 ーツ／2・羽生政江 二年ぶりの帰郷／3
 ・今野一広 仕事と勉強／4・今野湖澄
 仕事と学校生活／3・森登代子 数学と
 私／4・小原千代子 性質という事／3・
 青木タミ子 未知への挑戦／3・今野一広
 グリラと玉ねぎ／4・三上けい子 退職／
 3・山崎あけみ 仕事と勉学／3・新井二
 三江 職場と学校／3・鈴木正枝 仕事と
 勉強／4・三上けい子
 〈短歌〉一首 〈俳句〉二句

定時制 入間川分校 生徒会報「丘の灯」

創刊号

一九四九年度
 (昭和二四)

創刊の辞／校友会丘の灯編輯部 偶感／校
 長・荒井実 定時制の諸君へ／入間川町長
 ・石川求助 知性への期待／県会議員・桑
 田愛三 燈火随想／主任・大護八郎 発刊
 の喜び／2・中島仁平
 〈文芸〉母の姿／1・肥沼千代子 思い出
 の砂／2・長根三兵衛 伸びゆく心／1・
 斉藤壽夫 夏の夕暮／1・山崎毅 土の
 心／1・岩田正男 夏の宵闇／2・永塚幸

子 夏の海辺／2・永塚幸子 詩集を手に
 して／2・栗原政子 入間川分校を振り返
 る／奥富茂一 華厳の滝／2・甲田寛代子
 湖畔の朝／2・久保田福造 雑木林を行
 く／2・松本美津子 文化日本／2・岡野
 武雄 煙／2・角田とみ子 今／2・水村
 徳三 心の灯／2・永塚幸子 晴れの一
 時／1・細田家次 小鼠の死／1・松本ノ
 フ子 お母さん／2・角田とみ子 母／2
 ・渡辺徹 華厳の滝／2・久保田福造 空
 を見て／教諭・杉本波留子 詩について／
 教諭・木村暢 ニュートンとアインシュタ

イン／教諭・上田政夫

〈短歌〉一四首 〈俳句〉三三句

第2号

不明

第3号

一九五四年度
 (昭和二九)

丘の灯によせて／校長・渡辺正紀 丘の灯
 寸感／主事・高橋剛 丘の灯におも／主
 任・後藤定男 発刊によせて／生徒会長・
 小林健一

生徒会関係 文芸部の意義／文芸部長・大野勇

＜文芸＞ 原子力時代のおとずれ／教諭・上田政夫 無題／教諭・石川信夫 短歌的又は詩的現実ということ／教諭・三浦俊雄 強く生きる／1・篠崎勲 大自然をさぐる／4・大塚延子 旅行記／4・大野武治 二十四の瞳／別科1・浅見則子 此の頃／別科1・三ツ木君代 私への忠告／3・新井昭子 ふるさと／2・斉藤義三 友／4・村井洋子 旅の印象／4・鎌田治作 歌は我が心の友／4・大塚登 追憶／4・大塚登 枯葉／1・増茂進一 別れた友へ／2・鈴木ミチ子 ある日のこと／2・太田一江 卒業に際して／4・村井洋子 美の探求／美術部長・市之川純一 雲取難感／2・山畑広志 午後／1・石坂輝代 木枯の叫び、他／3・小林健一 今日の人／4・山下次男 ささ舟、他／2・山崎栄一日課表のゆめ／2・川瀬光夫 午／2・中里房子 あの子／2・太田一江 卒業／別科2・岩田ふじ 人間／別科1・三ツ木君代 朝／2・小川昌治

第4号

一九五五年度 (昭和三十)

断簡／校長・渡辺正紀 表紙絵に題して／主事・高橋剛 思い出／主任・後藤定男 ＜文芸＞ 雷持ちの竹／4・小林健二 学ぶために／教諭・望月良平 石坂洋次郎の小説／3・奥富勲 発音漫談／教諭・近藤

昌 水の性質／教諭・上田政夫 美術班に思う／1・吉田武 山道を歩けば平坦となる／2・増茂進一 近道／3・斉藤義三 薬師寺の思い出／4・田中田雄 奈良の印象／4・甲田栄司 旅の思い出／4・岸欣一 冬の日／2・石坂輝代 タヤけ／1・吉田武 タぐれ／1・小野田信子 泉はかた／4・小林謙児 家路／4・新井昌枝 少年／3・太田一江 停電／3・並木せい子 死んだカニ／4・大野勇 花／教諭・相田英太郎 武蔵野／教諭・三浦俊雄

第5号

一九五七年度 (昭和三十)

＜短歌＞二〇首 〈俳句〉三句 春を待つ／校長・渡辺正紀 別れ／主任・後藤定男 生徒会関係 生徒総会の混乱と反省／教諭・近藤昌 商業部／4・潜水勇雄 ＜文芸＞ ふるさとのこと／2・光永康人 幸福を求めて／3・黒沢範子 三年たつて／3・山崎晴次 夕暮れのひととき／3・小野田信子 思い出の写真／1・小市悦子 手ぶくろ／1・中村百合子 人工衛星によせて／教諭・上田政夫 卒業を前にしての所感／4・宮岡平治 山寺／4・三ツ木秀夫 平等院鳳凰堂／4・飯田春子 関西に旅して／別科2・奥富富美子 忘れ得ぬ人／教諭・相田英太郎 晩秋の自然／4・小熊鈴枝 日記をつけるということについて／教諭・三浦俊雄 どこへ行く道／2・加藤昭子 秋の夜／2・田口喜良 はじらい／2・加藤昭子 冬の夢 アフリカ

第6号

一九五八年度 (昭和三十)

行／教諭・望月良平 暖冬雑感／校長・渡辺正紀 旅と文学について／主事・渡辺元一 生徒会関係 演劇部三年間／4・宮崎和子 四年生の皆様へ／1・富田東吉 卒業を前に／4・黒沢範子 ＜文芸＞ 川のほとりで／3・加藤あき子 時季おくれ猪漫談／教諭・望月良平 キツネとマツチ／2・小市悦子 はなむけに／教諭・たかしの・はるを もつと静かに／教諭・三浦俊雄 浅春／教諭・相田英太郎 疑いと恋いと／3・加藤あき子 世代の感じ／3・田口喜良 初雪の夢／3・落合照子 葉牡丹／1・金子俊雄 白い蝶／3・加藤あき子

第7号

一九五九年度 (昭和三十)

＜短歌＞一三首 自己に生きよ／主事・渡辺元二 学校の上の道／主任・相田英太郎 生徒会関係 卒業生の皆様へ／3・甲田敏夫 入部の喜び／3・岩崎智枝子 各部の抱負 (九)

＜文芸＞ 放浪記を読んで／3・小市悦子 作文ということ／1・赤島敏子 ランニングと共に／教諭・宇賀神敏枝 録音構成「夜間高校生」を聞いて／3・岩崎智枝子 みつめるといふこと／別科1・藤田光子 ネズミの嫌いな薬／教諭・望月良平 プー

ム／教諭・吉野峯吉 にきび／1・町井和子 武蔵野の冬／教諭・三浦俊雄 友と別れを前に／4・武内伊一 廊下の一角にて／4・加藤あき子 家路／3・森田美子 満足という言葉／3・田口ヨウ子

第8号

一九六〇年度 (昭和三五)

思い出すままに／校長・西川好明 生徒会関係 各部長の記 (八) ＜文芸＞ 米山さん／3・春川操 「新しい社会」を読んで／1・斉藤和江 初冬の山／教諭・渡辺進 私ばかり生きたい／2・関口茂夫 我が生涯のワンパク日記／教諭・吉野峰吉 入間川にて／3・町田博 省みて／4・小市悦子 龍之介の「芋粥」よりに／3・斉藤一 マス・コミュニケーション／別科2・大塚恵子 まわり道／教諭・三浦俊雄 私は／1・加藤和子 尾瀬にて／4・田口ヨウ子 小石／1・小川祥子 八つ手の花明り／教諭・相田英太郎

第9号

一九六一年度 (昭和三六)

旅／校長・西川好明 中庸の道／主事・渡辺元一 生徒会関係 生徒会クラブ活動記録 (五) ＜文芸＞ かれ葉の道／1・小宮健作 若き日の記録より／1・田中進 我々の環境／4・渡辺郁夫 養老園慰問に思う／別科1・筋野紀子 十月／教諭・渡辺進 友／2・福島勝 関犬／教諭・三浦俊雄 奥武蔵

ハイキング／別科2・加藤三重子 風／3
・三ツ木信一 追憶／2・吉田幸子 考え
る魔女／2・加藤和子 思い出／2・石坂
晴代 聖なる光／1・市川宣 雨／2・小
川祥子 お姉さんさようなら／3・石川千
ヨ 静／1・飯島チエ子 ホクロ／2・斉
藤和江

〈短歌〉六首 〈俳句〉五句

第10号

一九六二年度
(昭和三七)

交通事故雑感／校長・西川好明 ハハパメ
マ／主事・山村良夫 遠足のバスの中の
歌／主任・梶田英太郎 ゴルフ場の想い
出／教諭・渡辺進 民謡と文学／教諭・東
海亮造

〈生徒会関係〉本年度の反省／生徒会長・
浅見実 共に歩もう／新生徒会長・石川勇
司 生徒会クラブ活動記録 (一一)

〈文芸〉秋／3・横田武雄 花／3・市之
川照子 おふくろ／1・田中洋三 生き
る／別科2・栗原和子 小さな自分へ／2
・日高美年 古本／1・清水健一 通りす
がりに出会った女／2・平本照子 夜の
道／1・沢田順子 幸福／別科2・牛窪久
子 私の神様／1・斉藤裕計 妹よ いじ
めるな／3・榎田一臣 一六才の日記か
ら／1・金子美代子 深夜勤務／3・倉持
智子 友の死／1・岩崎松明 波紋／2・
小宮健作 秋の日／1・斉藤裕計 男／3
・石塚晴代 秋／3・吉田幸子 私の生
活／1・成沢召子 愛／2・豊田貞子 枯
れ葉／1・石川登紀子 学校がえり／1・

久保田恵子 「二十四の瞳」を読んで／別
科2・筋野紀子 「こころ」を読んで／1
・横田茂子 秋空／4・関口茂夫
〈俳句〉四句

第11号

一九六三年度
(昭和三八)

思いつくまに／校長・西川好明 風雪に
たえよ／主事・宮下辰夫 水原監督／主事
・梶田英太郎 旅の雑感／教諭・渡辺進
最後の二割／教諭・後藤安孝

〈生徒会関係〉生徒会は前進あるのみ／生
徒会長・石川勇司 若い力を生徒会に／新
生徒会長・小宮健作 座談会「体育活動を
省みて」文化活動の期待 入間川分校・
生徒会規約抄

〈文芸〉朝／2・横田茂子 言語生活／1
・石塚智子 根強き／別科1・三上光江
動き／1・一色静恵 明日への前進／3・
小島洲雄 秋／4・市之川照子 あせ／2
・山畑明子 老樹／3・市川宣 未来に向
かって／別科1・山崎しず子 私のあしあ
と／1・加藤ひろ子 死を選んだ友へ／3
・豊田貞子 自由／別科1・鎌田芳子 空
想と現実／1・藤田満江 たそがれ／4・
中田喜代治 九月の従者／2・金子美代子
「赤毛のアン」を読んで／別科2・畑名洋
子 「ああ無情」を読んで／別科2・岸田
由起子 思い出と道程／1・仙田清 会社
と学校／1・関口正子 クレゾール臭い／
1・南雲信子 煙草／4・石坂晴代 幸福
な時／2・石川登紀子 中尊寺の旅／3・
小宮健作 「明」への記憶／2・金子美代

子 若き日の一日／4・横田武雄
〈俳句〉五句

第12号

一九六四年度
(昭和三九)

根性／校長・西川好明

〈卒業特集〉芽出度い卒業式／分校主事・
梶田英太郎 卒業を祝う／教諭・望月良平
家政科の卒業生へ／教諭・宇賀神敏枝 卒
業生より一言 在校生より卒業生へ一言
〈生徒会関係〉新年度に臨んで／生徒会長
・長田茂一 こんな生徒会にしたい／1・小
清水由美子 新生徒会に期待する／2・小
泉佐市 生徒会について／2・加藤ひろ子
こういう生徒会にしたい／1・中村きい子
生徒会発展のために／教諭・渡辺進 体育
部活動を見て／教諭・矢島義三 体育部反
省 (六) 文化部紹介 (七)

〈文芸〉風／3・田代義男 影絵／2・仙
田清 葎道／3・栗原美智子 ねむけ／3
・栗原みち子 自分を愛すること／教諭・
市村豊子 検定試験／教諭・後藤安孝 夏
の思い出／3・金子美代子 野呂川咄／4
・田中進 秋の山／3・横田茂子 美しい
ものの方／4・福島誠 性質と成長の過
程／2・仙田清 時の流れ／別科2・山崎
しず子 豊かな心／別科1・佐藤照子 ク
ラス／1・後藤俊道 入学するまで／1・
大畑明 ルール／別科2・三上光江 私た
ちのクラス／1・飯島博子 「孫子」を読
んで／4・鳥越一成 蠅／2・岡本統弘
枝の上の蛙／1・中沢けえ 犬／別科1
・関根真佐子 飼育の楽しさ／別科1・佐

伯しつか 秋の思い出／1・天野広子
鏡／3・斉藤裕計 私とバイク／3・水村
妙子 ことばのちがいがい／1・岡紀美子 思
い出と歌／2・沼崎弘子 私／2・関口政
子 故郷／3・松岡公彦 集団就職／1・
中村きい子 親友／3・清水建一 落葉／
4・沼崎稔 言葉／4・市川宣 青春時代
をいかにすごすか／4・田中武夫 十代の
心境／1・渡辺太一 協力／別科2・岩田
トシ子 試験／2・佐藤允美 おもつま
に／3・久保田恵子 空を見て／4・丸山
房藏 忍耐力と根性／1・横田良作 幽
霊／3・塩野茂雄 狩猟／3・青木邦幸
或る一日／別科2・鎌田芳子 日曜日の
朝／2・二の宮すみ子 射撃演習／2・大
森栄 父の自慢／3・澤田順子 母を思
う／2・坂本きみ子 家族の意見／3・石
川登紀子 私の幸福／3・田中久枝

〈短歌〉三首 〈俳句〉七句

第13号

一九六五年度
(昭和四〇)

〈卒業特集〉卒業の皆さんへ／校長・小久
保宗平 卒業生に／主事・梶田英太郎 良
き友三つあり／教諭・東海亮造 卒業生よ
り一言 卒業生に贈ることは

〈生徒会関係〉任期を終わって／四〇年度
役員 抱負／新生徒会長・中村四郎 生徒
会はホームルームから／副会長・横田良作
新生徒会に望む／2・清水由美子 生徒会
発展のために／顧問・矢島義正 夏季クラ
ブ反省 (六) 文化クラブ紹介 (六)
〈文芸〉星になつてしまつたあの人／2・

鎮目佐知子 夜と共に／1・坂本利美
星／2・渡辺太一 大地／2・渡辺太一
みぞれの日／2・浅見幸子 すずらん／1
・久保田静子 帰りの道／2・浅見幸子 帰
り道／1・堤米子 悲しみ／3・中野ヨリ
子 若人／3・久保田勝 青い鳥／2・飯
島博子 青春とは／2・宮岡一夫 つくし
んぼう／2・鎮目佐知子 運動会の曲／2
・清水由美子 春の日には／2・天野広子
私と詩／3・増田信次 北陸一千里／3
・岡本統弘 北陸路に思いを寄せて／3
・久保田勝 チー坊／4・塩野茂雄 夏の
宵／4・青木邦寧 これから気をつけま
す／4・栗原みち子 私の趣味／4・横田
茂子 成人式に出席して／3・中村四郎
自由と平凡／2・飯島博子 四年間を顧み
て／4・沢田順子

第14号

一九六六年度
(昭和四二)

〈卒業特集〉卒業生の皆さんへ／校長・小
久保宗平 卒業生に／主事・楳田英太郎
雑感／教諭・木村市郎 卒業生より一言
卒業生に贈る言葉
〈生徒会関係〉任期を終えて／生徒会長・
中村四郎 生徒会に対する意見／2・松本
猛浩 顧問として／教諭・矢島義正 夏季
クラブ反省(五) 文化部紹介(八)
〈文芸〉小さな花／2・小泉せつ 人生の
道／2・俵山なよ 幼き思い出／3・清水
由美子 母に／3・天野広子 徹夜／1・
清水和夫 書くという事／1・西文則 枯
れ葉／1・日原春美 ふうせん玉／3・清

第15号

一九六七年度
(昭和四二)

水由美子 二十歳／1・田中 一番星／3
・柳沢かずえ 冬の日／1・土橋幸雄
夜／3・飯島博子 私の涙／3・渡辺太一
幸福とは何か／3・渡辺太一 一月一日の
日記から／3・中村きい子 四年間を顧み
て／4・増田信次 全日制から定時制に移
って／3・奥倉千恵子 私の職場／1・西
文則 夏休みを利用して長野県へ／3・飯
島博子 定期懇談会に出席して／3・肥沼
稔 保原園の見学／3・横田良作 真の友
達／3・渡辺太一 太郎／2・増島順子
帰省／3・古和博文 テーマなき文章／3
・渡田正明 幼なじみ／3・天野広子
〈卒業特集〉入間川分校の卒業生諸君へ／
校長・小久保宗平 礼節の一端について／
教諭・木村市郎 卒業生の皆さんに／教諭
・望月良平 卒業生に贈る言葉／新生徒会
長・袴田房郎 人生について／生徒会長・
渡辺太一 過ぎ去った四年間／4・中村き
い子 在校生から卒業生に贈る言葉
〈生徒会関係〉生徒会から／生徒会副会長
・瀬沼昇 冬季クラブ方針と活動内容
(七)
〈文芸〉夢／木戸きさ子 おばあちゃん／
日野春美 夢見る年頃／東島 夢／日原春
美 かけ／西文則 なんとなく／清水和夫
冬の夜／西文則 空／久保田静子 友／工
藤一子 朝日／坂本利美 戦う自分／俵山
なよ 朝の田舎道／国田芳枝 星夜／増島
ある日ある学校ある生徒／田中 冬の花／

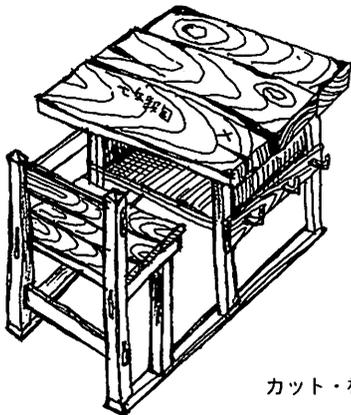
第16号

一九六八年度
(昭和四三)

袴田房郎 目標に向かって／岸正夫 静
寂／袴田房郎 青い渚／堀越正明 僕と余
暇／野々村孝男 過ぎ去った日々／国田芳
枝 雑草／橋本勇子 スポーツと協調／小
松徹司 空白／進藤
〈卒業特集〉一生涯貫く仕事／教諭・望月
良平 卒業生の皆さんに／新生徒会長・進
藤雅彦 在校生に贈る言葉 卒業生に贈る
言葉
〈生徒会関係〉生徒会から／副会長・吉岡
千年 任期を終えて／生徒会長・袴田房郎
〈文芸〉夜／市村実 去っていった人／日
原春美 試験勉強／清水和夫 若人よ／土
橋幸雄 人生の曲がり角／西文則 初恋／
橋本ゆう子 いつでも君を／山川茂治 試
験／西文則 波／瀬川愛子 地動説／清水
和夫 なつかしい故郷／梅沢隆一 桜と
梅／主事白井正
〈短歌〉六首 〈俳句〉一八句

第一 入間川分校応援歌
武蔵の丘に立つ所
入間の流れ休みなく
集いくる 集いくる
こゝ我ら
おお 我らが母校入間川

第二 溢るる意気ぞ天高く
熱血燃ゆる若人の
清く伸びゆく理想こそ
我らが母校入間川



カット・松岡章次(高3)

埼玉縣立川越高等學校 二部生徒會會則

第一章 名稱

第一條 本會は埼玉縣立川越高等學校二部生徒會と稱する

第二章 會員

第二條 本校二部の生徒は總べて會員となる

第三章 目的

第三條 本會の目的は生徒の健全な自治活動を通じ社會的公民的生活を体得し其の教養と福祉とを増進するにある

第四章 役員

第四條 本會は會長一名副會長一名書記會計各々二名及びクラス委員クラブ委員を置く

第五章 資格

第五條 本會の役員となるには次の資格を要する

1 前學期末の學科に欠点ある場合又は欠席三十日以上者の役員になることは出来ない

2 任期は一ケ年であるが再任は妨げない

3 役員は二つ以上の兼任は出来ない但し會長副會長とクラス委員との兼任は此れを妨げない

4 會長は四學年よりとする
副會長中一名は四學年より他の一名は二學年よりとする

第六條 會長は本會を代表し會務を總理する

第七條 副會長は會長を補佐し會長不在の場合には其の職務を代行する

第八條 書記は總會クラス委員會の議事を記載して保存する

第九條 會計は會計事務を行ひ又年度末の會計報告を行ふ

第十條 書記會計はクラス委員の過半数の要求があつた場合は保管書類を提示する義務がある

第十一條 職員は顧問となる

第十二條 クラス委員はクラス委員會を構成し生徒會の予算及び其の他の重要事項を議決執行する

第十三條 クラブ委員は別紙に定める細則に従つて活動する

第五章 總會

第十四條 總會は本會の重要事項に關して贊否を決定する但し全會員の三分の二を必要定數とし其の過半数で決定する各學期一回とする

第十五條 臨時總會はクラス委員が特に認めた時及び會員の過半数の要求があつた場合に開かれる

第六章 クラス委員會

第十六條 クラス委員會は必要と認められた時クラブ其の他の役員を出席させる事が出来る但しその役員に議決権はない

第十七條 クラス委員會は定例會と臨時會として定例會は毎月第一土曜日

に開き臨時會はクラス委員の三分の二以上の要求により開く事が出来る

第十八條 クラス委員會の必要定數は三分の二で議決は過半数に依る但し同數の場合は議長が決定する

第十九條 クラス委員會は各種専門委員會を作る事が出来る但し會計監査員はクラス委員の互選により三名がこれに當る

第二十條 役員中會長副會長はクラス委員の中より選挙しクラス委員會の議長となる

第二十一條 書記會計はクラス委員會の推せんにより委任される

第二十二條 クラス委員は各ホームルームより三名選出される

第二十三條 會長副會長はクラス委員會に辭任を申出た時又は會員五十名以上の解任賛成者の署名申請書がクラス委員會に提出された時臨時總會を開き三分の二以上の贊成で決定する

第八章 辭任解任

第二十四條 會長副會長の解任が承認された時は一週間以内に補欠選挙を行ふ

第二十五條 クラス委員は各ホームルームの三分の二以上の同意又は要求があつた場合はクラス委員會の承任により解任される

第二十六條 クラス委員の解任が承認された時は一週間以内に選挙を行ふ

第二十七條 書記會計はクラス委員會の三分の二以上の同意又は要求があつた場合は解任される

第二十八條 クラブの役員は各部の三分の二以上の同意又は要求があつた場合はクラス委員會の承認により解任される

第九章 附則

第二十九條 本會々員は會の運営を完全に遂行する爲顧問の指導を受ける間以内にする

第三十條 事務引繼は新役員就任後一週間の間に於ける

第三十一條 會則變更は總會の三分の二以上の議決によつて決定する

第三十二條 本會の會費は月額金三十圓とする

第三十三條 會計年度は四月一日より翌年三月三十一日迄とする

第三十四條 クラス委員の選挙は四月十五日迄に行はなければならぬ但し一學年は假委員とし第二學期始めに正委員の選挙を行ふ

第三十五條 本會にむさしの文庫を置き別紙の細則に依り運営する

以上

埼玉縣立川越高等學校 二部生徒會クラブ細則

- 第一條 本クラブは埼玉縣立川越高等學校二部生徒會クラブと稱する
- 第二條 本クラブは會員相互の親睦を圖り個性を助長し生徒會目的達成のために必要な活動を行ふ
- 第三條 前條の目的を達成する爲に次の各部を置き生徒會員は一部を原則とする但し必要と認められる時は増減する事が出来る
- 第四條 文藝部、美術部、音樂部、演劇部、野球部、卓球部、排球部、山岳部、籠球部、庭球部
- 第五條 各部に二名のクラブ委員を置く
- 第六條 委員は部員の互選による委員は各部を代表しその部の活動の中心となる
- 第七條 各部に専任顧問を置く
- 第八條 各部の經費は生徒會費其の他を以てこれに當てる
- 第九條 本クラブの會計年度は四月一日より翌年三月三十一日迄とする
- 第十條 各部は次の帳簿を備える

- 子算差引簿 部員名簿 備品簿 記録簿
- 第十一條 専任顧問は少くとも月一回所屬部員に講話を行ふ
- 第十二條 クラブ委員は少くとも學期一回部各の活動状況を發表し合い運営向上の爲討議を行ふ

備考 クラブを新設する場合は三十名以上の加入希望者があつた場合にクラス委員會の承認に依り設置される

以上

埼玉縣立川越高等學校 二部生徒會むさしの文庫細則

- 第一條 本文庫は埼玉縣立川越高等學校二部生徒會むさしの文庫と稱する
- 第二條 本文庫は會員の教養を増進するを以て目的とする
- 第三條 本文庫は各クラス一名づつ、選出された圖書委員に依り運営される
- 第四條 委員は各ホームルームの三分の二以上の同意又は要求があつた場合はクラス委員會の承認に依り解任される
- 第五條 本文庫の經費は生徒會費及び寄附金を以てこれに當てる
- 第六條 本細則は昭和二十五年五月二十七日より實施される

風紀委員會規程

- 第一條 この会は埼玉縣立川越高等學校二部生徒會専門委員會とする
- 第二條 この会は秩序ある學校生活を樂しみ學生としての品位を保ち、自主的に健全な校風樹立につとめることを目的とする
- 第三條 右の目的を達成するために校外を問わず生徒間の風紀全体を督励することを任務とする
- 第四條 この会は委員長一名、副委員長二名、委員若干名によつて構成する
- 第五條 委員は各クラス二名(男一名、女一名)を選出する
- 第六條 この会は原則として月一回定期開くことも出来る。但しこの会を開く場合委員長は、生徒会長を通じて、
- 第七條 この会は補導部教官と連絡を密にしその指導を受ける
- 第八條 この会が予算を必要とする場合、クラス委員會の承認を得て本部費より支出する
- 第九條 生徒会長は必要に応じこの会に出席することができる
- 第十條 この会の必要定数は委員の三分の二で、議決は過半数とする、賛否同数の場合は委員長が決定する
- 第十一條 この規程は昭和三十六年七月一日より施行する

埼玉県立川越高等学校 定時制生徒募集要項

一、趣旨

今回教育の機会均等を与える教育基本法の精神に則り学校教育法並びに文部省令に基づいて定時制高等学校(修業年限四ヶ年)を開設することになった

専任教諭、兼任教諭、事務職員をおき学習指導にあたる

教科課程は新制高等学校の規程によつて行われ、普通科、農業科、家庭科をおき、国語、社会、体育、数学、英語、生物、物理、化学、音楽、図画工作、書道、農業、家庭等を教授する。生徒は選択希望により各教科の授業が受けられる

二、設置場所

埼玉県立川越高等学校 (中心校)

北足立郡朝霞第二小学校 (分校)

入間郡所沢高等学校 (分校)

入間郡入間川 (分校)

三、募集定員

中心校 第一学年、第二学年、第三学年 計百六十名

分校 各第一学年、第二学年 計八十名

四、出願期日

昭和二十三年八月二十日まで

五、出願場所

埼玉県立川越高等学校

六、出願並びに入学及び編入資格

1 出願者は最寄の居住者で男女の別及び年齢には制限はない

2 新制中学校並びに併設中学校の卒業業者

3 国民学校高等科(高等小学校)第二学年修了を入学資格とする中学校第一学年修了以上の者

4 青年学校本科第一学年修了以上の者

5 その他2、3、4と同等以上の学力があると認められた者

6 前記各号に該当する者は相当学年に入学及び編入の資格がある

七、出願手続

左の書類を出身中学校長から提出された

1 入学願書(所定のもの) 入学詮衡手数料として埼玉県収入証紙五十円添付

2 出身学校の卒業または修了証明書最終学年の成績証明書、性行調査書

3 身体検査書(所定のもの)

4 勤務しておる者は勤務先の責任者の承諾書

八、選抜と入学決定

八月二十二日(日曜日)午前八時より本校で口頭並びに簡単な筆答諮問と身体検査(内科、眼科等)を行う

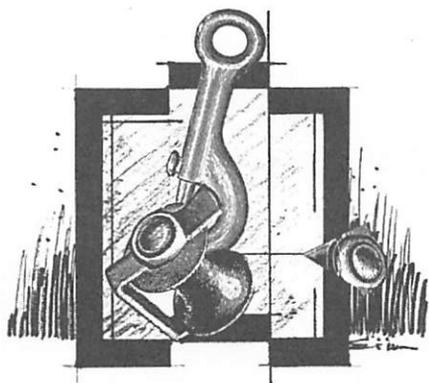
提出書類の審査、諮問、身体検査等により入学を決定する

九、合格者発表並びに入学式
八月二十五日(水)午前九時本校で入学者を発表する

九月一日(水)午前九時本校で入学式を行う

なるべく保護者同伴のこと

十、授業料
定時制高等学校の授業料は月額五十円である



カット・鈴木英明(高16)

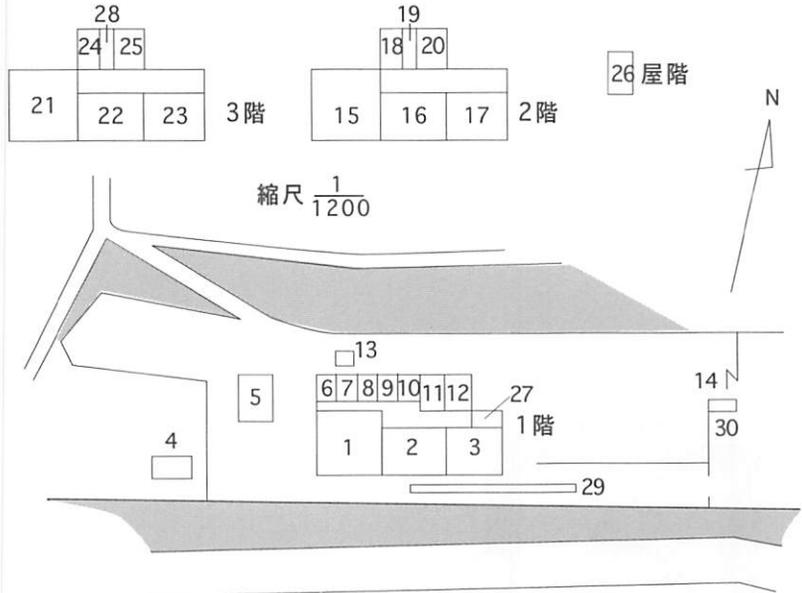


朝霞分校校舎配置図
(昭和34年3月完成の独立校舎)

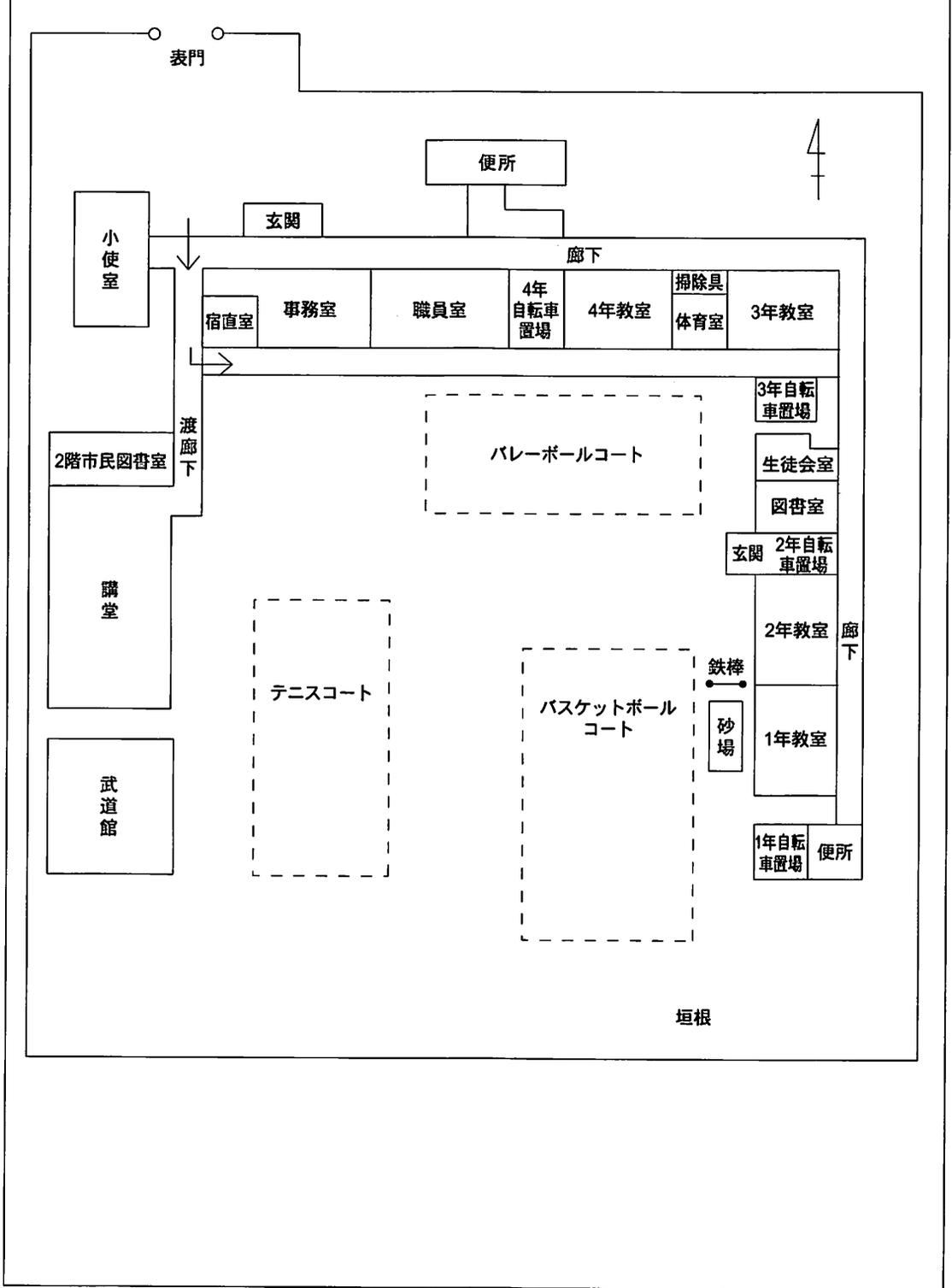


入間川分校校舎、施設配置図
(入間川分校沿革より)

No.	室名
1	調理室
2	普通教室
3	職員、事務室
4	体育器具室
5	機械室
6	宿直室
7	使丁室
8	湯沸室
9	便所(女)
10	// (男)
11	階段
12	昇降口
13	風呂場
14	物置
15	被服室
16	普通教室
17	//
18	便所(女)
19	// (男)
20	階段
21	理科室
22	普通教室
23	//
24	理科準備室
25	階段
26	屋階
27	応接室
28	暗室
29	自転車置場
30	物置



所沢分校校舎配置図
(昭和29年学校概要より)



教育課程の変遷

1948(昭和23)年度入学生 中心校 教育課程

学年	国語		社会		数学		理科		芸能		体育		職業		家庭		英語		計
	甲	乙	一般社会	世界史	人文地理	一般数学 I	物理学	生物学	音楽	書道	体育	保健	農業	工業	商業	一般家庭	英語		
1年	3		2			3	1	2			1		1					3	16
2年	2		3		3	2	2	2	1		1	3	1					4	24
3年	2	△2		2	2		3	2	1			1	1	△3	△3	△5		4	23
4年	2			3			2		4	2	1	2	1	△2	△2	△2		4	23

第1学年の単位数は、昭和23年9月開校のため、昭和26年12月13日県からの指示に従い、16単位に訂正。

1949(昭和24)年度入学生 教育課程

校名	学年	国語		社会			数学			理科		芸能		体育		職業			家庭		英語		計	
		甲	乙	漢文	一般社会	日本史	世界史	人文地理	時事問題	一般数学 I	一般数学 II	幾何	物理学	生物学	図画	書道	体育	保健	農業	商業	製図	一般家庭		被服
中心校	1	3		2	5				3			2		2	2	2	1						4	24
	2	2	2			2	3		2			3	3		2								4	23
	3	2	△2				2			3		3	2		2			△3		△5			4	23
	4	2				3				2	5	2			1	2	1	△2		△2			3	23
朝霞分校	1	3			3	2			2		2	4	2	2									4	24
	2	3			2	3	2		2		2	1	1	1		△3		△3	△3				4	24
	3	3		2		2	1	2		1	3	1		1	1	△2		△2	△2				4	24
	4		3								5	5		△2	2	1		△2		△2			4	22
入間川分校	1	2			5	3		2					2		3					△2			5, △2	24
	2	3				2	4	3			△4				3							△4	5	24
	3	3				4	4	1			△3		3		3						△3		3	24
	4	1	2	2		1	1				△2	△1	5	2		2		△4		△2	△3	△2		23
所沢分校	1	3		1	3	2		3		2	3	1	2										4	24
	2	3		1	2	3		2		△3	2	1	3								△3		4	24
	3	2	1	1		5			3				5		2								4	23
	4	1	3	1				△5			△2	△5	5		△2	1	1						5	24

入間川分校 4学年の選択は7単位

1963(昭和38)年度入学生 教育課程

校名	学年	国語		社会			数学			理科		保健体育		芸術			外国語	家庭・職業			特別教育活動	計				
		現代国語	古典乙I	古典乙II	倫理社会	政治経済	日本史	世界史A	地理B	数学I	数学II AB	数学III	物理A	化学A	生物	地学	体育	保健	音楽I II	美術I II			書道I II	英語A	家庭一般	被服I
中心校	1	2					2	5				2	2	1	2		Δ1	Δ1	Δ1	5					2	24
	2	2	2				2	2	3			2	2	1	2		Δ1	Δ1	Δ1	3					2	24
	3	1	3		2		2	2		2	2				1	1	Δ1	Δ1	Δ1	3	▲2		▲2		2	24
	4	2		3		2	2			3	2				2	1	Δ1	Δ1	Δ1	2	▲2		▲2		2	24
朝霞分校	1	3						3	5				2	2	2					3	▲2		▲2		2	24
	2	2	2				4		3			2	2		2					3	▲2		▲2		2	24
	3	1	3		2		2			3	2				1	1	2			3		▲2		▲2	2	24
	4	2			2	2				3	3				2	1	Δ2	Δ2		3		▲2		▲2	2	24
入間川分校	1	3					4	5				4		2		1				3					2	24
	2	2					5	2			2		2	2		1	2			4					2	24
	3	2	2		2		2		3	2	2			2	1		Δ2		▲2	Δ2			▲2		2	24
	4	1	3		3	2			3	2				1	1		Δ2		▲4	Δ2			▲4		2	24
所沢分校	1	3					4	5				4	1	2						3					2	24
	2	2					4		5		4		1	2						4					2	24
	3	2	2		2		2			2	3			1	1				1	4	Δ2		Δ2		2	24
	4	1	3		2	2				3				2	1	1	1	1		4	Δ2		Δ2		2	24

1963(昭和38)年度入学生 入間川分校・別科 教育課程

校名	学年	国語	社会	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭・職業						特別教育活動	計									
		現代国語	倫理社会	地理A	数学I	生物	体育	保健	英語A	家庭一般	被服I	食物I	手芸	被服製作			保育	商業簿記							
	1年	2		3	2	2	2	1		2	4	3	3	2	4		2	2	2	2	2	2	2	2	34
	2年	3	1			3	2	1		2		6	3	2	5	2	2							2	34

1975(昭和50)年度入学生 教育課程

学年	国語		社会			数学		理科			保健体育		芸術			外国語	家庭		職業		特別教育活動	計			
	現代国語	古典乙I	倫理社会	政治経済	日本史	世界史	地理A	数学I	数学IIA	物理I	化学I	生物I	物理A	体育	保健	音楽I II	美術I II	書道I II	英語A	家庭一般			被服I	食物I	商業一般
1	2					4	4			3			3	1	Δ1:Δ1:Δ1	4							2	24	
2	3				3		3			3			3	1	Δ1:Δ1:Δ1	3	▲2:				▲2:		2	24	
3	3	3	2				3	3					2		Δ1:Δ1:Δ1	3					▲2	▲2:	2	24	
4	2	2		3	3		2					3	2		Δ1:Δ1:Δ1	※4				※2	※2		※4	2	24

4学年の選択は※印より4単位

1985(昭和60)年度入学生 教育課程

学年	国語		社会			数学		理科		保健体育		芸術			外国語	家庭	職業	特別教育活動	学校裁量時間	計		
	国語I	国語II	現代文	古典	現代社会	日本史	政治経済	数学I	数学II	理科I	理科II	体育	保健	音楽I II	美術I II	書道I II	英語I	英語II	家庭一般		商業経済	
1	5				3		3	2	2	2			Δ2:Δ2:Δ2	4						2	1	24
2	4				2		2	3	2	1		Δ2:	Δ2	3	▲2		▲2:			2	1	24
3		3	2		4		3	2	2					3	▲2		▲2:			2	1	24
4			3	4		3	3	3	2					3						2	1	24

1998(平成10)年度入学生 教育課程

校名	学年	国語		地・歴	公民	数学			理科			保健体育		芸術			外国語	家庭	職業	特別教育活動	計			
		国語I	国語II	現代文	古典講読	世界史B	地理B	現代社会	政治経済	数学I	数学II	数学A	物理I	化学I	生物I	体育	保健	音楽I II	美術I II			書道I II	英語I	英語II
修業年限4年	1	3				4	3				2	2	1			3		2			2	22		
	2	3			4		2				2	2	1	▲2:▲2:▲2	2		2				2	22		
	3		4		2		2			4	2			▲2:▲2:▲2	2	2						2	22	
	4			3	Δ2	3	3	2	3		2					2				Δ2	Δ2:	2	22	
修業年限3年	1	定時	4			2	3				2	2	1			3		2				2	27	
		通信				3					2	1												
	2	定時		2		4		2			2	2	1	▲2:▲2:▲2		2	2					2	30	
		通信		2					3		2					2								
3	定時			3		2		2		3		2		▲2:▲2:▲2		3				Δ2	Δ2:	2	29	
	通信				※3	3	※3									2								

3学年通信制は※印より1科目選択

定時制・生徒数一覧 (昭和24年度以降は5月1日現在、学校概要・学校要覧より)

中心校

年 度	1 年		2 年		3 年		4 年		計
昭和23年	125		23		16		/		164
24	86		110		24		8		228
25									
26	149		86		78		80		393
27									
28									
29	129		113		82		99		423
30	134		104		91		80		409
31	136		106		86		81		409
32	111		113		88		80		392
33	110		85		95		81		371
34	135		95		77		91		398
35	87		117		89		70		363
36	62		65		103		87		317
37	135		51		59		98		343
38	148		97		46		54		345
39	127		119		86		47		378
40	134		104		93		80		406
41	132		108		86		82		408
42	104		113		99		84		400
43	88		97		107		98		390
44	86		70		92		103		351
45	84		71		59		87		301
46	62		66		70		44		242
47	54		62		56		57		229
48	61		54		62		46		223
49	49		47		44		55		195
50	42		41		43		37		163
51	52		32		29		36		149
52	32		36		31		27		126
53	27		32		31		27		117
54	30		29		32		39		120
55	43		25		30		27		125
56	33		33		23		24		113
57	43		29		27		21		120
58	45		40		20		28		133
59	42		38		38		19		137
60	44		37		37		34		152
61	90		39		38		30		197
62	136		60		33		31		260
63	81		100		51		31		271
平成元年	39		61		85		35		220
2	40		39		52		67		198
3	39		28		30		42		139
4	42		30		23		25		120
5	(修4) 40	(修3) 40	(修4) 29	(修3) 24	(修4) 23	(修3) 20	(修4) 21		153
6	29	37	27	24	26		15		158
7	27	33	20	17	19	20	18		154
8	33	35	14	18	16	11	20		147
9	30	25	27	23	10	11	15		141
10	29	29	26	24	18	17	9		152
11	30	29	18	14	21	17	20		150

朝霞分校

年 度	1年	2年	3年	4年	計
昭和23年	36	/	/	/	36
24	34	42	/	/	76
25					
26	45	40	35	38	158
27					
28					
29	35	21	24	25	105
30	35	23	19	24	101
31	47	25	21	18	111
32	44	38	26	21	129
33	33	36	29	22	120
34	55	21	36	24	136
35	30	38	22	34	124
36	72	27	33	45	177
37	63	42	25	61	191
38	77	61	38	23	194
39	98	67	56	33	254
40	89	77	66	47	279
41	/	70	75	68	213
42	/	/	64	70	134
43	/	/	/	64	64

所沢分校

年 度	1年	2年	3年	4年	計
昭和23年	58	/	/	/	58
24	69	65	/	/	134
25					
26	51	62	57	55	225
27					
28	70	45	45	41	201
29	52	61	40	42	194
30	50	44	42	36	172
31	48	48	36	40	172
32	47	37	42	35	161
33	59	32	34	42	167
34	51	44	29	31	155
35	47	41	42	27	157
36	45	35	36	33	149
37	56	41	35	24	156
38	65	50	35	33	183
39	56	49	43	26	174
40	52	47	52	35	186
41	/	43	44	50	137
42	/	/	42	41	83
43	/	/	/	42	42

入間川分校

年 度	1年	2年	3年	4年	計
昭和23年	31	/	/	/	31
24	61	38	/	/	99
25					
26	62	49	51	33	195
27					
28					
29	63	57	37	47	204
30	59	54	49	38	200
31	54	48	44	47	193
32	68	41	47	42	198
33	46	52	34	45	177
34	51	45	49	34	179
35	64	42	45	48	199
36	59	43	44	43	189
37	70	42	42	33	187
38	61	53	40	41	195
39	49	57	44	36	188
40	52	42	54	44	192
41	38	48	47	49	182
42	/	32	48	46	121
43	/	/	33	42	75
44	/	/	/	30	30

入間川分校・別科

年 度	1年	2年	計
昭和27年			
28			
29	16	32	48
30	33	16	49
31	26	31	57
32	46	24	70
33	35	45	80
34	21	34	55
35	20	21	41
36	9	20	29
37	21	9	30
38	17	20	37
39	38	16	54
40	/	40	40

定時制・年度別卒業生数一覽

卒業年度	校名	中心校	朝霞分校	入間川分校		所沢分校	計
				本 科	別 科		
昭和24年度		7					7
25		16					16
26		76	37	33		49	195
27		60	24	43		51	178
28		65	29	35	20	38	187
29		98	24	47	32	39	240
30		78	22	37	15	37	189
31		80	18	46	30	39	213
32		79	20	42	24	35	200
33		79	21	46	45	42	233
34		90	25	33	34	31	213
35		69	35	44	21	27	196
36		86	43	41	20	31	221
37		94	60	31	9	24	218
38		53	27	40	20	33	173
39		43	29	36	16	26	150
40		73	47	45	38	35	238
41		83	68	48		49	248
42		82	68	46		41	237
43		96	64	41		41	242
44		101		30			131
45		85					85
46		42					42
47		55					55
48		45					45
49		54					54
50		35					35
51		36					36
52		27					27
53		24					24
54		28					28
55		25					25
56		23					23
57		19					19
58		28					28
59		17					17
60		32					32
61		26					26
62		27					27
63		31					31
平成元年度		34					34
2		64					64
3		45					45
4		26					26
5		22					22
6		18					18
7		38					38
8		29					29
9		25					25
10		27					27
計		2,495	661	764	324	668	4,912

定時制・旧職員等一覽

(定時制・PTA・教育振興会歴代会長)

任期	PTA会長	教育振興会会長	後援会会長
昭和24～33	不明	神山 義男	神山 義男
" 34～37	不明	神山 義男	
" 38～41	松山千恵子	神山 義男	
" 42	新井忠三郎	神山 義男	
" 43	山口 秋	神山 義男	
" 44	不明	神山 義男	
" 45～49	犬竹 正雄	神山 義男	
	PTA・教育振興会会長		
昭和50～54	安元 淡二		
" 55～	大塚 昭三		

※後援会は昭和24年より33年までで、34年からは教育振興会となり、昭和38年には理科教室建築促進委員会を改組して、全定一本化の後援会となる。

※教育振興会は昭和34年より49年までで、50年よりPTAと合併して一本化しPTA・教育振興会となり現在に至る。

※PTAは定時制発足当時より存在していた模様であるが、昭和24年より37年までは会長が不明である。

※後援会会長は後に全日制の会長が兼ねることになる。

(定時制職員一覽)

▼旧職員(離任順、五十音順)

氏名	教科	在職期間
松田 丑二	(主事)国語	昭23・8～昭24・3
平塚 美治	体育	昭24・7～昭25・3
宮下 盛利	数学	昭24・4～昭25・3
高橋 仁平	社・英	昭24・4～昭25・7
笠原 トモ	社・英	昭25・4～昭25・9
岩澤 陽子		昭25・5～昭26・3
中村 静寿		昭25・4～昭26・3
宮下 貞雄	社・英	昭24・4～昭26・3
日丸 哲也		昭23・4～昭26・5
小久江 正	数学	昭25・4～昭26・12
大護 八郎	社会	昭23・8～昭27・3
関子 岩雄	数・理	昭26・4～昭27・3
古川しず子	家庭	昭27・4～昭28・3
辻 功	数学	昭24・4～昭28・5
田矢 一夫	理科	昭26・5～昭30・10
福井テル子	(事務)	昭25・6～昭31・5
市川 正男	社会	昭24・4～昭33・3
岩澤 祝子	家庭	昭28・4～昭33・3
川野栄一郎	体・社	昭27・4～昭33・3
高橋 剛	(主事)社・英	昭24・5～昭33・3
斎間 照子	(事務)	昭25・5～昭33・5
石川 信男	商・社	昭28・5～昭33・3
松葉 孝夫	英語	昭29・4～昭34・3
宮本 竹治	芸術	昭33・4～昭34・3
山口 利通	国・体	昭28・4～昭34・3
荒野 久男	理科	昭24・4～昭34・10

伊藤 賢隆	國語	昭26・4	昭35・3
金子登石工門	(事務)	昭28・9	昭35・3
高篠 晴夫	英・社	昭28・4	昭35・3
野田 美好	数学	昭28・6	昭35・3
細野 博	國語	昭23・11	昭35・3
三浦 覚	理科	昭29・5	昭35・6
内島 洋	理科	昭33・9	昭36・3
下出 一夫	理・数	昭31・4	昭36・3
進藤 明子	(給食)	昭29・9	昭36・3
辰野 雄威	数・理	昭35・4	昭36・3
船戸 英夫	英語	昭26・12	昭36・3
守屋 静子	(事務)	昭36・4	昭36・6
片居木栄一	理科	昭28・4	昭36・8
斎藤(石黒)恰子	(事務)	昭33・6	昭36・10
後藤 定男	國・社	昭26・5	昭37・3
野田 尚男	保体	昭36・4	昭37・3
三浦 俊雄	國・社	昭29・5	昭37・3
渡辺 元二	(主事)國語	昭33・4	昭37・3
池上 紀行	(事務)	昭36・4	昭37・10
荒井喜美子	(栄養士)	昭35・4	昭38・3
五十幡俊道	保体	昭35・4	昭38・3
小峯 賢	理科	昭35・4	昭38・3
原田 節二	社会	昭24・4	昭38・3
松原 健治	理・数	昭36・4	昭38・3
水村 秀郎	数学	昭30・4	昭38・3
山村 良夫	(主事)國語	昭37・4	昭38・3
吉野 峯吉	商業	昭35・4	昭38・3
石塚 峯一	國語	昭37・4	昭38・6
木村 恒雄	数学	昭36・4	昭38・8
斎藤久米吉	(事務)	昭35・4	昭38・9

金子藤四郎	保体	昭34・4	昭39・3
金室 秀子	(事務)	昭37・11	昭39・3
後藤 キミ	家庭	昭27・9	昭39・3
鈴木 睦雄	國語	昭23・8	昭39・3
古畑(高橋)清子	家庭	昭33・1	昭39・3
平沼(新井)武子	(事務)	昭39・4	昭39・11
阿野 宣明	社会	昭28・4	昭40・3
新井 輝雄	理科	昭38・4	昭40・3
宇賀神敏枝	体・家	昭34・4	昭40・3
栗原 益男	社会	昭25・4	昭40・3
小久保 和	保体	昭37・4	昭40・3
後藤 安孝	商業	昭38・4	昭40・3
高野 茂二	英語	昭34・4	昭40・3
渡辺 進	社会	昭35・4	昭40・3
池田 栗	数学	昭38・9	昭40・8
藤枝 文忠	社会	昭40・6	昭40・11
徳増 学	社会	昭29・9	昭40・12
金子英美子	(事務)	昭40・4	昭41・3
中里 秋光	國・英	昭34・4	昭41・3
横山(市村)堯子	家庭	昭39・4	昭41・3
角田 英雄	(事務)	昭37・4	昭41・6
愛川 敬武	理・社	昭25・4	昭42・3
新井 弘達	社会	昭25・4	昭42・3
新井 康夫	保体	昭37・4	昭42・3
宇波 彰	英語	昭34・4	昭42・3
枝久保雅弘	社会	昭40・4	昭42・3
川上 義正	國語	昭39・4	昭42・3
近藤 昌	英語	昭26・4	昭42・3
東海 亮造	國語	昭37・5	昭42・3
丸田 洋	保体	昭40・4	昭42・3

宮下 辰夫	(主事)社会	昭38・4	昭42・3
守谷 良二	数学	昭41・4	昭42・3
矢島 義正	保体	昭39・4	昭42・3
山田 春久	國語	昭38・9	昭42・3
吉岡 一晃	社会	昭41・4	昭42・3
梶田英太郎	社会	昭24・5	昭42・8
阿部 新一	保体	昭38・4	昭43・3
加治 和彦	理科	昭41・4	昭43・3
木村 市郎	社・英	昭24・4	昭43・3
白井 正	芸術	昭23・12	昭43・3
瀬上(大島)節夫	保体	昭40・4	昭43・3
関根 応之	英語	昭40・4	昭43・3
関根 賢二	(事務)	昭41・5	昭43・3
田井満喜子	(事務)	昭41・4	昭43・3
持田 行雄	國・社	昭38・4	昭43・3
柳崎 輝夫	(事務)	昭40・4	昭43・4
井上 寿子	國語	昭43・4	昭44・3
金橋 好邦	体育	昭40・4	昭44・3
平田 実	(実助)	昭43・4	昭44・3
陸田 健	理科	昭40・4	昭44・3
栗原 積	(事務)	昭35・5	昭44・4
清水(浅川)八四恵	(栄養士)	昭38・4	昭44・5
加藤 芳夫	保体	昭43・4	昭45・3
竹内 常夫	数学	昭43・4	昭45・3
長根愛之壺	社会	昭30・4	昭45・3
野沢(横山)弘子	(事務)	昭41・7	昭45・3
野沢 正雄	(実助)	昭44・4	昭45・3
望月 良平	理・数	昭23・12	昭45・3
荒井(肥後)璉子	家庭	昭39・4	昭46・3
真田 英雄	國語	昭44・4	昭46・3

須田 浩三	(主事) 保体	昭42.4	昭46.3
高橋 毅久男	(事務)	昭45.5	昭46.3
安田 時雄	理科	昭39.4	昭46.3
伊藤 道子	(栄養士)	昭44.6	昭46.10
岡野千代子	(実助)	昭46.4	昭47.3
笹森 健	英語	昭40.4	昭47.3
土屋 亮晃	国・体	昭28.4	昭47.3
井上三子	(事務)	昭43.4	昭43.9
澤原 正夫	(主事) 社・英	昭46.4	昭48.3
関根(柴崎)啓子	(事務)	昭45.4	昭48.3
伊藤 潔	保体	昭44.4	昭49.3
富永(高篠)政子	(事務)	昭43.4	昭49.3
原田 善治	社会	昭40.4	昭49.3
増田(三沢)佳子	国語	昭40.4	昭49.3
山口 修司	理科	昭44.4	昭49.3
北村 尚義	保体	昭45.4	昭50.3
木村善三郎	(教頭) 国語	昭48.4	昭50.3
松永 利男	社会	昭38.4	昭50.3
金子 正治	(事務)	昭49.4	昭51.3
原田 節二	(教頭) 社会	昭50.4	昭51.11
小池 善雄	理科	昭35.9	昭52.3
吉田 正	英語	昭43.4	昭52.3
犬塚 秀男	理科	昭49.4	昭53.3
江原 誠	保体	昭50.4	昭53.3
根橋 正一	(事務)	昭48.4	昭53.3
藤野 隆司	保体	昭49.4	昭53.3
仲田 勝巳	(事務)	昭44.4	昭53.11
清水 豊子	(給食)	昭36.7	昭54.3
干場 敏幸	(事務)	昭53.11	昭54.3
二階 淳介	国語	昭49.4	昭54.3

高橋 淨藏	社会	昭40.4	昭55.3
秋葉 光	数学	昭25.4	昭55.3
福田 信夫	(教頭) 理科	昭51.12	昭55.3
三井田圭右	社・商	昭39.4	昭55.3
小池 喜人	社会	昭55.4	昭56.3
佐々木義則	保体	昭53.4	昭56.3
戸島(大崎)由美子	数学	昭49.4	昭56.3
西島 キチ	(養教)	昭35.4	昭56.3
峰村 義穂	保体	昭53.4	昭56.3
清水八四恵	(栄養士)	昭56.9	昭56.12
松崎 茂	(事務)	昭53.4	昭57.1
小林 伸一	(事務)	昭57.2	昭57.3
小林 久夫	保体	昭56.4	昭57.3
下井 輝男	国語	昭50.4	昭57.3
藤野 雅之	(教頭) 社会	昭55.4	昭57.4
清水八四恵	(栄養士)	昭57.11	昭58.2
佐野美智子	(養教)	昭56.4	昭58.3
川島 利明	保体	昭56.4	昭59.3
北山 昌延	理科	昭53.4	昭59.3
高木美弥子	(養教)	昭58.4	昭59.3
村上 隆一	(事務)	昭54.4	昭59.3
山崎 達男	(教頭) 英語	昭57.5	昭59.3
高橋篤次郎	(業務)	昭44.5	昭59.4
斎藤 実	数学	昭56.4	昭60.3
福原 勇	社・英	昭55.4	昭60.3
塩野谷孝志	(事務)	昭57.4	昭60.4
江川 義夫	理・数	昭61.4	昭62.3
江川(山崎)美奈子	英語	昭61.6	昭62.3
中島 勝巳	社会	昭60.5	昭62.3
有水 洋一	英語	昭62.4	昭62.7

石川 裕史	国語	昭62.4	昭63.3
下山田 隆	理科	昭62.4	昭63.3
斎藤 勝秀	(事務)	昭61.4	昭63.3
関根 謙	国・英	昭57.4	昭63.3
高野内徹也	英語	昭62.4	昭63.3
山田 伊佐	(養教)	昭59.4	昭63.3
越立 道典	(事務)	昭59.4	昭63.3
佐藤けい子	国語	昭63.4	昭63.3
鳴田 恵子	保体	昭62.4	昭63.3
説田(山岸)三佐子	国語	昭54.4	昭63.3
中島 勝巳	社会	昭63.4	昭63.3
山崎 裕	保体	昭59.4	昭63.3
渡辺 正樹	理科	昭59.4	昭63.3
戸口 君代	(給食)	昭40.4	昭63.3
松本 喜作	数学	昭60.4	昭63.3
本吉 一彦	理科	昭63.4	昭63.3
吉田 知恵	国語	昭63.4	昭63.3
渡辺 恵理	保体	昭63.4	昭63.3
秋吉 清雄	(事務)	昭63.4	昭63.3
上田 園子	(養教)	昭63.4	昭63.3
江原(坂上)裕美	英語	昭52.4	昭63.3
佐藤 和博	社会	昭60.4	昭63.3
山内 歌子	保体	昭62.4	昭63.3
石倉 克利	(事務)	昭62.4	昭63.3
上野 睦夫	理科	昭62.4	昭63.3
山崎 和達	社会	昭62.4	昭63.3
山畑 直道	(事務)	昭62.4	昭63.3
関口恵理子	(業務)	昭62.4	昭63.3
小野沢光太郎	(事務)	昭62.4	昭63.3
松崎 雅博	国語	昭63.4	昭63.3

▼現職員		氏名	教科	着任年月
		齋藤 英男	(教頭)書道	平10・4
		栗原 克弘	数学	平7・4
		福井 孝夫	理科	平元・4
		新井 幸男	数学	平2・4
		飯島 正行	地歴	平8・4
		仲田 勝己	公民	昭62・4
		佐藤 哉二	英語	平11・4
		箕輪 雅光	国語	平6・4
		内田啓一郎	地歴	平10・4
		滝本 信一	英語	平6・4
		松崎 宗也	国語	平7・4

小山 昌子	国語	平元・4
竹内 忠好	(教頭)社会	昭59・4
田村 正寿	(事務)	平4・4
峰行 正美	保体	平5・4
佐山 浩敏	(事務)	平7・4
鈴木 千枝	国語	平7・4
鈴木 英之	社・商	平7・4
飯田 高久	(事務)	平6・4
大澤 克彦	(教頭)理科	平7・4
田中むつみ	(栄養士)	昭46・11
恒川 涉	社会	平5・4
森沢 健樹	(事務)	平7・4
芦沢 真紀	保体	平7・4
大嶋 美江	(事務)	平9・4
小原 英資	保体	平元・4
都筑 正夫	英語	昭63・4

本吉 一彦	理科	平5・4
菅谷 幸子	家庭	平6・4
齋藤 美華	保体	平11・4
中山田泰高	保体	平11・4
小林喜代子	(養教)	平3・4
富田 秀男	(事務)	平11・4
塩谷 哲司	(事務)	平8・4
甘楽 章	(事務)	平10・4
玉本 満行	(栄養士)	平10・4
渋谷 正恵	(給食)	平5・4
吉田 宏子	(給食)	昭54・4
長田吉次郎	(業務)	昭59・4
松井 晴美	(講師)音楽	平10・4
久保田祥子	(講師)美術	平11・4
柳田 正美	(講師)書道	平11・4
中澤 千佳	(講師)保体	平11・4



カット・高田肇三(旧職員)

定時制課程 歴代クラス担任一覧

中心校

入学年度	1 年		2 年		3 年		4 年			
昭和23年度	(2年入学)				(3年入学)				平塚 美治	保体
			A	市川 正男	社会	市川 正男	社会	白井 正	芸術	
			B	宮下 盛利	社・英	日丸 哲也		市川 正男	社会	
			C	望月 良平	理・数	小久江 正		伊藤 賢隆	国語	
昭和24年度	A	白井 正	芸術	栗原 益男	社会	愛川 敬武	生物	原田 節二	社会	
	B	原田 節二	社会	原田 節二	社会	原田 節二	社会	伊藤 賢隆	国語	
昭和25年度		愛川 敬武	生物	船戸 英夫	英語	秋葉 光	数学	秋葉 光	数学	
		望月 良平	理・数	栗原 益男	社会	愛川 敬武	生物	船戸 英夫	英語	
昭和26年度		白井 正	芸術	細野 博	国語	細野 博	国語	細野 博	国語	
		望月 良平	理・数	川野栄一郎	体・社	阿野 宣明	社会	秋葉 光	数学	
昭和27年度		市川 正男	社会	伊藤 賢隆	国語	伊藤 賢隆	国語	伊藤 賢隆	国語	
		船戸 英夫	英語	愛川 敬武	生物	愛川 敬武	生物	船戸 英夫	英語	
昭和28年度		原田 節二	社会	原田 節二	社会	原田 節二	社会	船戸 英夫	英語	
		川野栄一郎	体・社	三浦 覚	理科	細野 博	国語	細野 博	国語	
		石川 正明	数学	松葉 孝夫	英語					
昭和29年度		阿野 宣明	社会	阿野 宣明	社会	愛川 敬武	生物	水村 秀郎	数学	
		船戸 英夫	英語	愛川 敬武	生物	水村 秀郎	数学	川野栄一郎	体・社	
		石川 正明	数学	水村 秀郎	数学					
昭和30年度		秋葉 光	数学	秋葉 光	数学	秋葉 光	数学	A 秋葉 光	数学	
		三浦 覚	理科	川野栄一郎	体・社	阿野 宣明	社会	B 阿野 宣明	社会	
		松葉 孝夫	英語	松葉 孝夫	英語					
昭和31年度	A	伊藤 賢隆	国語	A 伊藤 賢隆	国語	A 伊藤 賢隆	国語	A 伊藤 賢隆	国語	
	B	原田 節二	社会	B 原田 節二	社会	B 松葉 孝夫	英語	B 土屋 亮晃	保体	
	C	阿野 宣明	社会	C 松葉 孝夫	英語					
昭和32年度	A	細野 博	国語	A 原田 節二	社会	A 阿野 宣明	社会	A 阿野 宣明	社会	
	B	愛川 敬武	生物	B 三浦 覚	理科	B 三浦 覚	理科	B 三浦 覚	理科	
	C	船戸 英夫	英語	C 荒野 久雄	理科					
昭和33年度	A	細野 博	国語	A 細野 博	国語	A 長根愛之丞	社会	A 小池 喜雄	理科	
	B	土屋 亮晃	保体	B 原田 節二	社会	B 宇波 彰	英語	B 宇波 彰	英語	
	C	船戸 英夫	英語	C 宇波 彰	英語					
昭和34年度	A	細野 博	国語	A 秋葉 光	数学	A 秋葉 光	数学	A 秋葉 光	数学	
	B	秋葉 光	数学	B 原田 節二	社会	B 原田 節二	社会	B 原田 節二	社会	
	C	内島 洋	保体	C 五十幡俊雄	保体	C 阿野 宣明	社会			
昭和35年度	A	鈴木 陸雄	国語	A 土屋 亮晃	保体	A 宇波 彰	英語	A 宇波 彰	英語	
	B	小峯 賢	理科	B 小峯 賢	理科	B 土屋 亮晃	保体	B 阿野 宣明	社会	
	C	内藤 洋	保体							
昭和36年度	A	長根愛之丞	社会	A 長根愛之丞	社会	A 秋葉 光	数学	A 秋葉 光	数学	
	B	五十幡俊雄	保体	B 五十幡俊雄	保体					
昭和37年度	A	高野 茂二	英語	A 新井 輝雄	理科	A 宇波 彰	英語	A 宇波 彰	英語	
	B	小峯 賢	理科	B 石塚 映一	国語	B 土屋 亮晃	保体	B 阿部 新一	保体	
	C	石塚 映一	国語							

昭和38年度	A	高野 茂二	英語	A	阿野 宣明	社会	A	安田 時雄	理科	A	安田 時雄	理科
	B	小久保 和	保体	B	安田 時雄	理科	B	原田 善治	社会	B	原田 善治	社会
	C	松永 利男	社会	C	松永 利男	社会	C	高橋 淨蔵	社会			
昭和39年度	A	高野 茂二	英語	A	持田 行雄	国・社	A	宇波 彰	英語	A	持田 行雄	国・社
	B	持田 行雄	国・社	B	笹森 健	英語	B	持田 行雄	国・社	B	高橋 淨蔵	社会
	C	新井 輝雄	理科	C	金橋 好邦	保体	C	高橋 淨蔵	社会			
昭和40年度	A	松永 利男	社会	A	松永 利男	社会	A	松永 利男	社会	A	松永 利男	社会
	B	陸田 健	理科	B	金橋 好邦	保体	B	加治 和彦	理科	B	原田 善治	社会
	C	三沢 佳子	国語	C	加治 和彦	理科	C	原田 善治	社会			
昭和41年度	A	土屋 亮晃	保体	A	土屋 亮晃	保体	A	土屋 亮晃	保体	A	安田 時雄	理科
	B	笹森 健	英語	B	笹森 健	英語	B	笹森 健	英語	B	笹森 健	英語
	C	阿部 新一	保体	C	陸田 健	理科	C	陸田 健	理科	C	加藤 芳夫	保体
昭和42年度	A	安田 時雄	理科	A	安田 時雄	理科	A	増田 佳子	国語	A	増田 佳子	国語
	B	関根 応之	英語	B	吉田 正	英語	B	原田 善治	社会	B	原田 善治	社会
	C	金橋 好邦	保体	C	金橋 好邦	保体	C	加藤 芳夫	保体	C	安田 時雄	理科
昭和43年度	A	高橋 淨蔵	社会	A	高橋 淨蔵	社会	A	山口 修司	理科	A	山口 修司	理科
	B	竹内 常夫	数学	B	竹内 常夫	数学	B	北村 尚義	保体	B	北村 尚義	保体
昭和44年度	A	吉田 正	英語	A	吉田 正	英語	A	原田 善治	社会	A	原田 善治	社会
	B	真田 英雄	国語	B	真田 英雄	国語	B	吉田 正	英語	B	吉田 正	英語
昭和45年度	A	笹森 健	英語	A	増田 佳子	国語	A	増田 佳子	国語	A	伊藤 潔	保体
	B	伊藤 潔	保体	B	笹森 健	英語	B	伊藤 潔	保体	B	増田 佳子	国語
昭和46年度	A	松永 利男	社会	A	松永 利男	社会	A	三井田圭右	理科	A	三井田圭右	理科
	B	伊藤 潔	保体	B	北村 尚義	保体	B	北村 尚義	保体	B	北村 尚義	保体
昭和47年度	A	高橋 淨蔵	社会	A	高橋 淨蔵	社会	A	藤野 隆司	保体	A	藤野 隆司	保体
	B	山口 修司	理科	B	山口 修司	理科	B	高橋 淨蔵	社会	B	高橋 淨蔵	社会
昭和48年度	A	原田 善治	社会	A	犬塚 秀男	理科	A	犬塚 秀男	理科	A	吉田 正	英語
	B	吉田 正	英語	B	吉田 正	英語	B	吉田 正	英語			
昭和49年度	A	二階 淳介	国語	A	二階 淳介	国語	A	二階 淳介	国語	A	二階 淳介	国語
	B	大崎由美子	数学	B	大崎由美子	数学						
昭和50年度	A	下井 輝男	国語	A	下井 輝男	国語	A	江原 誠	保体	A	下井 輝男	国語
	B	江原 誠	保体									
昭和51年度	A	高橋 淨蔵	社会	A	藤野 隆司	保体	A	高橋 淨蔵	社会	A	高橋 淨蔵	社会
	B	藤野 隆司	保体									
昭和52年度	A	犬塚 秀男	理科	A	坂上 裕美	英語	A	三井田圭右	理科	A	坂上 裕美	英語
昭和53年度	A	二階 淳介	国語	A	戸島由美子	数学	A	説田三佐子	国語	A	説田三佐子	国語
昭和54年度	A	峰村 義穂	保体	A	北山 昌延	理科	A	北山 昌延	理科	A	北山 昌延	理科
昭和55年度	A	佐々木義則	保体	A	福原 勇	社・英	A	福原 勇	社・英	A	福原 勇	社・英
昭和56年度	A	江原 裕美	英語	A	斉藤 実	数学	A	斉藤 実	数学	A	福原 勇	社・英
昭和57年度	A	川島 利明	保体	A	川島 利明	保体	A	江原 裕美	英語	A	江原 裕美	英語
昭和58年度	A	説田三佐子	国語	A	説田三佐子	国語	A	渡辺 正樹	理科	A	渡辺 正樹	理科
昭和59年度	A	関根 謙	社・英	A	関根 謙	社・英	A	佐藤 和博	社会	1	佐藤 和博	社会
昭和60年度	A	山崎 裕	保体	A	山崎 裕	保体	1	上野 睦夫	理科	1	山崎 裕	保体
昭和61年度	A	関根 謙	社・英	1	仲田 勝己	社会	1	都筑 正夫	英語	1	都筑 正夫	英語
	B	松本 喜作	数学	2	説田三佐子	国語	2	説田三佐子	国語	2	仲田 勝己	社会
昭和62年度	1	関根 謙	社・英	1	江原 裕美	英語	1	佐藤 和博	社会	1	佐藤 和博	社会
	2	渡辺 正樹	理科	2	松崎 雅博	国語	2	小原 英資	保体	2	小原 英資	保体
	3	山崎 裕	保体	3	佐藤 和博	社会	3	山崎 和達	社会	3	山崎 和達	社会
昭和63年度	1	仲田 勝己	社会	1	上野 睦夫	理科	1	上野 睦夫	理科	1	上野 睦夫	理科
	2	渡辺 正樹	理科	2	福井 孝夫	理科	2	福井 孝夫	理科	2	福井 孝夫	理科
平成元年度	1	松崎 雅博	国語	1	小山 昌子	国語	1	山崎 和達	社会	1	小山 昌子	国語
平成2年度	1	松崎 雅博	国語	1	松崎 雅博	国語	1	都筑 正夫	英語	1	都筑 正夫	英語
平成3年度	1	小山 昌子	国語	1	仲田 勝己	社会	1	小原 英資	保体	1	福井 孝夫	理科
平成4年度	1	松崎 雅博	国語	1	松崎 雅博	国語	1	小原 英資	保体	1	滝本 信一	英語
平成5年度	1	小山 昌子	国語	1	小山 昌子	国語	1	箕輪 雅光	国語	1	箕輪 雅光	国語
	2	本吉 一彦	理科	2	本吉 一彦	理科	2	都筑 正夫	英語		(修業年限3年)	
平成6年度	1	峰行 正美	保体	1	本吉 一彦	理科	1	本吉 一彦	理科	1	菅谷 幸子	家庭
	2	恒川 涉	社会	2	恒川 涉	社会	2	栗原 克弘	数学			
平成7年度	1	菅谷 幸子	家庭	1	菅谷 幸子	家庭	1	飯島 正行	社会	1	飯島 正行	社会

平成7年度	2	小原 英資	保体	2	松崎 宗也	国語	2	松崎 宗也	国語			
平成8年度	1	芦沢 真紀	保体	1	芦沢 真紀	保体	1	新井 幸男	数学	1	新井 幸男	数学
	2	都筑 正夫	英語	2	本吉 一彦	理科	2	本吉 一彦	理科			
平成9年度	1	新井 幸男	数学	1	滝本 信一	英語	1	菅谷 幸子	家庭			
	2	仲田 勝己	社会	2	仲田 勝己	社会	2	仲田 勝己	社会			
平成10年度	1	箕輪 雅光	国語	1	内田啓一郎	社会						
	2	松崎 宗也	国語	2	本吉 一彦	理科						
平成11年度	1	滝本 信一	英語									
	2	松崎 宗也	国語									

朝霞分校

入学年度	1 年		2 年		3 年		4 年	
昭和23年度	細野 博	国語						
昭和24年度	荒野 久雄	理科						
昭和25年度	中村 静寿		近藤 昌	英語	近藤 昌	英語	近藤 昌	英語
昭和26年度	田矢 一夫	理科						
昭和27年度	山口 利道	国語						
昭和28年度	荒野 久雄	理科						
昭和29年度	近藤 昌	英語	田矢 一夫	理科	下出 一夫	理・数	下出 一夫	理・数
昭和30年度	高篠 晴夫	英・社	高篠 晴夫	英・社	高篠 晴夫	英・社	愛川 敬武	生物
昭和31年度	山口 利道	国語	山口 利道	国語	栗原 益男	社会	栗原 益男	社会
昭和32年度	栗原 益男	社会	栗原 益男	社会	中里 秋光	国・英	中里 秋光	国・英
昭和33年度	下出 一夫	理・数	下出 一夫	理・数	下出 一夫	理・数	愛川 敬武	生物
昭和34年度	愛川 敬武	生物	愛川 敬武	生物	木村 恒雄	数学	木村 恒雄	数学
昭和35年度	栗原 益男	社会						
昭和36年度	中里 秋光	国・英						
昭和37年度	愛川 敬武	生物	愛川 敬武	生物	池田 稔	数学	池田 稔	数学
昭和38年度	A 鈴木 陸雄	社会	A 栗原 益男	社会	A 白井 正	芸術	A 川上 義正	国語
	B 木村 恒雄	数学	B 白井 正	芸術	B 丸田 洋	保体	B 丸田 洋	保体
昭和39年度	A 愛川 敬武	生物	A 川上 義正	国語	A 愛川 敬武	生物	A 川上 義正	国語
	B 川上 義正	国語	B 中里 秋光	国・英	B 守谷 良二	数学	B 守谷 良二	数学
昭和40年度	A 愛川 敬武	生物	A 関根 応之	英語	A 丸田 洋	保体	A 丸田 洋	保体
	B 関根 応之	英語	B 吉岡 一晃	社会	B 吉岡 一晃	社会	B 吉岡 一晃	社会

入間川分校

入学年度	1 年		2 年		3 年		4 年	
昭和23年度					秋葉 光	数学	秋葉 光	数学
昭和24年度	木村 市郎	社会	梶田英太郎	社会	後藤 定男	国語	後藤 定男	国語
昭和25年度	木村 市郎	社会	木村 市郎	社会	木村 市郎	社会	梶田英太郎	社会
昭和26年度	梶田英太郎	社会	梶田英太郎	社会	木村 市郎	社会	木村 市郎	社会
昭和27年度	望月 良平	理・数	後藤 定男	国語	梶田英太郎	社会	梶田英太郎	社会
昭和28年度	望月 良平	理・数	望月 良平	理・数	望月 良平	理・数		
昭和29年度	三浦 俊雄	国・社	三浦 俊雄	国・社				
昭和30年度	近藤 昌	英語	近藤 昌	英語	近藤 昌	英語	三浦 俊雄	国・社
昭和31年度	三浦 俊雄	国・社	三浦 俊雄	国・社	高篠 晴夫	英・社	三浦 俊雄	国・社
昭和32年度	望月 良平	理・数	望月 良平	理・数	高篠 晴夫	英・社	望月 良平	理・数
昭和33年度	梶田英太郎	社会	望月 良平	理・数	三浦 俊雄	国・社	三浦 俊雄	国・社
昭和34年度	木村 市郎	社会						
昭和35年度	渡辺 進	社会						
昭和36年度	吉野 峯吉	商業	吉野 峯吉	商業	望月 良平	理・数	望月 良平	理・数
昭和37年度	望月 良平	理・数	木村 市郎	社会	東海 亮造	国語	東海 亮造	国語
昭和38年度	東海 亮造	国語	渡辺 進	社会	木村 市郎	社会	木村 市郎	社会
昭和39年度	木村 市郎	社会	望月 良平	理・数	枝久保雅弘	社会	望月 良平	理・数
昭和40年度	枝久保雅弘	社会	東海 亮造	国語	木村 市郎	社会	望月 良平	理・数
昭和41年度	矢島 義正	保体	三井田圭右	理科				

入間川分校・別科

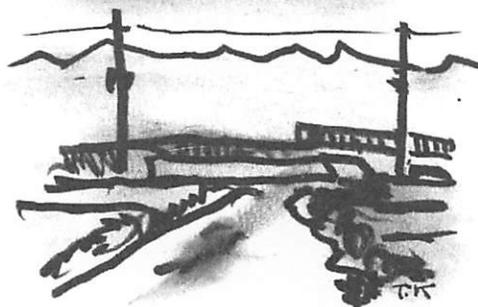
入学年度	1 年		2 年							
昭和27年度										
昭和28年度	後藤 キミ	家庭	後藤 キミ	家庭						
昭和29年度	岩沢 祝子	家庭	岩沢 祝子	家庭						
昭和30年度	後藤 キミ	家庭	後藤 キミ	家庭						
昭和31年度	岩沢 祝子	家庭	岩沢 祝子	家庭						
昭和32年度	後藤 キミ	家庭	後藤 キミ	家庭						
昭和33年度	高橋 清子	家庭	後藤 キミ	家庭						
昭和34年度	高橋 清子	家庭	後藤 キミ	家庭						
昭和35年度	宇賀神敏枝	体・家	宇賀神敏枝	体・家						
昭和36年度	古畑 清子	家庭	古畑 清子	家庭						
昭和37年度	後藤 キミ	家庭	後藤 キミ	家庭						
昭和38年度	宇賀神敏枝	体・家	宇賀神敏枝	体・家						
昭和39年度	肥後 瑠子	家庭	横山 堯子	家庭						

所沢分校

入学年度	1 年		2 年		3 年		4 年	
昭和23年度					新井 弘達	社会	新井 弘達	社会
昭和24年度	辻 功	数学	宮下 盛利	社・英	辻 功	数学	新井 弘達	社会
	松本 哲		山田 泰司					
昭和25年度	村田とみ子		円子 岩雄		石川 正明	数・社	新井 弘達	社会
昭和26年度	藤宮 頼夫				高篠 晴夫	英・社	野田 美好	数・工
昭和27年度	辻 功	数学	野田 美好	数・工	徳増 学	社会	徳増 学	社会
昭和28年度	片居木栄一	理・農	片居木栄一	理・農	木村 市郎	社会	木村 市郎	社会
昭和29年度	高篠 晴夫	英・社	片居木栄一	理・農	片居木栄一	理・農	徳増 学	社会
昭和30年度	野田 美好	数・工						
昭和31年度	徳増 学	社会	片居木栄一	理・農	近藤 昌	英語	近藤 昌	英語
昭和32年度	木村 市郎	社会	徳増 学	社会	片居木栄一	理・農	徳増 学	社会
昭和33年度	片居木栄一	理・農	野田 美好	数・工	辰野 雄威		近藤 昌	英語
昭和34年度	徳増 学	社会	片居木栄一	理・農	松原 健治	理・数	松原 健治	理・数
昭和35年度	近藤 昌	英語	片居木栄一	理・農	徳増 学	社会	徳増 学	社会
昭和36年度	徳増 学	社会	新井 康夫	保体	新井 弘達	社会	山田 春久	国語
昭和37年度	近藤 昌	英語						
昭和38年度	新井 康夫	保体						
昭和39年度	徳増 学	社会	徳増 学	社会	山田 春久	国語	新井 弘達	社会
昭和40年度	三井田圭右	理科	三井田圭右	理科	清原七智子		新井 弘達	社会

クラス担任一覧作成にあたって

学校要覧が現存する年度は、要覧に記されたものを参照しました。要覧が現存しない年度、分校は成績原簿記載責任者を担任と推定して作成しました。



カット・鹿山 孝(高18)

現在の川越高校定時制

(1999年度学校要覧から抜粋)

1. 教育目標・努力点

I 教育目標

1. 勤労生徒として、真理を愛し、勤労と責任を重んじ、秩序を尊び、協調性に富む、健康にして明朗な人間の育成につとめる。
2. 自己の修養につとめ、社会的使命の自覚に基づき、進んで国家・社会の有為な形成者になろうとする気風を培う。
3. 社会について、広く深い理解と健全な批判力・判断力を養い、個性の確立をはかる。

II 本年度努力点

教務について

1. 学力の向上
 - (1) 教育課程の研究を通じ、技能連携及び単位制の弾力的運用を推進する。
 - (2) 学習指導のねらいを明確にし、学習内容を精選する。
 - (3) 授業研究を通じ、学習指導方法を研究・工夫する。
 - (4) 成績不振者の個別指導を徹底する。
2. 特別活動の充実
 - (1) ホームルーム活動を充実する。
 - (2) 楽しく意義のある学校行事を展開し、生徒の自主性や自治能力の伸長を図る。
 - (3) 部活動を振興する。
3. 修業年限3年に係わる効果的運営と研究。

生活指導について

1. 基本的な生活習慣の確立を促す。
2. 保護者および職場との連絡を密にする。
3. 交通安全指導を徹底する。
4. 生徒指導に関する職員研修を深める。

進路指導について

1. 4年間の指導計画を確立し、勤労生徒として自主的な進路選択ができるよう指導する。
2. 特に卒業学年に対しては、適性を自覚させ、その進路の実現のため各種のとりくみを強める。

同和教育について

1. 同和教育の推進と実践につとめる。

保健・安全について

1. 校舎内外の環境整備と安全点検を充実する。
2. 健康診断の事後措置を徹底する。
3. 学校管理下における事故防止を徹底する。

2. 校務分掌

学級担任・副担任

年	組	担任	副担任
1	1	滝本	飯島
2	1	内田	佐藤 齋藤
3	1	菅谷	
4	1	新井	
1	2	松崎	中山田
2	2	本吉	福井
3	2	仲田	

クラブ顧問

クラブ名	顧問
バスケット	中山田
ソフトテニス	仲田、滝本
バドミントン	飯島、内田
卓球	福井
陸上競技	本吉、栗原
サッカー	松崎、箕輪
野球	佐藤
バレーボール	齋藤
写真	新井
家庭科	菅谷

生徒会委員会顧問

委員会名	顧問
本部	松崎、菅谷 齋藤、中山田
クラス委	仲田、福井 新井
文化祭実行委	松崎、内田 佐藤
体育委	齋藤、中山田 飯島
保健委	小林、箕輪 栗原
予算選管委	菅谷、滝本 本吉

部	主任	係名		係職員名
教務部	◎栗原	教育課程	教育活動・行事計画	・栗原、仲田、滝本、齋藤
			時間割	・佐藤、松崎、本吉
		庶務	企画・文書・管理	・栗原、新井、本吉
			併修・大検 転・編入	・栗原、新井、松崎、本吉
生徒指導部	◎箕輪	生徒指導	生徒指導計画	・箕輪、飯島、仲田、佐藤 内田、松崎
			交通安全	・箕輪、佐藤、内田
			教育相談	・箕輪、中山田、小林
		特活指導	生徒会・HR指導	・松崎、菅谷、齋藤、中山田
進路指導部	◎福井	就職指導・進学指導		・福井、新井、飯島 仲田、滝本
渉外部	◎福井	渉外		・福井、内田、菅谷、齋藤
保健部	◎飯島	保健・安全		・飯島、滝本、齋藤、小林
環境部	◎仲田	環境整備・美化・防火防災		・仲田、滝本、齋藤、小林
事務部	◎富田	給食	庶務	・玉本、塩谷、新井、齋藤
			運営	・玉本、渋谷、吉田
		事務	庶務	・富田、塩谷、甘楽

生徒募集運営委員会（福井、箕輪、滝本、齋藤、小林）

修業年限3年制委員会（栗原、仲田、佐藤、松崎、本吉）

補助事業運営委員会（新井、飯島、内田、菅谷、齋藤）

学校保健委員会（校長、教頭、事務室長、保健主事、養護教諭）

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		
日	曜	行	事	日	曜	行	事	日	曜	行	事	
1	金			水	水	生徒総会	土	元旦	火		水	採点
2	土			木			日	冬季休業	水	3年	木	学年末考査
3	日	県定通総体	水	文化の日	金		月		木		金	選抜会議
4	月		木		土		火		金		土	
5	火		金		日		水		土		日	
6	水		土	委員会	月		木	高体連スキー大会	日		月	
7	木		日	西部支部体育大会	火		金		月		火	入学許可候補者発表 卒業式準備
8	金	体育祭	月		水		土	学校休業日	火		水	卒業式
9	土	学校休業日	火		木	期末考査	日		水		木	
10	日	県定通総体	水		金		月	成人の日	木	卒業認定会議	金	特別時間割
11	月	振替休日	木		土		火	始業式	金	建国記念の日	土	学校休業日
12	火		金		日		水	2学期分再考査	土	学校休業日	日	
13	水		土		月		木		日		月	
14	木		日	県民の日	火		金	校内成人式	月	予餞会	火	第二次学力検査
15	金		月		水	特別時間割	土		火		水	成績会議
16	土		火		木		日	駅伝競争大会	水		木	面接指導
17	日	県定通総体 県生活体験発表会	水	同和教育	金	交通安全教育	月		木	卒業追認定試験	金	交通安全教育 入学許可候補者発表
18	月		木		土	面接指導	火		金	卒業追認定会議	土	
19	火		金		日		水		土		日	
20	水		土		月	成績会議	木		日		月	春分の日
21	木		日	ロードレース大会	火	防火訓練	金		月		火	追認定試験
22	金		月		水	大掃除	土	学校休業日	火		水	
23	土	百周年記念式典	火	勤労感謝の日	木	天皇誕生日	日	県駅伝大会	水		木	大掃除、成績会議
24	日	県定通総体	水		金	終業式	月		木	同和教育	金	終業式
25	月	中間考査	木	関プロ大会	土	冬季休業	火		金	学力検査準備	土	学年末休業
26	火		金		日		水		土	学校休業日	日	
27	水		土	学校休業日	月		木		日		月	欠員補充学力検査
28	木		日		火		金	卒業試験	月	学力検査	火	入学許可候補者発表
29	金		月		水		土		火	面接	水	
30	土	振替休日	火		木		日	新人大会			木	
31	日				金		月	4年			金	
			ETA 総会 職員研修			スキー教室		職員研修				

3. 年間行事予定表

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		
日	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事	曜	行 事
1	木	春季休業 着任式 全定合同職員会議	土	自転車点検	火		木		日		水	始業式
2	金	入学許可候補者説明会	日		水		金		月		木	
3	土		月	憲法記念日	木		土	↑ 期末考査	火		金	↑ 1学期分再考査
4	日		火	休日	金		日		水		土	
5	月		水	こどもの日	土		月		木		日	
6	火		木		日	全国大会県予選	火		金		月	↓
7	水		金		月		水		土		火	
8	木	入学式 始業式	土	学校休業日	火	進路説明会	木	↑ 特別時間割	日	↑ 剣道全国大会	水	
9	金	対面式 全校オリエンテーション	日	遠足	水		金	↓	月	↓	木	くすのき祭準備
10	土	学校休業日	月	振替休日	木		土	学校休業日	火	↑ ソフトテニス 全国大会	金	くすのき祭前夜祭
11	日		火	検尿二次	金		日		水	↓	土	↑ くすのき祭
12	月	↑ 新入生オリエン テーション	水	胸部撮影	土	学校休業日	月	交通安全教育	木	↑	日	↓
13	火		木		日	全国大会県予選	火	↑ 同和教育 職員研修	金	↑ 陸上全国大会	月	振替休日
14	水	↓ 面接指導、心電図	金	運動能力テスト	月		水	↑ 面接指導 保護者会	土	↓	火	振替休日
15	木	身体測定	土		火		木	↑ 成績会議	日		水	敬老の日
16	金	耳鼻科	日		水		金	↓	月		木	就職試験開始
17	土	↓ 委員会	月		木		土	↑ 大掃除	火		金	
18	日		火	生徒総会	金		日		水	↑ 生徒会 リーダー研修	土	川高百周年記念音楽祭
19	月	眼科	水		土		月	↑ 始業式	木	↓	日	
20	火	検尿一次	木		日		火	↑ 海の日	金		月	
21	水		金	↑ 図書館オリエンテ ーション	月		水	↑ 夏季休業	土	↑ 柔道全国大会	火	
22	木	↓ 歯科 生徒会役員補欠選挙	土	学校休業日	火		木		日	↓	水	
23	金	内科	日		水	校内生活体験発表会	金		月		木	秋分の日
24	土	学校休業日	月		木	職員研修	土		火		金	
25	日		火		金		日		水		土	学校休業日
26	月	↑ 新入生歓迎会	水	↑ 中間考査	土	学校休業日	月		木		日	県定通総体
27	火		木		日		火		金		月	
28	水	↓ 離任式	金	↑ 開校記念日	月	↑ 3年修学旅行	水		土		火	
29	木	みどりの日	土	↓ P振総会	火		木		日		水	西部地区生活体験 発表会
30	金	↓ 避難訓練	日	↑ 全国大会県予選	水		金		月		木	
31			月				土		火			
											職員研修	

4. 生徒に関する調べ

(1) 生徒定員並びに生徒現員

平成11年5月1日現在

学 年		1		2		3		4		合 計							
		「修4」1	「修3」1	「修4」1	「修3」1	「修4」1	「修3」1	1	7								
生徒定員		40	40	40	40	40	40	40	280								
生徒現員	性 別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	生徒数	23	7	19	10	8	10	12	2	12	10	14	3	15	5	103	47
	計	30		29		18		14		21		17		20		150	

(2) 年齢別生徒数

年齢	15才		16才		17才		18才		19才		20才		21才		22才		23才		24才		25才		26才 30才		31才 35才		36才 40才		41才		計
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子																							
1年	男	17		15		4		1			1		1		2								1							42	
	女		7		7			1					1				1													17	
	計	24		22		4		2			1		2		2		1						1						61		
2年	男			7		3		3		3			1								1		1					1	20		
	女				7		2		1			1											1						12		
	計			14		5		5		4		3		1		1							1		2		1	32			
3年	男					11		3		3		4		1					1		1		1				1	26			
	女						4		3		1												1		1		1	2	13		
	計					15		6		4		4		1					1		1		2		1		1	3	39		
4年	男						6		2		3		2						1				1						15		
	女							4						1															5		
	計						10		2		3		3						1				1						20		
合計	男	17		22		18		13		8		8		5		2				2		2		4				2	103		
	女		7		14		6		9		1		1		2				1					2		1		1	2	47	
	計	24		36		24		22		9		9		7		2		1		2		2		6		1		1	4	150	

(3) 居住地学年別生徒数

市町村 学年	川越	坂戸	狭山	上福岡	鶴ヶ島	所沢	富士見	大宮	大井	川島	新座	志木	浦和	上尾	毛呂山	日高	鶴瀬	入間	越生	三芳	鳩山	和光	東京	計	
1	20	6	5	6	4	3	2	1			3	1	1		1		1	1		1	1	1	1	1	59
2	14	3	2	2	2	4	1	2						2											32
3	16	5	5	3	3	2	1		1			1				1			1						39
4	7		1		1	1	2	2	3	1			1		1										20
計	57	14	13	11	10	10	6	5	4	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	150

(4) 産業別生徒数

学 年	産 業	製 造 業						建 設	販 売	運 輸	飲 食 店	自 動 車 修 理	公 務 員	サ ー ビ ス	そ の 他	無 職	合 計
		食 品	織 維	電 気	機 械	印 刷	化 学										
1		2		1			1		2	2	6			7	2	36	59
2		4						1			5		1	7		14	32
3		4		1	1			3	2		5	1	2	10		10	39
4		1							1	3	3			5	1	6	20
計		11		2	1		1	4	5	5	19	1	3	29	3	66	150

(5) 通学方法別生徒数

方 法		学 年		1		2		3		4		計				
徒 歩						1						1				
自 転 車				10		8		9		2		29				
電 車	埼 京 線	43	7	17	4	14	2	10	4	84	17					
	東 上 線											26	7	7	4	44
	西 武 線											10	6	5	2	23
バ ス						2		1				3				
自 動 車				2		1		11		4		18				
バ イ ク				4		3		4		4		15				
合 計				59		32		39		20		150				

埼玉県立川越高等学校校歌

Moderato

古谷喜十郎 作詞
内田象太郎 作曲

むらさきにおうむさしののて
 していのじょうしこまやかーにせ
 んよもふかーきかわごえーにおし
 っしのゆーぎまたあつーくかー
 えのにわのーきぼひろくいしずえすえしーまな
 びにはしらすじつにつきちをたがやしてーとく
 びやはちちぶのみねーのゆるぎなー
 をしくわがこうふうーはみよしのー
 くいるまのみずーのすえながーし
 のしゃとうのうめーとかおるなーり

一、紫匂う武蔵野の

天与も深き川越に

教えの庭の規模広く

礎据えし学舎は

秩父の嶺の揺るぎなく

入間の水の末長し

二、師弟の情思濃やかに

切悧の友誼亦厚く

華美にはしらず実に著き

智を耕して徳をしく

我校風は三芳野の

社頭の梅と薫るなり

三、

螢に捜る鳥の跡

雪に尋ぬる文の道

大和心に西の才

雄飛の翼養いて

高き誉を初雁の
城址の月と輝かせ

第一応援歌

「奮え友よ」

山本 明(高4)
牧野 統
作詞
作曲

奮え友よ
奮い立て今
初雁の
校旗はためく
武蔵野に
鍛えし我等
栄光の伝統守り
熱血の闘魂高く
今こそ誇れ
勝利の王座
勝利の王座
川高 川高
川高 川高
お我が川越高校

(力強くおおらかに)

ふ る え と も よ ふ る い た て い ま
は つ か り の こ う き は た め く む さ し の に き た え し わ れ ら
え い こ う の で ん と う ま も り ね っ け つ の と う こ ん た か く い ま こ そ ほ こ
れ し ょ う り の お う ざ し ょ う り の お う ざ か わ こ う か わ
こ う か わ こ う か わ こ う お お わ が か わ こ え こ う こ う

第二応援歌

一
血潮に燃ゆる若人の
待ち憧れし今日こそは
光輝ある歴史の
誉の名をば轟かせ

一 一挙、一挙、いざ奮え
一 一挙、一挙
いざふるふるふる
我が応援の意気見ずや

二
熱球飛んで土を噛み
凱歌は上がる我が軍に
見よや若人の
赤き血潮の高鳴るを
※ くり返し

ち し お に も ゆ る わ こ う ど の ま ち あ こ が れ し き ゃ こ そ は
こ う き あ る れ き し の ほ ま れ の な を ば と ど ろ か せ
い き ゃ い き ゃ い ざ ふ る え い き ゃ い き ゃ い ざ ふ る ふ る ふ る
い き ゃ い き ゃ い ざ ふ る え わ が お え ん の い き み ず や

第三応援歌

一 水川神社の神主が

おみくじ引いて申すには

いつも川高は

勝ち勝ち勝ち勝ち

二 天にのさばる神様が

雲の上におんぶして

眺める様子は

川高の勝ち勝ち

三 川高健児の心意気

今日のこの場で見せましょう

それ打て やれ打て

今日も川高勝ち勝ち

四 もしも川高が負けたなら

電信柱に花が咲き

焼いた魚が

およぎだす およぎだす

ひかわじんじょうのかんぬしが おみくじひいて もうすには
い つ も か わ - こ は か ち か ち か ち か ち

第四応援歌

「凌雲の志」

菅野 真二(高36) 作詞
小高 秀一(高11) 作曲

一 凌雲の志を秘め競う

尽力の技沓を見せ

地を蹴る我等

栄光目指し

武蔵野に覇を唱えん

川高 川高

※ 勝者 勝者 勝者

川高 川越高校

二 高き飛翔に士気上がる

血気の闘志今溢れ

空駆ける我等

栄光求め

武蔵野に覇を唱えん

※くり返し

moderato

りょう うん の し き ひ め き そ う じ ん り ゃく の わ ざ さ い え
たか き ひ じょう に し き あ が る け っ さ の と う し い ま
き み せ れ ち そ ら け る わ れ ら え い こ う - め ざ し め む
さ し の に は を と な え ん か わ こ う - か わ
こ う - し ゃ - し ゃ し ゃ - し ゃ し ゃ - し ゃ か わ こ か わ
こ え こ う こ う -

凱歌

近藤 鉄城 作詞
牧野 統 作曲

一 狭霧漂う

古城のほとり

若き命の

響きを聞けば

鍛え鍛えし

健児の血潮

踊り高鳴り

脈打つところ

雲紫の

旗翻る旗翻る

二

嗚呼青春の

憂いぞ夢は

湧きつ流れて

意気高らかに

競い競いし

健児の胸に

溢れ滾りて

微笑みかけぬ

轟く凱歌

母校の誇り 母校の誇り

さぎり ただ よう こじょーの ほーり わかき いのちの
ひびきを きけば きたえ きたえ しけんじの ちしお
おどり たか なり みやくうつところ くもむら
さきの はたひる がえる はたひる がえる

生かせ伝統

田中まさお 作詞

一 希望輝く グランドに

今こそ競う 若人ら

みどりの空へ 肩あげて

誓う ほまれ

誓う ほまれの 優勝旗

二 白いラインが 目に映り

胸が高鳴る 腕も鳴る

歓呼の友へ 手を振って

尽くす ベストの

尽くす ベストの 新記録

三 伝統誇る 川高の

意気と熱とを 見せるとき

流れる汗に 頬染めて

歌う 勝利の

歌う 勝利の 応援歌

埼玉県立川越高等学校創立百周年記念事業の概要

(平成11年7月)

I. 創立百周年記念事業実行委員会

川越高等学校は明治32(1899)年に埼玉県第三中学校として川越城址に設立され、平成11(1999)年に創立百周年を迎えます。この間、校名は埼玉県立川越中学校へ、さらに学制改革により埼玉県立川越高等学校へと変わりましたが、約2万9千名の有為な人材が本校を巣立ってゆきました。卒業生たちは地域社会はもとより、国内各地さらには海外にまで雄飛して、様々な分野で活躍し、社会・文化の発展に大きな貢献をしております。

この記念すべき創立百周年を迎えるにあたり、川越高等学校では学校、同窓会、PT会、後援会、PTA教育振興会(定時制課程)の五団体が一体となり、渋谷 健同窓会長を委員長として創立百周年記念事業実行委員会を結成しました。「百年を振り返り、百年を見通す」を基本テーマとし、20世紀とともに歩んできた本校百年の足跡を記念し、さらに来るべき21世紀を展望した意義ある記念事業を行うことを目指して取り組んできました。

II. 主要な記念事業・行事

1. 創立百周年記念図書館の建設

これまでの図書館は、昭和53年、本校創立80周年の主要記念事業として、それ以前の図書館(昭和33年落成)を大幅に増改築したものでした。全館冷暖房設備や移動書架の設置等、当時の公立高校図書館としては先進的な諸設備を備えておりました。

その図書館も、利用する生徒と蔵書・資料がその後増加したため、狭隘になってきました。また古い建物を増改築したことから、大震災に遭遇した場合の耐震性に問題がでてきました。そこでこの記念すべき創立百周年を機に、来るべき21世紀のマルチ情報時代に対応した新図書館を建設することになりました。

全体の建築費および基本的な設備は県費でお願いできることになりましたので、主に近代的な内部施設の充実を百周年記念事業費で行うことになりました。その主なものは、様々な視聴覚機器およびマルチメディア機器からなるオーディオ ビジュアル コンピュータシステムを備えたセミナールーム兼会議室の設置、閲覧室にマルチメディアコーナー開設、小会議室兼資料展示室の整備等です。

昨年7月初旬に旧図書館の解体工事が終了し、同年9月から建設工事が開始され、本年3月末に完成しました。

2. 国際交流の推進とそのための基金の設立

本校創立百周年を記念して、外国の高等学校と継続的な姉妹校関係を結び、生徒および職員を交換的に派遣するという、そしてまたそのための基金を設立することになりました。

これまでに決定されたり、あるいは検討されている具体的な点は次の通りです。

(1) 姉妹校として提携をする相手候補校

St. Augustine's College に決定しました。オーストラリアのクイーンズランド州ケアンズ市にあるカトリック系私立の男子校です。

(2) 生徒交流の具体的方法

時期は夏季休業中の約2週間、人数は15名程度で1、2年生を対象、宿泊場所は相手校の生徒の家庭にホームステイする等ですが、詳細については現在検討中です。

3. 百周年記念誌『くすの木』の刊行

川越高校百年間の歩みの全体像を的確に綴った、信頼性の高い川中・川高史であり、貴重な教育資料になるものと期待されます。主な内容は次の通りです。

百年史：プロローグ(江戸から明治=開校以前の関連史)、年表と物語(百年を歩く=1年2頁、年表、資料、写真等で描く)、エピローグ(伝統、そして明日へ=川高生による提言)の3部から成る。

初雁から翔く、OBたちの姿：百年間に輩出した卒業生約1000名の動向、活躍ぶりを、出身地あるいは居住地域単位(現在の通学区13地区)ごとに紹介する。

部活動は、今：旧制中学時代の部活動、それぞれの黄金時代、最近の活動状況等、本校部活動の歴史と現代を描く。

感動は甦る：校友会報、各年史、記念講演、その他の刊行物の中から再録、抄録する。

定時制の50年：中心校と分校（朝霞、入間川、所沢）設置の経緯とその後の歴史、部活動などの「輝きの刻」、忘れ得ぬ懐かしい思い出の数々が綴られている。

その他、卒業生、教職員、関係者による「回想」「証言」で100年間のエピソードや名物先生を紹介するコラム、教職員一覧や学校行事等の各種資料、ドキュメント風に現代の川越と川高生を描き、航空写真や地図を使って川越の街や校舎配置の変遷を資料的に構成する写真構成等が含まれる予定です。

B5判で約800頁、頒価1万円、平成11年10月刊行予定です。

4. 新体育館建設に伴う設備充実

新体育館は県の防災拠点施設整備事業として建設されました。創立70周年記念事業として昭和45年に建設された重層体育館を取り壊し、平成9年11月から建設工事が開始され、平成11年3月に完成しました。地上4階建てで、アリーナ、各格技場の他に食堂、合宿所、研修室、トレーニング室、シャワールーム、浴室等が設備されております。地下1階部分は防災用備蓄倉庫になっています。また付帯設備として弓道場が全面的に改築されました。

百周年記念事業の一環としては、トレーニング室のトレーニング機器設置や舞台装置等の設備充実を行いました。

5. 記念碑の建立

本校の校歌は開校10周年を迎えた明治42年に制定され、それ以降今日まで90年間歌い継がれてきました。百周年記念碑としてその校歌碑を建立することになりました。碑の製作者は環境美術家の関根伸夫氏（高校13回卒）、歌詞の揮毫は書道家の吉沢義和氏（高校8回卒）です。本年5月28日に完成し、6月5日に除幕式が行われました。

碑は「未来の手」と題されていますが、作者によれば、「手は技術、知識、行動の象徴であり、未来の夢をつかみとろうとする意志を示す。ここでは手は抽象的に天空をつかみとろうとする形態で示した。」ということです。

また長い間課題であった正門の改築が行われました。設計は同じく関根伸夫氏です。新しい正門は、本校校歌の一節「高き蒼を初雁の城址の月と輝かせ」から、城址の月と城壁積みイメージした門柱と、川越城本丸御殿正面玄関にもみられる唐様破風をイメージした門扉から成っています。門柱に刻まれた校名は土屋義彦埼玉県知事の書です。

6. コンピュータ利用環境整備

新体育館内に食堂が設置されたので、旧食堂を転用して、課題になっていたコンピュータ室を整備することになりました。コンピュータ機器は県費で整備されますが、OAフロア用の床上げ等工事面の諸整備を百周年記念事業費で行いました。今秋から授業等での利用開始を予定しております。またこの機に、校内全体のインターネット接続環境整備を百周年記念事業の一環として行いました。

7. 記念式典・祝賀会

記念式典は平成11年10月23日（土）、新体育館アリーナで挙行します。なお、姉妹校提携調印式が併せて行われます。祝賀会は体育館・図書館落成、姉妹校提携の祝賀も兼ねて、式典終了後剣道場で行われます。

8. 記念音楽会

平成11年9月18日（土）、川越市市民会館大ホールで開催します。出演は古澤 巖氏（バイオリニスト）、椎野 伸一氏（ピアニスト、高26回卒）、OBを含めた本校音楽系4クラブです。午前・午後の2回公演とし、午前は在校生対象で、午後は一般公開になります。

9. 記念美術・書道展

平成11年10月5日（火）～11日（月）の日程で、川越高校関係者（卒業生、在校生、現旧職員）により、西武本川越駅ビル5階のペペホール「アトラス」で開催します。一般公開で入場無料です。

10. 記念講演会

平成11年10月14日（木）、本校生徒・職員等を対象に新体育館アリーナで開催します。講師は元朝日新聞論説主幹 松山幸雄氏（中学47回卒）の予定です。

11. 記念俳句大会

平成11年10月30日（土）、百周年記念図書館で開催する予定です。卒業生、在校生、現・旧教職員及びそれぞれの御家族に幅広く呼びかけて開催します。

12. 記念親善ゴルフ大会

同窓会親善ゴルフ大会として平成9年度より行われておりますが、創立百周年を迎える平成11年度は、実行委員会の事業として行うことになりました。平成11年10月25日（月）、霞ヶ関カンツリー倶楽部で開催します。

13. 学校新聞縮刷版の刊行

昭和25年7月の創刊号から現在に至るまでの「川越高校新聞」の縮刷版で、平成11年10月刊行、頒価3,500円の子定です。

14. 同窓会会員名簿の刊行

会員名簿第18号を、創立百周年記念号として、平成11年10月に刊行します。頒価は4,500円の子定です。

15. 記念品の作製

校歌と応援歌のCD、テレホンカード、Tシャツ等を作製し、現在頒布中です。頒価は校歌CDが800円（郵送の場合は1000円）、テレホンカード（2枚組セット）が1500円、Tシャツが2000円です。なおTシャツは在校生全員に無料配布しました。

16. 楠の苗木育成と配布

本校のシンボリック的存在となっている楠の直系で、3年間育成された苗木250鉢を希望する方に配布します。また近隣の自治体や中学校等で植樹していただけたところにはお送りします。

17. 百周年記念運動部交流戦

- (1)川越高校・春日部高校野球対抗戦（OB戦、現役戦）：平成11年11月13日（土）、大宮県営球場。今年ともに創立百周年を迎える兄弟校同士の対抗戦、OB戦後に交換会も予定されています。
- (2)川越高校・浦和高校サッカー交流試合（OB戦、現役戦）：平成11年9月26日（日）、川越運動公園陸上競技場。対浦高戦50年目のリベンジなるか？ 大いに期待されます。

18. 広報事業

主なものは、ポスター、リーフレットの作製とビデオによる記念諸行事の記録です。

19. 生徒会百周年記念事業への協力・援助

生徒会の百周年記念事業検討委員会が生徒会としての記念事業に取り組んでいます。実行委員会では可能な限りの援助と協力をする予定です。

20. 母校創立百周年同窓会祝賀会

平成11年11月13日（土）、同窓会による事業として新体育館アリーナ他で開催されます。約1000名の卒業生が母校の楠の下に集うことになっています。

（埼玉県立川越高等学校創立百周年記念事業実行委員会事務局）

創立百周年記念事業実行委員会顧問・役員名簿（平成11年度）

顧問（30名）〔五十音順による〕

役 職	氏 名
元 県 公 安 委 員	伊藤 勇
川 越 商 工 会 議 所 会 頭	岩堀 徳太郎
前 校 長	大沢 幸夫
同 窓 会 顧 問	岡村 了一
後 援 会 顧 問	小林 茂雄
前 日 高 市 市 長	駒野 昇
元 校 長	小室 英夫
飯 能 市 市 長	小山 誠三
所 沢 市 市 長	斎藤 博
同 窓 会 顧 問	佐々木 忠一
県 出 納 長	鈴木 宮夫
元 校 長	鈴木 良栄
日 高 市 市 長	関 真
元 県 副 知 事	関口 一郎
川 島 町 町 長	染矢 昭文
県 収 用 委 員	田中 甲子雄
県 議 会 員	田中 龍夫
あ さ ひ 銀 行 会 長	田中 正
衆 議 院 議 員	中野 清
県 議 会 議 員	長峰 宏芳
県 議 会 議 員	並木 利志和
前 県 出 納 長	西島 昭三
県 議 会 員	西山 淳次
県 公 安 委 員 長	原 宏
元 校 長	深谷 正雄
川 越 市 市 長	舟橋 功一
坂 戸 市 市 長	宮崎 雅好
元 校 長	宮島 秀夫
衆 議 院 議 員	矢島 恒夫
あ さ ひ 銀 行 特 別 顧 問	吉野 重彦

役員（59名）

役 職	選出団体・役職	氏 名
実行委員長	同窓会会長	渋谷 健
実行副委員長 （5名）	同窓会副会長	馬場 弘
	P T 会 会 長	榎田 幹夫
	後援会会長	川西 一紘
	PTA教育振興会会長	大塚 昭三
	校 長	橋本 恭明
常 任 委 員 （38名）	同窓会副会長	田中川 隆貞
	〃	市川 宗
	〃	高山 孝
	〃	山根 豊
	〃	石山 豊
	同窓会 監 事	山田 矩康
	元 P T 会 会 長	鈴木 禧八
	〃	北村 平
	〃	道祖 武
	〃	足立 誠
	〃	北沢 紀史夫
	後援会副会長	金子 建二
	〃	市川 明広
	後援会常任理事	荻島 満夫
	〃	山口 悠紀子
〃	梶田 順子	
〃	雨宮 忠男	
〃	新谷 紀子	
〃	足立 皓	
〃	島田 孝義	
〃	宮崎 富美子	
〃	糸部 和夫	
〃	畠山 巳津子	
〃	菰田 和廣	
〃	岡西 真智子	
P T 会 副 会 長	長島 理子	
〃	山長 伸樹	
〃	福田 みよ子	
〃	関口 正人	
〃	小川 和恵	
〃	安野 昌之	
〃	中島 眞友美	
〃	五十嵐 富美子	
PTA教育振興会副会長	神藤 登	
教 諭 （全）	根岸 登	
〃	大館 義広	
〃	渋谷 忠司	
〃 （定）	仲田 勝己	
監 事 （4名）	同窓会 監 事	星野 誠
〃	P T 会 監 事	畠山 育代
〃	後援会 監 事	片桐 行男
〃	PTA教育振興会 監 事	松本 博吉
幹 事 （事務局） （11名）	教 頭 （全）	松木 晴信
	〃	深澤 一博
	〃 （定）	斎藤 英男
	事 務 室 長	山崎 昭男
	教 諭 （P後担当）	西見 正
	〃 （同窓会担当）	高橋 克己
	〃 （P振担当）	福井 孝夫
主 査 （定）	富田 秀男	
主 任 （全）	田中 敏史	
事 務 局 長	伊藤 豊	
事 務 局 次 長	栗原 進	

校内選出専門部委員（10名）

教 諭 （教務担当）	福本 彰
〃 （P後担当）	関根 俊彦
〃 （同窓会担当）	西川 正己
教 諭 （全日制）	齋藤 実
〃	二本松 敬太
教 諭	五十公野 順一
〃	宮寺 勇
〃	佐賀 博
〃 （定時制）	栗原 克弘
〃	新井 幸男

編集を終えて

*一年半の準備期間を経て、川越高校創立百周年記念事業実行委員会が発足したのは一九九五年七月一日だった。記念誌の発行は主要事業の一つとして決定され、事業部の担当となり、栗原がその校内責任者となった。光栄ではあるが、長く厳しい道のりの始まりである。

十二月十八日、校内の実行委員の代表と事務局が集まり、第一回編集委員会が開かれた。そこで、専門家にプロデュースを依頼し、出版編集の経験を持つOBの協力を仰ぐこととした。

*総合プロデュース(製作)は、本県にあつて地方出版文化発展のために活躍されている「さきたま出版会」の星野和央氏にお願いすることにした。

OBを交えた二回の編集協力委員会を経て、半年後の一九九六年七月に基本方針が決定、校内編集委員は実質的な編集作業に着手した。

十二月にはタイムスケジュールもでき、資料の収集、執筆依頼など取材編集活動が始まった。

担当者の中には早くも執筆を始める者もいた。だがまだ、さしたる切迫感もなく暢気なものであった。のちにどれだけの辛く切ない思いを経験するかも知らずに……。

*基本方針は次のとおりである。

- 一、百年をひとつの流れとしてとらえ、記録性、地域との関連、将来への展望を加味した内容とする。
- 二、資料的な価値とあわせ、ビジュアルで見やすく、読みやすいものとする。

三、全日制、定時制の合同記念誌とする。
四、OBの誌面への参加を積極的に考える。

具体的には、写真を多く使うということで、複写や新たな撮り下ろしなど、担当者は授業の空き時間のほとんどすべてを撮影にあてねばならなかった。撮影点数は六〇〇を優に超える。

「初雁から翔く」では、各地の初雁会の援助により一〇〇〇名以上のOBを紹介することとなった。

*一九九七年の夏から少しずつ入稿が始まった。

九八年二月で、栗原が定年退職して、専任となる。これより「編集室だより」を発行してスタッフとの連絡調整にあてた。編集会議は二七回を数え、「編集室だより」も一六号になった。

調べれば調べるほど新しい事実に向面する。確認作業がそれに輪をかけて時間を食う。この年の夏をピークと想定していたが、次々と欲が出て、それがまた自らを縛ることになる。すべての稿を仕上げる予定であったが半分にも達しなかった。

*入稿は遅々として進まない。暑さと焦燥の中で、スタッフの疲れも頂点に達した。三校から、更に念校まで出してもらったが、それでもまだ朱が入るといふ状況であった。校正紙に最後の「賈了」の文字が書き入れられたのは、一九九九年九月も半ばを過ぎた日だった。「夏休みはのんびりと休養を」と約束したことも反故となった。

*振り返ってみれば、この三年半は短かったのかとも思う。慣れない仕事で、しかもスタッフのほとんどは授業、担任、部活動の指導をした上での仕事であった。辛くないはずがない。スタッフを支えたの

は、自分たちの手で歴史の一頁を切り開くのだという自負と使命感であった。

*この間、多くの先輩を見送った。その中には原稿依頼に快く応じてくれた人たちもいる。この記念誌を読んでいただけないのが残念でならない。心よりご冥福をお祈りします。

*おわりに、貴重な資料を提供してくださった和田亀之助氏のご遺族はじめ、多くの皆様に感謝申し上げます。

また、細かなところまで煩をいとわず援助して下さったOBと、製作統括の星野和央氏、デザイナーの田端克雄氏、開成洋紙店の松村光三氏、三松堂印刷の高木正義氏、牧製本印刷の栗原義正氏に心より御礼申し上げます。

(一九九九・九・一九 栗原 進)

百周年記念誌編集委員(◎委員長、○副) 五十音順

新井幸男(定時制教諭・高13)

五十公野順一(教諭・高27)

伊藤 豊(実行委員会事務局長・高2)

○大館義廣(教諭・高22)

春日敬行(前本校・現桶川西高校教諭)

栗原 進(前本校教諭・高10)

栗原由郎(教諭・高21)

近藤伸一(教諭・高20)

齋藤 実(教諭・高26)

仲田勝己(定時制教諭・定16)

中村 潔(教諭・高32)

野口 孝(前本校・現鶴ヶ島高校教諭・高25)

花井 敦(教諭・高34)

柳沢民雄(教諭)

百周年記念誌編集協力者一覽
(五十音順・敬称略)

◎情報提供・執筆等

- | | | | | | |
|--------------|--------------|-------------|----------------|---------------|--------------|
| 秋山 衛 (高1) | 菊池建太 (高17) | 西島昭三 (高6) | 吉沢泰而 (中47) | 齊藤 恒 (高3) | 矢部房夫 (定8) |
| 粟田良助 (中45) | 岸 篤 (中45) | 野沢達也 (高15) | 吉沢義和 (高8) | 佐々木忠一 (中32) | 内田開才写場 |
| 家村莊太郎 (中34) | 小泉 功 (元本校教諭) | 野沢恒雄 (高4) | 吉田 正 (高10) | 佐藤百合子 | 朝日新聞社 |
| 井下田慶一郎 (中35) | 小島良夫 (中45) | 野口 進 (中46) | 吉田矩康 (高13) | 島田知良 (高13) | 毎日新聞社 |
| 石井 功 (高11) | 小林博美 (高7) | 萩元喜久男 (高19) | 大塚昭三 (定3) | 島田昌夫 (中39) | 読売新聞社 |
| 石井 一 (高5) | 小室勝男 (中42) | 原 章 (中46) | 神藤 登 (定40) | 芹沢良三 (高2) 令夫人 | 東武博物館 |
| 石井正雄 (高7) | 金剛秀房 (高10) | 日出間哲郎 (高2) | 鈴木セツ子 (定41) | 田中貞夫 (高7) | (株)新潟鐵工所 |
| 石川幹雄 (高17) | 道祖土武 (高7) | 平井輝夫 (中37) | 中出伝二郎 (定9) | 田中康富 (中42) | (株)日本写真 |
| 石山 豊 (中46) | 榑原和夫 (高19) | 藤本正人 (高32) | 萩原幸子 (定16) | 時田敏夫 (高6) | 三菱商事 |
| 大竹庸二 (高12) | 櫻井弘康 (高12) | 藤森貞夫 (高6) | 藤崎クニ子 (定28) | 長島 威 (高13) | 宮崎一雄 (W・P・E) |
| 井花富男 (高17) | 酒本忠雄 (高6) | 星野明德 (高13) | 各回期幹事 | 中 秀男 (高3) | 朝霞高校 |
| 入子 優 (高27) | 嶋田勝郎 (中22) | 星野 誠 (高9) | 各地区初雁会 | 中村照子 | 浦和高校図書館・同窓会 |
| 岩堀徳太郎 (中44) | 嶋本正雄 (高13) | 細田和男 (高17) | ◎写真・資料提供 | 中村ハルコ | 朝霞市役所 |
| 岩堀弘明 (高8) | 清水純一 (高20) | 細田初男 (高18) | 愛川敬武 (元本校教諭) | 西尾吉一 | 川越市役所 |
| 内田昌治 (高13) | 菅間 昭 (高6) | 堀内慶治 (中40) | 飯島幸永 | 萩原秀雄 (元本校教諭) | 川越市役所 |
| 宇津木輝勝 (高6) | 鈴木 智 (高17) | 松岡正人 (高7) | 石井昭三 (高9) | 古谷圭一 (高4) | 志木市役所 |
| 梅沢定彦 (高4) | 関田哲彦 (高13) | 松村祐二 (高3) | 石川秀夫 (中26) 令夫人 | 増島良平 (中32) | 所沢市役所 |
| 梅沢正寿 (中46) | 高島敏明 (高16) | 松本長治 (高17) | 岩田甲平 (高14) | 峯岸利夫 | 川越市医師会 |
| 江守秀男 (高7) | 滝島幸昭 (高5) | 松本博一 (中37) | 大谷晃司 (高35) | 宮崎道夫 (高1) | 川越商工会議所 |
| 岡田良平 (高2) | 田中栄一 (高7) | 宮崎敏昭 (高3) | 岡田宗一 | 三好典子 | 川越市立図書館 |
| 岡村了一 (中43) | 田中喜八郎 (中47) | 宮寺一也 (高9) | 岡田利介 (中31) | 本木淳一 (高10) | 川越市立博物館 |
| 奥 雅臣 (高10) | 田中茂男 (高17) | 村上 武 (高8) | 岡野郁郎 (中39) | 山崎嘉正 | 埼玉県立文書館 |
| 大久原秀雄 (中44) | 田中啓彦 (高4) | 山岸光司 (高6) | 奥平俊夫 (中41) | 和田美知子 | 東松山市立第一小学校 |
| 小倉 博 (高8) | 遠山眞平 (高6) | 矢部敬一郎 (高2) | 小高利貞 (高4) | 渡辺 肇 (高10) | 南教育センター |
| 尾崎勝美 (高11) | 中里光男 (中39) | 山口現朗 (高15) | 柿田和満 (高2) | 新井栄一 (定4) | 本校美術部・同OB会 |
| 小高秀一 (高11) | 長谷更一 (高6) | 山田勝利 (中26) | 片居木栄一 (高1) | 市川正男 (元本校教諭) | |
| 可児一男 (高7) | 中村生秀 (高3) | 横内武彦 (高12) | 勝俣福志 (中41) | 江原裕美 (元本校教諭) | |
| | 並木武夫 (高12) | 横内 洋 (高5) | 児島康夫 (高16) | 小鹿野幸彦 (定17) | |
| | | | 小松崎 望 (中47) | 中山富男 (所定3) | |
| | | | 近藤 靖 (中43) | 水村啓子 (定16) | |

百周年記念誌 くすの木

一九九九年九月二十五日 印刷
一九九九年十月二十三日 発行

非売品

編集——百周年記念誌編集委員会

発行——埼玉県立川越高等学校

創立百周年記念事業実行委員会

〒350-0053

埼玉県川越市郭町二一六

電話 ○四九二二二〇二二四

制作——株式会社さきたま出版会

埼玉県浦和市高砂二一七一七

電話 ○四八八二二二二三三(代)

デザイン——有限会社ワールド・サイド

用紙——三菱製紙株式会社

株式会社開成洋紙店

印刷——三松堂印刷株式会社

製本——牧製本印刷株式会社



